

三日市 A 遺跡 6

2013

石川県野々市市教育委員会

みっかいち
三日市 A 遺跡 6

2013

石川県野々市市教育委員会



第1次調査区透景(北東から)



第26次全景(上空から)



第26次全景(北東から)



第26次全景(上空から)



第20次全景(上空から)



第20次全景(東から)



第12次全景(上空から)



第12次遠景(東から)



第6次全景(上空から)



第6次全景(西から)

例 言

- 1 本書は、三田市A遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地は、石川県野々市市二日市町地内である。
- 3 調査原因は、野々市市北西部上地区画整理事業にともなうものである。
- 4 調査は、野々市市北西部上地区画整理組合からの依頼を受けて野々市市教育委員会が実施した。
- 5 現地調査の年度・期間・面積・担当者は以下のとおりである。

平成12年度 第1次

期 間 平成12年9月27日～平成13年3月28日
面 積 1,400㎡
担当者 徳野裕子 野々市町教育委員会文化課職員（現 野々市市教育委員会文化振興課職員）

平成14年度 第6次

期 間 平成14年10月8日～平成15年3月28日
面 積 2,680㎡
担当者 徳野裕子

平成15年度 第12次

期 間 平成15年10月10日～平成16年1月20日
面 積 900㎡
担当者 徳野裕子

平成17年度 第20次

期 間 平成17年12月5日～平成18年2月27日
面 積 900㎡
担当者 徳野裕子

平成18年度 第26次

期 間 平成18年6月19日～平成18年9月15日
面 積 2,130㎡
担当者 徳野裕子

- 6 出土品整理は平成15年度～平成24年度に野々市市教育委員会が実施した。
- 7 報告書の刊行は平成24年度に野々市市教育委員会文化振興課が実施した。担当は徳野裕子、執筆・編集は田村昌宏（市教育委員会文化振興課職員）、遺物写真撮影・レイアウトは菊地由里子（野々市市教育委員会臨時職員）が行った。
- 8 本書についての凡例は以下のとおりである。

- (1) 方位は座標北を指し、座標は国土交通省告示の平面直角座標第Ⅱ系に準拠している。
- (2) 水平基準は海拔高であり、T. P.（東京湾平均海面標高）による。
- (3) 出土遺物番号は、本文・観察表・挿図・写真に対応する。
- (4) 挿図の縮尺は図に示すとおりである。また、写真図版における遺物の縮尺は統一していない。
- (5) 土層図の注記は、農林水産省農林水産技術会事務局・財団法人 日本色彩研究所監修『新版標準土色帖』に拠る。
- (6) 遺構名称の略号は以下のとおりである。

欄列：SA 掘立柱建物：SB 墳墓：SH 竪穴建物：SI 土坑：SK 溝：SD 小穴：P
性格不明遺構：SX

- 9 調査に関する記録と出土遺物は、野々市市教育委員会が一括して保管・管理している。

目 次

第1章 調査の経緯	1
第1節 調査の経緯	1
第2章 遺跡の位置と環境	2
第1節 地理的環境	2
第2節 歴史的環境	2
第3節 基本層序	6
第3章 第1次（平成12年度）調査	7
第1節 発掘調査の経過	7
第2節 遺 構	7
第3節 遺 物	23
第4章 第6次（平成14年度）調査	25
第1節 発掘調査の経過	25
第2節 遺 構	25
第3節 遺 物	31
第5章 第12次（平成15年度）調査	94
第1節 発掘調査の経過	94
第2節 遺 構	94
第3節 遺 物	100
第6章 第20次（平成17年度）調査	169
第1節 発掘調査の経過	169
第2節 遺 構	169
第3節 遺 物	174
第7章 第26次（平成18年度）調査	225
第1節 発掘調査の経過	225
第2節 遺 構	225
第3節 遺 物	228
第8章 総 括	269

第1章 調査の経緯

第1節 調査の経緯

本書収録の三日市A遺跡が所在する野々市市西北部地域は、整然とした水田が広がる農業振興地域であった。しかし、近年における周辺地域の都市化に伴い、本地域も住生活環境の変化が必要となり宅地化の促進が図られることになった。そこで、平成11年に野々市町西北部土地画整理事業が施行されることになった。

北西部土地画整理施行区域65.4ha内には、埋蔵文化財の存在する可能性があり、詳細な確認調査を行う必要が生じた。そこで、平成11年8月25日付で野々市町産業建設部長から野々市町教育委員会教育長宛に土地画整理事業区域内の埋蔵文化財の分布調査についての依頼が出され、同年8月31日付けで同区域での分布調査を行う旨の回答をした。これに基づき、北西部土地画整理施行区域内に試掘坑352箇所を設定し、宅地化など掘削作業できない箇所を除いた337箇所を、同年9月27日～10月19日にかけて試掘調査を実施した。その結果、以前より存在が確認されていた二日市イシバチ遺跡の南側の範囲が確定したほか、新たに、三日市ヒガシタンボ遺跡、三日市A遺跡、郷クボタ遺跡、徳用クヤダ遺跡を発見した。

この結果から、野々市町北西部土地画整理組合、野々市町都市計画課、野々市町教育委員会と協議を重ね、埋蔵文化財包蔵地のうち、道路等恒久化する工事箇所と、民有地内で十分な遺跡の保護層が確保できない箇所については、発掘調査を行うことで合意した。平成12年4月13日付けで、野々市町と野々市町北西部土地画整理組合との間で野々市町北西部土地画整理事業地区内埋蔵文化財に関する協定書が交わされた。

二日市イシバチ遺跡、三日市ヒガシタンボ遺跡、三日市A遺跡、郷クボタ遺跡、徳用クヤダ遺跡に関する文化財保護法第57条の3に基づく届出は、北西部土地画整理組合から文化庁長官宛に提出されたものを、平成12年3月29日付けで野々市町教育委員会教育長から石川県教育委員会教育長宛に提出した。これを受けて、同年3月30日付けで石川県教育委員会教育長から野々市町教育委員会教育長宛に埋蔵文化財発掘調査の届出に関する通知がなされた。

以上の手続きを終えて、平成12年度より上記5遺跡の発掘調査が開始された。



第1図 北西部土地画整理事業地区遺跡地図

第2章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境

野々市市は石川県のほぼ中央、石川平野の要地に位置する。市の大きさは南北約6.7km、東西4.5kmで、県内で最も面積の小さい自治体である。市域は霊峰白山を源とする県下第一級河川手取川によって形成された手取川扇状地の北東部にあたり、扇状部と扇端部の狭間に位置する。本市で最も高い標高地は50m、最も低い地点は10mで、なだらかな緩斜面となる地勢をみせている。

現在の野々市市は平坦な地形が広がっているが、従前は手取川から派生する多くの小河川によって形成された微高地と微低地が混在する地形であった。野々市で人々の生活が認められるのは縄文時代後期前半からで、集落の拠点は標高の高い微高地であった。この時代は扇状地の大部分が未開の原野で、スキヤ低木が生い茂る荒地であったようである。これが稲作の伝わる弥生時代から石川平野の中で水田耕作が営まれるようになり、土地の開墾が始まっていった。古代以降、農耕具の発達などにより凸凹の多い土地は次々と開発されていき、未開発地は耕作地として生まれ変わっていった。明治時代以降は、田区改正による耕地整理が各地で急速に広がり、市内全域は起伏のない平坦な地形へと移り変わり、水田区画は碁盤目のように整然となった。このような、大きく広がった田園風景は昭和30年代ころまで見られた。

しかし、昭和40年代の高度経済成長期以降は、県庁所在地金沢市の隣接地という地理的条件から、住宅地や商業施設の建設などが著しくなり、急速に水田風景は失われていった。特に、北部の御経塚地区や南部の三納・粟田・新庄地区は区画整理事業が進み、住宅地として生まれ変わっていった。今回、発掘調査箇所となる市域北西部地区も区画整理事業の一貫として行われており、周辺地は大きな変貌を遂げてきている。また、市内の東部には金沢工業大学、南部には石川県立大学といった教育機関が置かれ、若者が多く集う学園都市としての性格も持ち合わせている。

今回の発掘調査地である三日市A遺跡は、標高約15mで、手取川から派生する小河川によって形成された微高地に立地する。ただし、市域上流部と比較して、大きな川原石の堆積は少なく、微低地との高低差も大差ないことから、当時の生活拠点の場としては、非常に適した地であったと思われる。



第2図 野々市市位置図

第2節 歴史的環境

三日市A遺跡周辺の遺跡を中心として、時代別に概観する。

縄文時代

本遺跡より北東方約1km離れたところには国指定史跡となっている6御経塚遺跡が存在する。御経塚遺跡は、縄文時代後期中葉～弥生時代初頭にかけて営まれた地域における拠点集落である。当遺跡で発見された御経塚式土器は縄文時代晩期前半の基準資料となる。御経塚遺跡の近隣には、縄文時代後期後半～晩期後半の1チカモリ遺跡や縄文時代後期後半～晩期後半の2中屋サワ遺跡といった集落遺跡が点在し、御経塚遺跡の拠点集落を中心に展開した出村的な集落であったようである。これらの遺跡は標高

6～10mに立地し、扇状地を伏流する地下水の湧水域であった。また、当時の生活に必要な落葉広葉樹と照葉樹が混在する豊かな林野が大きく広がっていた場所でもあったことから、この地帯は当時の人々にとって生活環境に最適な場であったようである。

本遺跡より南東約2kmのところには、縄文時代晩期の17長竹遺跡がある。長竹遺跡は縄文晩期後半の基準資料となる土器が出土した遺跡で、水田稲作農耕が西日本に波及した極めて重要な時期である。なお、本遺跡及び御経塚遺跡からは、当該時期の稲柄の圧痕のついた土器が出土している。

弥生時代

手取川扇状地一帯における弥生時代の遺跡分布を見ると、前期～中期にかけては極めて少なく、後期に数多く存在する。御経塚遺跡(ツカダ地区)、15乾遺跡からは、柴山出村式と呼ばれる弥生時代前期の土器が確認されているが、この時期は弥生文化の波及が十分ではなく、まだ縄文文化の影響が強く残っていたようである。

弥生時代後期になると、鉄器の普及などを要因とする生産力の向上から人口が増え、それに伴い手取川扇状地一帯にも集落が展開するようになる。本遺跡をはじめ、周辺にある5御経塚シンデン遺跡、御経塚遺跡、7長池ニシタンボ遺跡、9二日市イシバチ遺跡、10郷クボク遺跡、13三日市ヒガスタンボ遺跡、14徳丸ジョウジャダ遺跡などからは、堅穴建物や掘立柱建物などで構成される集落跡が見つかる。これは、農耕社会が急速に広がったことから、安定した農耕地の確保が必要となったため、広範にわたってムラが形成していったと考えられる。

古墳時代

古墳時代前半については、本遺跡に隣接する二日市イシバチ遺跡で、弥生時代後期からの流れを汲む集落跡を確認することができるが、扇状地上での集落数は激減し、一旦収束傾向となる。ただし、本遺跡より北方1kmにある御経塚シンデン遺跡・御経塚シンデン古墳群では、弥生集落廃絶後に15基の前方後方墳、方墳からなる大古墳群を造立している。また、二日市イシバチ遺跡でも一辺約18mの規模を中心とした大小の方墳7基を確認しており、各地域を治める首長層の存在を伺い知ることができる。

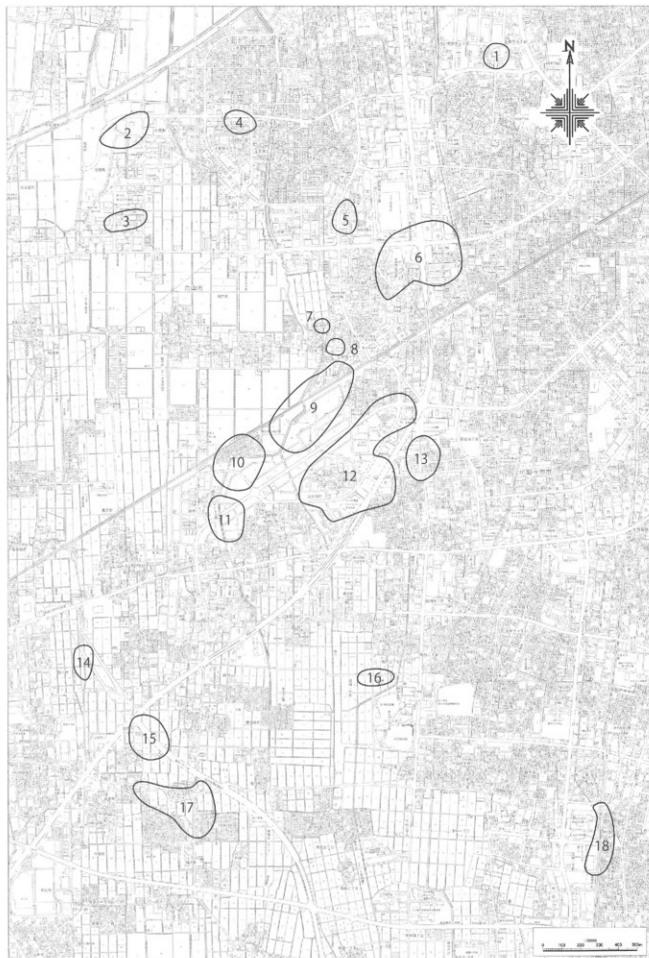
古墳時代後半になると、本遺跡から南方約4kmの市上流域の扇状地扇央部で末松古墳や上林古墳など後期古墳が築かれるようになる。これは河川上流域における開発が広がり始めていったことを意味する。

古代

7世紀後半には、手取川扇状地扇央部に、県内最古の古代寺院である末松廃寺が建立される。末松廃寺は、東に塔、西に金堂が置かれた法起寺式の伽藍配置をもち、この寺院建立以降、市内南部地域を含む手取川扇状地扇央部一帯で耕作地開発が急速に進み、特に8世紀後半以降は18三納アラムヤ遺跡をはじめとする周辺各地に集落が増大していく。扇状地扇端部には、初期荘園の遺跡である3横江荘々家跡、4上荒原遺跡が所在する。また、本遺跡の南方部には、9世紀頃に成立した古代の官道である北陸道の跡が見つかり、上記荘園遺跡との関係が指摘されている。

中世

11世紀後半～12世紀頃から、在地領主層の武士団の形成がはかれるようになった。地元武士団である林氏や宮樫氏は、手取川扇状地での新開発や再開発に大きな影響を与えた。ただし、市内において現在のところ中世前半にかけての遺跡はあまり多く確認されていない。中世の遺跡が多く認められるようになるのは、宮樫氏が加賀国の守護職に任じられ、野市に守護所を置く14世紀頃からである。本遺跡をはじめ、近隣の二日市イシバチ遺跡や郷クボク遺跡、中屋サワ遺跡では、溝で囲まれた中に建物などが



第3図 遺跡の位置と周辺の遺跡 (S=1/20000)

配置される散居村のような景観が広がる集落が認められる。また、本遺跡南方1.5kmにある16畝内館跡では、幅1.5m、深さ1mほどの大きな堀で囲まれた原敷地の跡も確認されている。15世紀以降になると、集落跡である本遺跡、8長池キタノハシ遺跡、11徳用クヤダ遺跡では、掘立柱建物、堅穴状遺構などの主要遺構が密集した村落形態を示し、14世紀頃までみられた散村から集村へと大きく変わる様相となる。

近世

現在見ることのできる集落は、近世に成立したと考えられる。御経塚集落内（御経塚遺跡テト地区）や郷町集落（徳用クヤダ遺跡）隣接地での発掘調査でも、近世の遺構・遺物を発見している。また、乾遺跡や、本遺跡からは、当該時期の墓地跡を確認している。

第1表 周辺の遺跡一覧表

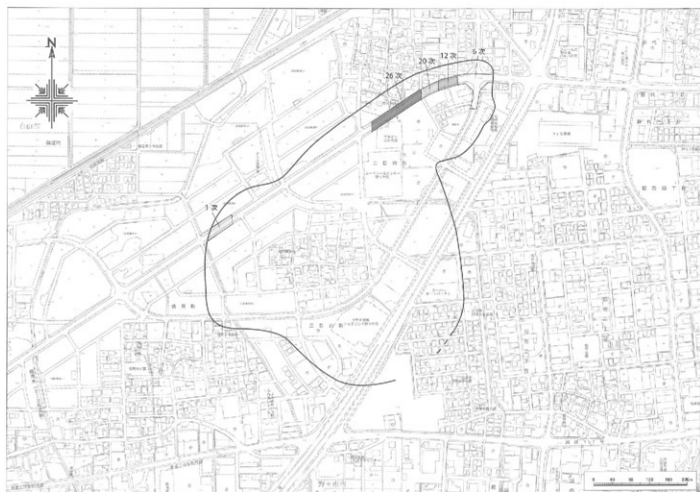
番号	遺跡名	種別	時代
1	チカモリ遺跡	集落跡	縄文
2	中屋サワ遺跡	集落跡	縄文～中世
3	横江荘々家跡	荘園	古代
4	上笠屋遺跡	集落跡 荘園跡	縄文～中世
5	御経塚シンデン遺跡 御経塚シンデン古墳群	集落跡 古墳	弥生～中世
6	御経塚遺跡	集落跡	縄文～中世
7	長池ニシタンボ遺跡	集落跡	弥生
8	長池キタノハシ遺跡	集落跡	中世
9	二日市イシバチ遺跡	集落跡	縄文 弥生 中世
10	郷クボタ遺跡	集落跡	弥生 古代 中世
11	徳用クヤダ遺跡	集落跡	古代 中世
12	三日市A遺跡	集落跡	弥生 古代 中世
13	三日市ヒガシタンボ遺跡	集落跡	弥生 古代 中世
14	徳丸ジョウジャダ遺跡	集落跡	弥生 古代
15	乾遺跡	墓地・集落跡	縄文～近世
16	堀内館跡	館跡	中世
17	長竹遺跡	墓地・散布地	縄文～古墳
18	三納アラミヤ遺跡	集落跡	古代 中世

第3節 基本層序

基本層序については、下記のとおりである。ただし、各調査区が広範囲であることから、それぞれの箇所で見られる。

1の灰色粘質土は土地区画整理事業以前まで行われていた水田耕作土である。2の橙灰色粘質土は水田耕作土の整地層にあたる。3の暗灰色粘質土は中世～近世頃までの耕作土と想定される。4の暗灰褐色粘質土は遺物包含層で、中世の遺構面にもあたる。その下面にある5の黄褐色粘質土は地山面である。

	1 灰色粘質土（水田耕作土）
	2 橙灰色粘質土（水田耕作土整地層）
	3 暗灰色粘質土
	4 暗灰褐色粘質土（遺物包含層）
	5 黄褐色粘質土（地山）



第4図 基本土層図、調査区位置図

第3章 第1次（平成12年度）調査

第1節 発掘調査の経過

本発掘調査業務は、野々市市北西部土地区画整理地区内の野々市市道二日市・松任線工事に伴う事業を調査原因とする。

平成12年9月14日、野々市町は本開発予定地における埋蔵文化財発掘調査の実施計画書を野々市町北西部土地区画整理組合（以下、北西部組合と呼称する。）に提出し、その計画書に基づいて、野々市町と北西部組合との間で委託契約を締結した。

現地調査は、9月27日より開始した。同日からは大型掘削機を使って遺構面までの土砂を掘削し、翌9月28日には完了した。10月5日からは、発掘作業員による人力作業が始まった。人力の作業内容は遺構精査や遺構掘削などで、これらの作業中に調査員は図面の記録を行った。11月22日には全ての遺構掘削が完了し、翌11月23日には調査区の清掃作業を行い、11月24日にラジコンヘリコプターによる空中写真測量を実施し、現地調査作業は完了した。12月22日から12月24日にかけては、大型掘削機による調査区内の埋戻し作業が執り行われた。

第2節 遺構

調査区全体概観（第5図）

当該調査区は南西から順に1区・2区・3区に分かれる。

SK1（第5・12図）

3区中央部に位置する土坑である。遺構の規模は南北に約2.3m、東西方向に同じく約2.3mである。後述するSK2の南側に位置し、切り合い関係がある。その切り合い関係からSK2よりSK1が新しい遺構であることが分かる。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

SK2（第5・12図）

3区中央部に位置する土坑で、北には前述のSK1が位置する。遺構の規模は南北に約1.5m、東西方向に約2.2mであり、覆土は灰色系の粘質土が主体である。

SX1（第5・12図）

1区南部壁際に位置する不定形遺構で、遺構の規模は南北に約1.8m、東西方向に約4mである。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

SX2（第5・12図）

1区中央部付近に位置する不定形遺構で、後述のSX3の西側に位置する。遺構の規模は南北に約7m、東西方向に約2mである。覆土は灰色系の粘質土・砂質土が主体である。

SX3（第5・12図）

1区中央部付近に位置する不定形遺構で先述のSX2の東側に位置する。遺構の規模は南北に約2.8m、東西方向に約1.1mである。覆土は灰色系の粘質土・砂質土が主体である。

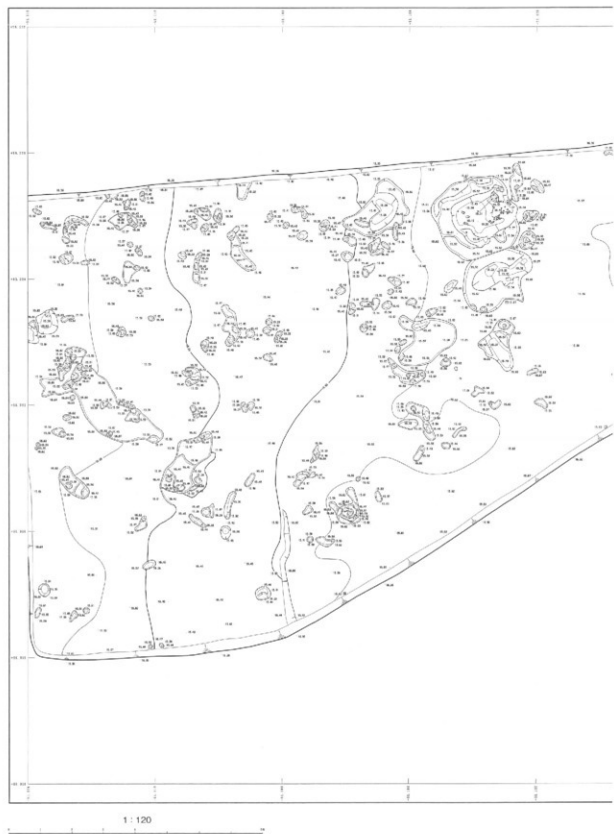
SD1（第5・12図）

3区東端に位置する遺構で、遺構の規模は南北に約2.1m、東西方向に約0.6mである。方位は南北方向にほぼ水平である。覆土は灰色系の粘質土が主体である。



第5図 遺構全体図 (S=1/300)

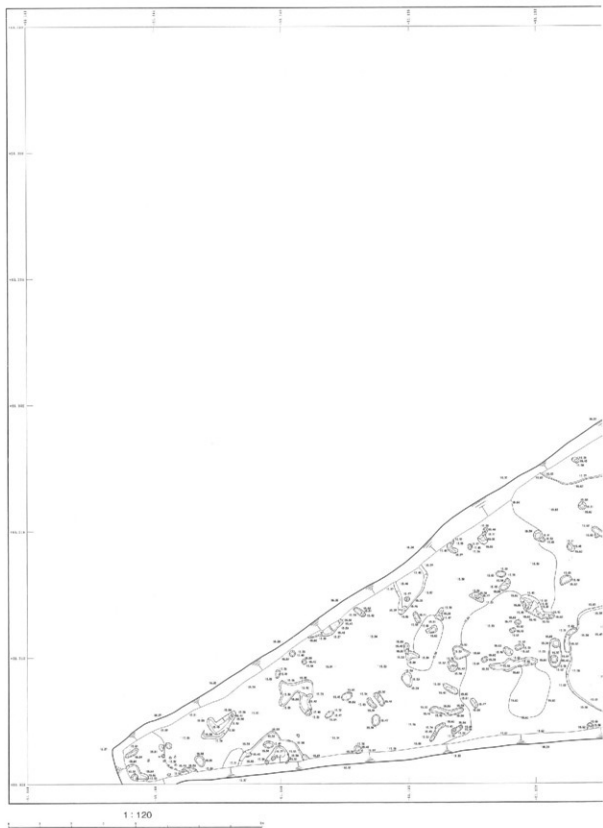




第6图 航空测量图1 (S=1/120)

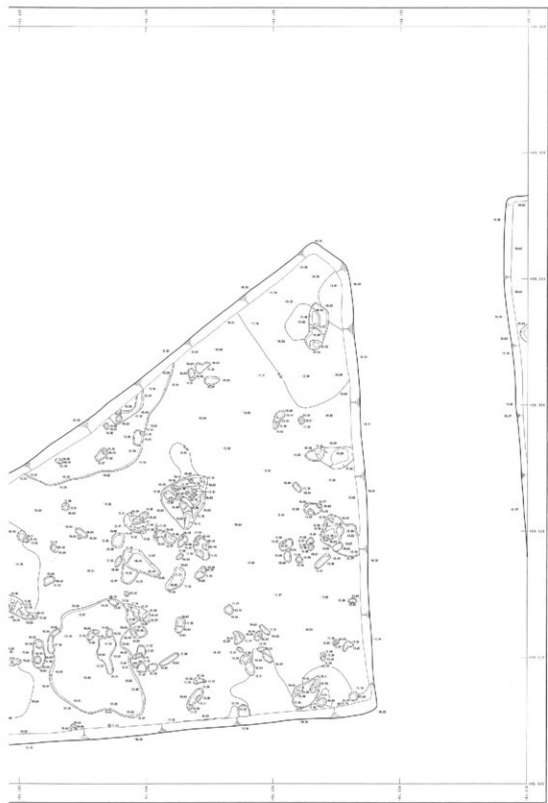
	2	1
4	3	
6	5	

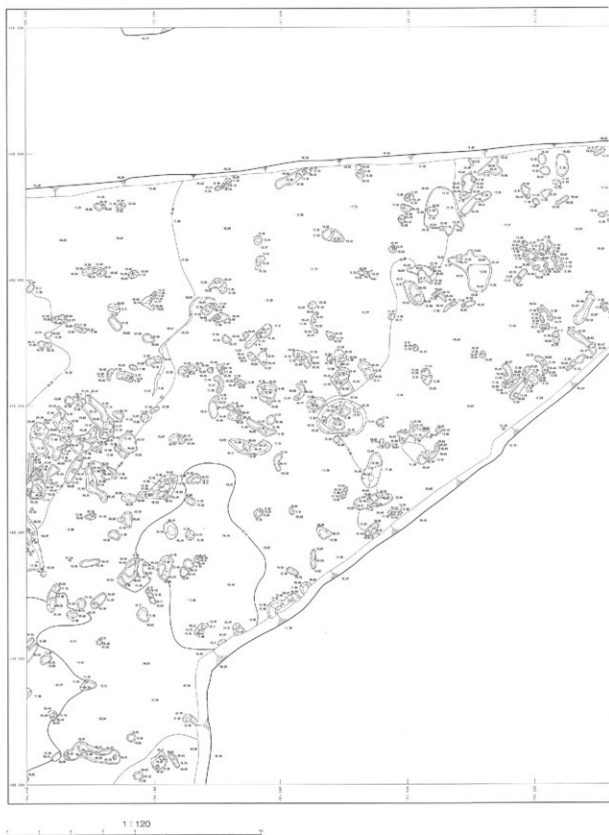




第7図 航空測量図2 (S=1/120)

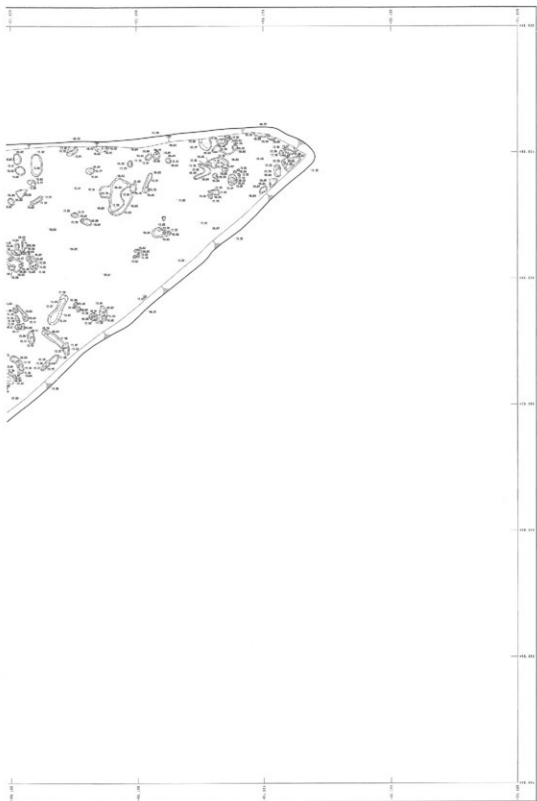
	2	1
4	3	
6	5	

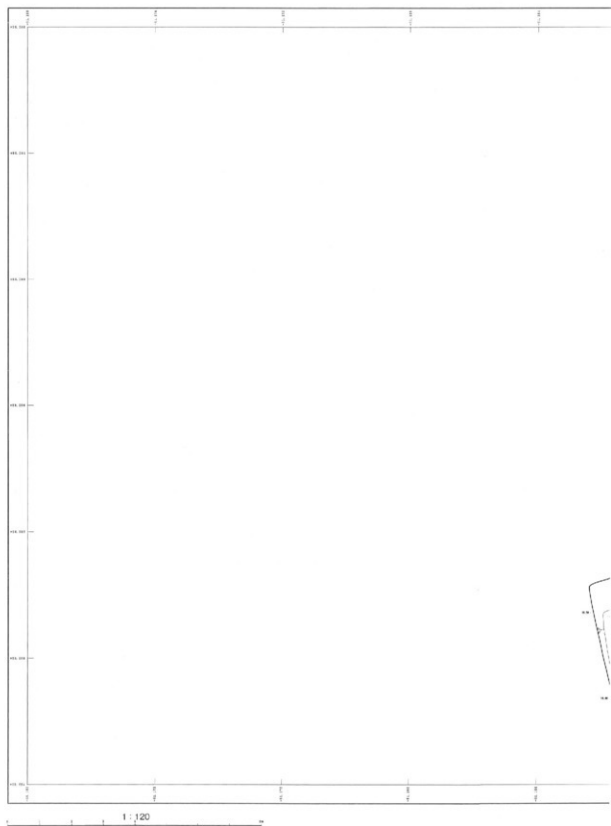




第8图 航空测量图3 (S=1/120)

	2	1
4	3	
6	5	

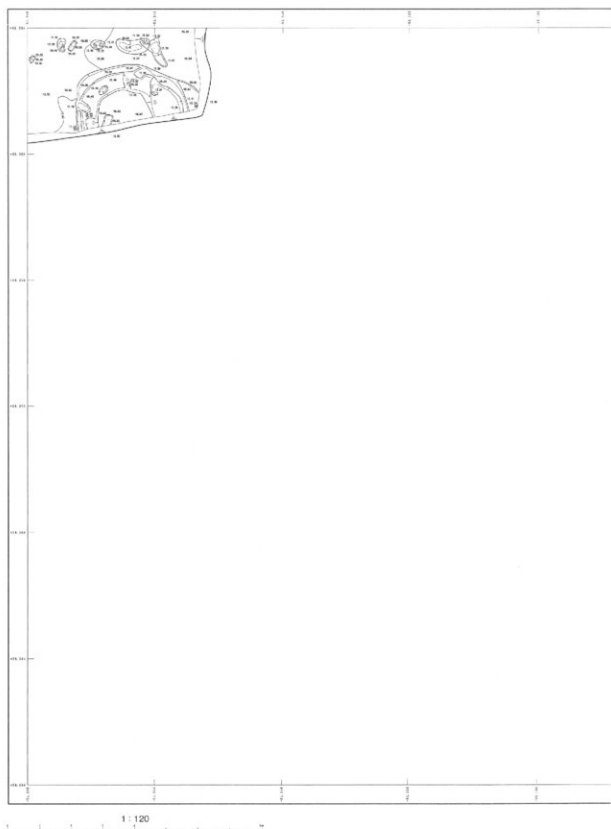




第9图 航空测量图4 (S=1/120)

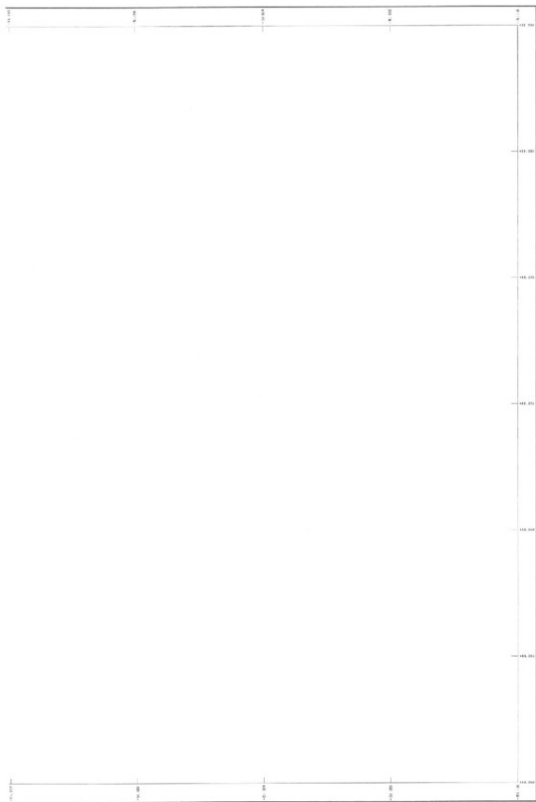
	2	1
4	3	
6	5	

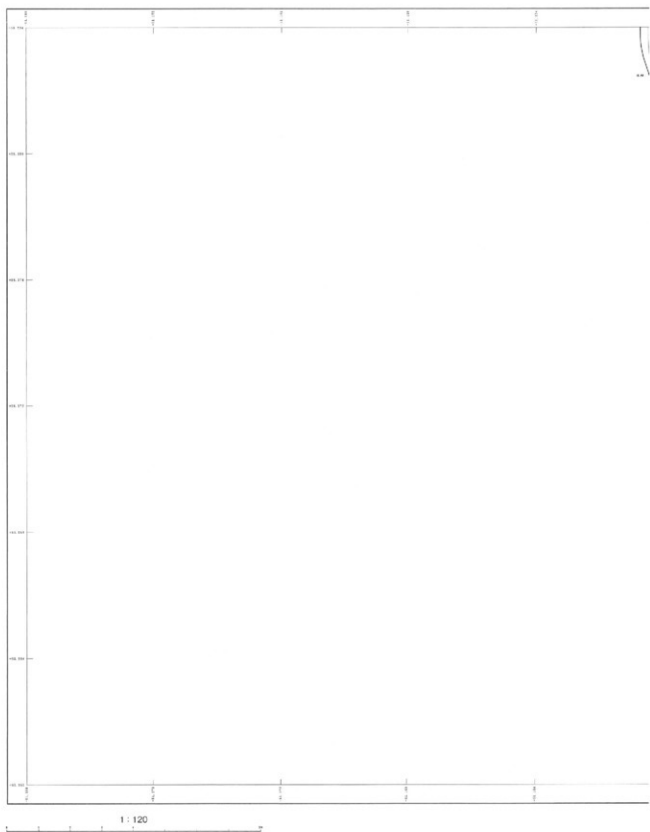




第10图 航空测量图5 (S=1/120)

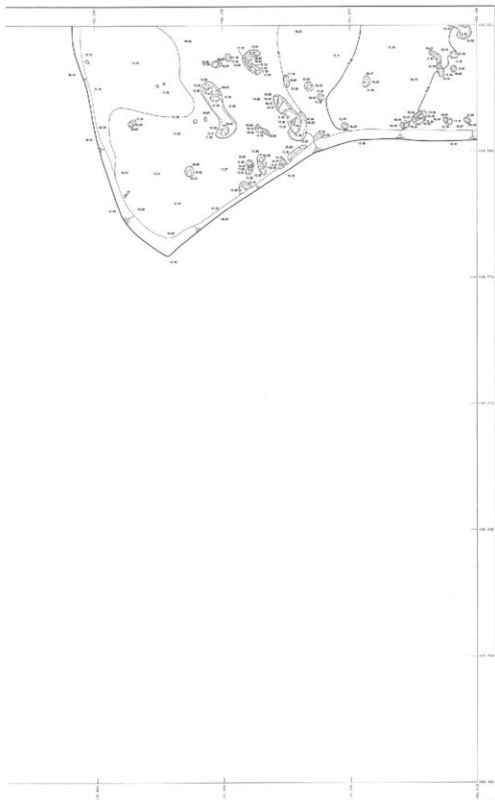
	2	1
4	3	
6	5	



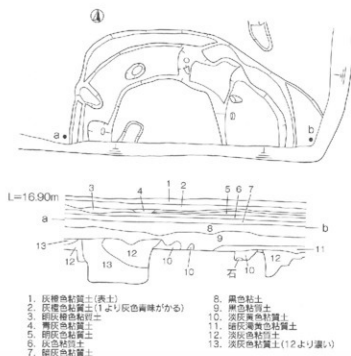


第11图 航空测量图6 (S = 1/120)

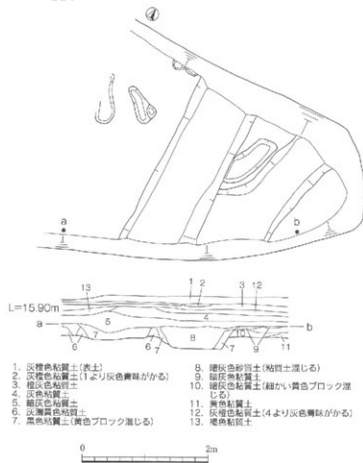
	2	1
4	3	
6	5	



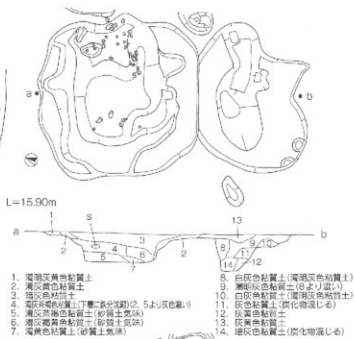
SX1



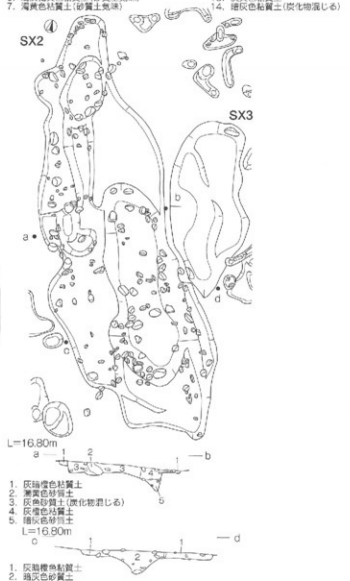
SD1



SK1



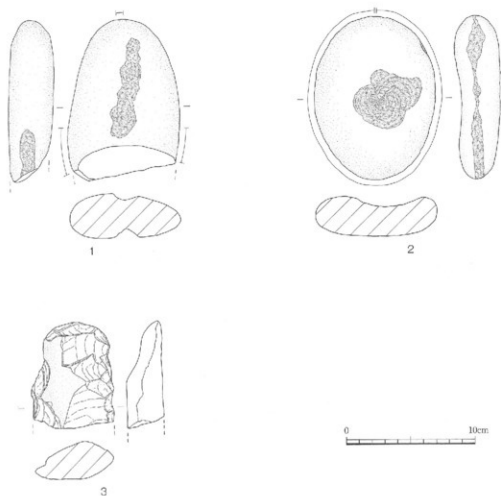
SK2



第12図 遺構実測図 (S=1/60)

第3節 遺物

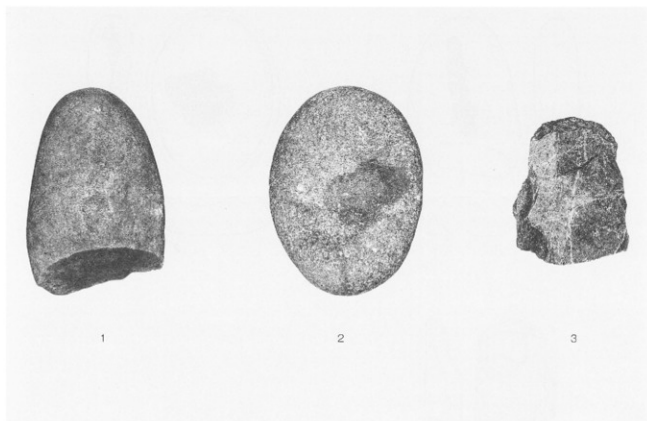
本調査区における遺物の出土量は極めて少ない。弥生土器片、打製石斧、凹石、近世陶磁器片を確認しており、うち、打製石斧、凹石を図示した。



第13図 遺物実測図 (S=1/3)

第2表 石製品観察表

番号	遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石 材	備 考	実測 番号
			(cm)	(cm)	(cm)	(g)			
1	不明	凹石	(12.9)	8.9	3.6	564	砂岩		O419
2	不明	凹石	13.0	9.5	3.6	650	安山岩		O420
3	包含層	打製石斧	(8.5)	6.6	3.0	169	綠色凝灰岩		O422



第4章 第6次(平成14年度)調査

第1節 発掘調査の経過

本発掘調査業務は、野々市市北西部土地区画整理地区内の野々市市道二日市・松任線、二日市・徳用線工事に伴う事業を調査原因とする。

平成14年9月25日、野々市町は本開発予定地における埋蔵文化財発掘調査の実施計画書を野々市町北西部土地区画整理組合(以下、北西部組合と呼称する。)に提出し、その計画書に基づいて、野々市町と北西部組合との間で委託契約を締結した。

現地調査は、10月5日より大型掘削機で遺構面までの土砂を掘削する作業から開始した。この掘削機による表土除去作業は10月19日に完了した。10月22日からは、発掘作業員による人力作業が始まった。人力の作業内容は遺構精査や遺構掘削などで、これらの作業中に調査員は図面の記録を行った。なお、本調査地は面積が大きいため、調査区の東側と西側の2分割に分けて作業を実施した。作業は西側から行い、平成15年1月21日に遺構掘削が完了し、翌1月22日から1月27日にかけて調査区の清掃作業を行い、1月28日に1回目のラジコンヘリコプターによる空中写真測量を実施した。調査区東側の発掘作業員による調査作業は、1月21日より始まった。作業は降雪等による中断を挟み、3月12日に完了した。3月13日から3月20日にかけて、調査区内の清掃作業を実施し、同日の3月20日に2回目のラジコンヘリコプターによる空中写真測量を行った。その後、3月24日まで補足調査を実施して現地調査作業は完了した。

第2節 遺構

SB1(第14・16・23図)

調査区北西部に位置する掘立柱建物であり、後述のSK1~5と位置を同じくする。遺構の規模は南北に約5.7m、東西に約2.4mで面積は約13.7m²である。ピットの深さは約35cmである。

SB2(第14・16・24図)

調査区北西部に位置する掘立柱建物で、前述のSB1の北東に位置する。遺構の規模は南北に約5.8m、東西に約4.0mで面積は約23.2m²である。ピットの深さは約10~40cmである。

SB3(第14・16・25図)

調査区北東部に位置する掘立柱建物である。遺構の規模は南北に約6.2m、東西に約6.6mで面積は約40.9m²である。ピットの深さは約10~50cmである。

SB4(第14・16・26図)

調査区北東部、前述のSB3の東隣に位置する掘立柱建物である。遺構の規模は南北に約6.3m、東西に約5.7mで面積は約35.9m²である。ピットの深さは約20~60cmである。

SA1(第15・16・27図)

調査区南部に位置する横列である。南北方向に約11mを測り、ピットの深さは約20~40cmである。

SI1(第15・16・28図)

調査区南部に位置する竪穴建物であり、前述のSA1の西側に位置する。遺構の規模は南北に約3.0m、東西に約2.6mで深さは約50cmで、覆土は暗褐色粘質土が主体である。

SI2(第14・16・29図)

調査区北西部に位置する竪穴建物である。前述のSB1の西側に位置し、後述のSI3が南側に隣り合う。遺構の規模は南北に約1.7m、東西に約2.1mで深さは約44cmである。

SI3 (第14・16・29図)

調査区北西部に位置する竪穴建物で、前述のSB1の西側に位置し、SI2が北側に隣り合う。遺構の規模は南北に約2.2m、東西に約2.0mで深さは約20cmである。

SI4 (第14・16・29図)

調査区北西部に位置する竪穴建物で、前述のSI2・SI3の南西方向に位置する。遺構の規模は南北に約1.7m、東西に約1.5mで深さは約30cmである。

SI5 (第14・16・30図)

調査区北東部に位置する竪穴建物である。後述するSI6～9とともに、調査区北東部を南北方向に走るSD6付近に点在する竪穴建物群である。後述するSD7と切り合い関係があり、SI5の方がSD7に比べて古い。遺構の規模は南北に約3.3m、東西に約2.6mで深さは約54cmである。覆土は灰色粘質土が主体である。

SI6 (第14・16・31図)

調査区北東部に位置する竪穴建物である。後述するSD6と切り合い関係があり、SI6の方がSD6に比べて新しい。遺構の規模は南北に約1.7m、東西に約2.2mで深さは約10～60cmである。覆土は砂が少量混じった褐灰色粘質土が主体である。

SI7 (第14・16・31図)

調査区北東部に位置する竪穴建物である。遺構の規模は南北に約1.3m、東西に約2.3mで深さは約40～75cmである。覆土は黄色ブロックが混じる灰色粘質土が主体である。

SI8 (第14・16・32図)

調査区北東部に位置する竪穴建物である。遺構の規模は南北に約2.4m、東西に約2.2mで深さは約60cmである。覆土は灰色粘質土が主体である。

SI9 (第14・16・33図)

調査区北東部に位置する竪穴建物である。遺構の規模は南北に約4m、東西に約6.5mで深さは約25cmである。覆土は褐色粘質土が主体である。

SE1 (第14・16・34・43図)

調査区北西部に位置する井戸状遺構で、前述のSB1やSI3などの北側に位置する。遺構の規模は南北に約3.0m、東西に約2.0～2.5mで円形を呈する。深さは約1.5mであり、覆土は灰色粘質土が主体である。

SE2 (第14・16・35図)

調査区北西部に位置する井戸状遺構である。前述のSE1の南側に位置し、SI2～4の西側に位置する。遺構の規模は南北に約3.2m、東西に約3.2mで円形を呈する。深さは約2.5mであり、覆土は灰色粘質土が主体である。

SE3 (第14・16・36図)

調査区北部中央からやや西側に位置する井戸状遺構で、前述のSB2の東側に位置する。遺構の規模は南北に約2.8m、東西に約3.1mで円形を呈する。深さは約2.8mであり、覆土は灰色粘質土が主体である。

SK1 (第14・16・37図)

調査区北西部に位置する土坑で、後述するSK2～5とともに、先述のSB1やSE2付近に点在する土坑群である。遺構の規模は南北に約0.7m、東西に約0.8mで深さは約20cmであり、覆土は濁黄色砂質土が主体である。

SK2 (第14・16・37図)

調査区北西部に位置する土坑である。遺構の規模は南北に約1.3m、東西に約1.0mで深さは約30cmである。覆土は灰色粘質土が主体である。

SK3 (第14・16・37図)

調査区北西部に位置する土坑である。遺構の規模は南北に約0.5m、東西に約0.6mで深さは約20cmである。

覆土は灰色粘質土が主体である。

SK4 (第14・16・37図)

調査区北西部に位置する土坑である。遺構の規模は南北に約0.6m、東西に約1.0mで深さは約20～60cmである。覆土は灰色粘質土が主体である。

SK5 (第14・16・37図)

調査区北西部に位置する土坑である。遺構の規模は南北に約0.8m、東西に約0.9mで深さは約40cmである。覆土は明灰色粘質土と黄色粘質土の混合土が主体である。

SK6 (第14・16・38図)

調査区北西部に位置する土坑である。前述のSE1の東側に位置する。遺構の規模は南北に約1.3m、東西に約1.3mで深さは約50cmである。覆土は黄色ブロックが混じる淡灰褐色粘質土が主体である。

SK7 (第14・16・38図)

調査区北西部に位置する土坑である。前述のSK6の東側に位置する。遺構の規模は南北に約1.6m、東西に約1.5mで深さは約40cmである。覆土は暗灰黄色ブロックが混じる灰色粘質土が主体である。

SK8 (第14・16・38図)

調査区北西部に位置する土坑である。前述のSB2の東側、またSE3の西側に位置する。遺構の規模は南北に約2.0m、東西に約0.9mで深さは約20～30cmである。覆土は黄色ブロックが混じる褐色粘質土が主体である。

SK9 (第14・16・38図)

調査区北東部に位置する土坑である。調査区北東部を南北方向に走るSD9および前述のSB4の東側に位置する。遺構の規模は南北に約1.4m、東西に約1.1mで深さは約40cmである。覆土は明灰色粘質土が主体である。

SK10 (第14・16・39図)

調査区中央部やや西側に位置する土坑である。遺構の規模は南北に約4.3m、東西に約2.3mで深さは約60cmである。覆土は灰橙色砂質土が主体である。

SK11 (第14・16・40図)

調査区中央部からやや東側に位置する土坑である。前述のSK10の南東方向に位置する。遺構の規模は南北に約3.5m、東西に約2.6mで深さは約40～120cmである。覆土は灰色粘質土が主体である。

SK12 (第15・16・41図)

調査区中央部からやや南東側に位置する土坑である。前述のSK10の南方向に位置する。遺構の規模は南北に約1.4m、東西に約1.5mで深さは約95cmである。覆土は灰色粘質土が主体である。

SK13 (第14・16・41図)

調査区中央部からやや南東側に位置する土坑である。前述のSK10の南方向に位置する。遺構の規模は南北に約1.4m、東西に約1.5mで深さは約95cmである。覆土は灰色粘質土が主体である。

SX1 (第14・16・42図)

調査区北東部端に位置する遺構である。前述のSK9の東方向に位置する。遺構の規模は南北に約4.3m、東西に約3.3mで深さは約6～20cmである。覆土は灰色粘質土が主体である。

SX2 (第15・16・46図)

調査区中央部からやや南西側に位置する不定形遺構である。前述のSK13の西側に位置する。遺構の規模は南北に約2.0m、東西に約2.0mである。

SD1 (第14・16図)

調査区北西部端に位置する遺構である。前述のSE2の西側に位置する。遺構の規模は最長部で約6.3m、幅は約0.5mを測る。方位は南北方向にほぼ水平である。

SD2 (第14・16図)

調査区北西部端に位置する遺構である。前述のSD1の東側に位置する。遺構の規模は最長部で約2.6m、幅は約0.7mを測る。方位は南北方向にほぼ水平である。

SD3 (第14・16・43・46図)

調査区北西部に位置する遺構である。前述のSD1の北側に位置する。遺構の規模は最長部で約32.2m、幅は約1.2mを測る。方位は東西方向にほぼ水平である。

SD4 (第14・16・46図)

調査区北西部に位置する遺構である。前述のSD3の東側と接する。遺構の規模は最長部で約26m、幅は約1.3mを測る。方位の南北を0°としたとき西に約10~40°振れる。

SD5 (第15・16・43・46図)

調査区中央部に位置する遺構である。前述のSD4の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約12.3m、幅は約1.0mを測る。方位は東西にほぼ水平である。

SD6 (第14・16・30・32・44図)

調査区北東部に位置する遺構である。前述のSI5~SI9の竪穴建物群付近に位置する。遺構の規模は最長部で約24.4m、幅は約1.2mを測る。方位の南北を0°としたとき西に約40°振れる。

SD7 (第14・16・30図)

調査区北東部に位置する遺構である。前述のSD6の北側と交わる。遺構の規模は最長部で約10.2m、幅は約0.6mを測る。方位の南北を0°としたとき東に約45°振れる。

SD8 (第14・16図)

調査区北東部に位置する遺構である。北側部分が前述のSD6の中央部と接する。遺構の規模は最長部で約11m、幅は約0.9mを測る。方位は南北方向にほぼ水平で、北側部分が方位の南北を0°としたとき東に約30°振れる。

SD9 (第14・16・44・45図)

調査区北東部に位置する遺構である。前述のSD6の東側に位置する。遺構の規模は最長部で約16m、幅は約1.3mを測る。方位は南北方向にほぼ水平である。織部や瀬戸といった陶磁器が出土した。

SD10 (第14・16・44図)

調査区北東部に位置する遺構である。前述のSD9の東側に位置する。遺構の規模は最長部で約14.5m、幅は約0.6mを測る。方位は南北方向にほぼ水平である。

SD11 (第14・16・44・45図)

調査区北東部に位置する遺構である。前述のSD10の東側に位置する。後述するSD13と切り合い関係があり、SD11の方がSD13に比べて新しい。遺構の規模は最長部で約14.3m、幅は約2.0mを測る。方位は南北方向にほぼ水平である。

SD12 (第14・16・44図)

調査区北東部に位置する遺構である。西側部分が前述のSD11の北側に接する。遺構の規模は最長部で約7.5m、幅は約0.7mを測る。方位は東西方向にほぼ水平である。

SD13 (第14・16図)

調査区北東部に位置する遺構である。前述のSD11の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約11.6m、幅は約0.5mを測る。方位の南北を0°としたとき東に約60°振れる。

SD14 (第14・16・33図)

調査区中央部からやや北東側に位置する遺構である。前述のSD5の北東側に位置する。遺構の規模は最長部で約7.5m、幅は約0.5mを測る。方位の南北を0°としたとき東に約80°振れる。

SD15 (第14・16・33図)

調査区中央部からやや北東側に位置する遺構である。前述のSD14の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約11.5m、幅は約0.3～1.0mを測る。方位の南北を0°としたとき東に約80°振れる。

SD16 (第14・16・33図)

調査区中央部からやや北東側に位置する遺構である。前述のSD15の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約6.2m、幅は約0.4mを測る。方位の南北を0°としたとき東に約80°振れる。

SD17 (第14・16・33図)

調査区中央部からやや北東側に位置する遺構である。前述のSD16の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約8.0m、幅は約0.3mを測る。方位の南北を0°としたとき東に約80°振れる。

SD18 (第14・16図)

調査区中央部からやや東側に位置する遺構である。前述のSD14～17の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約20.0m、幅は約0.3mを測る。方位は南北方向にほぼ水平である。

SD19 (第14・16図)

調査区中央部からやや北西側に位置する遺構である。前述のSK10の西側に位置する。遺構の規模は最長部で約9.0m、幅は約0.5mを測る。方位は東西方向にほぼ水平である。

SD20 (第14・16図)

調査区中央部からやや北西側に位置する遺構である。前述のSD19の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約3.0m、幅は約0.6mを測る。方位は東西方向にほぼ水平である。

SD21 (第14・16・45図)

調査区中央部西側に位置する遺構である。前述のSD20の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約20.5m、幅は約0.3mを測る。方位は東西方向にほぼ水平で、南側が西に90°折れている。

SD22 (第15・16・46図)

調査区中央部南西側に位置する遺構である。前述のSD21の南側に位置する。後述するSD23と切り合い関係があり、SD22の方がSD23に比べて古い。遺構の規模は最長部で約2.5m、幅は約0.6mを測る。方位は南北方向にほぼ水平である。

SD23 (第15・16・46図)

調査区中央部南西側に位置する遺構である。前述のSD21の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約3.7m、幅は約0.6mを測る。方位の南北を0°としたとき東に約30°振れる。

P1 (第14図)

調査区北西部に位置するビットで、前述のSI2の北東側に位置する。直径約20cmを測る。

P2 (第14図)

調査区北西部に位置するビットで、前述のP1の南側に位置する。直径約30cmを測る。

P3 (第14図)

調査区北西部に位置するビットで、前述のSI4の南側に付属する。直径約35～40cmを測る。

P4 (第14図)

調査区北東部に位置するビットで、後述するP5～10とともに前述のSD6付近に点在する。直径約30cmを測る。

P5 (第14図)

調査区北東部に位置するビットで、直径約50cmを測る。

P6 (第14図)

調査区北東部に位置するビットで、長軸約30cm、短軸20cmの楕円形を呈する。

P7 (第14・26図)

調査区北東部に位置するビットで、直径約30cmを測る。

P8 (第14図)

調査区北東部に位置するビットで、直径約50cmを測る。

P9 (第14・26図)

調査区北東部に位置するビットで、直径約40cmを測る。

P10 (第14図)

調査区北東部に位置するビットで、直径約30cmを測る。

P11 (第14図)

調査区北東部に位置するビットである。先述のSD8の西側に位置し、直径約50cmを測る。

P12 (第14図)

調査区中央部やや東側に位置するビットである。先述のSD14～17の南側に位置し、長軸50cm、短軸20cmの楕円形を呈する。

P13 (第15図)

調査区南部に位置するビットである。先述のSI1の北側に位置し、直径40cmを測る。

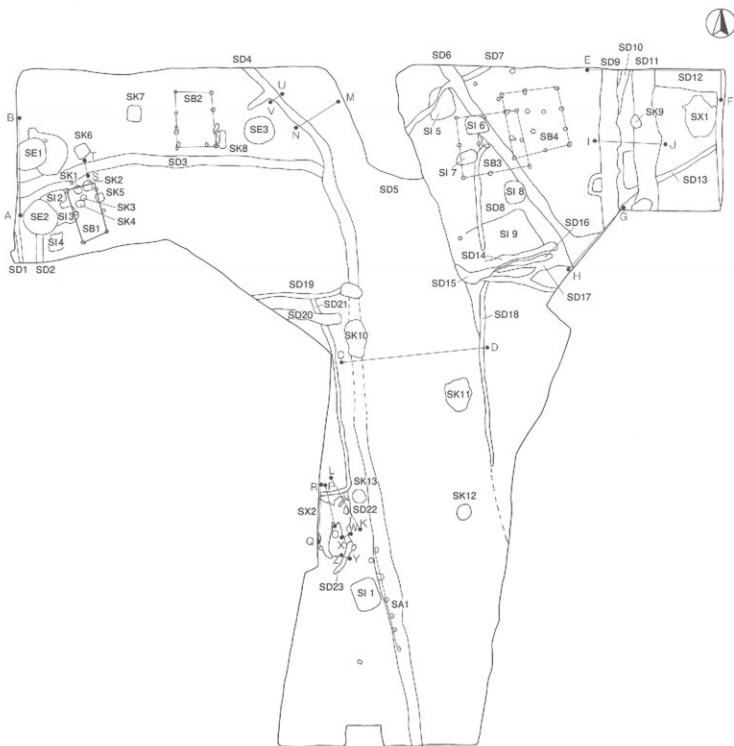
第3節 遺物

縄文時代、弥生時代、古代、中世の時期の遺物を確認した。縄文土器は、総合的に出土量が少ない。9～45は弥生土器である。調査区中央を南北に流れる鞍部（自然河道）SD5からの出土がほとんどである。弥生時代後期後半の所産と考えられる。46～58は古代の遺物である。46～50は土師器甕、52、53、56は土師器坑、その他は須恵器である。59～159は中世土器・陶磁器である。国産陶器では珠洲焼、越前焼、瀬戸焼、中国製磁器では青磁と、加賀地域の集落遺跡では普遍的に出土するものが見られるが、127の織部焼向付は市内遺跡で初出土である。160～175は石製品である。中世集落遺跡で多く見られるが緑石の出土が目立つ。また、SD5から図示はしていないが、漆碗を確認した。時期は不明である。（写真図版38）



第14図 遺構全体図1 (S=1/200)



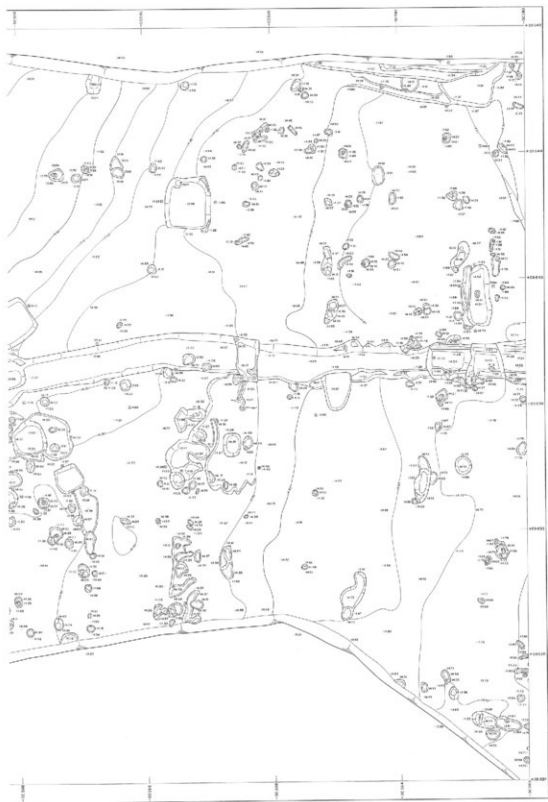


第16図 遺構全体概略図 (S=1/160)



第17図 航空測量図1 (S=1/120)

1	2	3
	4	5
	6	





第18图 航空测量图2 (S=1/120)

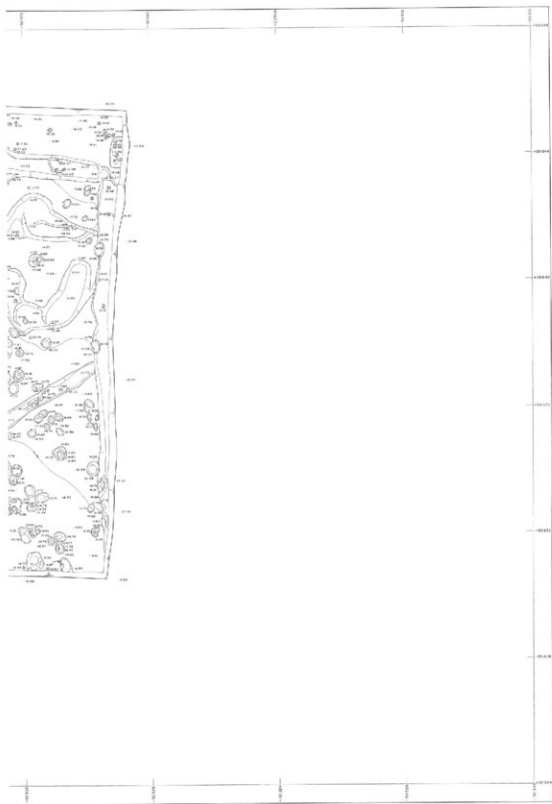
1	2	3
	4	5
	6	





第19図 航空測量図3 (S=1/120)

1	2	3
	4	5
	6	





第20図 航空測量図4 (S=1/120)

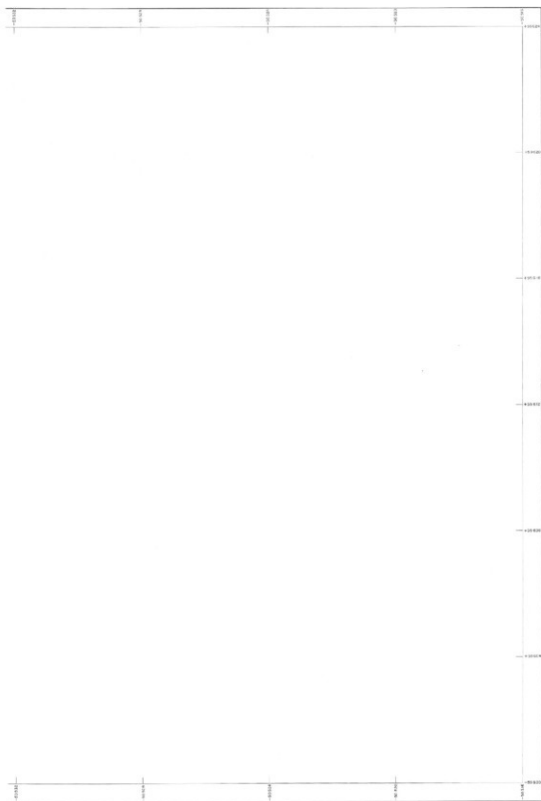
1	2	3
	4	5
	6	

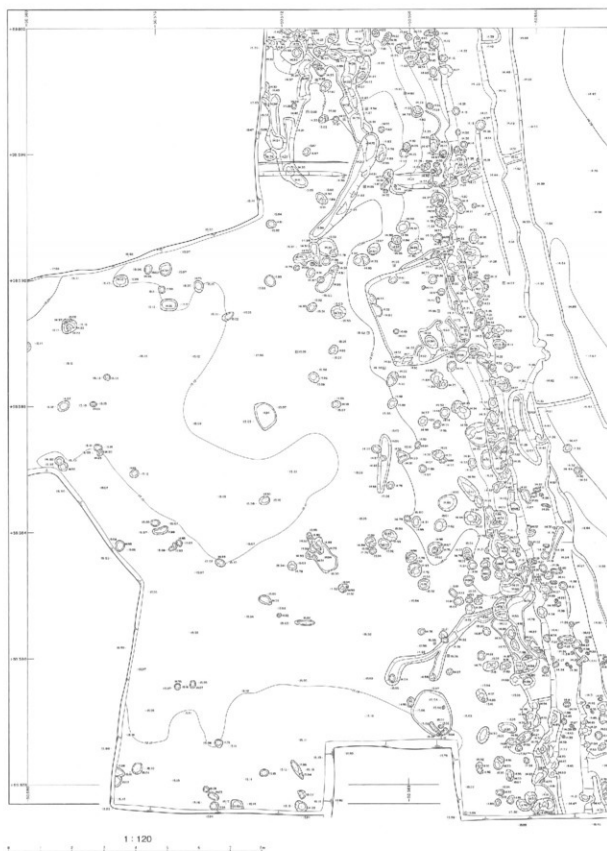




第21图 航空测量图5 (S=1/120)

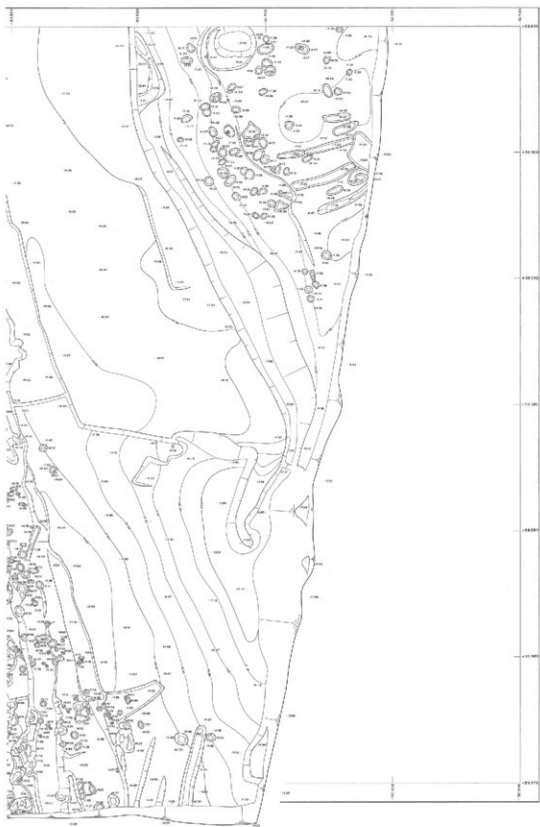
1	2	3
	4	5
	6	

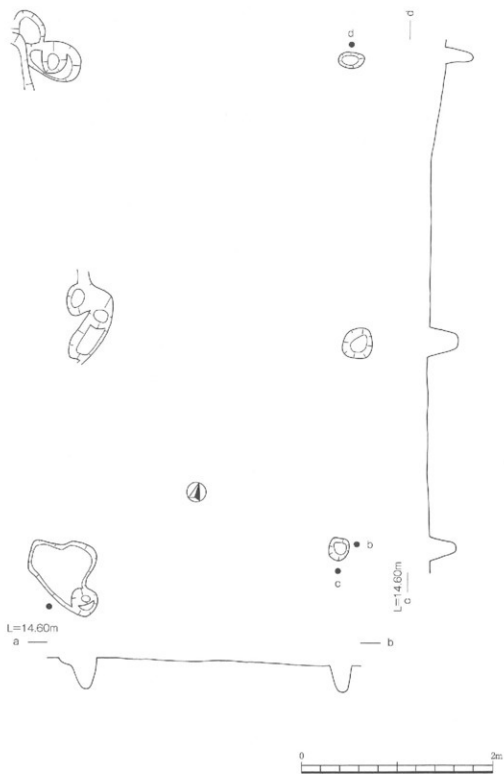




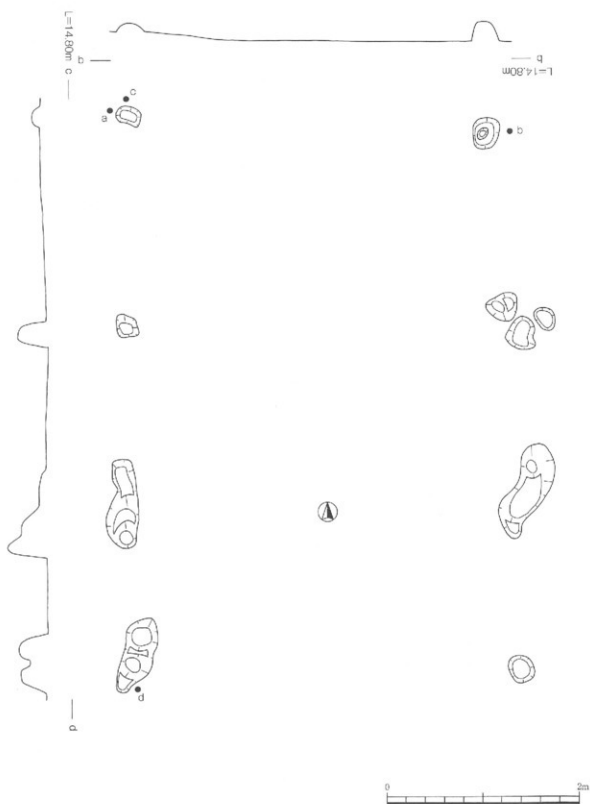
第22图 航空測量図6 (S=1/120)

1	2	3
	4	5
	6	

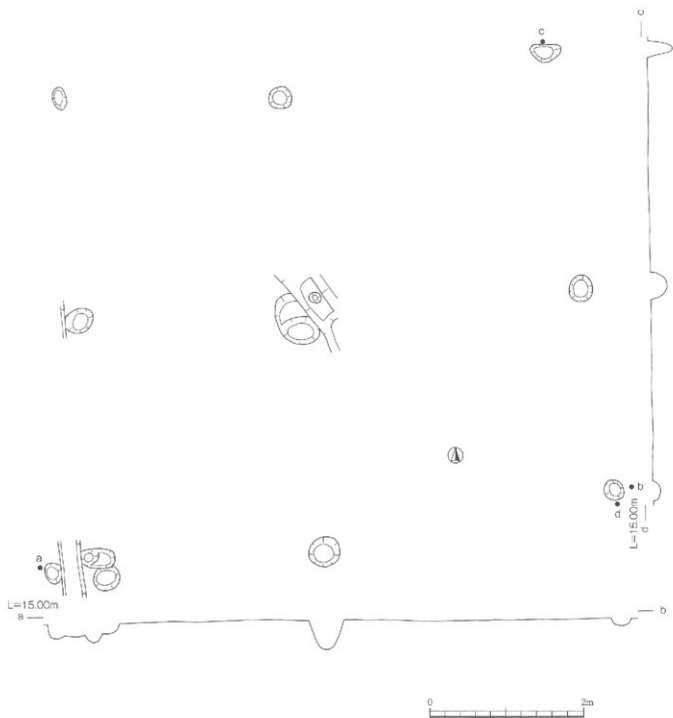




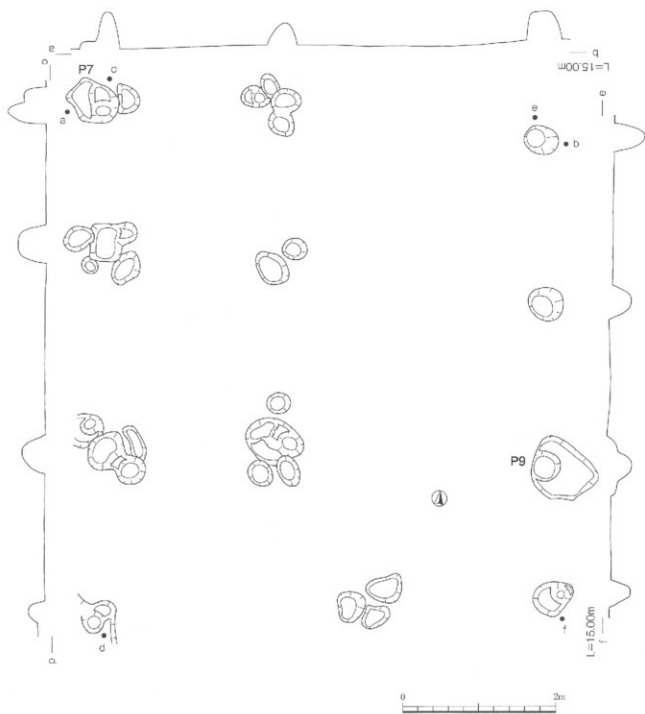
第23図 SB1 遺構図・断面図 (S=1/40)



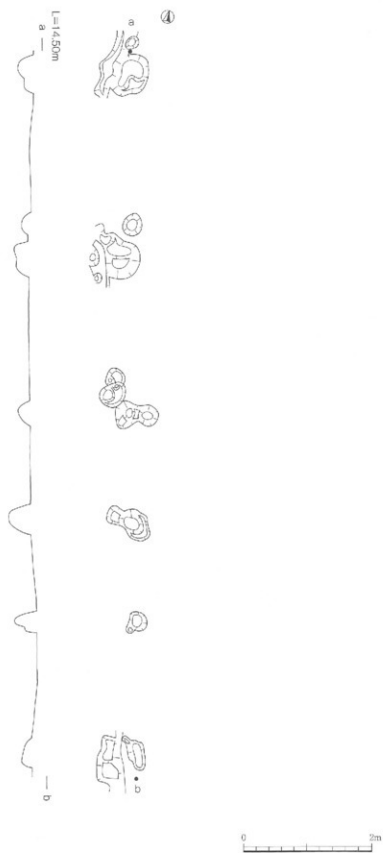
第24图 SB2 遺構図・断面図 (S=1/40)



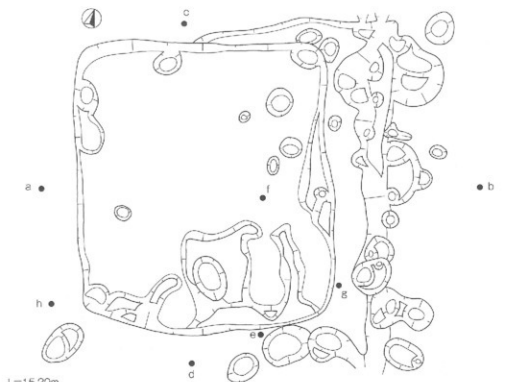
第25図 SB3 遺構図・断面図 (S=1/50)



第26図 SB4 遺構図・断面図 (S=1/50)

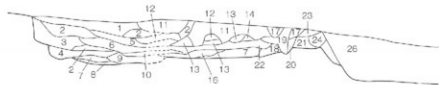


第27图 SA1 遺構図・断面図 (S=1/60)



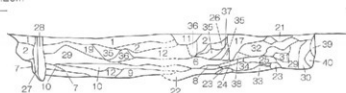
L=15.20m

a



L=15.20m

c



- | | | |
|-------------------------------|------------------------------|---------------------------------|
| 1. 深褐色粘質土 | 15. 薄灰褐色粘質土 | 29. 淡灰褐色粘質土(黄色ブロック、黑色ブロック(厚小洞)) |
| 2. 深褐色粘質土(黄色ブロック層) | 16. 薄灰褐色粘質土 | 30. 薄灰褐色粘質土 |
| 3. 灰褐色粘質土 | 17. 灰褐色粘質土 | 31. 薄褐色粘質土 |
| 4. 淡明灰色粘質土(黑色ブロック(大)、黄色ブロック層) | 18. 淡灰褐色粘質土 | 32. 薄灰褐色粘質土(黄色ブロック(小洞)) |
| 5. 淡灰色粘質土(黄色ブロック層) | 19. 薄褐色粘質土 | 33. 黄褐色粘質土 |
| 6. 淡明灰色粘質土(黄色ブロック層) | 20. 淡灰褐色粘質土(灰色ブロック層) | 34. 黄褐色粘質土(淡明灰色ブロック層) |
| 7. 淡灰色、薄灰色、黄色の泥土 | 21. 淡灰褐色粘質土(12より薄) | 35. 薄褐色粘質土(黄色ブロック(大)、黄色ブロック層) |
| 8. 淡明灰色粘質土 | 22. 淡灰褐色粘質土(黄色ブロック層) | 36. 薄褐色粘質土 |
| 9. 黄褐色粘質土(淡明灰色、黄色泥) | 23. 灰褐色粘質土(黄色ブロック層) | 37. 薄褐色粘質土 |
| 10. 淡明灰色粘質土 | 24. 薄褐色粘質土(全体に灰色散在) | 38. 薄褐色粘質土(淡灰色ブロック層) |
| 11. 薄褐色粘質土 | 25. 灰褐色粘質土 | 39. 淡灰褐色粘質土 |
| 12. 淡明灰色粘質土 | 26. 薄褐色粘質土 | 40. 薄褐色粘質土 |
| 13. 淡灰褐色粘質土(薄明灰色、黄色ブロック層) | 27. 薄褐色粘質土 | |
| 14. 薄褐色粘質土(淡明灰色ブロック層) | 28. 深褐色粘質土(黄褐色、黒色、黄褐色マーブル状層) | |

L=15.00m

e



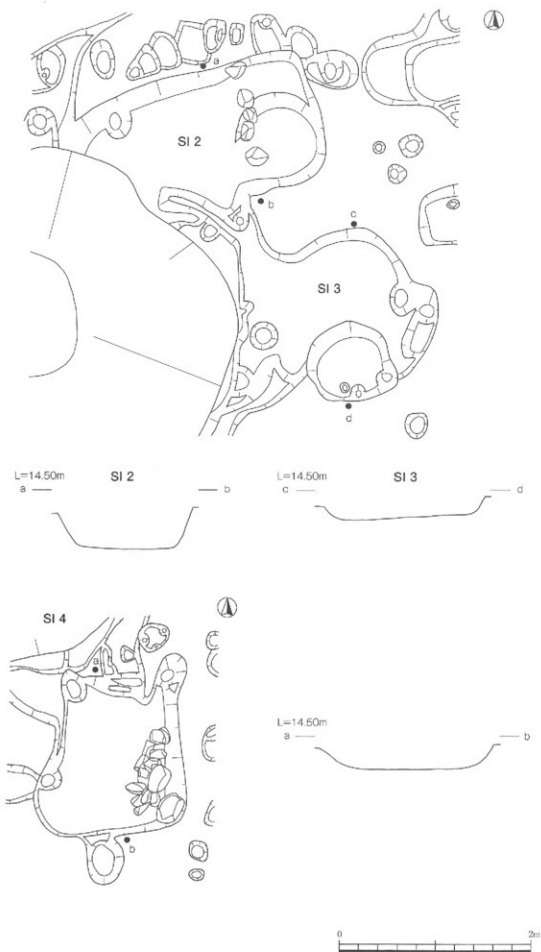
L=15.00m

g

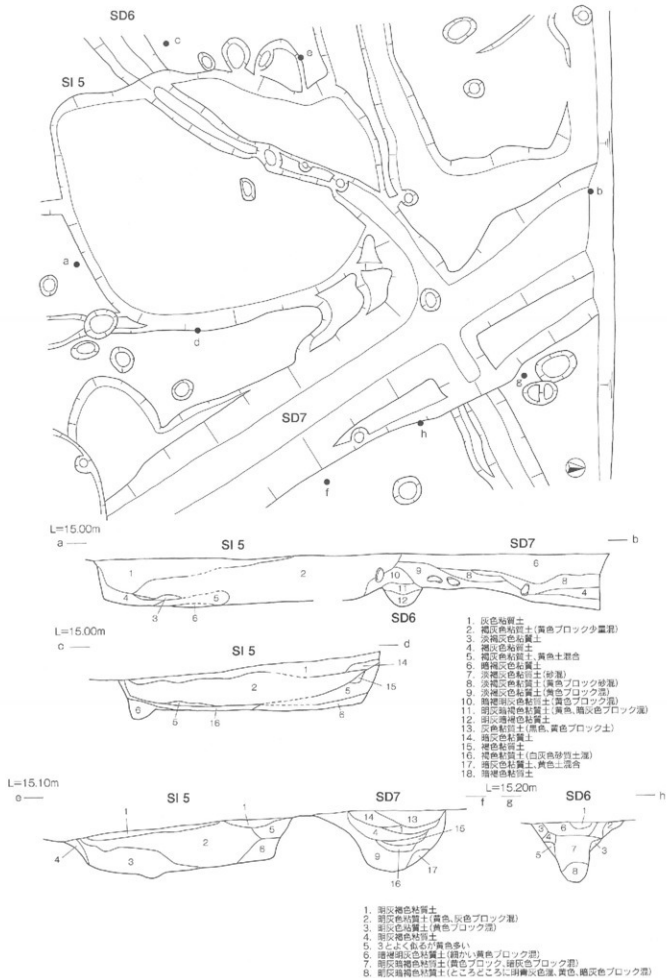


- | |
|-------------------------|
| 1. 深褐色土(劣れた本山頂の土) |
| 2. 黄褐色土(黄化粘、粘土が多く含む) |
| 3. 黄褐色土(粘土、粘土が多く含む)、粘土層 |
| 4. 深褐色土(劣れた本山頂の土) |
| 5. 黄褐色土 |
| 6. 黄褐色土(やや明るい) |
| 7. 深褐色土 |

第28図 SI 1遺構図・土層断面図 (S=1/40)

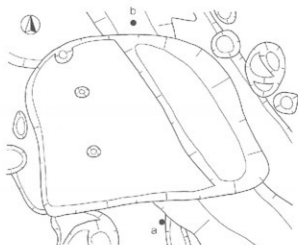


第29图 SI 2~4 遺構図・断面図 (S=1/40)

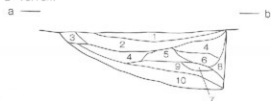


第30図 SI 5・SD6・7遺構図・土層断面図 (S=1/40)

SI 6

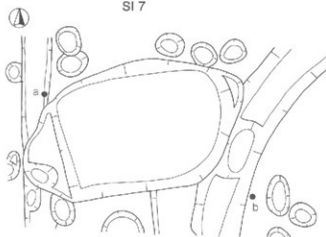


L=15.10m

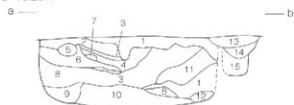


1. 褐色粘質土(砂少量)
2. 暗褐色粘質土(砂少量)
3. 褐色粘質土(黄色ブロック混)
4. 褐色粘質土
5. 灰色粘質土
6. 暗褐色粘質土
7. 白灰色粘質土(砂混)
8. 褐色粘質土
9. 灰色粘質土(砂混)
10. 褐色粘質土(黄色ブロック混)

SI 7



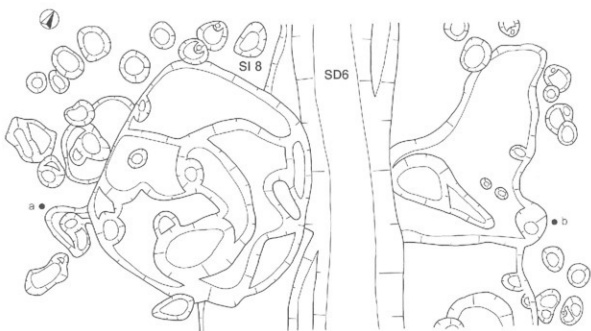
L=15.20m



1. 褐色粘質土(黄色ブロック(厚3mm以下)混)
2. 暗褐色粘質土(黄色ブロック(厚1cm)混)
3. 褐色粘質土(黄色ブロック(厚5mm)少量)
4. 褐色粘質土(黄色ブロック(厚1cm)混)
5. 暗褐色粘質土
6. 褐色粘質土(黄色ブロック(厚1cm)混)
7. 暗褐色粘質土(黄色ブロック(厚5mm)混)
8. 褐色粘質土(黄色土混)
9. 暗褐色粘質土、暗褐色粘質土(黄色土混)
10. 暗褐色粘質土(黄色土混)
11. 褐色粘質土(黄色ブロック少量)
12. 暗褐色粘質土(黄色土混)
13. 褐色粘質土
14. 灰色粘質土
15. 灰色粘質土



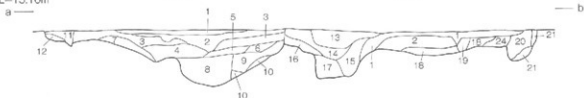
第31図 SI 6・7遺構図・土層断面図 (S=1/40)



L=15.10m

SI 8

SD6



1. 灰色粘質土
2. 褐色粘質土
3. 褐色粘質土(黄色ブロック少量)
4. 褐色粘質土
5. 褐色粘質土
6. 褐色粘質土(黄色ブロック混)
7. 地山土(暗灰色粘質土混)
8. 地山土(黄色ブロック混)

9. 黒褐色粘質土(黄色ブロック混)
10. 暗褐色土・黄色土混
11. 暗褐色粘質土
12. 暗褐色粘質土・黄色土混
13. 灰色粘土
14. 褐色粘土
15. 白灰無粘土
16. 褐色粘土

17. 褐色粘土(砂混)
18. 褐色粘質土
19. 褐色粘質土
20. 褐色粘質土(黄色土混)
21. 褐色粘質土(黄色土混)
22. 淡褐色粘質土



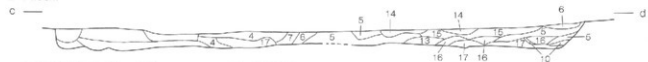
第32図 SI 8・SD6遺構図・土層断面図 (S=1/40)



L=14.90m



L=14.90m



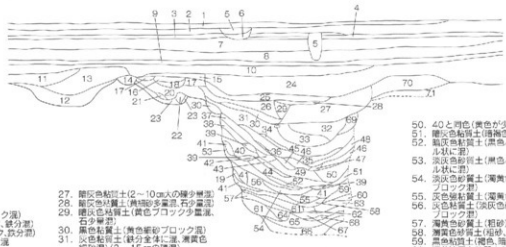
- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 珉褐色粘質土(黄色ブロック澁) | 10. 緑灰色粘質土 |
| 2. 褐色粘質土 | 11. 珉灰色粘質土 |
| 3. 褐色粘質土(黄色ブロック澁) | 12. 灰色粘質土 |
| 4. 褐色粘質土 | 13. 淡褐色粘質土(黄色ブロック澁) |
| 5. 褐色粘質土(黄色ブロック澁) | 14. 暗褐色粘質土(黄色ブロック澁) |
| 6. 珉褐色粘質土 | 15. 珉褐色粘質土 |
| 7. 珉褐色粘質土(黄色ブロック澁) | 16. 珉褐色粘質土・黄色土澁合 |
| 8. 珉褐色粘質土 | 17. 淡褐色粘質土(黄色ブロック澁) |
| 9. 珉褐色粘質土(黄色ブロック澁) | |



第33図 SI 9・SD14~17遺構図・土層断面図 (S=1/40)



L=15.40m



1. 雑土
2. 雑土
3. 床土
4. 床土
5. 2より灰色ブロック混
6. 5より灰色ブロック混
7. 間欠色粘質土
8. 灰色粘質土
9. 10より砂分多く含む
10. 間欠色粘質土(砂分混)
11. 間欠色粘質土(黄色ブロック混)
12. 灰色粘質土(黄色ブロック、砂分混)
13. 間欠色粘質土(黄色ブロック、砂分混)
14. 12に更に絶灰色ブロック混
15. 10より若干濃い
16. 灰色粘質土
17. 間欠色粘質土(黄緑砂混)
18. 灰色粘質土(間欠色、黄色ブロック混)
19. 灰色粘質土(黄色ブロック混)
20. 間欠色粘質土(灰色、黄色ブロック混)
21. 間欠色粘質土
22. 間欠色粘質土(黄色ブロック混)
23. 間欠色粘質土
24. 15に2~5cm大の石混
25. 灰色粘質土(黄色ブロック混、少量の石混(4~5))
26. 灰色粘質土(黄色ブロック混、2~3cmの石少量混、絶灰色ブロック混)

27. 間欠色粘質土(2~10cm大の砂少量混)
28. 間欠色粘質土(間欠砂少量混、石少量混)
29. 間欠色粘質土(黄色ブロック少量混、石少量混)
30. 間欠色粘質土(黄色粘砂ブロック混)
31. 灰色粘質土(砂分全体に混、黄褐色絶砂混)(2~15cmの塊混)
32. 灰色粘質土(間欠色粘質土、ブロック混)(2~10cmの石混)
33. 間欠色粘質土(間欠色、黄色ブロック混)
34. 間欠色粘質土(黄緑砂ブロック混)
35. 淡灰色粘質土(砂分混、黄色ブロック混、2~5cmの石混)
36. 淡灰色粘質土(砂分混)
37. 黄色粘質土(灰色、灰色ブロック混、黄緑粘砂)
38. 35と同色(黄緑砂ブロック混、5cm径の石1つ)
39. 間欠色粘質土(黄緑砂ブロック混)

40. 間欠色粘質土(間欠粘質、黄色(少し薄い)砂質土ブロック混)
41. 間欠色、淡黄色粘質土
42. 灰色粘質土(間欠色、間欠色粘質土ブロック混)
43. 間欠色粘質土(灰色粘質土、黄色粘質土ブロック混)
44. 間欠色粘質土(間欠色、淡黄色粘砂混)
45. 間欠色粘質土(間欠色粘質土ブロック混)
46. 灰色粘質土(間欠色粘質土混)
47. 間欠色粘質土(間欠色粘質土混)
48. 間欠色粘質土(間欠色粘質土混)
49. 間欠色粘質土(間欠色粘質土、間欠色粘質土ブロック混)

50. 40と同色(黄色が少し濃っている)
51. 間欠色粘質土(間欠色粘質土ブロック混)
52. 間欠色粘質土(間欠色と黄色がマール状に混)
53. 淡灰色粘質土(間欠色と黄色がマール状に混)
54. 淡灰色粘質土(間欠色粘砂混、黄色粘質土)
55. 間欠色粘質土(間欠色粘砂混)
56. 灰色粘質土(淡灰色粘質土、間欠色粘質土)
57. 間欠色粘質土(間欠色)
58. 間欠色粘質土(間欠色、黄色ブロック混)
59. 間欠色粘質土(間欠色、黄色マール状に混)
60. 間欠色粘質土(2~5cmの石混)
61. 間欠色粘質土(間欠色粘質土)
62. 間欠色粘質土(薄い黄色ブロック混)
63. 間欠色粘質土
64. 間欠色粘質土(間欠色2~10cmの石混)
65. 間欠色粘質土(間欠色粘質土、5~10cmの石混)
66. 間欠色粘質土(間欠色粘質土、黄色ブロック混)
67. 間欠色粘質土(間欠色粘質土)
68. 間欠色粘質土
69. 間欠色粘質土
70. 間欠色粘質土
71. 間欠色粘質土(砂分混)

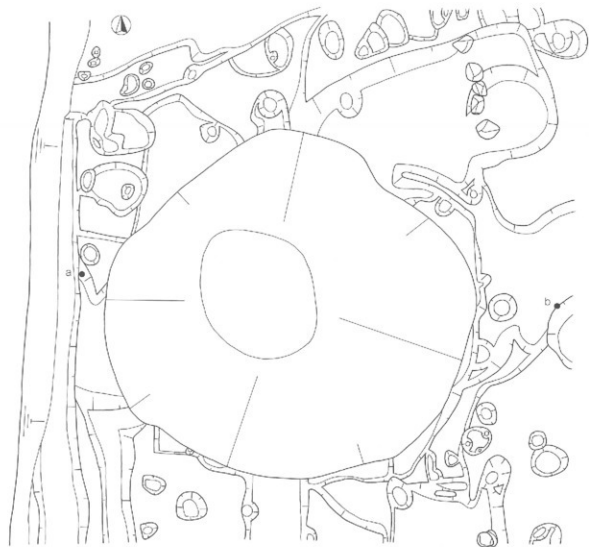
L=14.50m



1. 灰色粘質土
2. 間欠色粘質土(黄色ブロック混)
3. 間欠色粘質土、黄色粘質土混
4. 淡灰色粘質土
5. 淡間欠色粘質土、黄色粘質土混
6. 間欠色粘質土
7. 淡間欠色粘質土



第34図 SE1遺構図・土層断面図 (S=1/40)

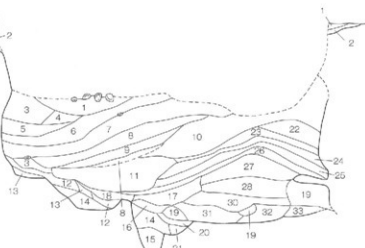


L=14.70m

b

a

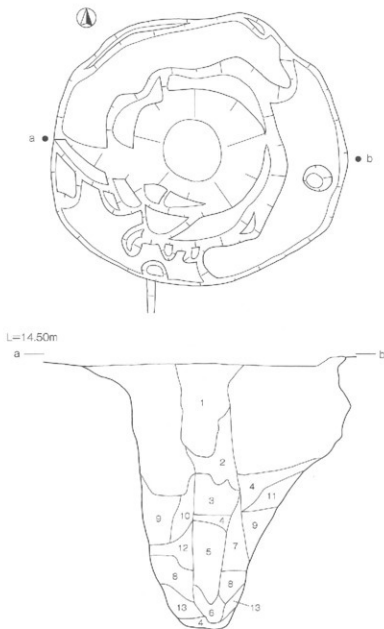
1. 灰色粘質土(黄色ブロック混)
2. 灰色粘質土(1より黄色ブロック多い, 大きい)
3. 黄色粘質土(灰色土微量混)
4. 褐色黄色粘質土
5. 灰色粘質土
6. 灰色粘質土(細かい黄色ブロック混)
7. 褐色黄色粘質土
8. 褐色黄色粘質土(黄色ブロック混)
9. 黄色粘質土(灰色ブロック混)
10. 灰色砂質土(小礫混)
11. 砂層(縁がびっしり詰まる)
12. 褐色黄色粘質土
13. 褐色黄色粘質土
14. 褐色, 黄色, 灰色ブロック粘質土
15. 褐色黄色砂質土
16. 褐色黄色粘質土
17. 灰色粘質土(黄色ブロック混, 3~10cm程度の礫混)
18. 黄色粘質土(褐色ブロック混)
19. 黄色粘質土(土山と西側)
20. 14と類似するが, 黄色ブロック少ない
21. 褐色黄色粘質土
22. 灰色砂質土
23. 褐色黄色粘質土
24. 灰色粘質土(黄色ブロック混)
25. 褐色黄色粘質土(黄色, 灰色(細かい)ブロック混)
26. 灰色粘質土(黄色, 灰色(細かい)ブロック混)



27. 褐色黄色粘質土(黄色ブロック, 褐色黄色砂混)(一部小礫混)
28. 灰色粘質土(褐色黄色砂混, 一部礫混)
29. 砂層
30. 褐色黄色粘質土(一部礫混, 黄色ブロック一部混)
31. 褐色黄色粘質土(微混)(小礫混)
32. 灰色砂質土
33. 褐色黄色粘質土(礫混)

0 2m

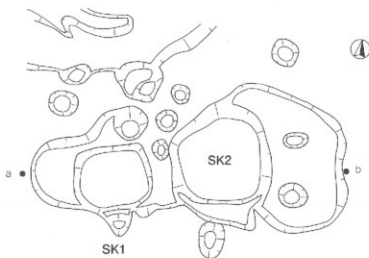
第35図 SE2遺構図・土層断面図(S=1/40)



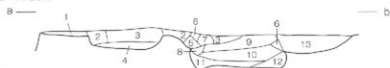
1. 灰色粘質土
2. 褐色粘質土(黒色、黄色ブロック型)
3. 灰色粘質土(黒色、黄色ブロック型)
4. 灰色粘質土
5. 褐色粘質土(こぶし大塊型)
6. 褐色粘質土
7. 褐色粘質土(灰色砂、黄色土粒多く含む)
8. 褐色粘質土(黄色ブロック型)
9. 灰色粘質土(陶褐色ブロック型)
10. 褐色粘質土(黄色ブロック多量型)
11. 灰色粘質土(陶褐色ブロックやや多量型)
12. 褐色粘質土(黄色土粒多く含む)
13. 褐色粘質土



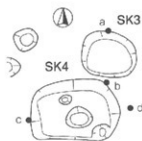
第36図 SE3遺構図・土層断面図 (S=1/40)



L=14.50m



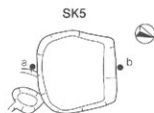
- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 暗灰色粘質土 | 8. 暗黄色粘質土 |
| 2. 暗灰褐色砂質土(黄色ブロック遺) | 9. 灰色粘質土(黄色、暗灰色ブロック遺) |
| 3. 灰褐色粘質土 | 10. 暗灰色、黄色ブロック粘質土 |
| 4. 暗灰褐色粘質土(暗黄色ブロック遺) | 11. 灰褐色土(黄色ブロック遺) |
| 5. 暗灰色砂質土 | 12. 暗灰色砂質土(暗灰色ブロック遺) |
| 6. 暗灰褐色粘質土 | 13. 暗灰色砂質土(暗灰色、黄色ブロック遺) |
| 7. 黄色粘質土 | |



L=14.50m



1. 淡明灰色粘質土
2. 暗灰色粘質土
3. 暗灰色粘質土(黄色ブロック遺)
4. 淡灰色粘砂質土



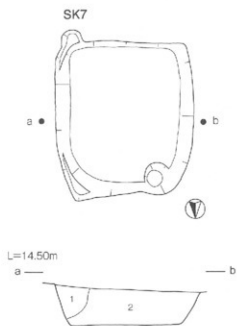
L=14.50m



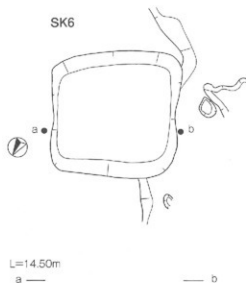
1. 明灰色粘質土と黄色粘質土の遺存
2. 黒色粘質土
3. 明褐色粘質土



第37図 SK1~5遺構図・土層断面図 (S=1/40)



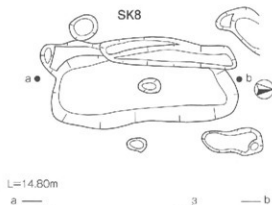
1. 灰色粘質土(暗灰色、黄色ブロック層)
 2. 灰色粘質土(暗灰色、黄色ブロック層)
- ※1に比べて暗灰色の量少ない



1. 淡灰色粘質土(暗灰色、黄色ブロック層)
2. 淡灰色粘質土(黄色ブロック層)
3. 淡灰色粘質土(暗灰色、黄色ブロック層)
(1より暗灰色ブロック少ない)
4. 淡灰色粘質土(少し砂質っぽい暗灰色ブロックごく少量層)
5. 灰色粘質土(黄色ブロック層)
6. 淡灰色粘質土



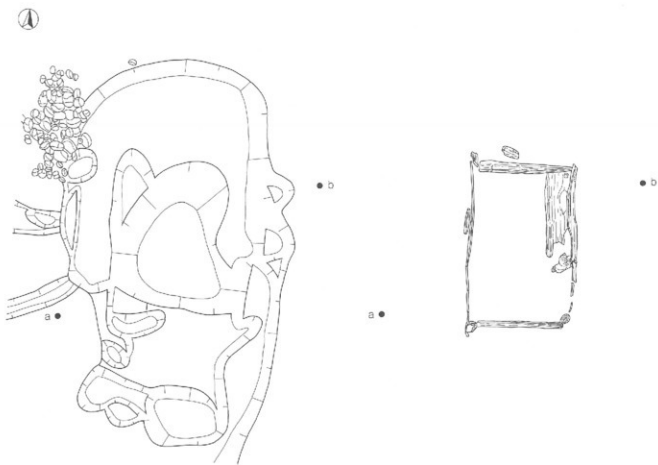
1. 暗灰色粘質土
2. 暗褐色粘質土
3. 暗褐色粘質土
4. 暗褐色粘質土
5. 暗褐色粘質土(地山質黄色土ブロック層)



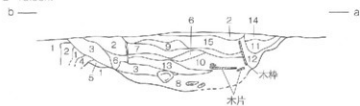
1. 暗褐色粘質土(黄色ブロック少量)
2. 暗褐色暗灰色粘質土(黄色土層)
3. 灰色粘質土
4. 暗褐色粘質土(黄色ブロック土層)
5. 暗褐色粘質土(黄色ブロック土層)
6. 暗褐色粘質土(暗褐色粘質土層)



第38図 SK6～9遺構図・土層断面図 (S=1/40)



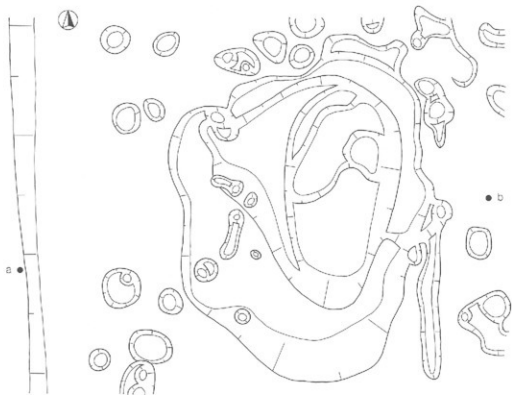
L=15.00m



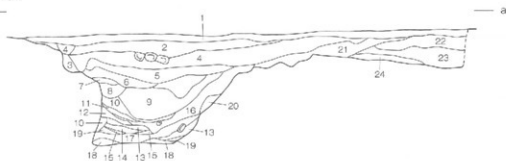
1. 紅灰色粘質土 (熟褐色泥)
2. 暗灰褐色砂質土
3. 明黃灰褐色砂質土
4. 青灰色粘質土
5. 暗黃灰色粘質土
6. 灰色砂質土
7. 明海灰色砂質土
8. 暗黃灰色砂質土 (粗砂)
9. 灰色粘質土 (灰褐色砂質土泥)
10. 明海灰色砂質土 (薄褐色砂質土泥)
11. 暗灰褐色粗砂質土
12. 灰色粘質土
13. 暗黃灰色粗砂質土
14. 明黃灰色粘質土
15. 明灰褐色粘質土



第39圖 SK10遺構圖·土層断面圖 (S=1/40)



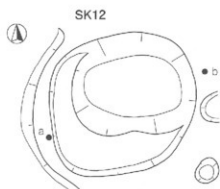
L=14.70m
b



- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 灰色粘質土(鉄分混) | 13. 黄灰色粘質土(黄色ブロック混) |
| 2. 灰色粘質土(黄色ブロック混) | 14. 黄褐色粘質土 |
| 3. 黄灰色粘質土 | 15. 黄褐色粘質土 |
| 4. 灰色粘質土 | 16. 黄褐色粘質土 |
| 5. 黄褐色粘質土(少し青っぽい) | 17. 黄褐色粘質土(黄色ブロック、黄色砂質土混) |
| 6. 黄褐色粘質土(鉄分混) | 18. 黄褐色粘質土 |
| 7. 黄褐色粘質土(黄色ブロック混) | 19. 黄褐色粘質土 |
| 8. 黄褐色粘質土 | 20. 黄褐色粘質土 |
| 9. 灰色粘質土(灰化物少量混) | 21. 黄褐色粘質土 |
| 10. 黄褐色粘質土(8より灰色濃い) | 22. 黄褐色粘質土 |
| 11. 黄褐色粘質土 | 23. 黄褐色粘質土(灰色粘質土、黄色ブロック混) |
| 12. 黄褐色粘質土(11より黄色濃い) | 24. 黄褐色粘質土 |

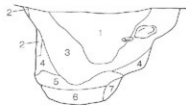
0 2m

第40図 SK11遺構図・土層断面図 (S=1/40)

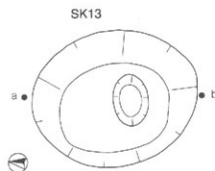


L=14.60m

b — a



1. 灰色粘質土
2. 黄褐色粘質土
3. 黄灰色粘質土
4. 灰色粘質土(黄色ブロック状)
5. 褐色粘質土(黄色ブロック状)
6. 黄灰色砂質土(黄灰色粘質土ブロック、黄褐色砂質土層)
7. 黄灰色粘質土

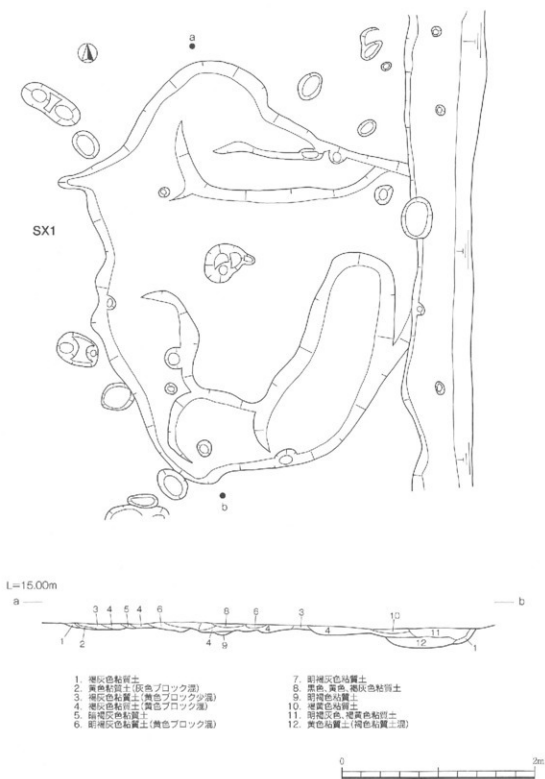


L=15.10m

a — b



第41図 SK12・13遺構図・土層断面図 (S=1/40)



第42図 SX1遺構図・土層断面図 (S=1/40)

SD3

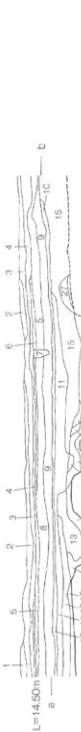


1. 雑土
2. 雑土
3. 雑土
4. 雑土
5. 雑土
6. 雑土
7. 雑土
8. 雑土

9. 区色粘質土
10. 区色粘質土(粘分強)
11. 区色粘質土(粘質土)
12. 区色粘質土(粘質土)
13. 区色粘質土(粘質土)
14. 区色粘質土(粘質土)
15. 区色粘質土(粘質土)
16. 区色粘質土(粘質土)

17. 区色粘質土
18. 区色粘質土(粘質土)
19. 区色粘質土(粘質土)
20. 区色粘質土(粘質土)
21. 区色粘質土(粘質土)
22. 区色粘質土(粘質土)
23. 粘質土

SE1

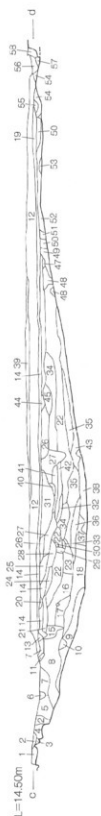


1. 雑土
2. 雑土
3. 雑土
4. 雑土
5. 雑土
6. 雑土
7. 雑土
8. 雑土

9. 区色粘質土
10. 区色粘質土(粘分強)
11. 区色粘質土(粘質土)
12. 区色粘質土(粘質土)
13. 区色粘質土(粘質土)
14. 区色粘質土(粘質土)
15. 区色粘質土(粘質土)
16. 区色粘質土(粘質土)

17. 区色粘質土
18. 区色粘質土(粘質土)
19. 区色粘質土(粘質土)
20. 区色粘質土(粘質土)
21. 区色粘質土(粘質土)
22. 区色粘質土(粘質土)
23. 粘質土

SD5



1. 雑土
2. 雑土
3. 雑土
4. 雑土
5. 雑土
6. 雑土
7. 雑土
8. 雑土
9. 雑土
10. 雑土
11. 雑土
12. 雑土
13. 雑土
14. 雑土
15. 雑土

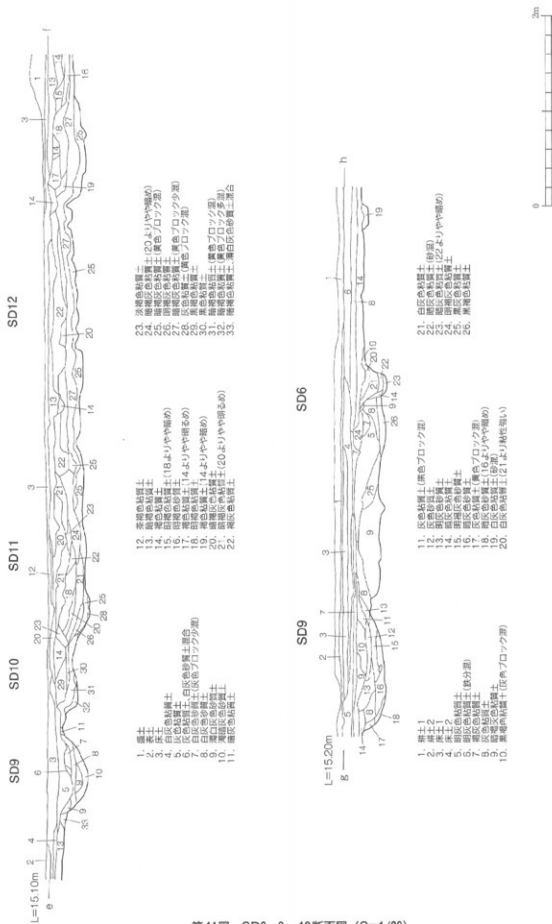
16. 区色粘質土
17. 区色粘質土(粘分強)
18. 区色粘質土(粘質土)
19. 区色粘質土(粘質土)
20. 区色粘質土(粘質土)
21. 区色粘質土(粘質土)
22. 区色粘質土(粘質土)
23. 区色粘質土(粘質土)
24. 区色粘質土(粘質土)
25. 区色粘質土(粘質土)
26. 区色粘質土(粘質土)
27. 区色粘質土(粘質土)
28. 区色粘質土(粘質土)
29. 区色粘質土(粘質土)
30. 区色粘質土(粘質土)

31. 区色粘質土(粘質土)
32. 区色粘質土(粘質土)
33. 区色粘質土(粘質土)
34. 区色粘質土(粘質土)
35. 区色粘質土(粘質土)
36. 区色粘質土(粘質土)
37. 区色粘質土(粘質土)
38. 区色粘質土(粘質土)
39. 区色粘質土(粘質土)
40. 区色粘質土(粘質土)
41. 区色粘質土(粘質土)
42. 区色粘質土(粘質土)
43. 区色粘質土(粘質土)
44. 区色粘質土(粘質土)
45. 区色粘質土(粘質土)

46. 区色粘質土
47. 区色粘質土(粘質土)
48. 区色粘質土(粘質土)
49. 区色粘質土(粘質土)
50. 区色粘質土(粘質土)
51. 区色粘質土(粘質土)
52. 区色粘質土(粘質土)
53. 区色粘質土(粘質土)
54. 区色粘質土(粘質土)
55. 区色粘質土(粘質土)
56. 区色粘質土(粘質土)
57. 区色粘質土(粘質土)



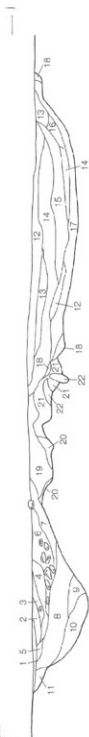
第43図 SD3・5・SE1断面図 (S=1/80)



第44図 SD6・9～12断面図 (S=1/80)

SD9

L=15.10m

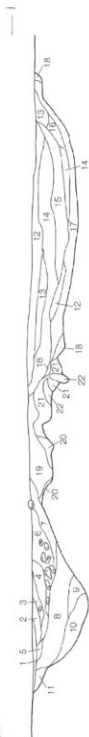


1. 赤褐色粘質土
2. 赤褐色粘質土
3. 赤褐色粘質土(砂層)
4. 白灰色粘質土
5. 赤褐色粘質土
6. 赤褐色粘質土
7. 赤褐色粘質土
8. 白灰色粘質土

9. 黄白色粘質土
10. 黄褐色粘質土
11. 黄褐色粘質土
12. 黄褐色粘質土
13. 黄褐色粘質土(砂層)
14. 黄褐色粘質土(やや粗砂)
15. 黄褐色粘質土
16. 黄褐色粘質土(黄褐色少量)

17. 黄褐色粘質土(黄褐色)
18. 黄褐色粘質土
19. 黄褐色粘質土(黄褐色少量)
20. 黄褐色粘質土
21. 黄褐色粘質土
22. 黄褐色粘質土(黄褐色)

SD11

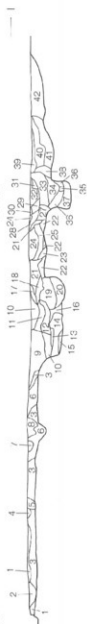


9. 黄白色粘質土
10. 黄褐色粘質土
11. 黄褐色粘質土
12. 黄褐色粘質土
13. 黄褐色粘質土(砂層)
14. 黄褐色粘質土(やや粗砂)
15. 黄褐色粘質土
16. 黄褐色粘質土(黄褐色少量)

17. 黄褐色粘質土(黄褐色)
18. 黄褐色粘質土
19. 黄褐色粘質土(黄褐色少量)
20. 黄褐色粘質土
21. 黄褐色粘質土
22. 黄褐色粘質土(黄褐色)

SD21

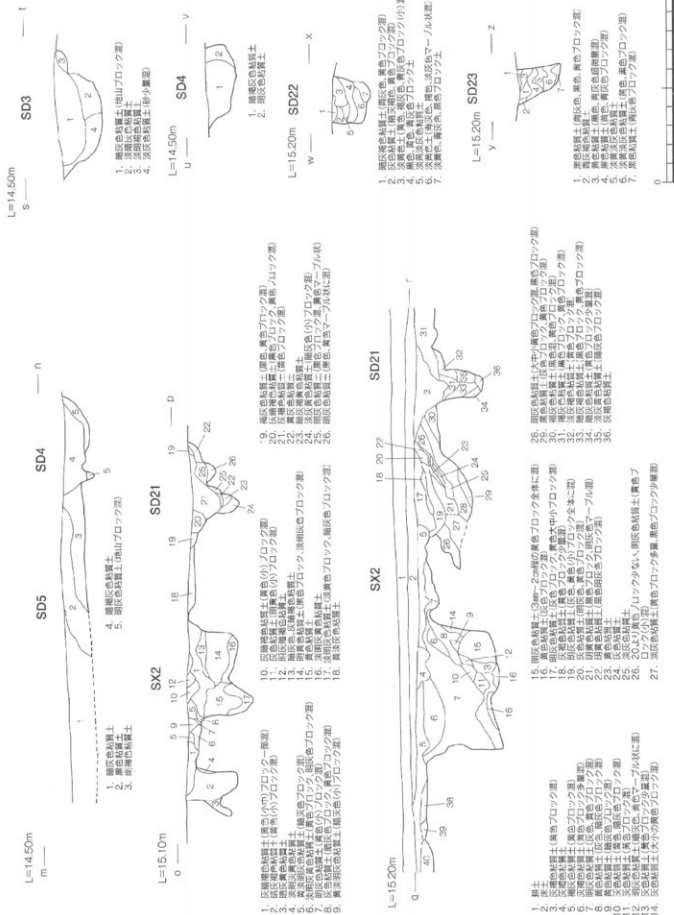
L=15.10m



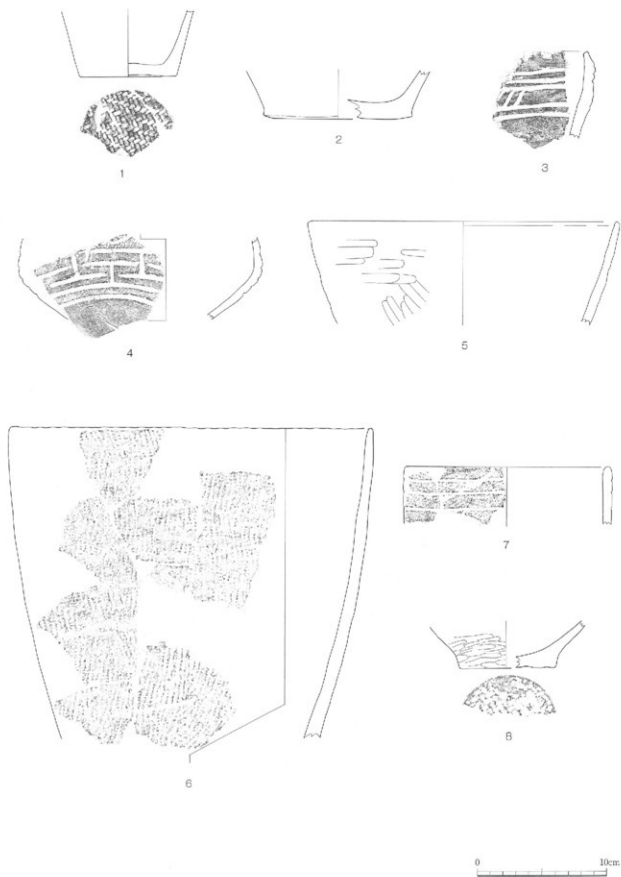
1. 黄褐色粘質土(黄褐色少量)
2. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
3. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
4. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
5. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
6. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
7. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
8. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
9. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
10. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
11. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
12. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
13. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
14. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
15. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
16. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
17. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
18. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
19. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
20. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
21. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)

22. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
23. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
24. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
25. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
26. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
27. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
28. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
29. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
30. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
31. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
32. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
33. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
34. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
35. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
36. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
37. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
38. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
39. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
40. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
41. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)
42. 赤褐色粘質土(黄褐色少量)

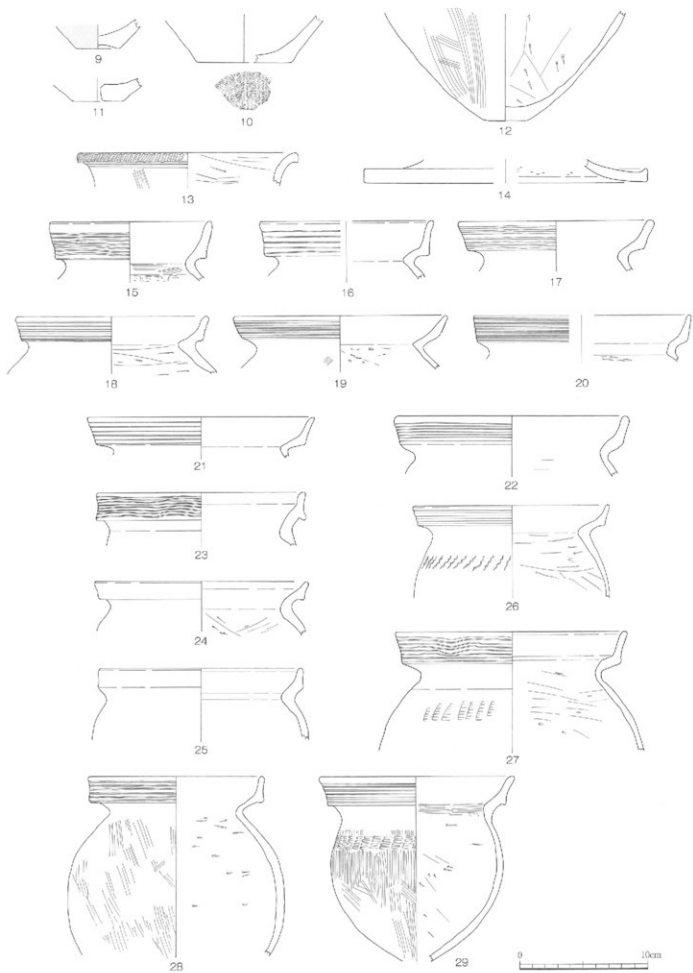
第45図 SD9・11・21断面図 (S=1/40)



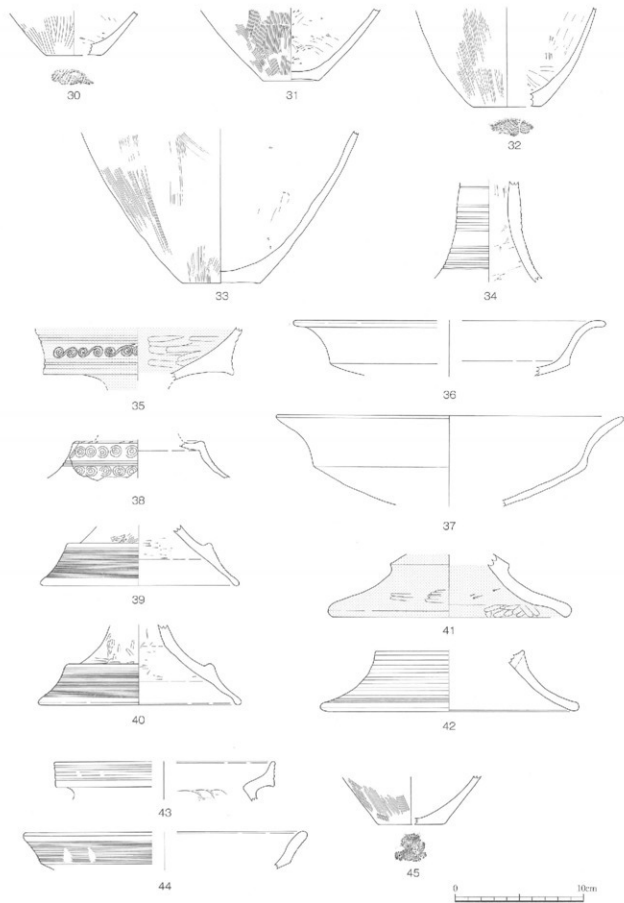
第46図 SD3～5・22・23・SX2土層断面図 (S=1/40)



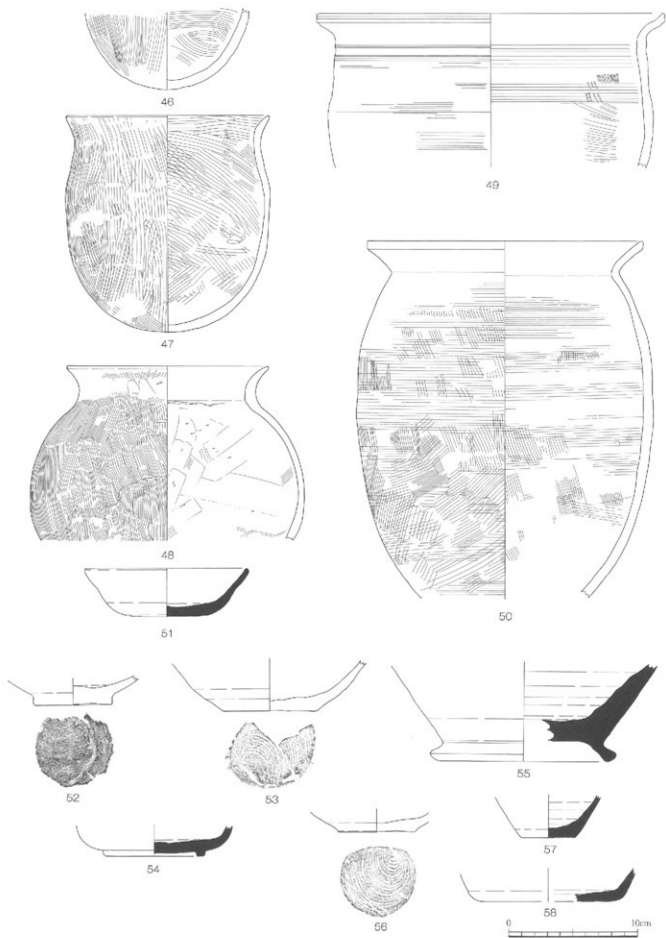
第47图 遗物实测图1 (S=1/3)



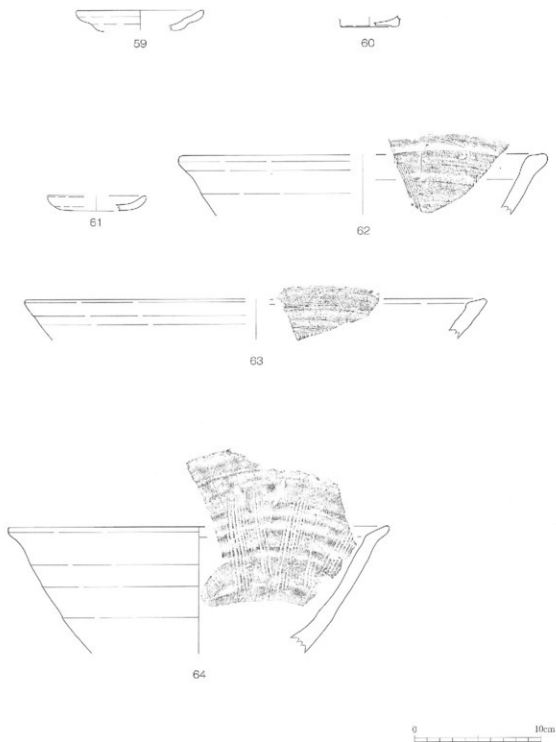
第48图 遗物实测图2 (S=1/3)



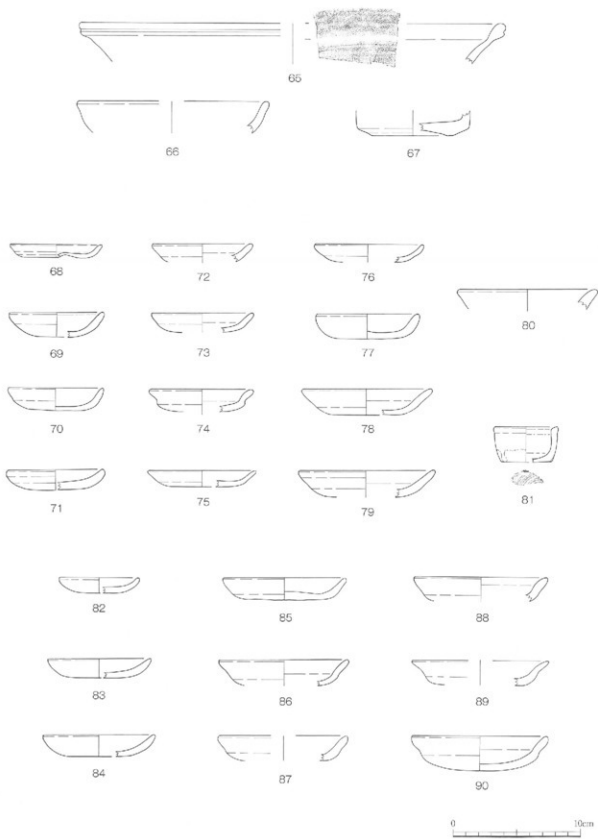
第49图 遗物实测图3 (S=1/3)



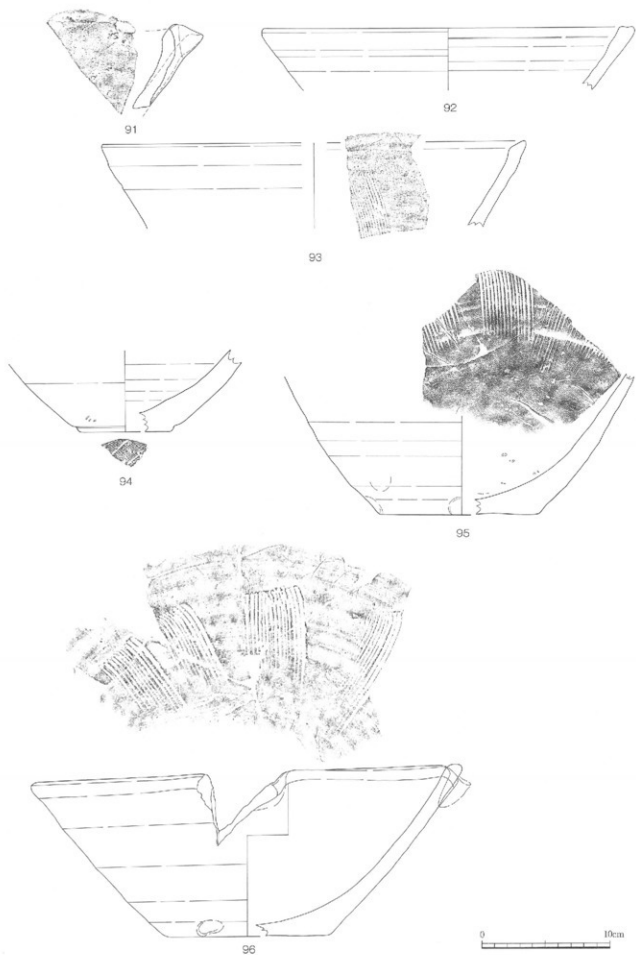
第50図 遺物実測図4 (S=1/3)



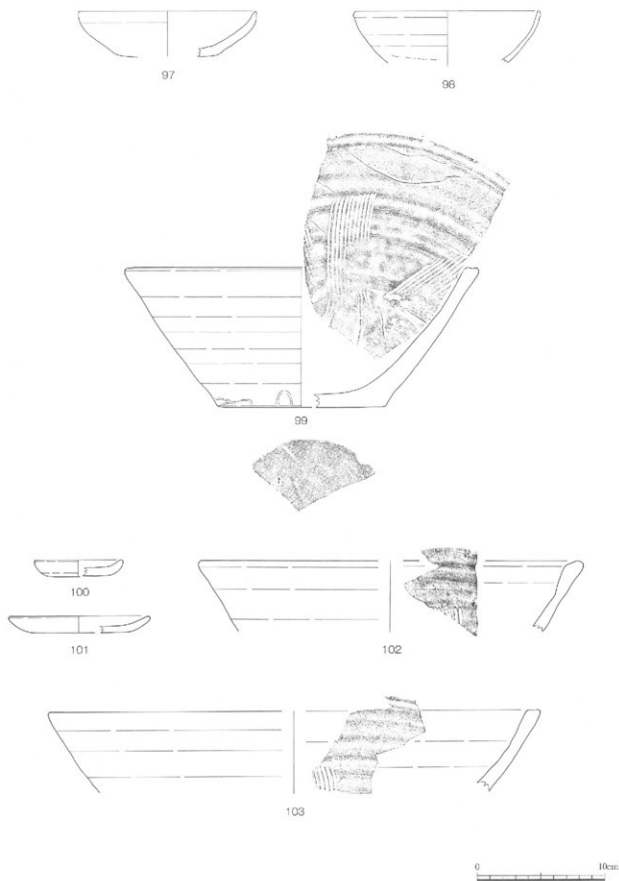
第51图 遺物実測図5 (S=1/3)



第52図 遺物実測図6 (S=1/3)



第53图 遗物实测图7 (S=1/3)



第54図 遺物実測図8 (S=1/3)



104



108



112



105



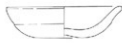
109



113



106



110



114



107



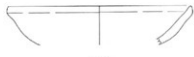
111



115



116



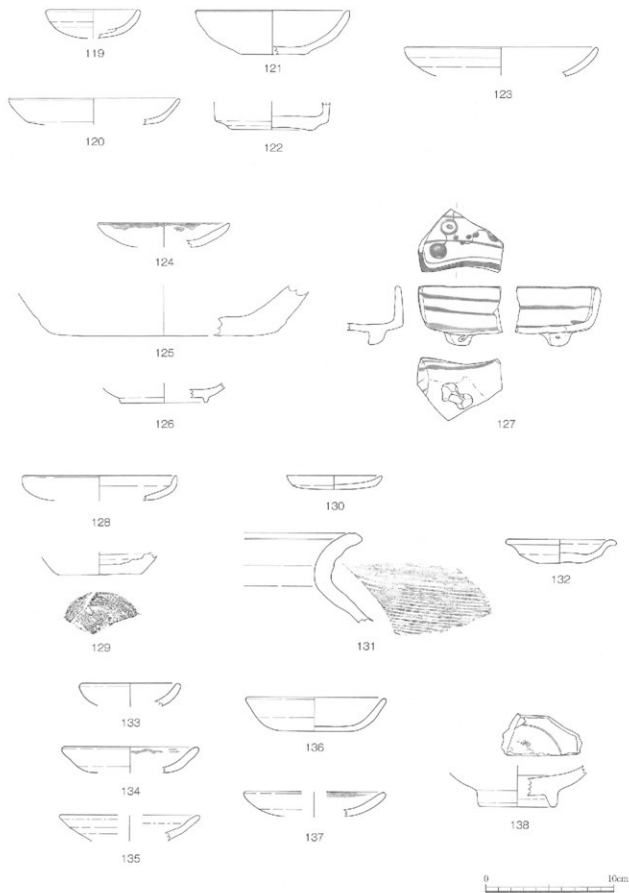
117



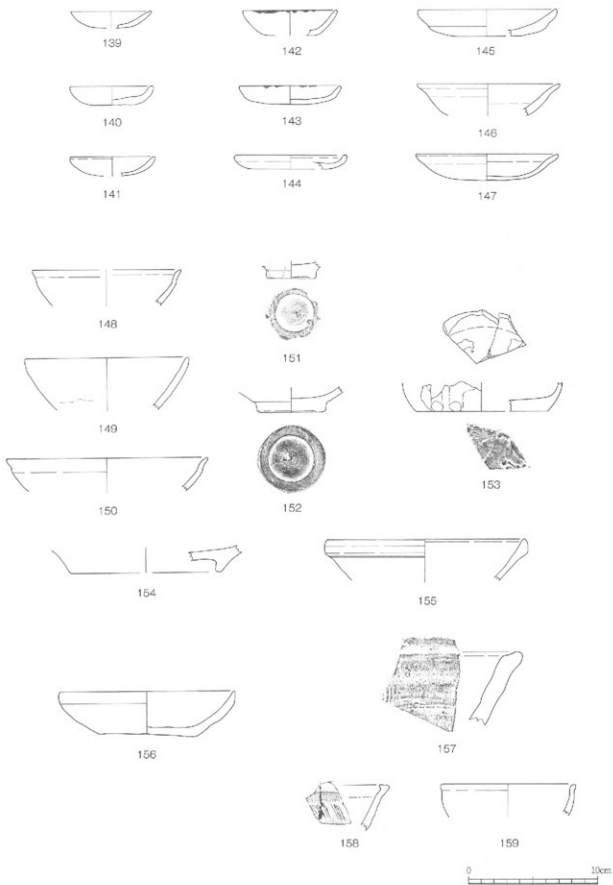
118



第55図 遺物実測図9 (S=1/3)



第56图 遗物实测图10 (S=1/3)

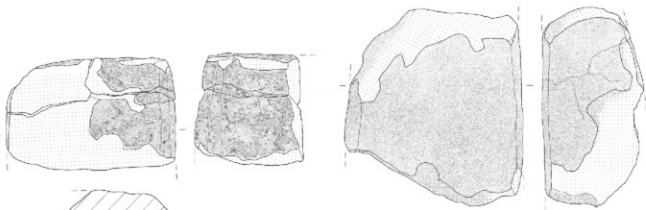


第57图 遗物实测图11 (S=1/3)



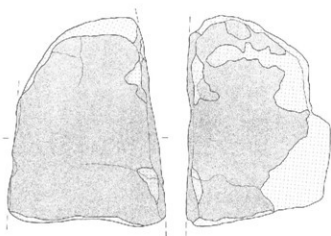
160

161



162

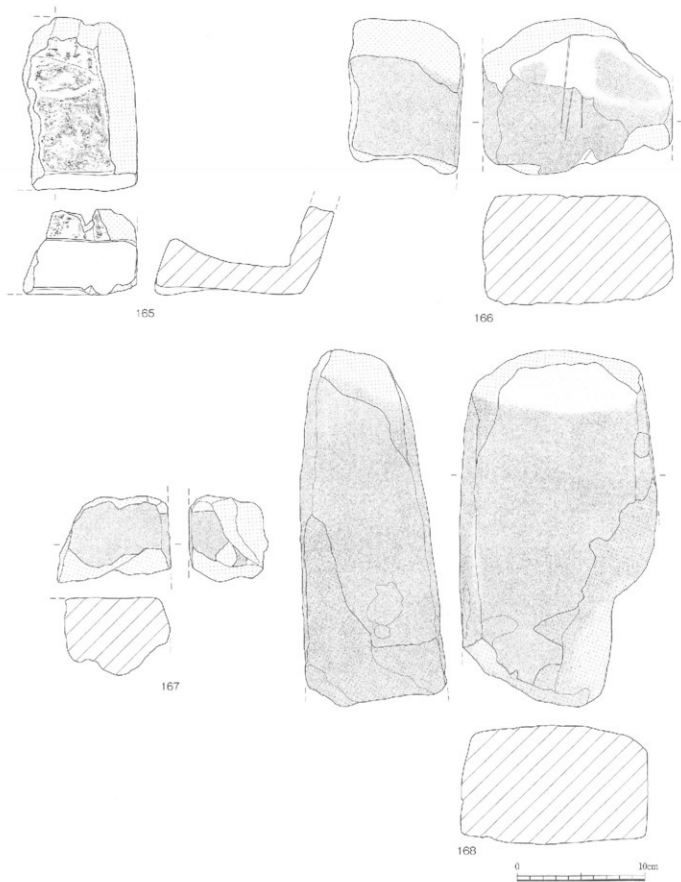
163



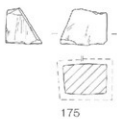
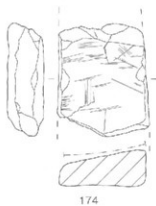
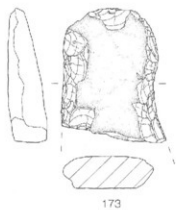
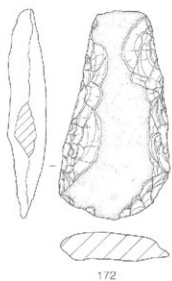
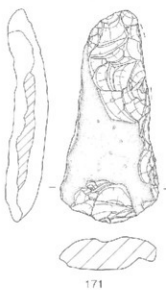
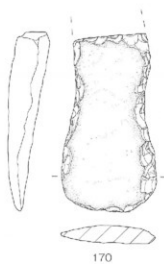
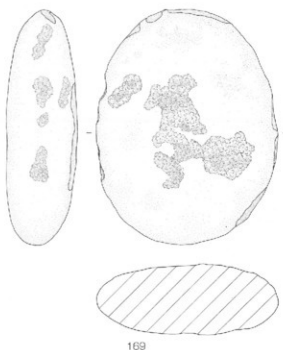
164



第58図 遺物実測図12 (S=1/3)



第59図 遺物実測図13 (S=1/3)



第60图 遺物実測図14 (S=1/3)

第3表 土器・陶磁器観察表

番号	遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測番号
			(cm)	(cm)	(cm)	調整(内)	色調(内)			
1		縄文 底部			7.6		橙	1/3		H286
2	SI6	縄文 底部			11.6		浅黄橙 浅黄橙	1/4		O409
3	SI1	縄文 浅鉢					橙、にぶい橙、灰褐 橙、にぶい橙、灰褐	小片×3	赤色酸化粒	N308
4	SD5	縄文 浅鉢			体部 19.3		にぶい黄橙、褐灰 にぶい黄橙、褐灰	1/2	赤色酸化粒	N237
5	SD5	縄文 深鉢	24.6			ヨコナデ、ミガキ ヨコナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/9	黒色・赤色酸化粒	T320
6	SD5	縄文 深鉢	(28.6)		体部 28.2		ナデ にぶい黄橙	1/6	外面煤付着	O392
7	SD5	縄文 深鉢	16.0				橙灰 黄	1/7	沈線、内・外面煤付着	O393
8	包含層	縄文 底部			7.5	ミガキ ナデ	灰白 にぶい黄橙	1/3		O413
9	SI1	弥生 壺底部			3.2	ナデ ナデ	にぶい黄橙 褐灰	底部完形	内面、棒状工具による ナデ痕、外面赤影	T289
10	SK4	弥生 底部			7.4	ナデ ナデ	にぶい黄橙 灰黄橙	1/4	一部煤付着	O385
11	SD13	弥生 穿孔土器			4.2		暗灰黄 にぶい黄橙	1/2	底部に穿孔	H212
12	SI6	弥生 壺			3.2	ハケ、ナデ ケズリ	橙、褐 橙、褐	2/3	赤色酸化粒、煤付着	T439
13	SD5	弥生 壺	17.4			ハケ ヨコナデ、ケズリ	浅黄橙 にぶい橙	5/36	連続刺突文、凹線、 海綿骨片	T323
14	SE1	弥生 脚部			(22.3)	ミガキ ナデ、ケズリ、ハケ	浅黄橙 浅黄橙	1/8	内面煤付着	O370
15	SD5	弥生 壺	12.8		頸部 10.1	ヨコナデ ヨコナデ、ハケ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/7	擬凹線7条	O335
16	SD5	弥生 壺	(13.8)		頸部 (10.8)	ヨコナデ ヨコナデ、ナデ	灰白 灰白	口縁1/18 頸部1/5	擬凹線5条	N233
17	SD5	弥生 壺	(15.5)		頸部 (11.4)	ナデ ヨコナデ	にぶい橙、明灰白 にぶい橙	7/12	擬凹線6条 赤色酸化粒	N302
18	SD5	弥生 壺形土器	15.0			ヨコナデ ヨコナデ、ケズリ	にぶい橙、浅黄橙 にぶい橙、浅黄橙	1/3	擬凹線6条、赤色酸化粒、 黒色粒、石英	T318
19	SD5	弥生 壺	17.0		頸部 13.2	ナデ、ハケ ナデ、ケズリ	橙 橙	1/2	外面煤付着	H240
20	SD5	弥生 壺	(17.0)			ヨコナデ ヨコナデ、ケズリ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	(小片)	擬凹線11条、赤色粒	O333
21	SD5	弥生 壺	17.8			ヨコナデ ヨコナデ、ケズリ	にぶい橙、黒褐 にぶい橙、黒褐	1/12	擬凹線6条、赤色酸化粒、 煤付着	N234
22	SD5	弥生 壺	18.5		頸部 15.2	ヨコナデ ヨコナデ	にぶい黄橙、褐灰 にぶい黄橙	3/4	擬凹線7条	N306
23	SD5	弥生 壺	16.5		頸部 14.4	ヨコナデ ヨコナデ、ケズリ	にぶい黄橙、褐灰 黒褐、褐灰	1/7	擬凹線8条、石英	N229
24	SD5	弥生 壺	16.8			ヨコナデ ヨコナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/9	黒色・赤色酸化粒	T316
25	SD5	弥生 壺	16.0		頸部 14.8 体部 17.0	ヨコナデ、ナデ ヨコナデ、ナデ	黒色、浅黄橙 にぶい黄橙、浅黄橙	1/9	黒斑	N236
26	SD5	弥生 壺	15.6			ヨコナデ ヨコナデ、ケズリ	にぶい黄橙 にぶい黄橙		擬凹線3条、貝殻による刺 突文、赤色酸化粒、黒色粒	T313
27	SD5	弥生 壺	18.2		頸部 14.1 体部 20.8	ヨコナデ ヨコナデ、ケズリ	にぶい橙、黒褐 にぶい黄橙～橙	口縁1/4 体部1/9	擬凹線7条、連続刺突文、 黒斑、赤色粒	N203
28	SD5	弥生 壺	13.9		頸部 10.4	ナデ、ハケ ナデ	にぶい赤褐～橙 にぶい赤褐～橙	口縁完形 体部1/3	擬凹線6条、赤影、 粉土痕か	N291
29	SD5	弥生 壺	(15.4)		頸部 (11.8) 体部 (13.6)	ナデ、ハケ ナデ、ハケ	にぶい黄橙、灰黄褐、黒 灰黄褐、にぶい黄橙	口縁完形 体部1/3	擬凹線6条、連続刺突文、 一部煤付着	N292

番号	濃梯	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実部番号
			(cm)	(cm)	(cm)	調整(内)	色調(内)			
30	SD5	弥生 釜				ハケ ケズリ		1/4		H248
31	SD5	弥生 釜			4.4	ハケ ケズリ	暗灰黄 暗灰黄	2/3	煤付着	H239
32	SD5	弥生 釜			5.4	ハケ ケズリ	にぶい橙、褐灰 にぶい黄橙～黄橙	2/9		N230
33	SD5	弥生 釜			6.0	ハケ、ナデ ケズリ、ナデ	にぶい黄橙、黒濁 にぶい黄橙	底部2/3 体部1/3	煤付着	N299
34	SD5	弥生 高杯	頸部径 5.0			ケズリ	橙 明黄橙	1/3	縦凹線、赤彩	O331
35	SD5	弥生 器台			15.0	ミガキ	浅黄橙		縦凹線、赤彩連続文	T315
36	SD5	弥生 高杯	24.5			ナデ ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	(小片)		O330
37	SD5	弥生 高杯	27.4				橙 橙	7/18	黒色粒、石英	T314
38	SD5	弥生 脚部					にぶい黄橙 浅黄橙	1/3	赤彩痕	H267
39	SD5	弥生 赤彩			15.7	ミガキ ケズリ	赤 浅黄橙	1/4	縦凹線15条、赤彩	O441
40	SD5	弥生 高杯			16.0	ミガキ ケズリ、ナデ	橙 にぶい黄橙	1/4	縦凹線15条、赤彩	O332
41	SD5	弥生 高杯			19.2	ヨコナデ、ミガキ ヨコナデ、ミガキ	にぶい黄橙 にぶい黄橙、灰黄濁	1/9	赤色酸化粒、黒色粒、 石英	T317
42	SD5	弥生 脚部			20.4	かき目 ナデ	灰白、明黄濁 灰白、明黄濁	1/6		N305
43	包含層	弥生 釜	(17.4)	頸部 (14.3)			にぶい橙 ナデ、ケズリ	1/16	縦凹線4条	O325
44	包含層	弥生 釜	(22.3)				にぶい黄橙 ナデ	1/15	縦凹線10条	O326
45	包含層	弥生 底部			5.3	ハケ	にぶい黄橙、橙 浅黄橙	1/5		O327
46	SI1	釜				ハケ ハケ	褐灰 浅黄橙	底部完形	黒色粒	T287
47	SI1	土師器 釜	16.2	17.3	頸部 14.7	ハケ、ナデ	にぶい褐 橙	2/3	煤付着	H284
48	SI1	土師器 釜	16.0	頸部 14.0	体部 21.2	ハケ、ナデ、ケズリ	にぶい黄橙 暗灰黄	1/4	海綿骨片、赤色粒、 粘土結痕	H285
49	SI1	土師器	27.6			ロクロナデ、ハケ ロクロナデ	灰黄濁 にぶい黄橙	1/18	金粒、赤色酸化粒、 黒色粒	T440
50	SI1	土師器 釜	21.8	頸部 18.0	体部 23.6	ナデ、ハケ、かき目 ナデ、ハケ、かき目	にぶい橙 にぶい橙	口縁部1/2 体部全周	煤付着	H283
51	SI1	須恵器 杯	13.0	3.8	5.0	ロクロナデ ロクロナデ	灰白 灰白	1/9	底部…ヘラ状工具による ナデ痕、ヘラおこし	T288
52	SK13	土師器 碗			6.2	ロクロナデ ロクロナデ	にぶい橙 にぶい黄橙	3/4	赤色粒、回転糸切り痕、 柱状高台	N277
53	SK13	土師器 碗			7.2	ナデ ナデ	にぶい橙、灰白 にぶい橙、灰白	1/2	回転糸切り痕	N274
54	SK13	須恵器 有台杯			8.1	ロクロナデ ロクロナデ	灰 灰	1/4		N275
55	P13	須恵器 壺			(14.6)	ロクロナデ ロクロナデ	灰、オリーブ黒 灰、オリーブ黒	1/6	自然輪付着	N280
56	SD5	土師器 碗	6.1			ロクロナデ ロクロナデ	灰黄、にぶい黄橙 灰黄、にぶい黄橙	1/3	回転糸切り痕	N293
57	SD5	須恵器 底部			4.2	ロクロナデ ロクロナデ	灰白 灰白	4/9		N235
58	SD5	須恵器			(12.0)		灰白、灰黄、黄灰 灰白、灰黄、黄灰	1/6		N304
59	P9	土師器 壺	9.8			ヨコナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/12	黒色粒、石英	T222

番号	遺構	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整 (外)		残存率	備考	実測 番号
						調整 (内)	色調 (外) 色調 (内)			
60	SI6	天目茶碗			4.6		灰青褐 黒	1/4	鉄軸	H213
61	SI2	土師器 皿	(7.7)	(1.2)	(5.0)		浅黄橙 浅黄橙	1/13	赤色粒	O412
62	SI2	珠洲 漆鉢	(29.0)				灰青 灰黄	1/10		O411
63	SI2	珠洲 漆鉢	(38.6)				灰	(小片)		O363
64	SI5	珠洲 漆鉢	(30.0)				灰 灰	1/7	海綿骨片	O406
65	SE3	陶器 鉢	32.6				灰赤 灰赤	(小片)		O376
66	SE3	青磁 碗	14.8				灰	(小片)		O375
67	SE3	青磁 香伊			6.5		明オリープ灰 明オリープ灰	1/5	黒色粒	O374
68	SE1	土師器 皿	7.4	1.0	6.0	ヨコナデ ヨコナデ	にぶい橙、浅黄橙 にぶい橙、浅黄橙	1/3		N279
69	SE1	土師器 皿	7.5	2.0	1.0		浅黄橙 浅黄橙	1/2	赤色粒	O394
70	SE1	土師器 皿	7.5	1.8	4.0		橙 橙	1/3		O353
71	SE1	土師器 皿	(7.7)	1.6	(4.5)	ナデ ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/5		O396
72	SE1	土師器 皿	7.8				浅黄橙 浅黄橙	1/6		O402
73	SE1	土師器 皿	(8.0)				橙 橙	1/7		O398
74	SE1	土師器 皿	8.2			ナデ ナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/8	赤色粒	O401
75	SE1	土師器 皿	(8.5)	0.8	4.7		浅黄橙 浅黄橙	1/6	黒色粒	O408
76	SE1	土師器 皿	8.6	(1.4)	5.0		浅黄橙 浅黄橙	1/8		O352
77	SE1	土師器 皿	8.0	2.0	4.6	ナデ ナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/6		O395
78	SE1	土師器 皿	10.3	2.1	5.5	ナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/5	赤色粒	O407
79	SE1	土師器 皿	10.7			ロクロナデ ロクロナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/6		O400
80	SE1	土師器 皿	11.0				にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/8		O397
81	SE1	瀬戸 合子	5.0	2.8	3.8		にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/4	鉄軸	O399
82	SE2	土師器 皿	6.4	1.2	3.0		にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/5		O364
83	SE2	土師器 皿	8.2	1.5	4.0	ナデ ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/6	赤色粒	O368
84	SE2	土師器 皿	8.8	1.7	4.5		にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/8	赤色粒	O369
85	SE2	土師器 皿	9.9	1.8	6.0	ナデ ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/7		O371
86	SE2	土師器 皿	10.2				にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/4	赤色粒	O366
87	SE2	土師器 皿	10.4	(2.0)	1.4	ナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/13		O373
88	SE2	土師器 皿	10.4			ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/5		O367
89	SE2	土師器 皿	10.7				にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/10	赤色粒	O372

番号	遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測番号
			(cm)	(cm)	(cm)	調整(内)	色調(内)			
90	SE2	土師器 皿	10.5	2.8	5.0	ナデ	にぶい橙	1/5	赤色粒	O365
91	SE2	珠洲 片口鉢					灰	(小片)	海綿骨片	O362
92	SE2	珠洲 掘鉢	29.3				灰	1/6	海綿骨片、外面被熱	D403
93	SE2	珠洲 掘鉢	(33.3)				灰	(小片)	海綿骨片	O360
94	SE2	珠洲 壺			7.0		灰	1/7	海綿骨片	O361
95	SE2	珠洲 掘鉢			12.8		灰白	2/3	指頭痕	O382
96	SE2	珠洲 掘鉢	34.0	13.5	13.0		灰白	1/3	海綿骨片	O354
97	SI5	土師器 皿	14.0	3.6		ヨコナデ	橙	1/3		H214
98	SK13	瀬戸美濃 平碗	14.5				灰黄、浅黄 灰黄、浅黄	1/6	灰釉、黒色塵粒	N276
99	SK8	珠洲 掘鉢	27.8	11.1	13.4		灰	1/6	静止糸切り	O404
100	SK4	土師器 皿	7.0	1.3	4.0	回転ナデ	にぶい橙	1/4		O355
101	SK4	土師器 皿	(11.1)	(1.3)	(7.5)	ナデ	浅黄橙	1/9	赤色粒	O386
102	SK4	珠洲 掘鉢	30.2			ナデ	浅黄橙	1/14	海綿骨片	O383
103	SK4	珠洲 掘鉢	(38.8)				灰	1/20	海綿骨片	O384
104	P8	土師器 皿	(11.0)				浅黄橙	1/12	赤色粒	O270
105	P5	土師器 皿	(9.5)	(1.5)	(5.0)	ヨコナデ	浅黄橙	1/9		O272
106	P6	土師器 皿	6.4	1.2	5.2	ヨコナデ	にぶい黄橙、淡赤橙	1/3	赤色酸化粒、黒色粒	T417
107	P4	土師器 皿	7.9	1.7	4.0		橙	1/4	赤色粒	O271
108	P1	土師器 皿	5.4	1.5	2.4	ナデ	にぶい橙	1/4		O342
109	P1	土師器 皿	7.4	2.0	3.0	ナデ	にぶい橙	2/3		O344
110	P1	土師器 皿	9.0	2.5	4.5	ナデ	にぶい橙	ほぼ定形		O343
111	P1	土師器 皿	8.4	1.8	7.8	ナデ	にぶい橙	1/6		O341
112	SK3	土師器 皿	7.5	1.8	4.0		浅黄橙	ほぼ定形		O348
113	SK3	土師器 皿	9.0	1.9	5.8	ナデ	にぶい黄橙	1/3		O349
114	P2	土師器 皿	7.0	1.1	5.0	ナデ	にぶい橙	1/7		O351
115	P3	土師器 皿	7.8	2.0	1.1	ナデ	にぶい橙	1/3	赤色粒	O347
116	P10	土師器 皿	13.2	4.0	6.4		橙	2/9	赤色酸化粒	T221
117	P11	土師器 皿	14.4			ヨコナデ	浅黄橙	1/12	赤色粒	N282
118	P14	青磁 碗	11.0				オリーブ灰	1/8	削り出し通弁	O345
119	SD11	土師器 皿	7.4	2.3			明黄橙	1/7	赤色粒	H241

番号	道情	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整 (外)		残存率	備考	実測 番号
						調整 (内)	色調 (内)			
120	SD11	土師器 皿	13.5		10.4		橙 橙	1/7	赤色粒	H242
121	SD11	土師器 皿	12.0	3.5		ヨコナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	2/9	黒色粒	T416
122	SD11	青磁 香炉			6.6		明緑灰 明緑灰	1/4	底部露胎	N226
123	SD10	土師器 皿	15.4				浅黄橙 浅黄橙	1/8		H211
124	SD9	土師器 皿	10.4	(19)		ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/6	油煙痕、黒色粒	T218
125	SD9	越前 甕			15.2		にぶい黄橙 灰黄	1/9	黒色粒	T217
126	SD9	瀬戸美濃 碗			6.8		オリーブ黄 オリーブ黄	1/6	灰釉、黒色粒	N227
127	SD9	織部 向付		(4.7)			灰白・黒褐 灰白・黒褐	(小片)		N225
128	SD6	土師器 皿	12.2			ヨコナデ	橙 橙	1/6	赤色酸化粒	T220
129	SD6	瀬戸美濃 壺	6.6			ロクロナデ ロクロナデ	灰白 灰白	1/3	灰釉、赤色酸化粒	T216
130	SD15	土師器 皿	7.4	1.1	6.6		橙 橙	1/3		H210
131	SD15	珠洲 甕	(54.0)				灰 灰	(小片)		H209
132	SD4	瀬戸 折縁小皿	8.6	1.9	3.8		灰オリーブ、オリーブ黒 灰オリーブ、オリーブ黒	口縁1/2 底部定形	灰釉、底部糸切り	N312
133	SD3	土師器 皿	7.6			回転ナデ	明黄橙 明黄橙	1/5	赤色粒	O388
134	SD3	土師器 皿	10.7			ナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/4	油煙痕	O390
135	SD3	瀬戸美濃 緑釉小皿	11.0				浅黄橙 浅黄橙	(小片)	緑釉	O442
136	SD3	土師器 皿	11.0	2.7	6.0	ハケ	浅黄橙 浅黄橙	1/5	赤色粒	O391
137	SD3	土師器 皿	(11.0)	(2.0)	(4.2)	ナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/14	赤色粒、油煙痕	O389
138	SD3	青磁 碗			(6.0)		オリーブ灰 オリーブ灰	1/4	釉下に沈線文様	O334
139	SD5	土師器 皿	6.4	1.3	3.6		浅黄橙 浅黄橙	1/2		H249
140	SD5	土師器 皿	6.5	1.5	3.5	ヨコナデ ヨコナデ、ナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/6	赤色酸化粒	N300
141	SD5	土師器 皿	6.8	1.6	3.4			1/3		H250
142	SD5	土師器 皿	7.4	2.0	4.2		にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/4	油煙痕	H245
143	SD5	土師器 皿	8.0	1.5	5.8	ヨコナデ、ナデ ヨコナデ、ナデ	浅黄橙、黄橙 浅黄橙、黄橙	2/3	油煙痕、赤色酸化粒	N310
144	SD5	土師器 皿	8.8	1.1		ヨコナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙		石英	T321
145	SD5	土師器 皿	11.0		6.0	ヨコナデ、ナデ ヨコナデ、ナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/9	赤色酸化粒	N299
146	SD5	土師器 皿	11.1			ヨコナデ、ナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/9	赤色酸化粒	N301
147	SD5	土師器 皿	11.2	2.1	5.6	ナデ ナデ	浅黄橙 浅黄橙	3/4	海綿骨片	H247
148	SD5	瀬戸美濃 平碗	(11.6)				オリーブ黄 オリーブ黄	1/18	灰釉、黒色粒	N232
149	SD5	瀬戸美濃 平碗	12.9				オリーブ黄 オリーブ黄	1/12	灰釉、黒色粒	N309

番号	遺構	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整 (外)	色調 (外)	残存率	備考	実測 番号
						調整 (内)	色調 (内)			
150	SD5	瀬戸美濃 緑釉小皿	15.8				オリーブ、オリーブ黄 オリーブ、オリーブ黄	1/18	灰釉、黒色粒	N295
151	SD5	瀬戸 天目茶碗			3.9		黄灰、黒 黄灰、黒	5/6	鉄釉、底部露胎	N297
152	SD5	瀬戸美濃 碗			5.4		灰黄、オリーブ黄 灰黄、オリーブ黄	底径完形	底部露胎	H243
153	SD5	瀬戸美濃 瓶			10.2		灰黄、オリーブ黄 オリーブ黄	1/6	底部露胎、糸切り痕、 胎土目	H246
154	SD5	青磁 盤			(11.4)		明緑灰 明緑灰	1/12		N296
155	SD5	白磁 碗	15.8				灰白 灰白	1/12		N231
156	SX2	土師器 皿	14.0	3.6	7.6		橙 橙	2/3	指頭匠痕	H207
157		珠洲 播鉢					黄灰 黄灰	(小片)		O410
158		瀬戸美濃 御皿					にふい黄橙、浅黄 にふい黄橙、浅黄	(小片)	漆つぎ	O329
159	包含層	瀬戸美濃 天目茶碗	10.6	2.3		ロクロナデ ロクロナデ	褐 褐	1/9	鉄釉	T223

第4表 石製品観察表

番号	造構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石材	備考	実測 番号
			(cm)	(cm)	(cm)	(g)			
160	SB1	輪の羽口	6.0	6.4	3.4			鉄滓付着	N278
161	SE2	行火				384	凝灰岩		O380
162	SE2	炉縁石	(9.0)	13.3	8.7	598	凝灰岩		O358
163	SE2	炉縁石	(16.0)	(14.1)	(7.9)	930	凝灰岩		O379
164	SE2	炉縁石	(16.8)	(12.5)	(11.0)	1362	凝灰岩		O377
165	SE1	行火		(9.1)		283	凝灰岩		O405
166	SE2	炉縁石	(12.5)	15.0	8.0	1105	凝灰岩		O381
167	SE2	炉縁石	(6.8)	(9.0)	(6.2)	117	凝灰岩		O357
168	SE2	炉縁石	(28.0)	(15.0)	(11.0)	3357	凝灰岩		O378
169	SK1	自然石	18.8	14.2	5.6	1860	凝灰岩	被熱、煤付着	O350
170	SD6	打製石斧	(14.2)	(7.5)	(3.2)	336	砂岩		T219
171	SD5	打製石斧	16.9	7.8	2.6	423	粗流凝灰岩		N238
172	SD5	打製石斧	16.6	8.8	3.0	478	凝灰岩		T319
173	包含層	打製石斧	(10.7)	(8.3)	(3.1)	302	火山礫凝灰岩		T290
174	SD5	砥石	(9.0)	(7.4)	(2.9)	220	凝灰岩		T322
175	P12	砥石	(3.7)	(2.9)	(2.6)	40	凝灰岩		H208

第5表 鉄製品観察表

番号	遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	備考	実測 番号
			(cm)	(cm)	(cm)	(g)		
176		釘?	(5.0)			1.5		H215
177		不明				71.0		O346

第5章 第12次（平成15年度）調査

第1節 発掘調査の経過

本発掘調査業務は、野々市市北西部土地区画整理地区内の野々市市道二日市・松任線工事に伴う事業を調査原因とする。

平成15年7月30日、野々市市は本開発予定地における埋蔵文化財発掘調査の実施計画書を野々市市北西部土地区画整理組合（以下、北西部組合と呼称する。）に提出し、その計画書に基づいて、野々市市と北西部組合との間で委託契約を締結した。

現地調査は10月8日より調査区の設定から開始した。10月10日からは大型掘削機を使用して遺構面までの土砂を掘削する作業を始め、10月16日には完了した。10月20日からは、発掘作業員による人力作業が始まった。人力の作業内容は遺構精査や遺構掘削などで、これらの作業中に調査員は図面の記録を行った。翌年の平成16年1月6日までには全ての遺構掘削が完了し、翌1月7日からは調査区の清掃作業を開始した。1月14日に清掃作業を終え、同日にラジコンヘリコプターによる空中写真測量を実施し、1月20日まで補足調査を行って、現地調査作業は完了した。

第2節 遺構

SB1（第61・66図）

調査区北東部に位置する掘立柱建物であり、後述のSK2と位置を同じくする。遺構の規模は東西に約6.5mで、ピットの深さは約40cmである。

SB2（第61・67図）

調査区中央部南側に位置する掘立柱建物であり、後述のSK8・9などと位置を同じくする。遺構の規模は南北に約5.0m、東西に約12.5mである。面積は約62.5㎡でピットの深さは約70cmである。

SB3（第61・68図）

調査区中央部南側に位置する掘立柱建物であり、前述のSB2の南に位置する。遺構の規模は南北に約3.5m、東西に約8.0mである。面積は約28㎡でピットの深さは約50～90cmである。

SB4（第61・69図）

調査区中央部南側に位置する掘立柱建物であり、前述のSB3の南西に位置する。遺構の規模は南北に約3.0m、東西に約8.6mである。面積は約26㎡でピットの深さは約50～100cmである。

SB5（第61・70図）

調査区中央部南西側に位置する掘立柱建物であり、前述のSB4の南に位置する。遺構の規模は南北に約1.9m、東西に約5.6mである。面積は約10.6㎡でピットの深さは約25～80cmである。

SB6（第61・116・121図）

調査区西部壁際に位置し、第20次SB1と同じ建物である。後述のSI8を囲い込む形状をしている。遺構の規模は南北に約3.6mである。面積は約10.6㎡でピットの深さは約25～80cmである。

SB7（第61・116・125図）

調査区西部壁際に位置する掘立柱建物であり、第20次SB5と同じ建物である。詳細な記載は第20次SB5で報告する。

SI1（第61・71図）

調査区東南部に位置する竪穴建物であり、後述のSE1が東側に接している。遺構の規模は南北に約3.2m、東西に約1.8mで深さは約30cmで、覆上は灰色～暗灰色粘質土が主体である。

SI 2 (第61・72図)

調査区中央部南側に位置する竪穴建物であり、後述のSE2・3の西側に位置する。遺構の規模は南北に約3.7m、東西に約2.4mで深さは約25～40cmで、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SI 3 (第61・72図)

調査区中央部南側に位置する竪穴建物であり、前述のSI2の西側に位置する。遺構の規模は南北に約2.7m、東西に約2.6mで深さは約90cmで、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SI 4 (第61・73図)

調査区中央部やや西側に位置する竪穴建物である。前述のSI3の北側に位置し、後述するSE9とSK14と接している。SE9と切り合い関係があり、SI4の方がSE9に比べて古い。遺構の規模は南北に約2.7m、東西に約4.0mで深さは約60cmで、覆土は黄色ブロックの混じる褐色粘質土が主体である。

SI 5 (第61・74図)

調査区中央部西側に位置する竪穴建物であり、前述のSI4の北西側に位置する。遺構の規模は南北に約2.8m、東西に約2.1mで深さは約50cmで、覆土は黄色ブロックの混じる橙色粘質土が主体である。

SI 6 (第61・75図)

調査区西部に位置する竪穴建物である。前述のSI5の南西側に位置し、後述のSE10と位置を同じくする。SE8・10と切り合い関係があり、SI6の方がSE8・10に比べて古い。遺構の規模は南北に約7.0m、東西に約3.4mで深さは約30cmで、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SI 7 (第61・76図)

調査区西部壁際に位置する竪穴建物である。後述のSE18が東側に隣接する。SE18と切り合い関係があり、SI7の方がSE18に比べて古い。遺構の規模は南北に約2.8m、東西に約3.4mで深さは約50cmで、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SI 8 (第61・77図)

調査区西部壁際に位置する竪穴建物である。前述のSI7の南側に位置する。遺構の規模は南北に約3.0m、東西に約1.2mで深さは約30cmで、覆土は黄色ブロックや炭化物の混じる褐色粘質土が主体である。

SE1 (第61・71・78図)

調査区南東部に位置する井戸状遺構で、前述のSI1の東側に位置する。遺構の規模は南北に約2.8m、東西に約1.0mである。深さは約1.4mであり、覆土は褐灰色粘質土が主体である。

SE2 (第61・79・80図)

調査区中央部南側に位置する井戸状遺構で、前述のSB2・3の南側に位置する。後述のSE3が北側に位置する。SK11と切り合い関係があり、SE2の方がSK11に比べて古い。遺構の規模は南北に約3.0m、東西に約3.0mで円形を呈する。深さは約2.4mであり、覆土は灰色粘質土が主体である。

SE3 (第61・79・80図)

調査区中央部南側に位置する井戸状遺構で、前述のSE2の北側に位置する。遺構の規模は南北に約2.7m、東西に約3.0mで円形を呈する。深さは約2.0mであり、覆土は灰色粘質土が主体である。

SE4 (第61・81図)

調査区中央部に位置する井戸状遺構で、前述のSE3の北側に位置する。後述するSD4と切り合い関係があり、SE4の方がSD4に比べて新しい。遺構の規模は南北に約2.7m、東西に約2.7mで円形を呈する。深さは約1.8mであり、覆土は褐色粘質土が主体である。

SE5 (第61・82・83図)

調査区北西部に位置する井戸状遺構で、後述のSE6が西側に隣接する。遺構の規模は南北に約3.5m、東西に約3.5mで円形を呈する。深さは約2.0mであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SE6 (第61・82・83図)

調査区北西部に位置する井戸状遺構で、前述のSE5の西側に隣接する。遺構の規模は南北に約3.5m、東西に約3.5mで円形を呈する。深さは約2.0mであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SE7 (第61・84図)

調査区北西部端に位置する井戸状遺構で、前述のSE6の西側に位置する。遺構の規模は南北に約3.0m、東西に約2.2mで円形を呈する。深さは約0.8~1.6mであり、覆土は灰色砂質土・灰色粘質土が主体である。

SE8 (第61図)

調査区北西部に位置する井戸状遺構で、前述のSE7の東南側に位置する。SI6・SK18と切り合い関係があり、古い順にSI6・SE8・SK18となる。遺構の規模は南北に約3.0m、東西に約3.7mで円形を呈する。

SE9 (第61・73・85図)

調査区北西部に位置する井戸状遺構で、前述のSI4が西側に隣接する。遺構の規模は南北に約2.3m、東西に約2.5mで円形を呈する。深さは約0.5mであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SE10 (第61・75図)

調査区西部に位置する井戸状遺構で、前述のSI6と位置を同じくする。遺構の規模は南北に約2.5m、東西に約2.5mで円形を呈する。深さは約2.5mであり、覆土は黄色ブロックの混じる粘質土が主体である。

SE11 (第61・86図)

調査区南西部に位置する井戸状遺構である。遺構の規模は南北に約2.5m、東西に約2.2mで円形を呈する。深さは約1.3mであり、覆土は灰色砂質土・粘質土が主体である。

SE12 (第61・86図)

調査区南西部に位置する井戸状遺構で、先述のSE11の南に位置する。遺構の規模は南北に約2.5m、東西に約2.8mで円形を呈する。深さは約1.4mであり、覆土は灰色砂質土・粘質土が主体である。

SK1 (第61・87図)

調査区北東部に位置する土坑で、先述のSB1の南側に位置する。遺構の規模は南北に約1.2m、東西に約1.4mで深さは約50cmであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK2 (第61・87図)

調査区北東部に位置する土坑で、先述のSK1の北西側に位置する。遺構の規模は南北に約1.0m、東西に約1.8mで深さは約20cmである。

SK3 (第61・87図)

調査区北東部に位置する土坑で、先述のSK2の西側に位置する。遺構の規模は南北に約1.3m、東西に約1.4mで深さは約100cmであり、覆土は褐色粘質土が主体である。

SK4 (第61・88図)

調査区東部に位置する土坑で、先述のSK1~3の南側に位置する。後述するSD4と切り合い関係があり、SK4の方がSD4に比べて新しい。遺構の規模は南北に約2.8m、東西に約3.3mで深さは約25cmであり、覆土は黄色ブロックの混じる褐色粘質土が主体である。

SK5 (第61・88図)

調査区南東部に位置する土坑で、先述のSK4の南側に位置する。遺構の規模は南北に約0.9m、東西に約1.0mで深さは約20~35cmであり、覆土は灰色粘質土が主体である。

SK6 (第61・89図)

調査区南東部崖際に位置する土坑で、先述のSK4の南側に位置する。遺構の規模は南北に約1.0m、東西に約2.0mで深さは約30~40cmであり、覆土は灰色粘質土が主体である。

SK7 (第61・89図)

調査区南東部に位置する土坑で、先述のSK6の北側に位置する。遺構の規模は南北に約1.7m、東西に約1.7mで深さは約30cmであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK8 (第61・90図)

調査区南東部に位置する土坑である。先述のSK7の北西側に位置し、後述のSK9の東に隣接する。SK9と切り合い関係があり、SK8の方がSK9に比べて新しい。遺構の規模は南北に約1.2m、東西に約1.7mで深さは約30cmであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK9 (第61・90図)

調査区南東部に位置する土坑である。先述のSK8の西に隣接する。遺構の規模は南北に約3.3m、東西に約1.5mで深さは約52cmであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK10 (第61・90図)

調査区南東部に位置する土坑である。先述のSK6の西側に位置する。遺構の規模は南北に約1.0m、東西に約1.1mで深さは約70cmであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色砂質土が主体である。

SK11 (第61・79・80図)

調査区中央部南側に位置する土坑である。先述のSE2の東側に隣接する。遺構の規模は南北に約1.2m、東西に約1.4mで深さは約20cmであり、覆土は灰色粘質土が主体である。

SK12 (第61・91図)

調査区南部中央壁際に位置する土坑である。先述のSK11の西側に位置する。遺構の規模は南北に約1.3m、東西に約1.3mで深さは約20cmであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK13 (第61・91図)

調査区中央部に位置する土坑である。先述のSE4の西側に位置する。遺構の規模は南北に約1.0m、東西に約1.5mで深さは約15cmであり、覆土は褐色粘質土が主体である。

SK14 (第61・91図)

調査区中央部西側に位置する土坑である。先述のSI4の西側に位置する。遺構の規模は南北に約1.4m、東西に約1.3mで深さは約120cmである。

SK15 (第61・91図)

調査区中央部南西側に位置する土坑である。先述のSI3の西側に位置する。遺構の規模は南北に約1.2m、東西に約1.0mで深さは約20cmである。

SK16 (第61・92図)

調査区北西部に位置する土坑である。先述のSE7の東側に位置する。遺構の規模は南北に約1.3m、東西に約1.3mで深さは約20cmである。

SK17 (第61・92図)

調査区北西部に位置する土坑である。先述のSK16の東側に位置する。遺構の規模は南北に約0.8m、東西に約0.9mで深さは約32cmであり、覆土は灰色粘質土が主体である。

SK18 (第61・92図)

調査区北西部に位置する土坑である。先述のSK17の南側に位置し、SI7とSE8に挟まれている。遺構の規模は南北に約1.5m、東西に約1.5mで深さは約40cmであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK19 (第61・93図)

調査区西部に位置する土坑である。先述のSK18の南側に位置する。遺構の規模は南北に約1.7m、東西に約1.4mで深さは約18～40cmであり、覆土は灰色粘質土が主体である。

SK20 (第61・93図)

調査区南西部に位置する土坑である。先述のSK19の南側に位置する。遺構の規模は南北に約1.5m、東西に約0.8mで深さは約20cmであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK21 (第61・93図)

調査区南西部に位置する土坑である。先述のSK20の東側に位置する。遺構の規模は南北に約1.6m、東西に約1.5mで深さは約20cmであり、覆土は黄色・灰色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK22 (第61・93図)

調査区南西部に位置する土坑である。先述のSK21の北西側に位置する。遺構の規模は南北に約1.3m、東西に約1.3mで深さは約28cmであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK23 (第61・94図)

調査区南西部に位置する土坑である。先述のSK20の南側に位置する。遺構の規模は南北に約1.2m、東西に約0.7mで深さは約10cmであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SD1 (第61・95図)

調査区北東部端に位置する遺構である。前述のSK3の南西方向に位置する。遺構の規模は最長部で約6.0m、幅は約1.0mを測る。方位の南北を0°としたとき西に約80°振れる。

SD2 (第61・95図)

調査区北東部に位置する遺構である。前述のSD1の東側に位置する。遺構の規模は最長部で約11.5m、幅は約1.5mを測る。方位は東西方向にほぼ水平である。

SD3 (第61・95図)

調査区北東部に位置する遺構である。前述のSD2の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約11.0m、幅は約0.7mを測る。方位は東西方向にほぼ水平である。

SD4 (第61・95図)

調査区中央部に位置する遺構である。前述のSD3の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約20.6m、幅は約0.8mを測る。方位は東西方向にほぼ水平である。

SD5 (第61図)

調査区南西部に位置する遺構である。前述のSE10の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約5.0m、幅は約0.9mを測る。方位の南北を0°としたとき東に約10°振れる。

SD6 (第61・94図)

調査区北西部壁際に位置する遺構である。前述のSE5・6の西側に位置する。遺構の規模は最長部で約2.7m、幅は約0.6mを測る。方位の南北を0°としたとき西に約60°振れる。

P1 (第61・94図)

調査区北東部壁際に位置するピットで、前述のSB1と位置を同じくする。直径約30cmを測る。

P2 (第61図)

調査区南東部に位置するピットで、前述のSK4の東側に位置する。長軸約65cm、短軸40cmの楕円形を呈する。

P3 (第61図)

調査区南東部に位置するピットで、前述のSK4の南側に位置する。長軸約45cm、短軸25cmの楕円形を呈する。

P4 (第61図)

調査区南東部に位置するピットで、前述のSK4の南西側に位置する。長軸約40cm、短軸20cmの楕円形を呈する。

P5 (第61図)

調査区南東部に位置するビットで、前述のP4の西側に位置する。直径約25cmを測る。

P6 (第61図)

調査区南東部に位置するビットで、前述のSK4の南西側に位置する。長軸約30cm、短軸20cmの楕円形を呈する。

P7 (第61図)

調査区中央部東側に位置するビットで、前述のSD3・4の間に位置する。直径約20cmを測る。

P8 (第61図)

調査区南東部に位置するビットで、前述のSK4の南西側に位置する。直径約50cmを測る。

P9 (第61図)

調査区南部に位置するビットで、前述のSK12の北側に隣接している。直径約35cmを測る。

P10 (第61図)

調査区南部西側に位置するビットで、前述のSI2の南側に位置する。長軸約70cm、短軸50cmの楕円形を呈する。

P11 (第61図)

調査区南部西側に位置するビットで、前述のSI2の南西側に位置する。直径約20cmを測る。

P12 (第61図)

調査区南部西側に位置するビットで、前述のSI2の南西側に位置する。直径約65cmを測る。

P13 (第61図)

調査区北西部に位置するビットで、前述のSI7の東側に隣接している。直径約115cmを測る。

P14 (第61図)

調査区南西部壁際に位置するビットで、前述のSE12の東側に隣接している。長軸約70cm、短軸35cmである。

P15 (第61図)

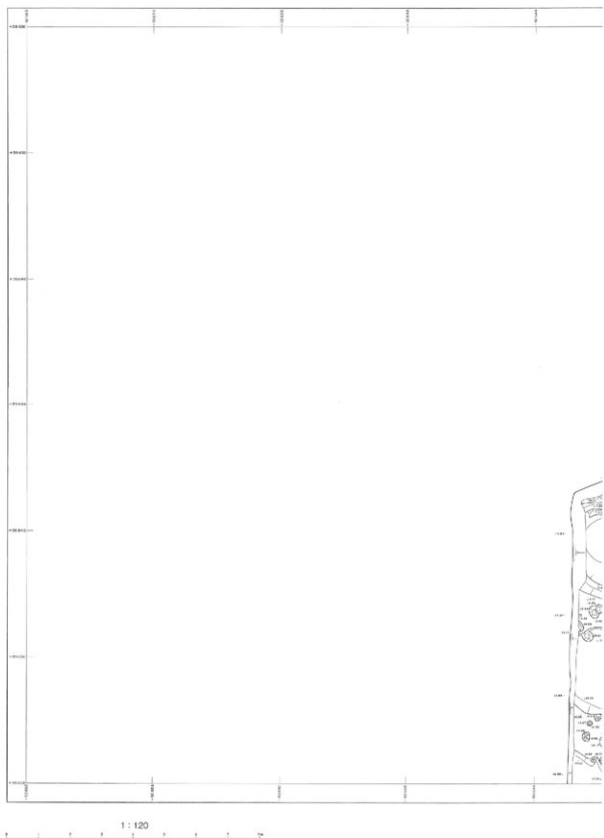
調査区中央部西側に位置するビットで、前述のSE9の南側に位置する。直径約40cmを測る。

第3節 遺物

1～29は弥生時代後期後半の土器で、30、31は古代須恵器である。32～211は、本調査で最も出土量の多い中世上器・陶磁器である。土師器皿、珠洲焼甕・すり鉢、瀬戸焼天日茶碗、青磁碗など、加賀地域の中世集落遺跡でよく見られるものが出土している。196の白磁皿は完形品である。212～241は石製品で、炉緑石・砥石・石臼などを確認した。砥石は中砥石と仕上砥石が出土した。

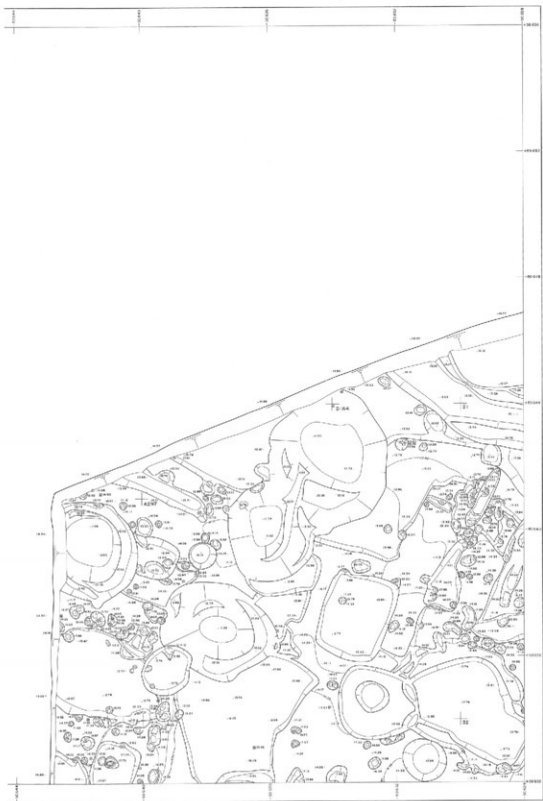


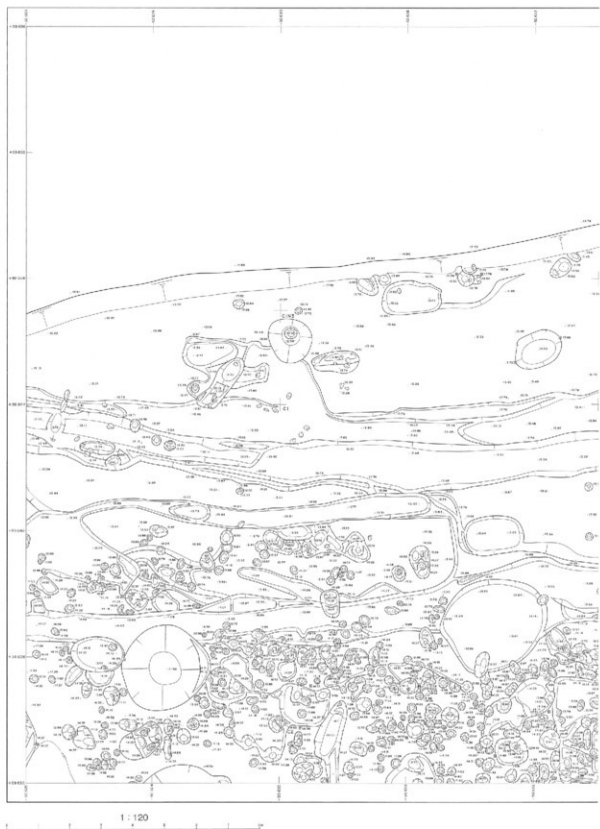
第61図 遺構全体図 (S=1/150)



第62图 航空测量图1 (S=1/120)

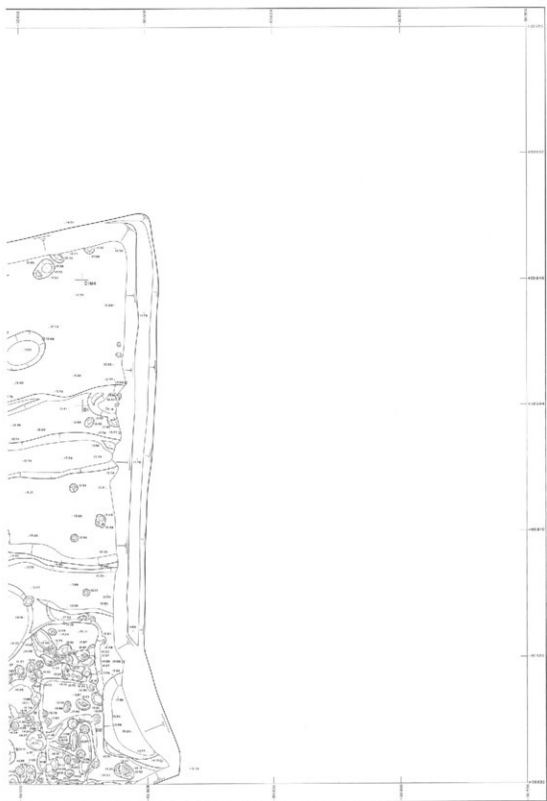
1	2
3	4

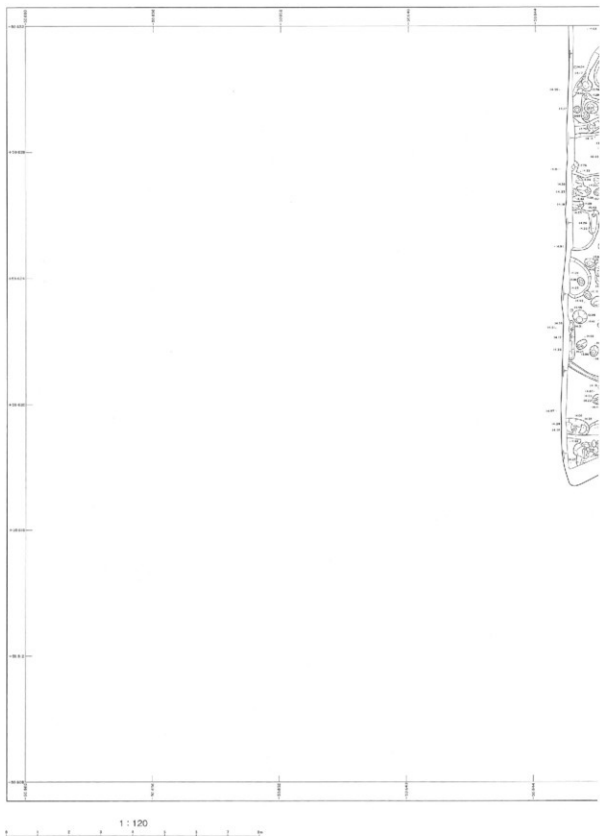




第63图 航空测量图2 (S=1/120)

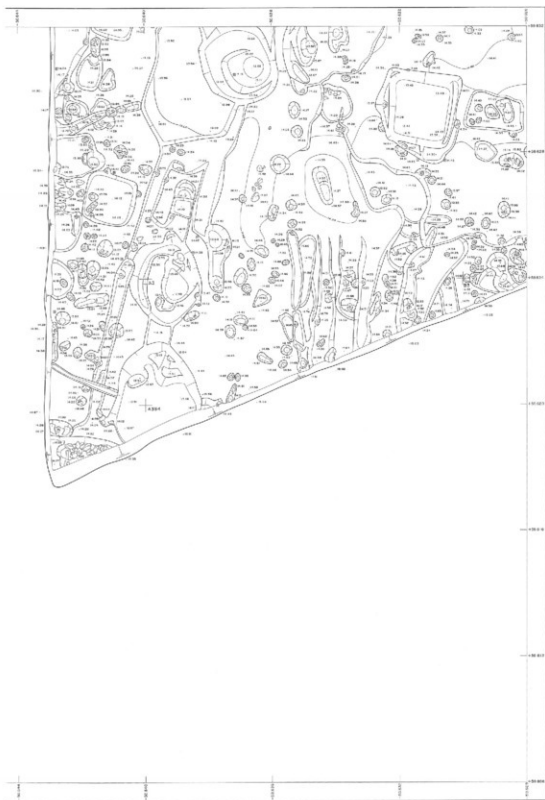
1	2
3	4

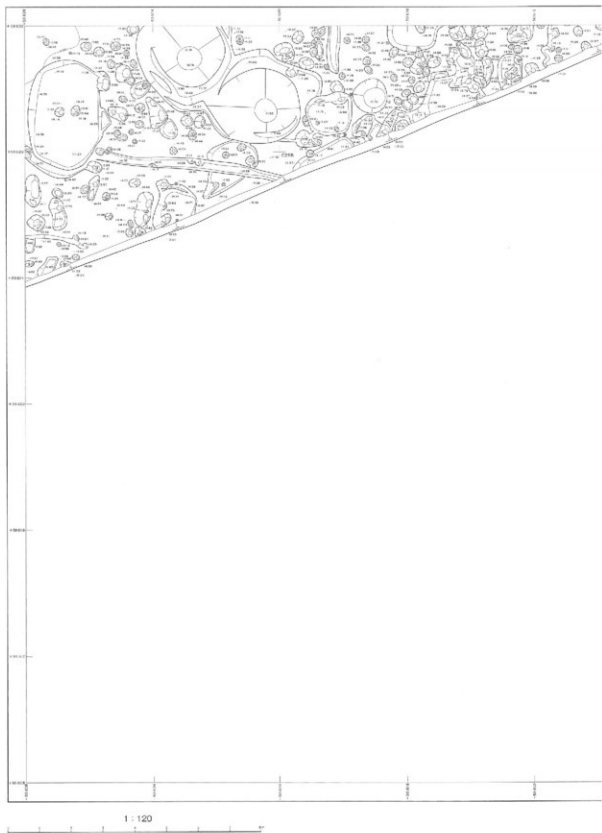




第64图 航空测量图3 (S=1/120)

1	2
3	4

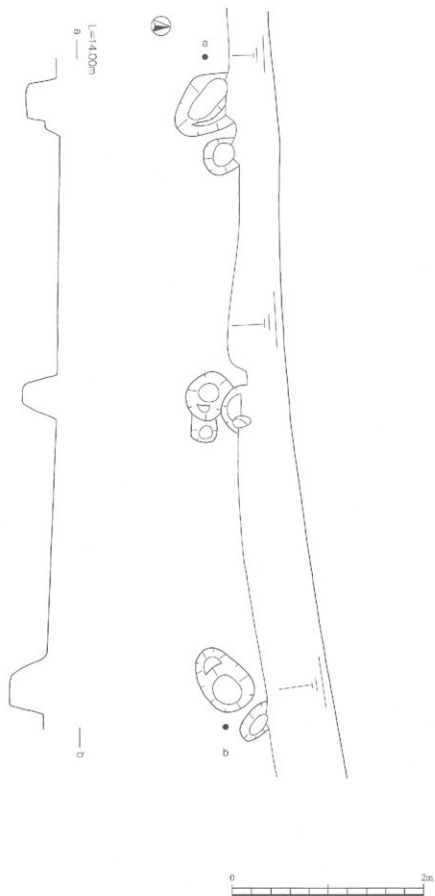




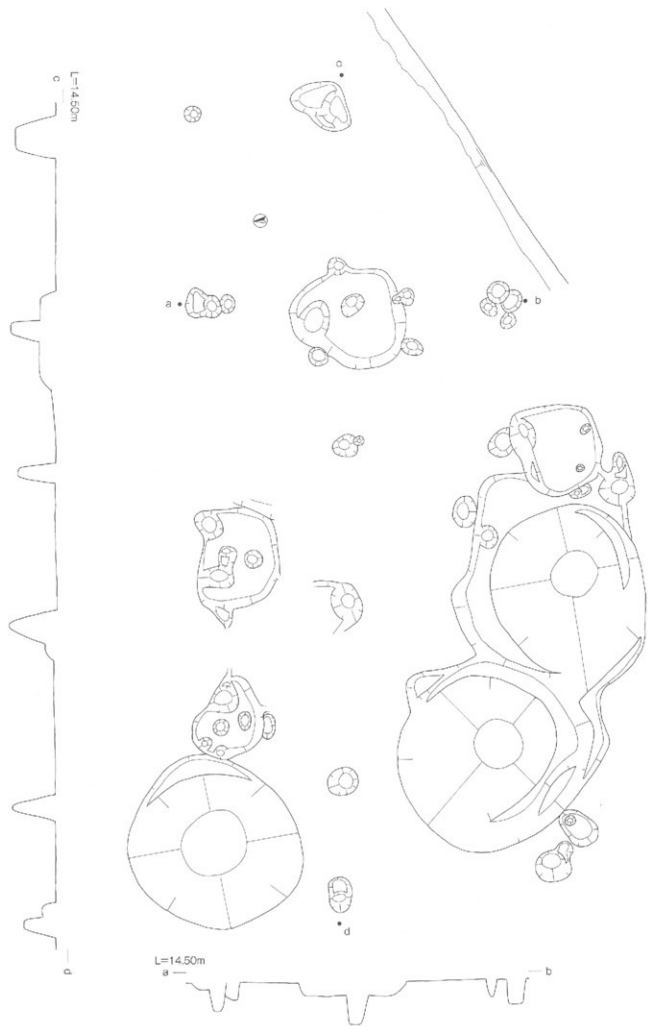
第65圖 航空測量圖4 (S=1/120)

1	2
3	4



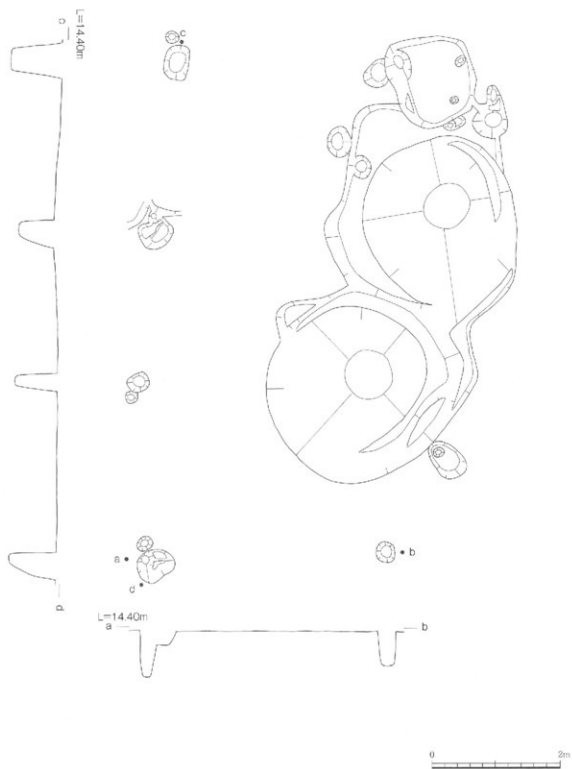


第66図 SB1遺構図・断面図 (S=1/40)

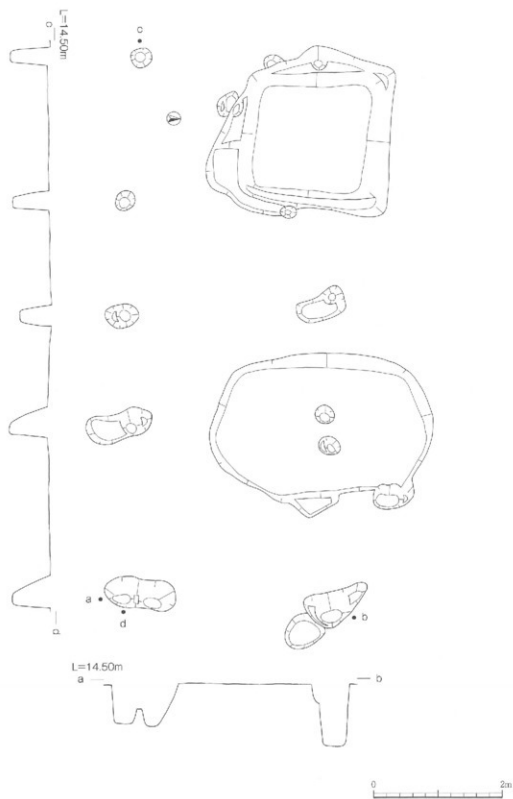


第67圖 SB2遺構圖・断面圖 (S=1/60)

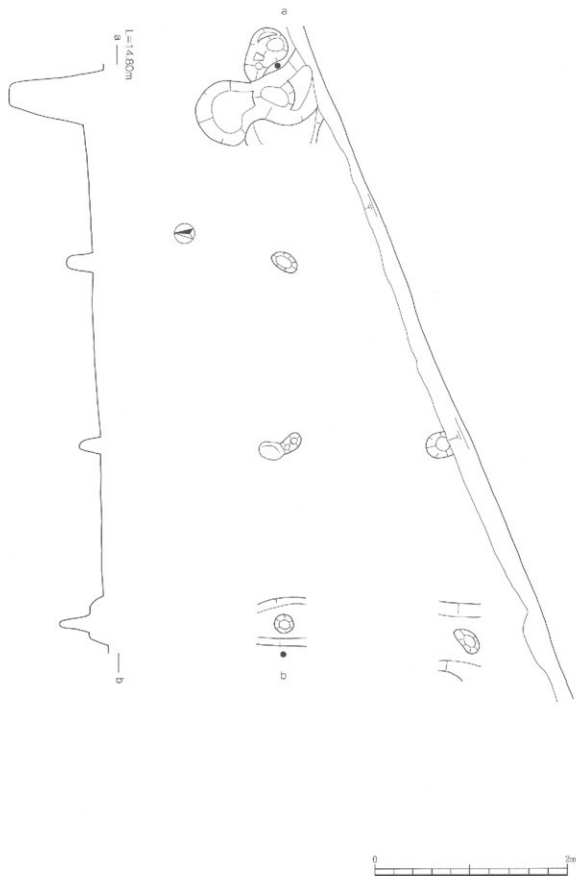




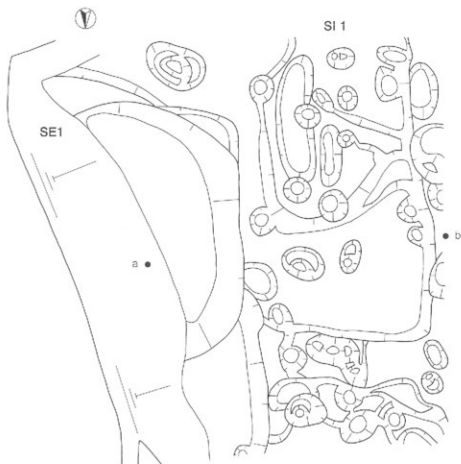
第68图 SB3遺構図・断面図 (S=1/60)



第69圖 SB4遺構圖・断面圖 (S=1/60)



第70図 SB5遺構図・断面図 (S=1/40)



L=14.60m

a

SE1

SI 1

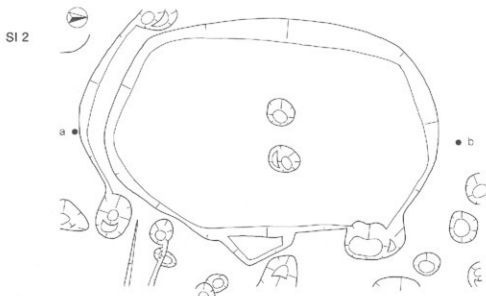
b



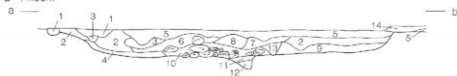
1. 灰色砂質土(7.5Y6/1)(粗砂)
2. 暗灰色粘質土(N3/)
3. 紫色粘質土(N2/)
4. 暗灰色粘質土(N3/)(黄色ブロック混)
5. 4より更に黄色ブロック多量(黄色ブロック固くしまった土)
6. 3と同色だが粘質強
7. 暗灰色粘質土(黄色ブロック混)
8. 灰色粘質土(5Y5/1)(黄色ブロック混)
9. 灰色粘質土(5Y6/1)(黄色ブロック混)
10. 灰色粘質土(5Y6/1)(黄色ブロック,黄色ブロック混)
11. 8と同色で黄色ブロック,黄色ブロック強
12. 8と似ているが灰色が少し濃い



第71図 SI 1・SE1遺構図・土層断面図 (S=1/40)



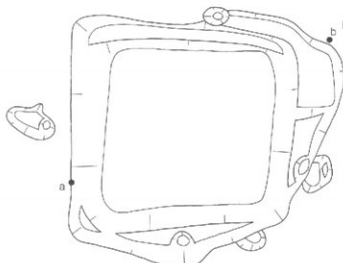
L=14.60m



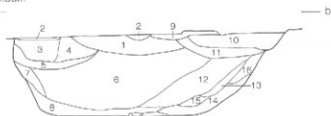
- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 灰色粘質土(黄色ブロック層) 2. 黄色と灰色がマール状に混じる 3. 褐色粘質土(灰色の砂層) 4. 褐色粘質土(黄色ブロック層) 5. 褐色粘質土(黄色ブロック層、近世層か?) 6. 褐色粘質土(黄色ブロック多量) 7. 褐色粘質土(黄色ブロック多量) 8. 褐色粘質土 9. 褐色粘質土(黄色ブロック層、1より濃く、粘質強い) 10. 灰色粘質土(硬層) | <ol style="list-style-type: none"> 11. 灰色粘質土(黄色ブロック、褐色ブロック層) 12. 淡黄色粘質土 13. 灰色粘質土 14. 褐色粘質土(近世層か?) |
|--|--|



SI 3



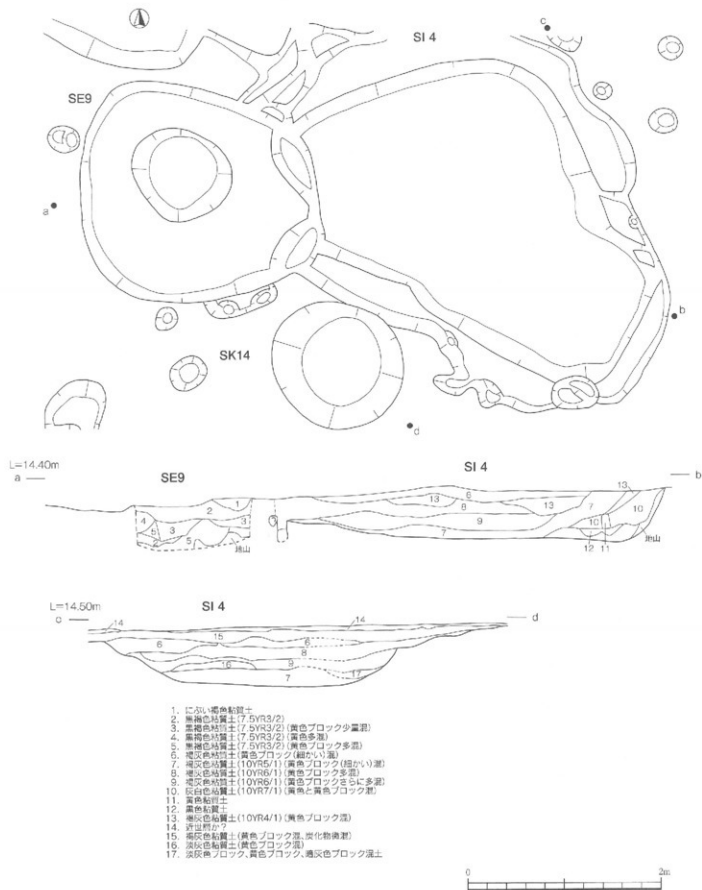
L=14.60m



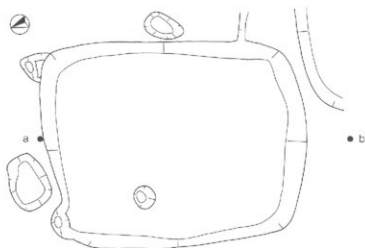
1. 褐色粘質土(赤土層か?)
2. 褐色粘質土(黄色ブロック層)
3. 灰色粘質土(褐色ブロック、黄色ブロック層、炭化物層)
4. 褐色粘質土(褐色ブロック、黄色ブロック層)
5. 灰色粘質土(褐色ブロック、黄色ブロック層)(但し黄色ブロックが大平を占める)
6. 灰色粘質土(褐色ブロック、黄色ブロック層、粘質強い)
7. 褐色粘質土
8. 褐色粘質土
9. 褐色粘質土
10. 褐色粘質土(黄色ブロック層)
11. 灰色粘質土(褐色ブロック、黄色ブロック層)(5より黄色色が強い)
12. 4と5と混ざっているが、4より褐色粘質土多量
13. 褐色粘質土(黄色がマール状に混)
14. 褐色粘質土(褐色ブロック、黄色ブロック層、水分多い)
15. 褐色粘質土
16. 褐色粘質土(黄色ブロック層)



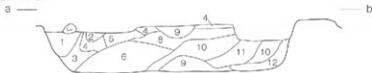
第72図 SI 2・3遺構図・土層断面図 (S=1/40)



第73図 SI 4・SE9遺構図・土層断面図 (S=1/40)



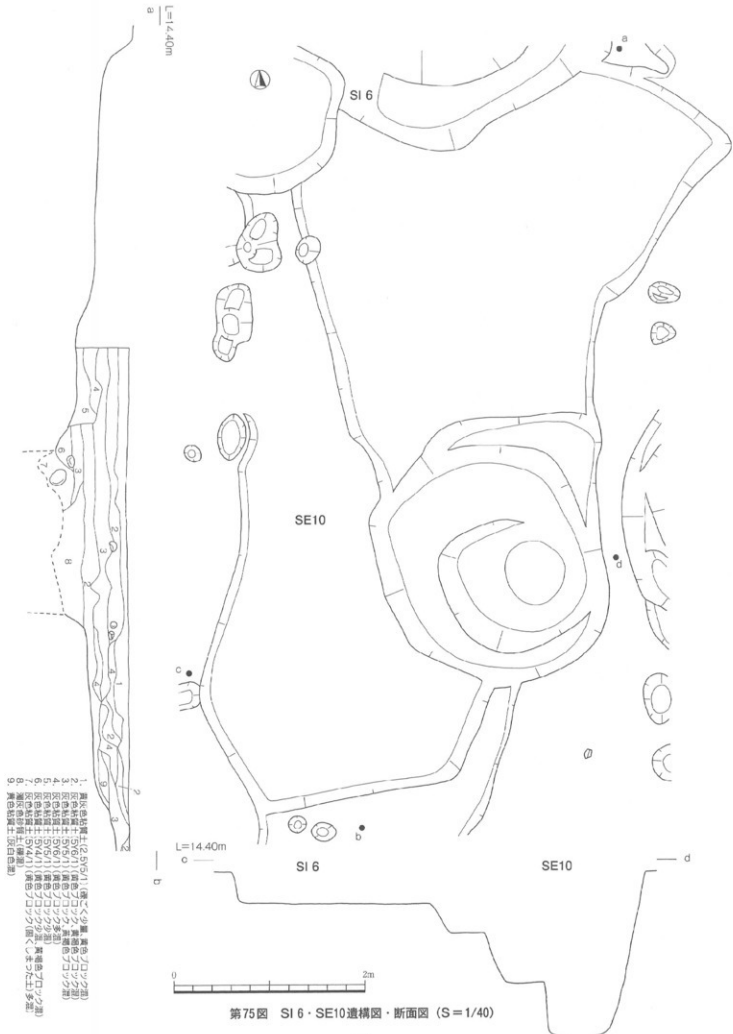
L=14.40m



1. 淡明灰色粘質土(黄色ブロック層)
2. 淡明灰褐色粘質土(黄色ブロック層)
3. 濃淡明灰色粘質土(黄色ブロック層)
4. 褐色粘質土(薄灰色ブロック、黄色ブロック層)
5. 淡明灰褐色粘質土(2とよく似ているが黄色ブロックの割合が2より多い)
6. 灰色粘質土(黄色ブロック層(しまった土)、薄灰色ブロック(小)層)
7. 明灰色粘質土(黄色ブロック層)
8. 薄灰色粘質土(黄色ブロック多量)
9. 灰色粘質土
10. 灰色粘質土(薄灰色ブロック、黄色ブロック層、6と似ているが6より黄色ブロック少なく、しまっていない)
11. 10と似ているが10より灰色が深い
12. 灰色粘質土(黄色ブロック層、薄灰色ブロック層)(他より少ししっとりしている)



第74図 SI 5遺構図・土層断面図 (S=1/40)



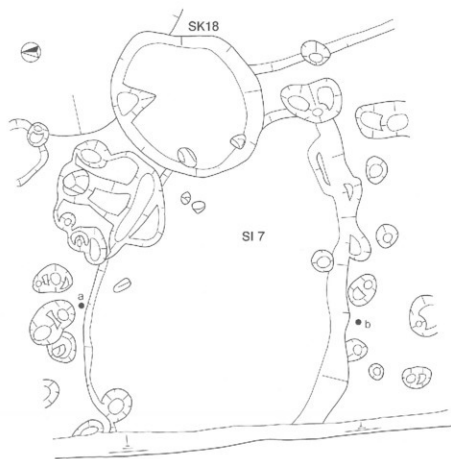
L=14.40m

L=14.40m

0 2m

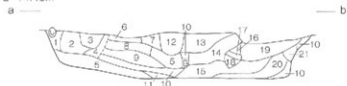
第75図 SI 6・SE10遺構図・断面図 (S=1/40)

1. 土壁 (土)
2. 土壁 (土)
3. 土壁 (土)
4. 土壁 (土)
5. 土壁 (土)
6. 土壁 (土)
7. 土壁 (土)
8. 土壁 (土)
9. 土壁 (土)



L=14.40m

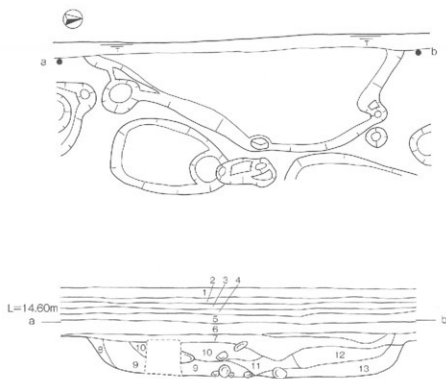
SI 7



- | | |
|---|---|
| <p>1. 灰白色粘質土
2. 黄褐色粘質土
3. 灰色粘質土(黄色ブロック混)
4. 淡黄褐色粘質土(炭化物混)(黄色ブロック混)
5. 黄褐色粘質土(淡黄色マーブル混、炭化物混)
6. 淡黄色粘質土
7. 淡黄褐色粘質土
8. 黄褐色粘質土(淡黄褐色混、4.5が混じった感じ)
9. 淡黄褐色粘質土(白色ブロック混)
10. 淡黄褐色粘質土(淡黄色マーブル混、炭化物混)
11. 10より粘土質強い</p> | <p>12. 胡灰色粘質土(淡黄色混)
13. 胡灰色粘質土(黄色ブロック多量混、胡灰色ブロック混)
14. 胡灰色粘質土(灰色ブロック、黄色ブロック混)
15. 黄褐色粘質土(黄色マーブル、胡灰色ブロック混)
16. 黄褐色粘質土
17. 灰色粘質土
18. 淡黄色粘質土
19. 黄色粘質土(灰色ブロック、胡灰色ブロック混)
20. 灰色粘質土(黄色ブロック混)
21. 胡灰色粘質土(淡黄色ブロック混、炭化物混)</p> |
|---|---|



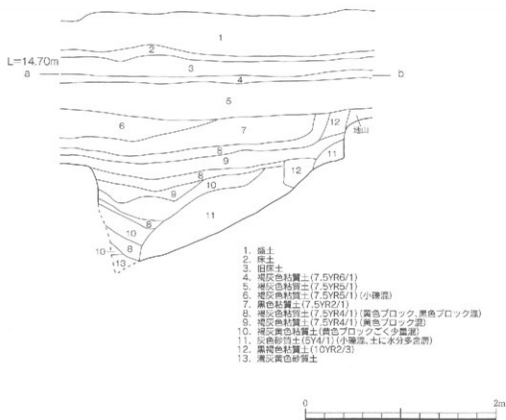
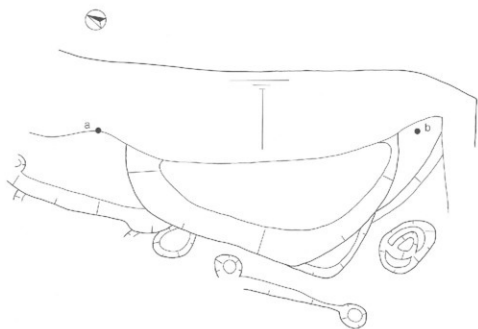
第76図 SI 7遺構図・土層断面図 (S=1/40)



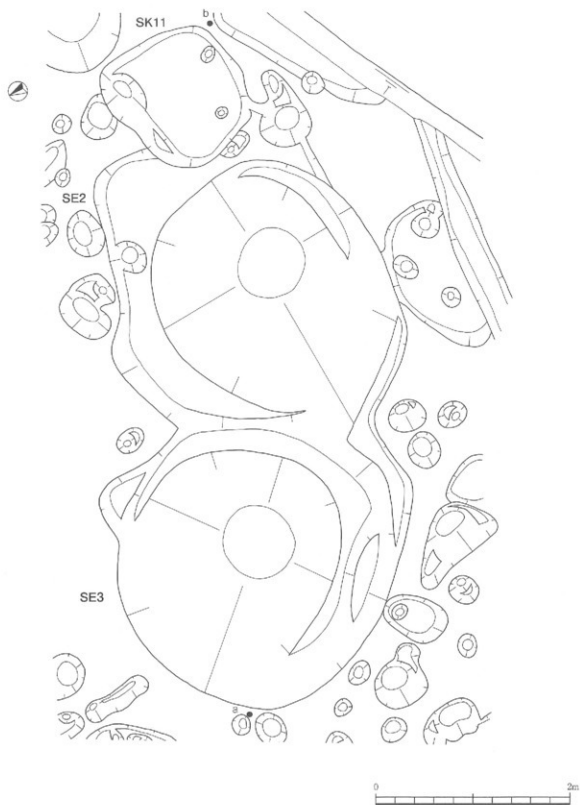
- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 赤土 2. 灰土 3. 灰土 4. 割灰色粘質土(褐色砂混) 5. 割灰色粘質土(炭化物混) 6. 灰色粘質土(炭化物混) | <ul style="list-style-type: none"> 7. 割灰色粘質土(黄色ブロック混、砂分沈降) 8. 灰褐色粘質土(黄色ブロック混、炭化物混) 9. 暗褐色粘質土(黄色ブロック混、炭化物混) 10. 灰褐色粘質土(黄色ブロック混) 11. 暗灰色粘質土(黄色ブロック少量、炭化物混) 12. 灰褐色粘質土(黄色ブロック(小)混) 13. 暗褐色粘質土(黄色ブロック混) |
|---|--|



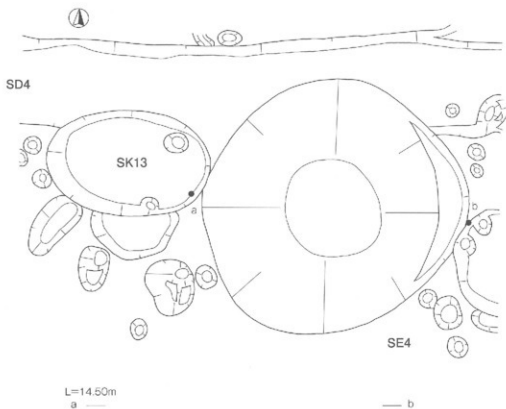
第77図 SI 8遺構図・土層断面図 (S=1/40)



第78図 SE1遺構図・土層断面図 (S=1/40)



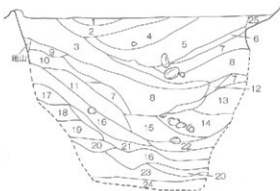
第79図 SE2・3・SK11遺構図 (S=1/40)



L=14.50m

a

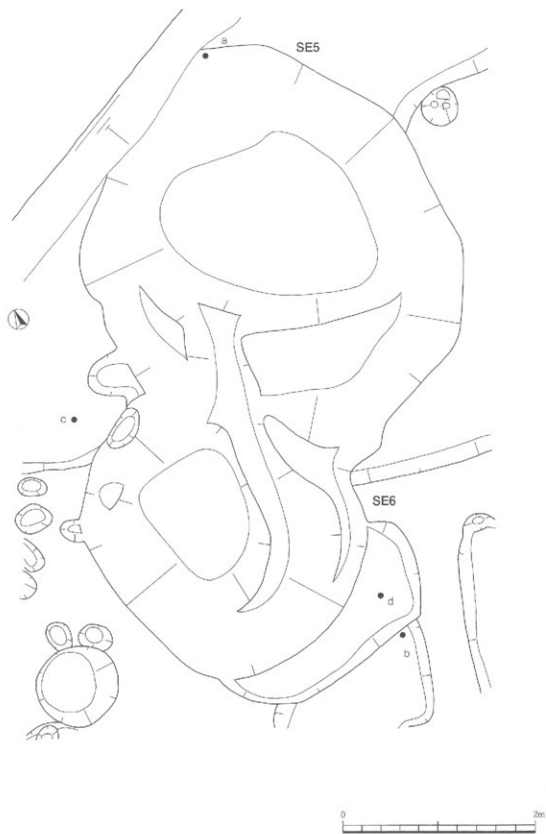
b



- | | |
|--|--|
| <p>1 褐色粘質土 (5Y6/1) (黄色ブロックごく少量混)</p> <p>2 褐色粘質土 (7.5YR6/4) (黄色ブロック, 黒褐色ブロック混)</p> <p>3 黒褐色粘質土 (7.5YR3/1) (黄色ブロック少量混)</p> <p>4 褐色粘質土 (7.5YR4/1) (黄色ブロック, 黒褐色ブロック混)</p> <p>5 褐色粘質土 (7.5YR4/1) (黄色ブロック, 黒褐色ブロック混) (4より2つのブロック多量混)</p> <p>6 褐色粘質土 (5Y6/1, 黄色ブロック, 黒褐色ブロック混)</p> <p>7 黒褐色粘質土 (5YR2/1) (黄色ブロック混)</p> <p>8 6と同様にが黄色ブロック, 黒褐色ブロック大きい</p> <p>9 黒褐色粘質土 (5YR6/1)</p> <p>10 褐色粘質土 (5YR5/1) (黒褐色, 黄色ブロック混)</p> <p>11 褐色粘質土 (5YR5/1) (黒褐色, 黄色ブロック混) (10よりシャリシャリした土)</p> <p>12 7と同色であるがブロックが細かい</p> <p>13 黒褐色粘質土 (7.5YR4/1) (黒褐色色混)</p> | <p>14 濃褐色砂質土 (7.5YR4/1) (黒褐色)</p> <p>15 黒褐色粘質土 (5YR2/1) (褐色ブロック, 黄色ブロック混)</p> <p>16 灰黄色粘砂土 (2.5Y7/2) (黄色ブロック混)</p> <p>17 灰黄色粘砂土 (2.5Y6/2)</p> <p>18 黒褐色粘質土 (7.5YR3/1) (黄砂 1畝)</p> <p>19 細かい黄褐色砂質土 (小石混, 黒褐色粘質土ブロック混)</p> <p>20 弱黄褐色粘質土</p> <p>21 灰黄色粘質土 (2.5Y6/2)</p> <p>22 20の砂質土</p> <p>23 細かい黄褐色砂質土 (砂混)</p> <p>24 細かい黄褐色砂質土に弱黄褐色粘質土混</p> <p>25 褐色粘質土</p> |
|--|--|



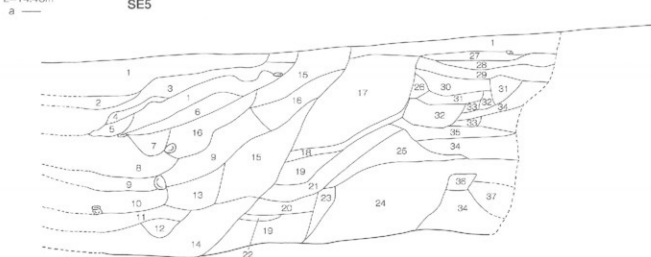
第81図 SE4遠構図・土層断面図 (S=1/40)



第82図 SE5・6遺構図 (S=1/40)

L=14.40m

SE5



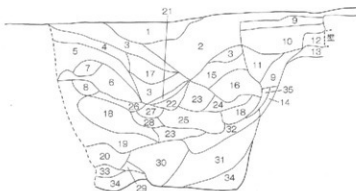
1. 黒灰色粘質土(2.5Y5/1)(ごく少量混)(黄色ブロック混)
2. 黄灰色粘質土(2.5Y6/1)(黄色ブロック多混)
3. 灰白色砂質土(5Y7/1)(黄色ブロック混)
4. 黄灰色粘質土(2.5Y6/1)
5. 黄灰色粘質土(2.5Y6/1)(黄色ブロック多混)
6. 黄灰色粘質土(2.5Y6/1)(黄色ブロック混)
7. 1と同色で黄色ブロック混じらない
8. 1と同色で砂多混
9. 黄灰色粘質土(2.5Y5/1)(礫混、灰色粘質ブロック、黄色塊砂ブロック混)
10. 黄灰色粘質土(N3/1)(礫混)
11. 灰白色粘質土(7.5Y6/1)(黒灰色ブロック混)
12. 黄灰色粘質土(N3/1)(灰色粘砂混)
13. 灰白色粘質土(7.5Y6/1、粘砂)(礫混)
14. 黒灰色粘質土(7.5Y2/1)(礫混)
15. 灰色粘質土(7.5Y6/1、粘砂)(小砂多混)
16. 1より粘砂混

17. 黄灰色(2.5Y6/1)粘砂(礫混、黄色ブロック混)
18. 黄灰色(2.5Y6/1)粘砂(黒色ブロック、黄色マーブル混)
19. 黄灰色(2.5Y6/1)粘砂(黄色ブロック混)
20. 黄灰色(2.5Y6/1)(黒色ブロック、黄色ブロック(固くしまった土)混)
21. 暗褐色(7.5YR5/6)粘砂(黄色ブロック少量混)
22. 暗褐色粘質土(2.5Y7/6)(固くしまった土)
23. 灰色(5Y4/1)粘砂
24. 黄灰色粘質土(粘砂5B6/1)(暗褐色ブロック混、砂多混)
25. 黄灰色粘質土(粘砂5B6/1)
26. 黄褐色粘質土(2.5Y7/3)(灰色ブロック混)
27. 黄灰色粘質土(2.5Y5/1)(黒色ブロック混)

28. 灰白色粘質土(2.5Y7/1)(黒色ブロック、黄色ブロック混)
29. 黄灰色粘質土(2.5Y6/1)(黒色ブロック、黄色ブロック混)
30. 黄灰色粘質土(2.5Y4/1)(黄色ブロック混)
31. 黒色粘質土(10YR2/1)(黄色ごく少量混)
32. 灰白色粘質土(2.5Y7/1)(暗褐色(2.5Y7/6)混)
33. 黄灰色粘質土(2.5Y6/1)(黒色ブロック、黄色ブロック混)
34. 黄灰色粘質土(2.5Y6/1)(黄色ブロック混)
35. 33より黄色ブロック多混
36. 黄褐色ブロック、黄色ブロック混土(25混)
37. 黄色粘質土

L=14.20m
c

SE4

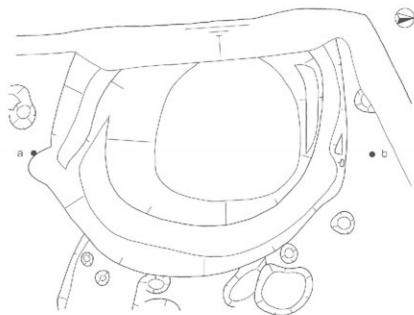


1. 黄褐色粘質土(黄色ブロック混)
2. 灰色粘質土(黄色ブロックごく少量混)(シャリシャリした土)
3. 灰色粘質土(黄色ブロック混)
4. 灰色粘質土(大きい黄色ブロック混)
5. 灰色(5Y7/2)、黄色(5Y7/6)、灰色(5Y4/1)ブロック(大)が混
6. 5より動くがほとんど黄色(5Y7/6)
7. 黄褐色粘質土(10YR3/1)
8. 黄褐色粘質土(2.5Y7/5)(灰白色混)
9. 黄褐色粘質土(7とよく灰色)
10. 黄褐色粘質土(2.5Y6/1)(黒褐色ブロック、黄色ブロック混)
11. 黄褐色粘質土(黒色ブロック、黄色ブロック混)
12. 灰色粘質土(黄色ブロック、黒褐色ブロック混)
13. 灰オーリーブ粘質土(5Y6/2)(黄褐色ブロック少量混)
14. 灰オーリーブ粘質土(5Y5/2)(粘質土よりか)
15. 灰色粘質土(黒褐色粘質ブロック、灰白色ブロック混)(シャリシャリした土)
16. 灰白色粘質土(礫混)
17. 灰色粘質土

18. 黒色粘質土(黄色ブロック(大?)混)混)
19. 灰白色粘質土(さらさらした土)
20. 灰白色粘質土(黄色(2.5Y7/5)ブロック混)
21. 灰色粘質土(5Y4/1)
22. 10と灰色
23. 灰色粘質土(5Y5/1)(灰色5Y4/1ブロック、黄色ブロック混)
24. 黒褐色粘質土
25. 灰色粘質土(粘砂)
26. 灰色粘質土(粘砂)
27. 灰色粘質土(5Y4/1)(黄色ブロック混)
28. 灰色粘質土(黒褐色ブロック混)
29. 灰色粘質土(5Y4/1)
30. 黄色粘質土
31. 灰白色粘質土(黄色の混い土少量)
32. オリーブ黒色粘質土(黒色ブロック、黄色ブロック混)
33. 灰白色粘質土(シャリシャリした土)
34. 黄褐色粘質土(シャリシャリした土、黄色混)
35. 灰色粘質土(5Y5/1)(粘質土よりか)



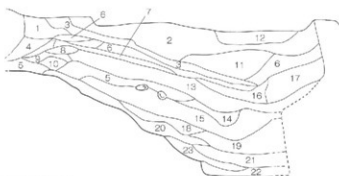
第83図 SE5・6土層断面図 (S=1/40)



L=14.40m

a —

— b

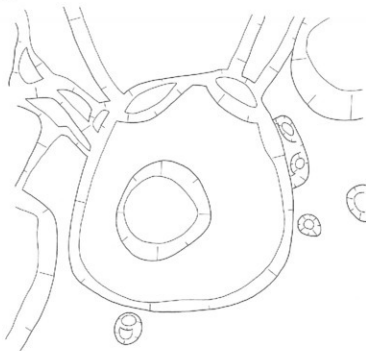


1. 薄灰色粘質土(厚層)
2. 薄明灰色砂質土(薄層)
3. 隆起部周縁状砂質土(隆起部、褐色は鉄の沈殿か?)
4. 細灰色粘質土(黄色ブロック層、厚2~3層厚)
5. 黄色粘質土(薄灰色ブロック層、明灰色がマーブル状に混)
6. 灰色粘質土(黄色ブロック層)
7. 淡明灰色砂質土(黄色ブロック、細灰色ブロック混)
8. 灰色粘質土(薄灰色、黄色、明灰色ブロック少量混)
9. 淡明灰色粘質土(細灰色、黄色ブロック混)
10. 淡明灰色粘質土(黄色ブロック混)
11. 灰色粘質土
12. 灰色粘質土(黄色ブロック層、6より灰色うすい)
13. 淡明灰色砂質土(細灰色ブロック、黄色ブロック混)
14. 黄色粘質土(薄灰色ブロック混)
15. 淡明灰色粘質土(黄色ブロック、細灰色ブロック混)(9より黄色が濃い)
16. 淡明灰色粘質土(明灰色、黄色ブロック混)(褐色は鉄分)
17. 灰色粘質土(薄灰色、黄色ブロック混)
18. 明灰色粘質土(灰色、黄色ブロック混、黄色ブロック一部混)
19. 薄灰色ブロック、黄色ブロック、灰色ブロック混
20. 細灰色粘質土
21. 淡明灰色粘質土
22. 淡明灰色粘質土
23. 細灰色粘質土(黄色ブロック混)

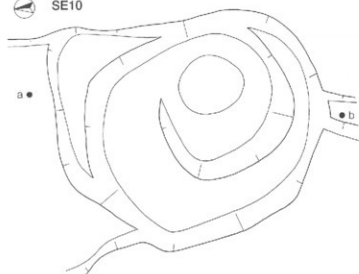


第84図 SE7遺構図・土層断面図 (S=1/40)

SE9

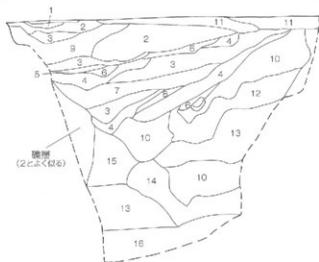


SE10



L=14.20m

a

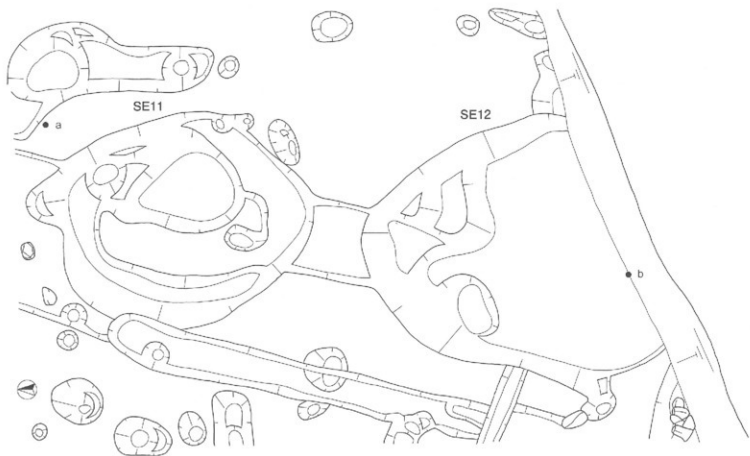


壁層
(2とよく似る)

b

1. 胡黄褐色粘質土 (2.5Y7/6)
2. 淡黄色砂質土 (2.5Y6/2) (硬泥)
3. 淡白色粘質土 (2.5Y7/1) (黒色、黄色ブロック混)
4. 黄褐色粘質土 (2.5Y2/1) (淡白色ブロック、黄色ブロック混)
5. 白色粘質土 (N6/) (黄色ブロック混)
6. 淡色
7. 胡黄褐色粘質土 (2.5Y7/6) (やわらかい土、黒色ブロック混)
8. 7とよく似るが灰白色層
9. 淡色粘質土 (5Y5/1) (黄色ブロック混)
10. 4とよく似るが、黄色ブロック多混
11. 淡白ブロック、黄色ブロック、黒色ブロック混ざり合った土
12. 胡黄褐色粘質土 (2.5Y7/6) (黄褐色ブロックごく微混)
13. 胡黄褐色粘質土 (2.5Y6/8) (固くしまった土)
14. 胡黄褐色粘質土 (2.5Y6/8) (固くしまった土) (黒色ブロック混)
15. 白色粘質土 (5Y6/1)
16. 黄色粘質土 (5Y5/1?)

第85図 SE9・10遺構図・土層断面図 (S=1/40)

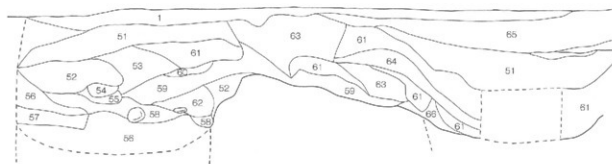


L=14.40m
a

SE11

SE12

b

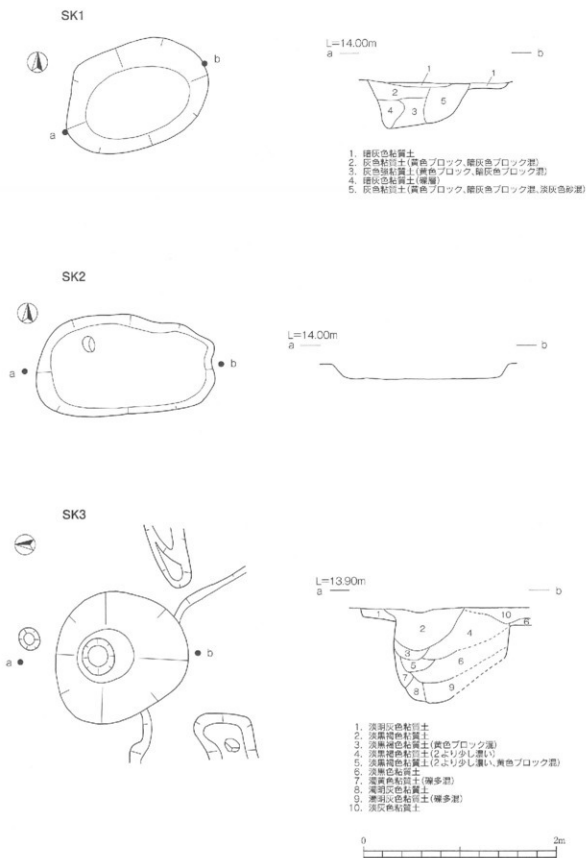


1. 黄灰色粘質土(2.5Y5/1)(薄く少量混る(黄色ブロック混))
47. 灰白色粘質土(5Y8/1)(黒色ブロック,黄色ブロック混)
48. 黄褐色粘質土(黄色ブロック混)
49. 47とよく混るが(黄色ブロック(固くしまった土)大きく多混,黄色ブロック混)
50. 灰色粘質土(N6/)(厚っぽい,酸燻色ブロック,黄色ブロック混)
51. 灰色粘質土(N6/)(硬砂混,小礫混)
52. 黄褐色粘質土(2.5Y7/6)
53. 灰色粘質土(N6/)(硬砂)
54. 黄褐色ブロック,灰色ブロック混土
55. 黄褐色粘質土
56. オートリーフ砂質土(5Y6/2)(川砂)
57. 灰色粘質土(5Y6/1)(川砂)
58. 黄褐色粘質土(5Y5/1)
59. 黄灰色粘質土(5Y7/1)(硬砂,黄褐色,黄色ブロック混)
60. 灰白色粘質土(5Y7/1)(硬砂,黄色ブロック(固くしまった土)混)

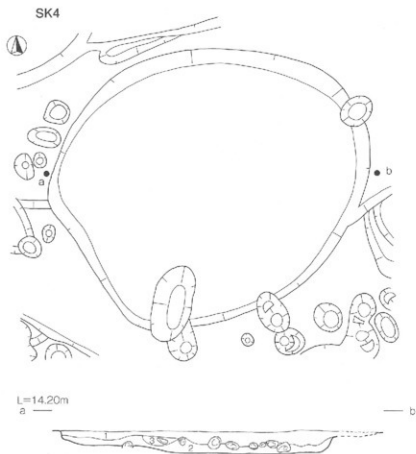
61. 51と黄色(黄色ブロック混)
62. 灰色粘質土(N6/)
63. 黄褐色粘質土(2.5Y7/6)(灰色所々に混)
64. 黄褐色粘質土(2.5Y4/1)(黄色ブロック混)
65. 灰色粘質土(2.5Y4/1)(黄色ブロック混等に混)
66. 灰白色(7.5Y7/1)硬砂(黄褐色粘質土混)



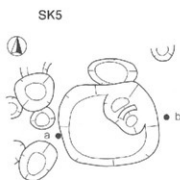
第86図 SE11・12造構図・土層断面図 (S=1/40)



第87図 SK1~3遺構図・土層断面図 (S=1/40)



1. 褐灰色粘質土(10YR4/1)(黄色ブロック型)
2. 褐灰色粘質土(1よりやややうすめ、黄色ブロック多量)
3. 褐灰色粘質土(2と同色、黄色ブロック更に多量)

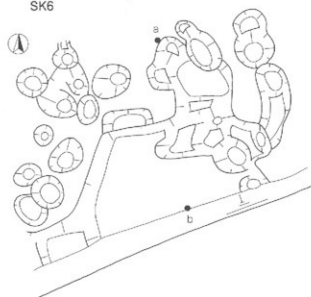


1. 淡褐色黄色粘質土
2. 薄灰色粘質土(黄色ブロック型)
3. 灰黄色粘質土
4. 淡灰黄色粘質土(黄色ブロック(細ない)型)



第88図 SK4・5遺構図・土層断面図 (S=1/40)

SK6

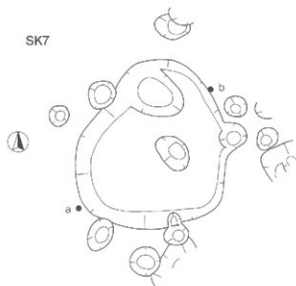


L=14.60m

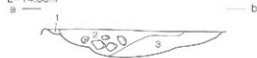


1. 褐色粘質土(黄色ブロック群)
2. 黄褐色粘質土(黄色ブロック群)
3. 灰褐色粘質土(黄色ブロック群)
4. 灰色粘質土(黄色ブロック群)
5. 淡黄色粘質土(灰色ブロック群)
6. 淡黄灰色粘質土
7. 黄色、灰色ブロック群
8. 灰色粘質土(黒褐色、黄色ブロック群)
9. 黄色粘質土
10. 灰色粘質土
11. 褐色粘質土(下層に該分沈殿)
12. 濁状黄色砂質土

SK7



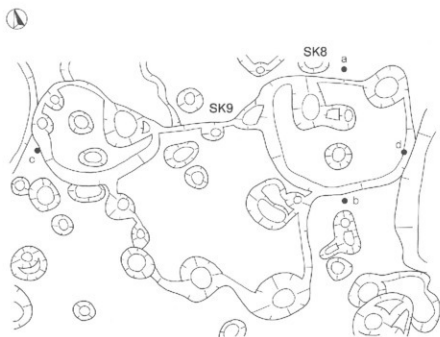
L=14.60m



1. 灰色粘質土
2. 褐色粘質土(黄色ブロック群)
3. 褐色粘質土(黄色ブロック(細かく、多く)混)



第89図 SK6・7遺構図・土層断面図 (S=1/40)



L=14.60m

SK8

b ————— a

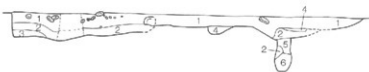


1. 灰色粘質土 (5Y4/1) (黄色ブロック少量混)
2. 灰色粘質土 (5Y5/1) (黄色ブロック混)

L=14.60m

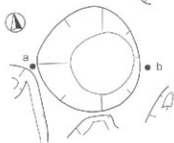
SK9

d ————— c



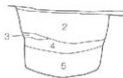
1. 灰色粘質土 (5Y4/1) (黄色ブロック少量混)
2. 灰色粘質土 (5Y5/1) (黄色ブロック混)
3. 灰色粘質土 (5Y6/1) (黄色ブロック混)
4. 淡黄色粘質土 (灰色ブロック混)
5. 淡灰色粘質土 (5Y6/1) (黄色ブロック混, シャリシャリした土)
6. 黒褐色粘質土 (黄色ブロック混, シャリシャリした土)

SK10



L=14.60m

a ————— b

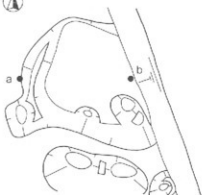


1. 近世層か? (下層に部分沈殿)
2. 灰色砂質土 (5Y6/1) (硬凝)
3. 灰色粘質土 (5Y5/1)
4. 灰色粘質土 (5Y6/1) (灰色粘質ブロック混)
5. 黄灰色砂質土 (5Y4/1) (硬凝)



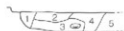
第90図 SK8～10遺構図・土層断面図 (S=1/40)

SK12



L=14.60m

a ————— b

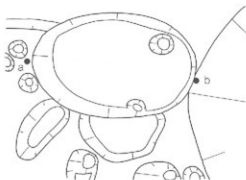


1. 緑灰色粘質土(黄色ブロック、灰色瀝)
2. 黄色ブロック、赤灰色ブロック混
3. 灰色粘質土(黄色ブロック混)
4. 緑灰色粘質土(黄色ブロック混)
5. 暗灰色粘質土(黄色ブロックごく少量)

SK13

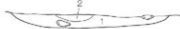


SD4



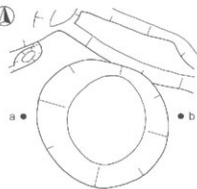
L=14.50m

a ————— b



1. 褐色色粘質土(5Y6/1)
2. 褐灰色粘質土(黒褐色まだらに重(5Y2/1))

SK14

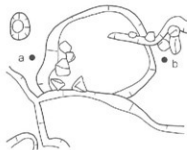


L=14.40m

a ————— b



SK15

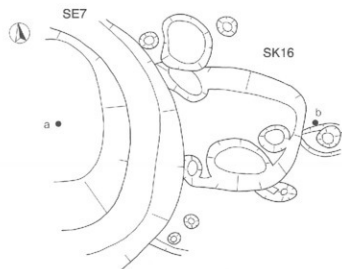


L=14.50m

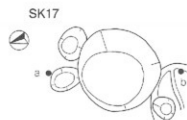
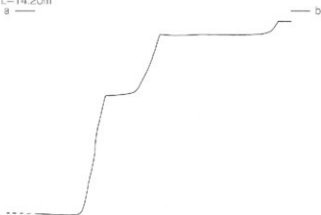
a ————— b



第91図 SK12~15遺構図・土層断面図 (S=1/40)



L=14.20m
a —

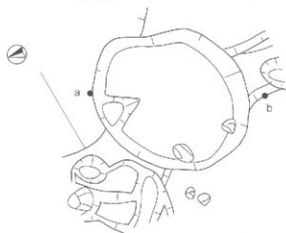


L=14.40m
a —

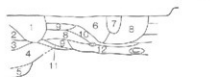


1. 赤灰色粘質土(シャリシャリした感じ)(砂質っぽい)
2. 濃青色粘質土(シャリシャリした感じ)(砂質っぽい)
3. 淡灰色粘質土(シャリシャリした感じ)(砂質っぽい)
4. 淡褐色粘質土
5. 暗褐色粘質土(炭化物混)
6. 淡明褐色粘質土(シャリシャリした感じ)(砂質っぽい)

SK18



L=14.40m
a —

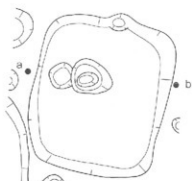


1. 暗灰色粘質土(炭化物混)
2. 灰色粘質土(黄色ブロック多量)
3. 濃青色粘質土(灰色ブロック混)
4. 海灰色粘質土(黄色ブロック、灰色ブロック混)
5. 海灰色粘質土
6. 暗褐色粘質土(黄色ブロック、炭化物混)
7. 暗灰色粘質土
8. 暗褐色粘質土(6より少しうすい)
9. 灰色粘質土(暗褐色粘質土、黄色ブロック混)
10. 暗褐色粘質土(黄色ブロック混)(他より粘性強い)
11. 暗褐色粘質土(黄色がマール状に少量混)
12. 暗褐色粘質土(黄色がマール状に少量混、粘質が他より強い)

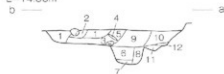


第92図 SK16~18遺構図・土層断面図 (S=1/40)

SK19



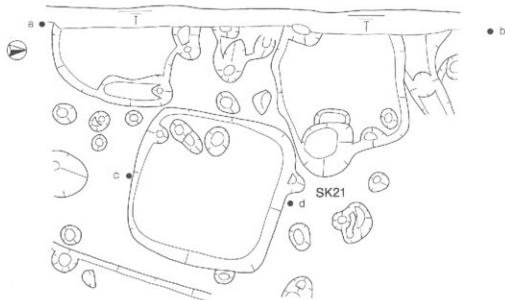
L=14.60m



1. 褐色粘質土(黄色ブロック、炭化物混)
2. 黄褐色粘質土
3. 灰色粘質土
4. 淡黄色粘質土
5. 1とよく似るが黄色ブロック大きく混
6. 胡灰色粘質土(淡胡灰色混、黄色ブロック混)
7. 淡灰色粘質土(赤ぶりシヤリシヤリしている)
8. 淡胡灰色粘質土(赤ぶりシヤリシヤリしている)
9. 褐色粘質土(黄色ブロック少量混)(暗褐色ブロック混)
10. 黄褐色粘質土
11. 赤褐色粘質土(シヤリシヤリしている)
12. 褐色粘質土

SK20

SK22



L=14.50m



1. 灰色粘質土(薄灰色ブロック、黄色ブロック混)
2. 灰色粘質土(黄色ブロック混)
3. 胡灰色粘質土(胡灰色ブロック、黄色ブロック混)
4. 黄褐色粘質土(黄色ブロック混)
5. 左同1と可換
6. 灰色粘質土(薄灰色ブロック混、黄色ブロック(混)混)
7. 黄褐色粘質土(黄色ブロック混)
8. 淡胡灰色粘質土(黄色ブロック混)

L=14.60m

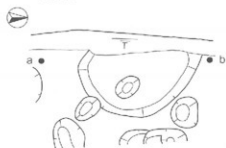


1. 粘土
2. 床土
3. 床土
4. 褐色粘質土(胡灰色砂混)
5. 胡灰色粘質土(炭化物混)
6. 灰色粘質土
7. 黄褐色粘質土(黄色ブロック混、赤分沈混)
8. 胡灰色粘質土(黄色ブロック(混)混)
9. 褐色粘質土(黄色ブロック(混)少量混)
10. 黄褐色粘質土(黄色ブロック、炭化物混)
11. 黄褐色粘質土(黄色ブロック(大)混)
12. 黄褐色粘質土
13. 黄褐色粘質土(黄色ブロック少量、炭化物混)
14. 黄褐色粘質土(黄色ブロック混)
15. 黄褐色粘質土(黄色、黄色ブロック混)
16. 黄褐色粘質土
17. 黄褐色粘質土(黄色ブロック混)



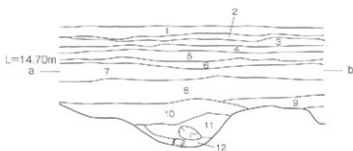
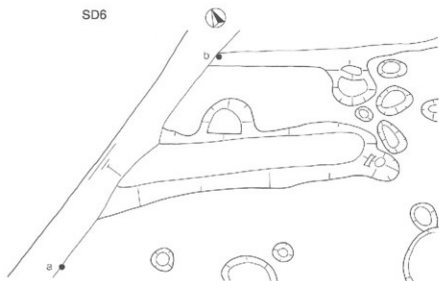
第93図 SK19~22遺構図・土層断面図 (S=1/40)

SK23



1. 粘土
2. 粘土
3. 粘土
4. 褐色粘質土(褐色砂混)
5. 褐色粘質土(灰化物混)
6. 褐色粘質土(灰化物混)
7. 褐色粘質土(黄色ブロック混、下に鉄分沈殿)
8. 灰褐色粘質土(黄色、薄褐色ブロック混)
9. 褐色粘質土(黄色(黄)ブロック混)

SD6

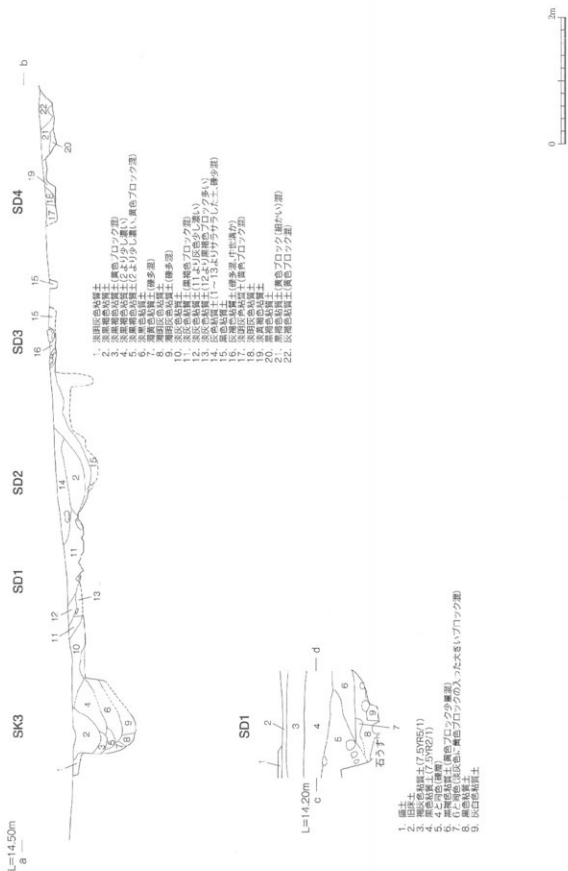


1. 黄土
2. 黄土
3. 黄土
4. 黄土
5. 灰褐色粘質土
6. 褐色粘質土(7.5V6/1)(褐色砂混)
7. 褐色粘質土(7.5V5/1)(褐色砂混)
8. 褐色粘質土(7.5V4/1)(褐色砂混)
9. 褐色粘質土(7.5V4/1)(黄色ブロック混)
10. 褐色粘質土(7.5V4/1)(黄色ブロック多混)
11. 褐色粘質土(7.5V4/1)(黄色ブロック更に多混)
12. 褐色粘質土(7.5V4/1)(粘質強)

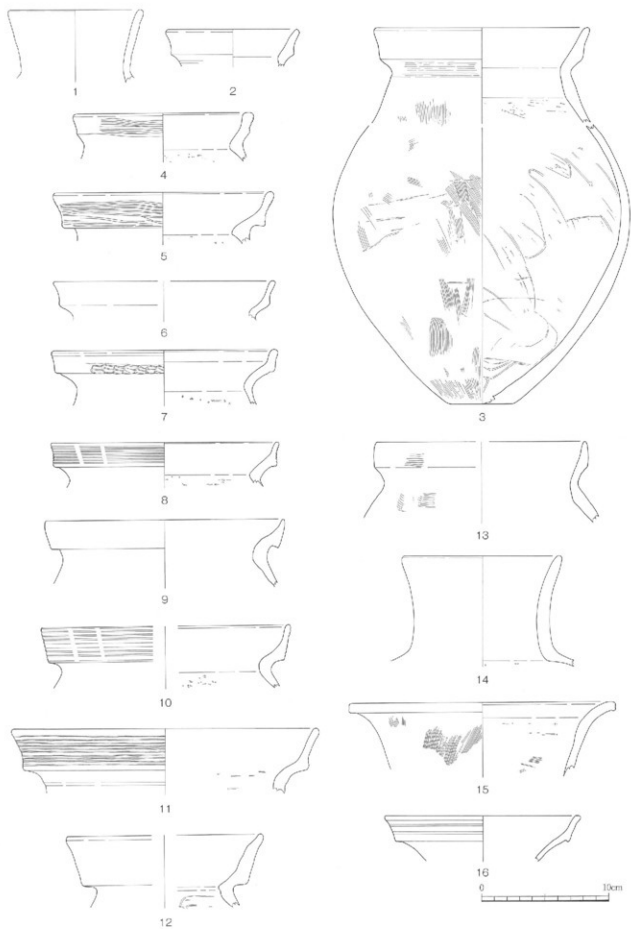
P1



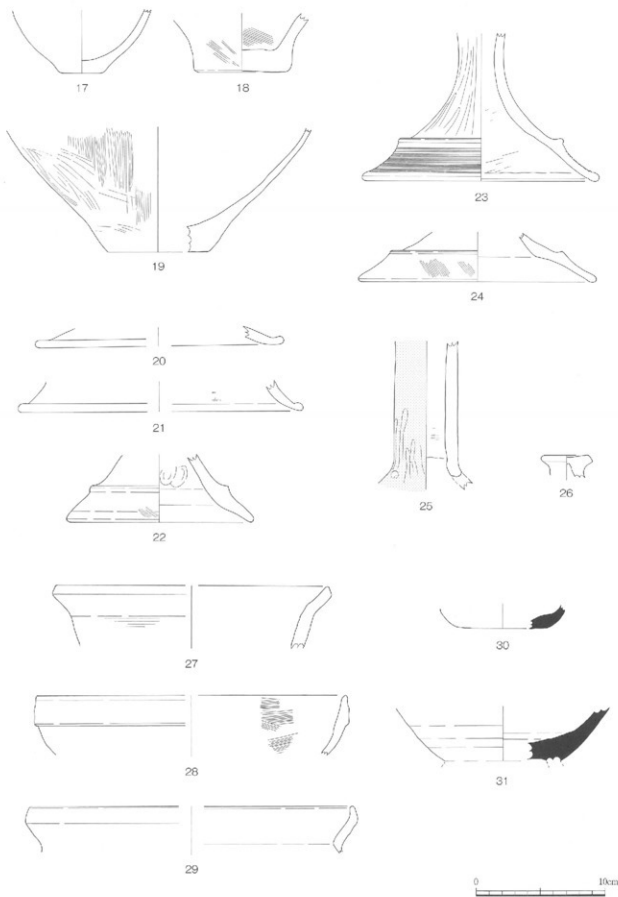
第94図 SK23・SD6・P1遺構図・土層断面図(S=1/40)



第95図 SD1 ~ 4・SK3土層断面図 (S = 1/60)



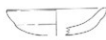
第96图 遗物实测图1 (S=1/3)



第97图 遗物实例图2 (S=1/3)



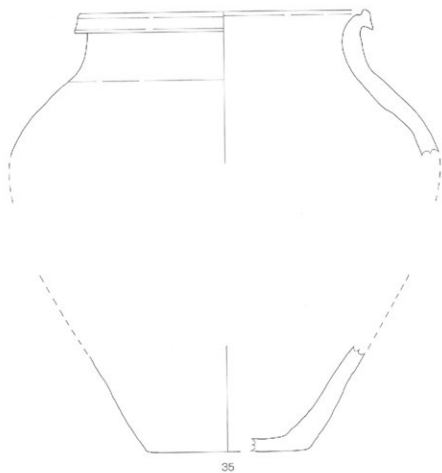
32



34



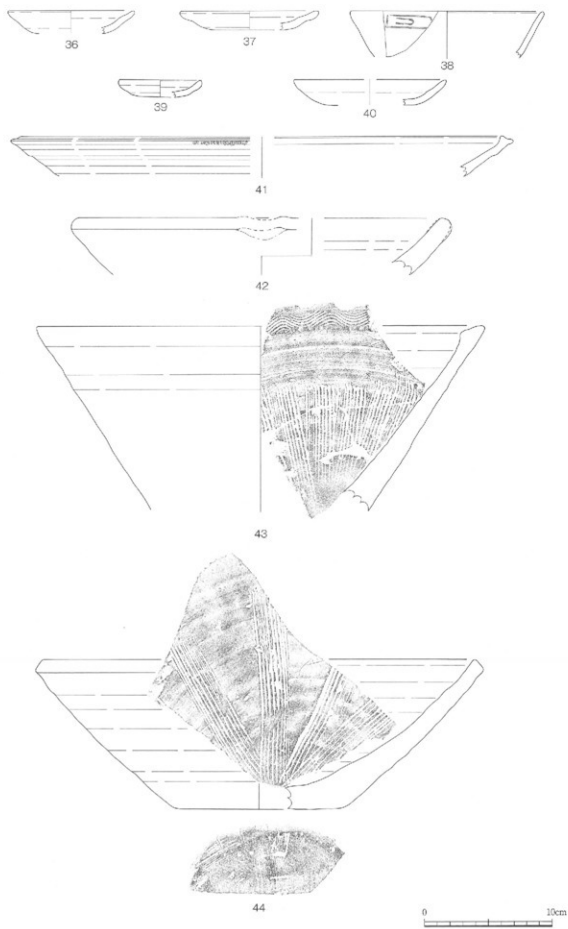
33



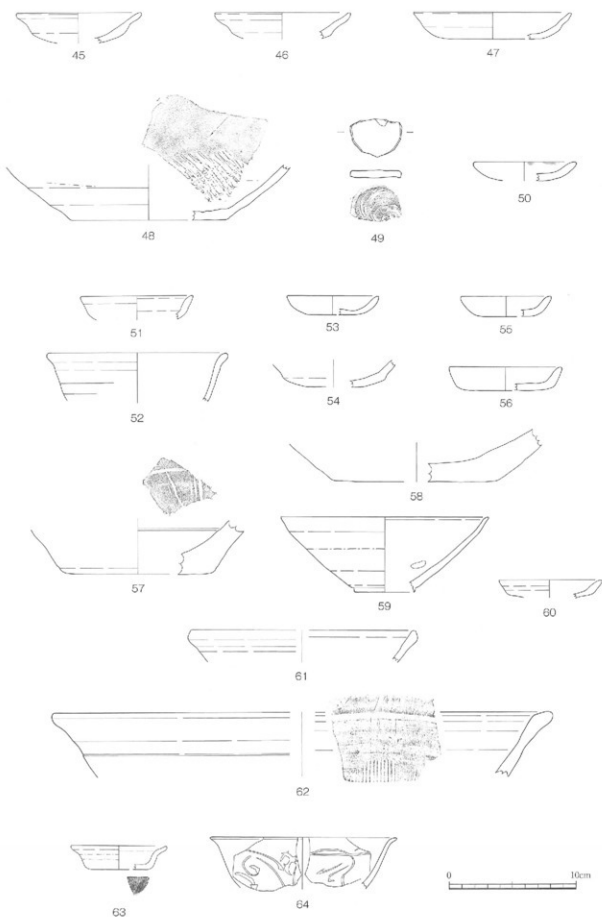
35



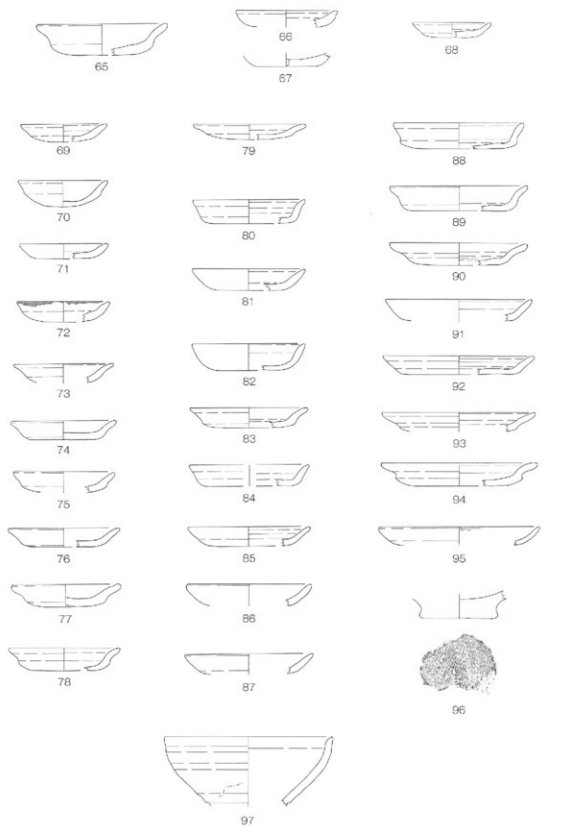
第98図 遺物実測図3 (S=1/3)



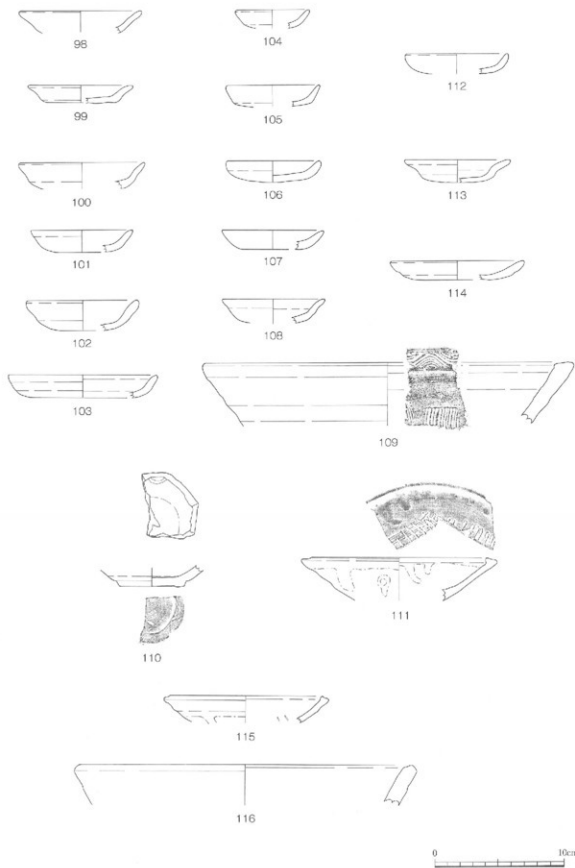
第99図 遺物実測図4 (S=1/3)



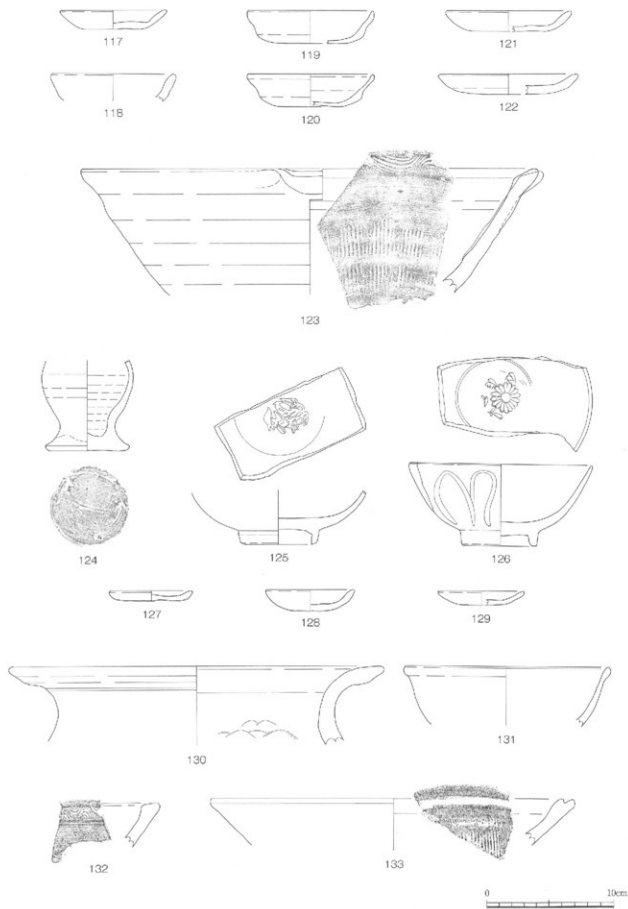
第100图 遗物实测图5 (S=1/3)



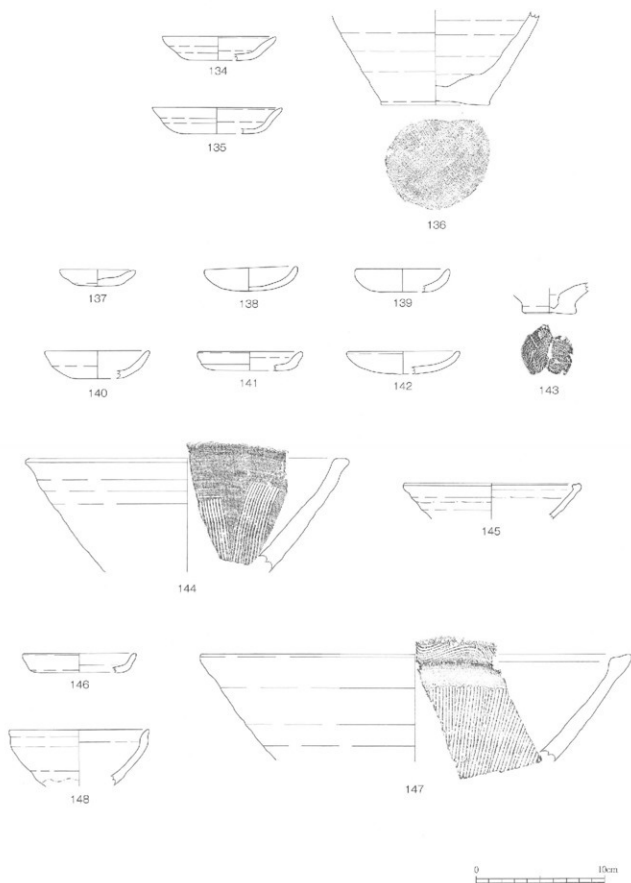
第101図 遺物実測図6 (S=1/3)



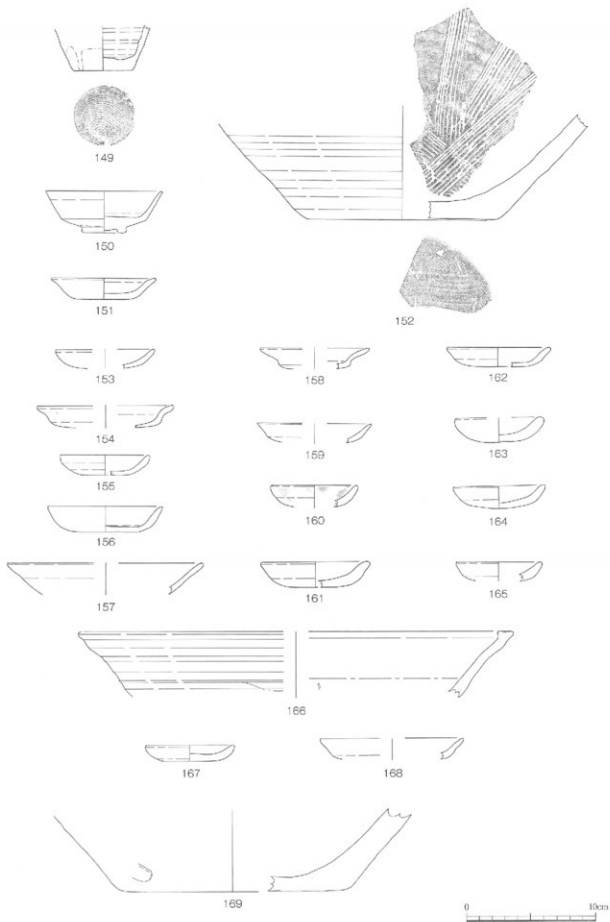
第102图 遗物实测图7 (S=1/3)



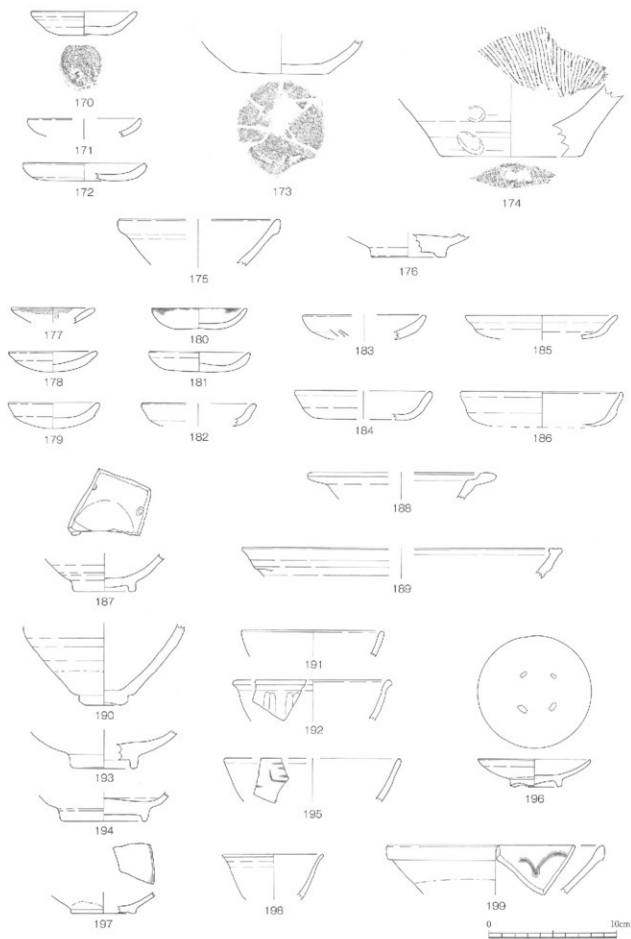
第103図 遺物実測図8 (S=1/3)



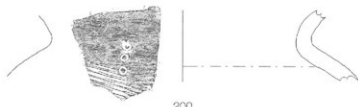
第104图 遗物实测图9 (S=1/3)



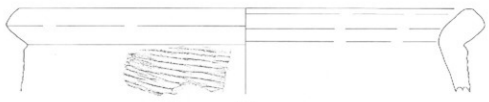
第105図 遺物実測図10 (S=1/3)



第106図 遺物実測図11 (S=1/3)



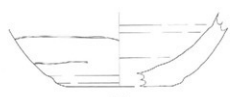
200



201



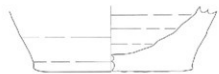
202



203



204



205



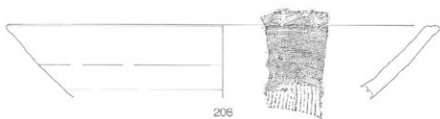
206



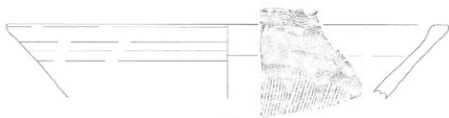
第107图 遺物実測図12 (S=1/3)



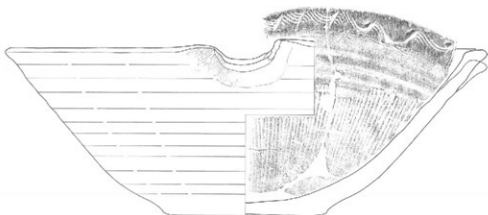
207



208



209



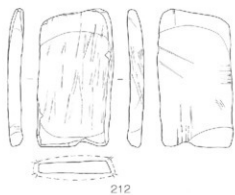
210



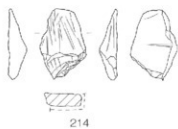
211



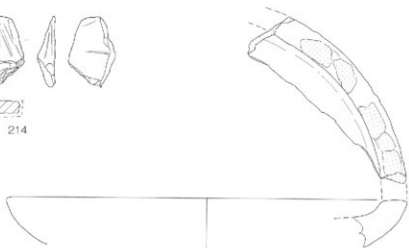
第108图 遗物实测图13 (S=1/3)



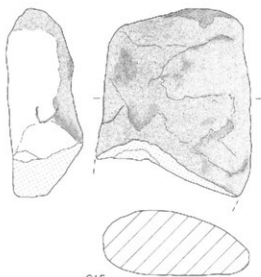
212



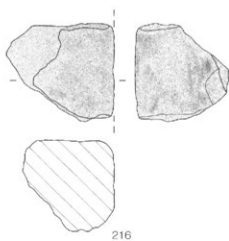
214



213



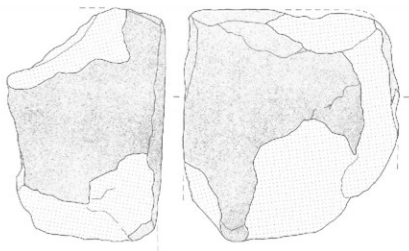
215



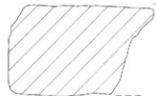
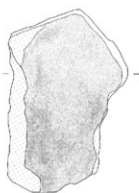
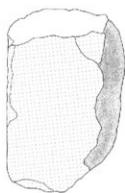
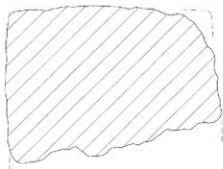
216



第109图 遺物実測図14 (S=1/3)



217

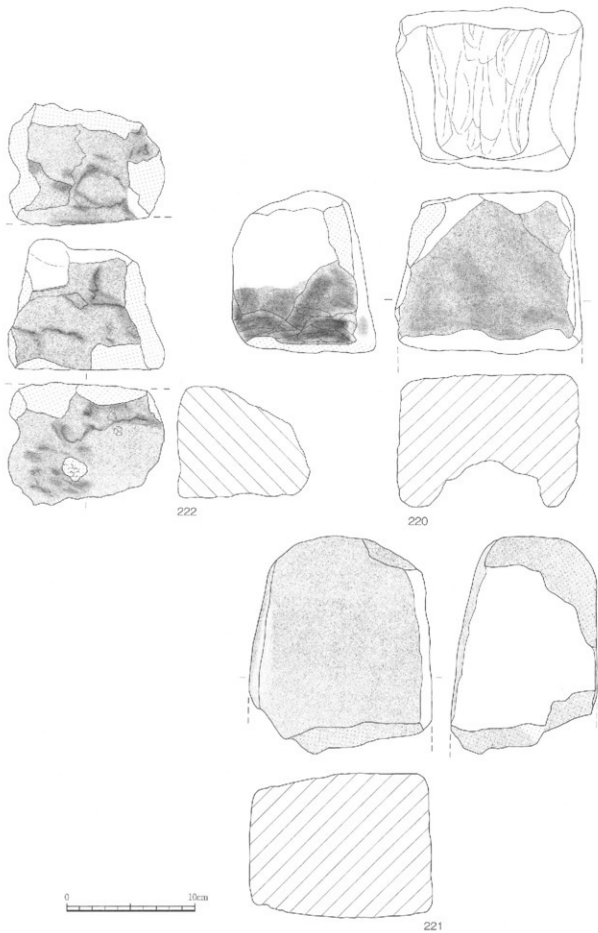


218

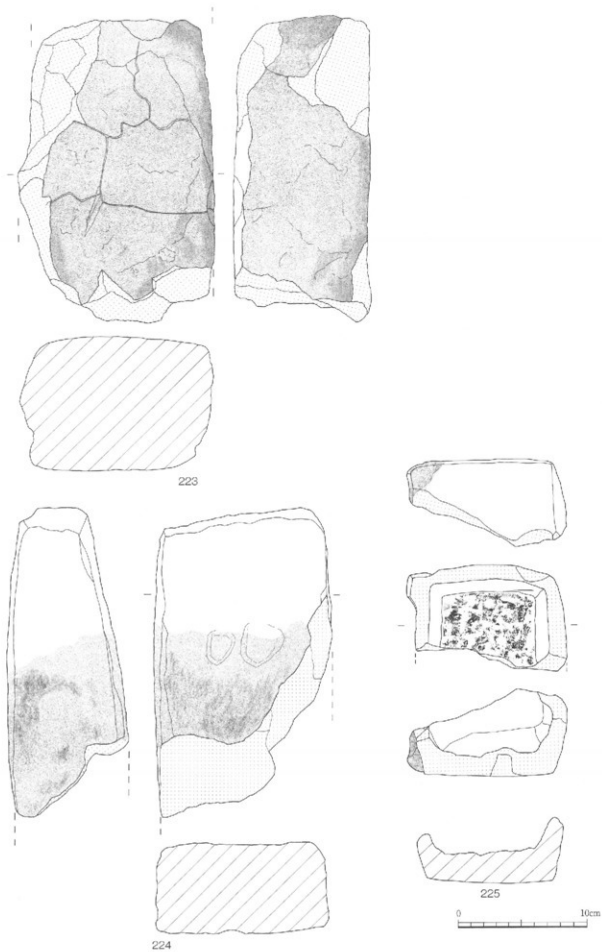
219



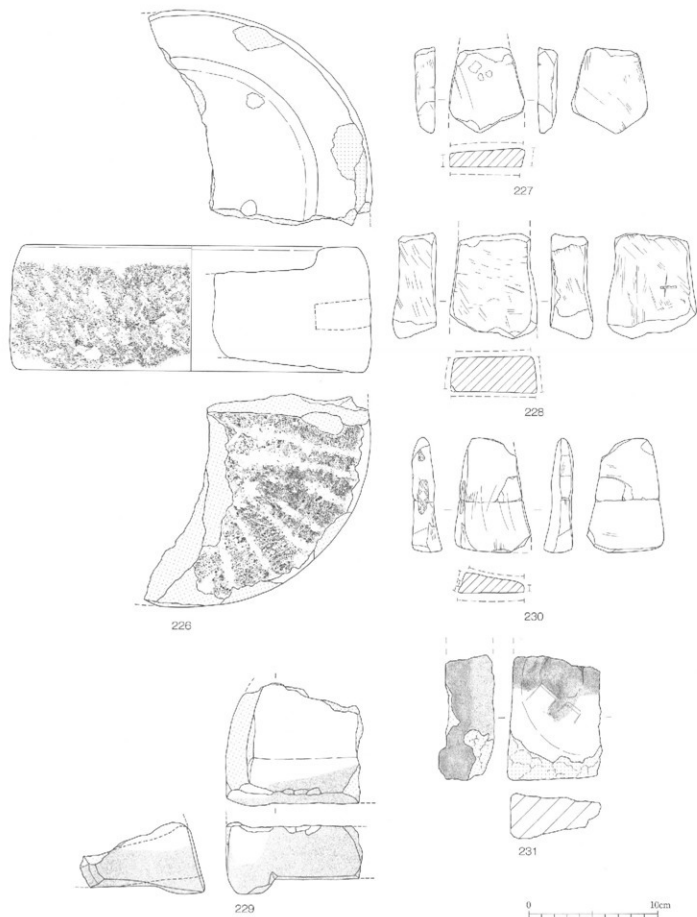
第110図 遺物実測図15 (S=1/3)



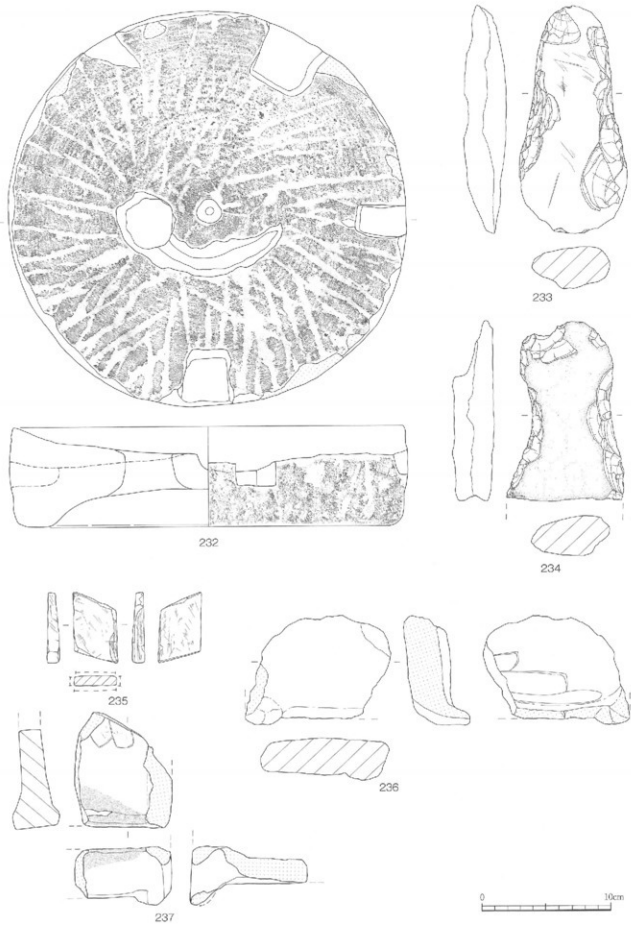
第111图 遺物実測図16 (S=1/3)



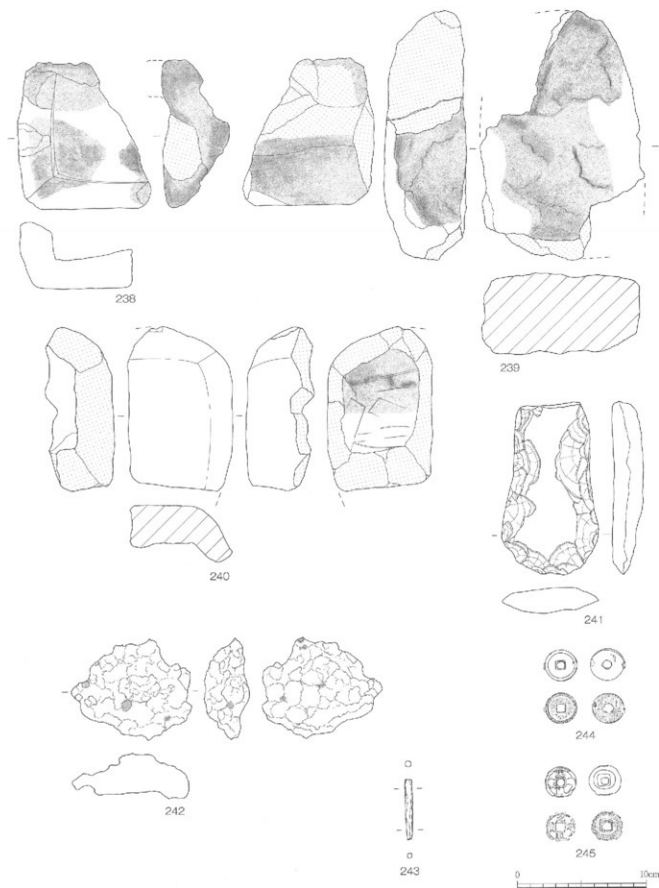
第112図 遺物実測図17 (S=1/3)



第113图 遗物实测图18 (S=1/3)



第114图 遗物实测图19 (S=1/3)



第115图 遺物実測図20 (S=1/3)

第6表 土器・陶磁器観察表

番号	遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)		色調(外)		残存率	備考	実測番号
			(cm)	(cm)	(cm)	調整(内)	色調(内)					
1	SK16	弥生壺	10.7				ナデ	浅黄橙	5/36	内外面赤影、黒色粒、石英	T88	
							ナデ	浅黄橙				
2	SD2	弥生甕	10.4				ヨコナデ	にぶい橙	1/18	黒色粒、赤色酸化粒、石英	T96	
							ヨコナデ	にぶい橙				
3	SD2	弥生甕	16.8	(300)	5.0		ヨコナデ、ハケ	橙	口径1/2 底部完形	赤色粒、外面煤付着		
							ナデ、ケズリ	橙				
4	包含層	弥生甕	14.2				ナデ	にぶい黄橙	1/8	擬円線5条	O42	
							ナデ、ケズリ	にぶい黄橙				
5	包含層	弥生甕	17.3				ヨコナデ	にぶい黄橙	1/5	擬円線7条	O40	
							ヨコナデ	にぶい黄橙				
6	包含層	弥生甕	(17.4)		(14.3)		ヨコナデ	にぶい黄橙	1/12	外面煤付着	N338	
7	包含層	弥生甕	17.7				ナデ	にぶい黄橙	1/5	連続刺突文、赤色粒	O104	
							ナデ、ケズリ	浅黄橙				
8	包含層	弥生甕	17.8				ヨコナデ	にぶい橘	1/7	擬円線7条、外面煤付着	O33	
							ヨコナデ、ケズリ	にぶい黄橙				
9	包含層	弥生甕	18.8		16.0			灰黄褐、浅黄橙	1/4		N337	
								浅黄橙、灰白				
10	包含層	弥生甕	(19.7)				浅黄橙	浅黄橙	(小片)	擬円線8条、赤色粒	O34	
							ナデ、ケズリ	浅黄橙				
11	包含層	弥生甕	24.2		18.8		ヨコナデ	にぶい橙	1/9	擬円線9条、赤色酸化粒、石英	N294	
							ヨコナデ	にぶい橙				
12	包含層	弥生甕	(15.5)				ナデ	にぶい黄橙	1/9	赤色粒	O37	
							ナデ、ケズリ	にぶい黄橙				
13	包含層	弥生甕	(16.4)		頸部 (9.1)			浅黄橙	1/6	擬円線、波状文、赤色酸化粒	N340	
							ヨコナデ	にぶい黄橙				
14	包含層	弥生壺	12.4		10.6			橙	1/5		O236	
								橙				
15	包含層	弥生壺			21.1		ハケ、ナデ	にぶい黄橙	1/6		O41	
							ハケ、ナデ、ケズリ	にぶい黄橙				
16	包含層	弥生壺	15.4				ヨコナデ	浅黄橙、にぶい黄橙	1/6	石英	N339	
							ヨコナデ	浅黄橙、にぶい黄橙				
17	包含層	弥生底部			3.6			にぶい橙	1/2	赤色粒	O117	
							ナデ	にぶい橙				
18	包含層	弥生底部			7.6		ハケ、ナデ	にぶい橙	全周	赤色粒	O39	
							ハケ、ナデ	にぶい橙				
19	包含層	弥生底部			7.9		ハケ、ナデ	橙、にぶい橘	1/6		N336	
							ナデ	橙、にぶい橘				
20	包含層	弥生脚部			(19.5)		ミガキ	にぶい黄橙	(小片)		O35	
							ケズリ、ナデ	灰黄褐				
21	包含層	弥生脚部			(22.4)		ナデ	にぶい黄橙	(小片)	赤色粒	O38	
							ケズリ、ナデ	にぶい黄橙				
22	包含層	弥生脚部			14.7		ハケ、ヨコナデ	にぶい橙	3/4	指頭圧痕	O121	
							ヨコナデ	にぶい橙				
23	包含層	弥生器台			18.6		ミガキ	浅黄橙	1/2	煤付着、擬円線13条	O118 O120	
							ケズリ、ナデ	にぶい黄橙				
24	包含層	弥生脚部			18.7		ハケ	にぶい橙	1/4		O122	
							ナデ	にぶい橙				
25	包含層	弥生器台	頸部 5.0				ミガキ	にぶい橙	全周	外面赤影痕、造かし孔2か所	O119	
							ケズリ、ナデ	にぶい橙				
26	包含層	弥生壺			3.5		ナデ	浅黄橙、黄橙	底部完形	赤色酸化粒、石英	T180	
							ナデ	にぶい黄橙				
27	SI3	弥生甕	(21.4)				ロクロナデ、カキ目	浅黄橙	1/18	赤色粒	N47	
							ロクロナデ	にぶい黄橙				
28	SK4	弥生甕	(24.4)				ロクロナデ	浅黄橙、黒	(小片)		N217	
							ロクロナデ、ハケ	浅黄橙、にぶい黄橙				
29	包含層	弥生甕	(25.5)				ナデ	黒褐	(小片)	赤色粒	O45	
							ナデ	黒褐				

番号	遺構	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整(外) 調整(内)	色調(外) 色調(内)	残存率	備考	実測 番号
30		須恵器 杯			(6.6)	ロクロナデ ロクロナデ	灰 灰	1/4	黒色粒	T34
31	SD2	須恵器 台付蓋			9.0	ロクロナデ ロクロナデ	黄灰 灰白	11/36	自然軸	T97
32	SB1	土師器 皿	8.4			ナデ ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/7		O11
33	SB2	土師器 皿	(9.4)	1.7		ナデ	にぶい黄橙、灰黄橙 にぶい黄橙	(小片)		H130
34	SB2	土師器 皿	7.8	2.1	3.0	ナデ ナデ	にぶい橙 にぶい橙	1/6	赤色粒	O15
35	SB6	加賀 壺	23.5		13.0	ロクロナデ ロクロナデ	灰白、灰、黄灰 灰黄橙、黄灰	口縁1/7 底部1/2	外面底部付近に押印 もしくは工具痕	N162 N163
36	SI1	土師器 皿	10.0	1.8			浅黄橙、にぶい橙 浅黄橙、にぶい橙	5/36		T170
37	SI1	土師器 皿	11.0	1.5	6.0		浅黄橙 ココナデ		赤色酸化粒	T169
38	SI2	青磁 碗	15.2				オリーブ灰 オリーブ灰	1/12	雷文、茶色粒	N54
39	SI3	土師器 皿	6.4	1.9	3.2	ココナデ ココナデ	にぶい橙、浅黄橙 にぶい橙、浅黄橙	1/6	赤色粒	N49
40	SI3	土師器 皿	(12.0)	(2.0)		ココナデ ココナデ	にぶい黄橙、浅黄橙 にぶい黄橙、浅黄橙	1/12	石英	N48
41	SI3	瀬戸美濃 折縁深皿	(39.6)				にぶい黄 にぶい黄	(小片)	灰軸、 細かく叩いたような痕	O36
42	SI4	珠洲 摺鉢				ロクロナデ ロクロナデ	灰 灰	(小片)	黒色粒、石英、海綿骨片	T179
43	SI4	珠洲 摺鉢	35.2			ロクロナデ おろし目	灰 灰	1/13	波状紋	N46
44	SI4	珠洲 摺鉢	35.4	11.8	13.4	ロクロナデ おろし目	灰 灰	7/18	静止糸切り	N161
45	SI6	土師器 皿	9.8	(2.4)		ココナデ ココナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/18	赤色酸化粒、黒色粒、 石英	T168
46	SI6	土師器 皿	10.6	2.1			にぶい黄橙 ココナデ		赤色酸化粒、黒色粒	T167
47	SI6	土師器 皿	12.4	2.1	7.0	ココナデ ココナデ	浅黄橙、淡赤橙、橙 浅黄橙、淡赤橙、橙	1/9	赤色酸化粒、黒色粒、 石英	T166
48	SI6	瀬戸美濃 卸皿			12.2	ロクロナデ おろし目	浅黄 浅黄	1/6	灰軸	N205
49	SI6	瀬戸美濃 小杯			(4.0)		オリーブ黄、灰白 オリーブ黄、灰白	1/2	灰軸、黒色粒	N206
50	SI7	土師器 皿	8.2			ココナデ ココナデ	灰白 灰白	1/6	油煙灰	T78
51	SE2	土師器 皿	8.8			ココナデ ココナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/9	赤色粒	N63
52	SE2	青磁 碗	14.2				明緑灰、緑灰 明緑灰、緑灰	1/12	黒色・茶色粒	N62
53	SE4	土師器 皿	7.2	1.5	4.0		浅黄橙 浅黄橙	1/3	赤色粒	N60
54	SE4	土師器 皿				ココナデ ココナデ	浅黄橙、灰白 浅黄橙、灰白		赤色粒	N65
55	SE6	土師器 皿	7.2	1.6		ココナデ ココナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/12	赤色粒	N67
56	SE6	土師器 皿	9.0	1.9	7.4	ココナデ ココナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/6	赤色粒、石英	N66
57	SE5	珠洲 摺鉢			12.2	ロクロナデ おろし目	灰 灰	1/6		N157
58	SE6	珠洲 摺鉢					灰黄 灰黄	5/11	海綿骨片	N58
59	SE6	瀬戸 平碗	16.4	6.0	4.8		にぶい黄、浅黄 にぶい黄	1/7	灰軸、トチン根	N59

番号	造構	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
						調整(内)	色調(内)			
60	SE8	土師器 皿	8.1			ナデ	浅黄橙	1/6		N158
						ナデ	浅黄橙、にぶい橙			
61	SE10	白磁 碗	17.6				浅黄	(小片)	黒色粒	N61
							灰			
62	SE10	珠洲 漆鉢	(39.4)				灰	(小片)	海綿骨片、 割れた後に被熱	O359
							灰			
63	SE12	瀬戸美濃 折縁小皿	7.5	1.9	5.0		淡黄	1/12	灰粒、黒色粒、糸切り痕	N64
							淡黄			
64	SE12	青磁 碗	14.8				オリーブ灰			H196
65	SK1	土師器 皿	10.3	2.5	5.0	ヨコナデ	にぶい黄橙	1/9	赤色酸化粒、黒色粒、 石英	T82
						ヨコナデ	にぶい黄橙			
66	SK2	土師器 皿	8.0			ヨコナデ、ナデ	浅黄橙	1/6	赤色粒	N210
						ヨコナデ	浅黄橙			
67	SK3	土師器 皿			4.8		橙、にぶい橙、にぶい黄 橙、にぶい橙、にぶい黄	1/4	赤色粒	N209
68	SK3	土師器 皿	6.2	1.2	4.4	ヨコナデ	浅黄橙	口縁1/9 底部1/3	浅黄橙	N208
						ヨコナデ	浅黄橙			
69	SK4	土師器 皿	6.8	1.4	3.0	ヨコナデ、ナデ	浅黄橙、にぶい黄橙	1/7	赤色粒	N224
						ヨコナデ	浅黄橙、にぶい黄橙			
70	SK4	土師器 皿	(7.0)	(2.1)	(2.6)	ナデ	浅黄橙、にぶい黄橙	1/6	赤色粒	N220
						ヨコナデ、ナデ	浅黄橙、にぶい黄橙			
71	SK4	土師器 皿				ヨコナデ、ナデ	浅黄橙、にぶい黄橙	1/5	赤色粒	N229
						ヨコナデ、ナデ	浅黄橙、にぶい黄橙			
72	SK4	土師器 皿	7.3	(1.6)	(4.0)	ヨコナデ、ナデ	浅黄橙、黒褐	1/3	油煙痕、赤色粒	N218 N219
						ヨコナデ、ナデ	浅黄橙、黒褐			
73	SK4	土師器 皿	7.9		1.0	ナデ	浅黄橙、灰白	1/4	赤色粒	N223
						ヨコナデ、ナデ	浅黄橙、灰白			
74	SK4	土師器 皿	8.4	1.5	3.8	ナデ	にぶい黄橙	1/6	赤色酸化粒	T70
						ヨコナデ	にぶい黄橙			
75	SK4	土師器 皿	8.0	(1.7)	(3.6)	ナデ	浅黄橙	5/36	黒色粒、赤色酸化粒	T72
						ヨコナデ	浅黄橙			
76	SK4	土師器 皿	8.8	1.5	4.4	ナデ	浅黄橙	1/9	赤色酸化粒	T74
						ヨコナデ	浅黄橙			
77	SK4	土師器 皿	8.8	1.8	3.0	ナデ	淡赤橙、浅黄橙	2/9	赤色酸化粒	T69
						ナデ	淡赤橙、浅黄橙			
78	SK4	土師器 皿	8.8	1.8	(5.0)	ヨコナデ、ナデ	浅黄橙、にぶい黄橙	口縁1/12	赤色粒	N228
						ヨコナデ	浅黄橙、にぶい黄橙			
79	SK4	土師器 皿	8.9	1.2		ヨコナデ、ナデ	にぶい黄橙	1/3	赤色粒	N215
						ヨコナデ、ナデ	浅黄橙			
80	SK4	土師器 皿	8.9	1.9	6.0	ヨコナデ、ナデ	にぶい黄橙	1/12	赤色粒	N232
						ヨコナデ	にぶい黄橙			
81	SK4	土師器 皿	9.0	1.7	5.3	ナデ	にぶい黄橙	口縁1/12 底体部1/6	赤色粒	N230
						ナデ	にぶい黄橙			
82	SK4	土師器 皿	9.0	2.1	5.2	ヨコナデ、ナデ	浅黄橙	1/6	赤色粒	N221
						ヨコナデ、ナデ	浅黄橙			
83	SK4	土師器 皿	9.4	1.6	5.0	ヨコナデ、ナデ	にぶい黄橙	口縁1/8 底体部1/6	赤色粒	N233
						ナデ	にぶい黄橙			
84	SK4	土師器 皿	(9.5)	(1.7)	(7.0)	ヨコナデ、ナデ	浅黄橙、にぶい黄橙	1/18	赤色粒	N227
						ヨコナデ、ナデ	浅黄橙、にぶい黄橙			
85	SK4	土師器 皿	9.8	1.5	(6.0)	ヨコナデ、ナデ	にぶい黄橙	1/9	赤色粒	N231
						ヨコナデ	にぶい黄橙			
86	SK4	土師器 皿	10.1	1.7		ヨコナデ	にぶい黄橙	5/36	赤色酸化粒、石英	T73
						ヨコナデ	にぶい黄橙			
87	SK4	土師器 皿	10.2			ヨコナデ	浅黄橙	1/9	赤色酸化粒、石英	T76
						ヨコナデ	浅黄橙			
88	SK4	土師器 皿	10.3	2.1	7.4	ヨコナデ、ナデ	灰白、浅黄橙	1/9	赤色粒	N226
						ヨコナデ、ナデ	灰白、浅黄橙			
89	SK4	土師器 皿	11.0	2.0	7.4	ヨコナデ	浅黄橙	(小片)	赤色酸化粒	T71
						ヨコナデ	浅黄橙			

番号	品構	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整(外) 調整(内)	色調(外) 色調(内)	残存率	備考	実測 番号
90	SK4	土師器 皿	11.0	2.1	7.2	ヨコナデ、ナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	口縁1/8 底部1/6	赤色粒	N222
91	SK4	土師器 皿	11.6			ヨコナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/12	赤色粒	N235
92	SK4	土師器 皿	11.9	1.4	9.0	ヨコナデ、ナデ ヨコナデ、ナデ	浅黄橙、にぶい黄橙 浅黄橙、にぶい黄橙	1/9	赤色粒	N225
93	SK4	土師器 皿	12.2		1.1	ヨコナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/9	赤色粒	N234
94	SK4	土師器 皿	12.4	1.8	8.0	ヨコナデ、ナデ ヨコナデ、ナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/12	赤色粒	N216
95	SK4	土師器 皿	12.8	1.4		ナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/12	赤色酸化粒、油煙痕	T75
96	SK4	土師器 皿			6.0	ヨコナデ ナデ	褐灰 褐灰	5/9	静止糸切り、黒色粒、 石英	T68
97	SK4	瀬戸 天目茶碗	13.4				黒、褐、浅黄橙 黒、褐、浅黄橙	1/6	鉄釉、底部露胎、後Ⅳ新	N211
98	SK6	土師器 皿	9.5			ヨコナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/9	赤色酸化粒、黒色粒	T98
99	SK8	土師器 皿	9.2	1.4	5.0	ヨコナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/6	黒色粒、石英	T83
100	SK8	土師器 皿	9.8	2.1		ヨコナデ ヨコナデ	浅黄橙、橙、淡赤橙 浅黄橙、橙、淡赤橙	1/12	赤色酸化粒、石英	T84
101	SK9	土師器 皿	8.0	(1.7)			淡赤橙、浅黄橙 淡赤橙、浅黄橙	1/5	赤色粒	N141
102	SK9	土師器 皿	8.8	2.4	3.0	ヨコナデ ヨコナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/9		T173
103	SK9	土師器 皿	11.7	1.8		ヨコナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/7	赤色粒	N142
104	SK10	土師器 皿	5.8			ナデ ナデ	橙 橙	1/6		H125
105	SK11	土師器 皿	7.4				にぶい橙 にぶい橙	1/6		H124
106	SK12	土師器 皿	7.4	1.7	(4.0)	ヨコナデ ナデ ナデ	淡赤橙、浅黄橙 淡赤橙、浅黄橙	口縁1/4 底部完形		N51
107	SK12	土師器 皿	7.9	1.5	5.0	ヨコナデ ヨコナデ	橙 橙	1/12		N52
108	SK12	土師器 皿	8.0			ヨコナデ ヨコナデ	浅黄橙、にぶい橙 浅黄橙、にぶい橙	1/4		N50
109	SK15	珠洲 摺鉢	29.0			ロクロナデ おろし目	灰 灰	1/18	液状文	N44
110	SK15	瀬戸 平碗			5.1	ロクロ、ケズリ	黒、浅黄橙 オリーブ黄、浅黄	7/18	灰粒、黒色粒	N45
111	SK15	瀬戸美濃 緑釉銅皿	15.5				にぶい黄橙 オリーブ黄、灰オリーブ	1/4	灰釉	N43
112	SK16	土師器 皿	8.2	1.6		ヨコナデ、ナデ ヨコナデ	灰黄褐 灰黄褐	1/6	黒色粒、石英	T91
113	SK16	土師器 皿	8.4	1.8	3.0	ヨコナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	7/36	赤色酸化粒、黒色粒、 石英	T90
114	SK16	土師器 皿	10.8	1.5		ヨコナデ ヨコナデ	橙、にぶい橙、褐灰 橙、にぶい橙、褐灰	7/36	赤色酸化粒	T87
115	SK16	瀬戸美濃 緑釉銅皿	13.0			ロクロナデ、おろし目	灰黄 灰黄	1/9	灰釉	T89
116	SK16	加賀 摺鉢	27.0			ロクロナデ ロクロナデ	黄灰 黄灰	1/9	黒色粒	T92
117	SD1	土師器 皿	8.4	1.5	4.4	ヨコナデ ヨコナデ	橙 橙	1/6	赤色酸化粒、黒色粒	T109
118	SD1	土師器 皿	9.8	2.1		ヨコナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/6	黒色粒、赤色酸化粒、 石英	T111
119	SD1	土師器 皿	10.0	2.6	6.0	ヨコナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/6	赤色酸化粒、黒色粒	T107

番号	遺構	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整(外)		残存率	備考	実測 番号
						調整(内)	色調(内)			
120	SD1	土師器 皿	10.0	2.6	5.0		ヨコナデ 浅黄橙、淡橙	1/3	赤色酸化粒、黒色粒	T106 T110
							ヨコナデ 浅黄橙、淡橙			
121	SD1	土師器 皿	10.0	1.6	6.0		ヨコナデ 淡赤橙、浅黄橙	5/36	赤色酸化粒、黒色粒	T108
							ヨコナデ 淡赤橙、浅黄橙			
122	SD1	土師器 皿	11.0	1.6	6.0		ヨコナデ 浅黄橙	1/9	赤色酸化粒、黒色粒、 石英	T112
							ヨコナデ 浅黄橙			
123	SD1	珠洲 摺鉢	36.0				ロクロナデ にぶい黄橙	1/7	波状紋、指圧痕	N145 N146
							ロクロナデ、おろし目 にぶい黄橙			
124	SD1	瀬戸陶器 花瓶			6.6		にぶい黄、灰黄 灰黄	底部完形	灰軸、石英、黒色粒	H195
125	SD1	青磁 碗		高台 6.0			灰オリーブ	2/3	灰軸、底部外面無軸	H204
							灰オリーブ			
126	SD1	青磁 碗	14.6	6.5	高台 6.0		暗オリーブ 暗オリーブ	口縁1/7 底部完形	灰軸、底部外面無軸	H202
127	SD2	土師器 皿	6.6	0.8	4.4		ヨコナデ 浅黄橙、にぶい赤橙	1/3	黒色粒、赤色酸化粒	T100
							ヨコナデ 浅黄橙、にぶい赤橙			
128	SD2	土師器 皿	7.0	1.7	3.0		ヨコナデ 橙、にぶい赤橙	1/4	赤色酸化粒	T99
							ヨコナデ 橙、にぶい赤橙			
129	SD2	土師器 皿	7.0+	1.1	3.0		ヨコナデ 赤橙、浅黄橙	7/36	赤色酸化粒	T101
							ヨコナデ 赤橙、浅黄橙			
130	SD2	珠洲 壺	29.6		胴部 21.8		ロクロナデ 灰、灰白	1/15	12世紀末～13世紀初か	N155
							ロクロナデ 灰白、灰			
131	SD2	青磁 碗	16.4				ロクロナデ オリーブ灰	1/9	黒色粒	T95
							ロクロナデ オリーブ灰			
132	SD2	珠洲 摺鉢	23.0				ロクロナデ 灰	1/18		T193
							ロクロナデ 灰			
133	SD2	越前 摺鉢	29.0	3.7			ロクロナデ 灰黄褐	1/12	黒色粒	T191
							ロクロナデ 灰黄褐			
134	SD3	土師器 皿	9.0	1.9	5.0		ヨコナデ にぶい橙、浅黄橙	1/5	赤色粒	N148
							ヨコナデ にぶい橙、浅黄橙			
135	SD3	土師器 皿	10.2	2.1	6.6		ヨコナデ にぶい橙、浅黄橙	1/9	赤色粒	N149
							ヨコナデ にぶい橙、浅黄橙			
136	SD3	珠洲 壺			(8.6)		ロクロナデ 灰、灰白	底部完形	静止糸切り痕	N147
							ロクロナデ 灰、灰白			
137	SD4	土師器 皿	6.0	2.0	1.1		ヨコナデ にぶい黄橙	1/4	石英	T187
							ヨコナデ にぶい黄橙			
138	SD4	土師器 皿	7.3	2.0	2.0		ヨコナデ にぶい黄橙、淡赤橙	底部完形	赤色酸化粒、黒色粒、 石英	T182
							ヨコナデ にぶい黄橙、淡赤橙			
139	SD4	土師器 皿	7.5	1.8			ヨコナデ にぶい黄橙	1/6	赤色酸化粒、黒色粒	T186
							ヨコナデ、ナデ にぶい黄橙			
140	SD4	土師器 皿	8.2	2.2	4.0		ヨコナデ 浅黄橙	2/9	赤色酸化粒、黒色粒、 石英	T185
							ヨコナデ、ナデ 浅黄橙			
141	SD4	土師器 皿	8.3	1.5			ヨコナデ にぶい黄橙	5/36	赤色酸化粒、黒色粒、 石英	T190
							ヨコナデ、ナデ にぶい黄橙			
142	SD4	土師器 皿	9.0	1.8			ヨコナデ にぶい黄橙	1/6	赤色酸化粒、黒色粒、 石英	T189
							ヨコナデ、ナデ にぶい黄橙			
143	SD4	土師器 皿			4.0		ヨコナデ 橙	底部完形	赤色酸化粒、糸切り痕	T183
							ヨコナデ 橙			
144	SD4	珠洲 摺鉢	25.6	9.0			ロクロナデ 灰	1/12	海綿骨片、石英	T181
							ロクロナデ、おろし目 灰			
145	SD4	瀬戸 経桶小皿	14.0				ロクロナデ 明赤褐	1/12	軸	T188
							ロクロナデ にぶい橙			
146	SD5	土師器 皿	9.0	1.5			ヨコナデ にぶい黄橙	1/6	赤色酸化粒、石英	T103
							ヨコナデ にぶい黄橙			
147	SD5	珠洲 摺鉢	34.1	(8.5)			ロクロナデ 灰	1/18	波状文、海綿骨片	T94
							おろし目 灰			
148	SD6	瀬戸 天日茶碗	11.0				にぶい黄橙、暗褐 にぶい黄橙、暗褐	1/5	鉄軸、底部露筋、後Ⅳ新	N207
							ケズリ 灰、にぶい黄橙、黒褐 褐灰、灰褐、暗赤褐			
149	PI	瀬戸 小壺			4.5			底部完形	灰軸、回転糸切り痕、 内部に付着物	N150

番号	遺構	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
						調整(内)	色調(内)			
150	P1	白磁 皿	9.2	3.3	3.6		白 白	口縁1/5 底部1/2	底部露胎	N151
151	P2	土師器 皿	8.2	2.7	4.5	ナデ ナデ	にぶい橙 にぶい橙	3/4	油煙痕	H129
152	P3	珠洲 摺鉢			15.0		黄灰 黄灰	1/7		H127
153	P4	土師器 皿	7.8	1.5	(6.2)	ナデ ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	(小片)		H136
154	P4	土師器 皿	(10.8)	1.7	(8.4)	ヨコナデ, ナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	(小片)		H135
155	P5	土師器 皿	6.2	1.6	3.4	ヨコナデ ヨコナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/3	赤色粒	N134
156	P5	土師器 皿	9.0			ヨコナデ, ナデ ヨコナデ	灰白, にぶい黄橙 灰白, にぶい黄橙	2/9		N132 N133
157	P9	土師器 皿	(15.4)		(1.4)	ナデ ナデ	橙 橙		赤色粒	O4
158	P8	土師器 皿	(8.6)	1.7	(5.6)	ヨコナデ, ナデ ヨコナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	(小片)	赤色粒	H138
159	P8	土師器 皿	(9.0)			ヨコナデ, ナデ ナデ	浅黄橙 浅黄橙	(小片)		H137
160	P9	土師器 皿	6.8		1.0	ナデ ナデ	黄灰 黄灰	1/6	内外面煤付着	O8
161	P9	土師器 皿	8.5	2.0	4.5	ナデ ナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/3		O7
162	P10	土師器 皿	8.1	1.5	4.8	ナデ ナデ	橙 橙	1/6	赤色粒	O5
163	P11	土師器 皿	(6.8)	2.0	3.0	ナデ ナデ	橙 橙	1/9		O17
164	P11	土師器 皿	7.2	1.8	4.0	ナデ ナデ	にぶい橙 にぶい橙	1/3	赤色粒	O18
165	P11	土師器 皿	6.7		4.0	ナデ ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/3		O19
166	P11	瀬戸美濃 折縁深皿	(34.4)				オリーブ オリーブ	(小片)	釉、底部無釉	O16
167	P12	土師器 皿	7.0	1.3	4.0	ナデ ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/5		O6
168	P13	土師器 皿	(11.3)			ナデ ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	(小片)		O10
169	P14	珠洲 摺鉢?			18.2	ロクロナデ ロクロナデ	灰白 灰白	1/6	指圧痕	N139
170	SX1	土師器 皿	(8.4)	1.9	4.1	ヨコナデ ヨコナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/3	回転糸切り痕	O114
171	SX1	土師器 皿	(8.9)			ヨコナデ ヨコナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	(小片)	赤色粒	O116
172	SX1	土師器 皿	9.7	1.4	6.0	ナデ ナデ	にぶい橙 にぶい橙	1/3	赤色粒	O113
173	SX1	土師器 皿			7.4	ヨコナデ ヨコナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	全周	赤色粒	O115
174	SX1	珠洲 摺鉢			11.2		黄灰 黄灰	1/6		O43
175	鞍部	白磁 碗	(12.7)				灰白 灰白	(小片)	沈線	O44
176	鞍部	青磁 碗		高台 6.0			オリーブ灰 オリーブ灰	1/2	接地面釉剥ぎ	H128
177	包含層	土師器 皿	6.6			ヨコナデ ヨコナデ	灰白 灰白	1/6	油煙痕	T42
178	包含層	土師器 皿	7.0	1.6	3.0	ナデ ナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/8	赤色粒	O9
179	包含層	土師器 皿	7.2	2.1		ナデ ナデ	浅黄橙 浅黄橙	1/3	赤色粒	O12

番号	遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)		残存率	備考	実測番号	
			(cm)	(cm)	(cm)	調整(内)	色調(内)				
180	包含層	土師器 皿	7.6	1.7	4.2		ナデ ナデ	灰白、黄灰、にぶい橙 灰白、黄灰、にぶい橙	完形	油煙痕	H197
181	包含層	土師器 皿	8.0	1.5			ヨコナデ	橙、にぶい橙	5/9	赤色粒	T28
182	包含層	土師器 皿	(8.8)				ナデ ナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	(小片)		O13
183	包含層	土師器 皿	(9.7)				ナデ ナデ	にぶい橙 にぶい橙	(小片)	赤色粒	O14
184	包含層	土師器 皿	(10.4)		(8.0)		ヨコナデ ヨコナデ	灰黄橙、にぶい黄橙 灰黄橙、にぶい黄橙	1/12	赤色酸化粒	N415
185	包含層	土師器 皿	12.0				ヨコナデ ヨコナデ	にぶい橙 にぶい橙	1/7	赤色粒	T30
186	包含層	土師器 皿	12.8	(2.8)	(8.0)		ヨコナデ ヨコナデ	にぶい橙、浅黄橙 にぶい橙、浅黄橙	1/9	赤色粒	T27
187	包含層	瀬戸 碗			5.0		ロクロナデ ロクロナデ	オリーブ黄、灰白 オリーブ黄、灰白	1/2	灰輪、胎土目2か所	T32
188	包含層	瀬戸美濃 折縁小皿					ロクロナデ ロクロナデ	浅黄 浅黄	(小片)	灰輪	T40
189	包含層	瀬戸 折縁深皿	(25.7)					にぶい黄 にぶい黄	(小片)	灰輪	O20
190	包含層	瀬戸 天目茶碗			3.8		ロクロナデ ロクロナデ	黒褐 黒褐	7/18	鉄輪、底部露胎	T224
191	包含層	青磁 碗	11.3					オリーブ灰 オリーブ灰	1/12		T26
192	包含層	青磁 碗	12.6					オリーブ灰 オリーブ灰	1/9	垂弁文、黒色粒	T25
193	包含層	青磁 碗			5.2		ロクロナデ ロクロナデ	灰オリーブ 灰オリーブ	1/4	底部輪割ぎ	T39
194	包含層	青磁 碗			7.0			オリーブ灰、にぶい黄橙 オリーブ灰、にぶい黄橙	底部完形	底部露胎	N153
195	包含層	青磁 碗	(14.0)					灰オリーブ 灰オリーブ	(小片)	雷文か	T23
196	包含層	白磁 皿	9.0	2.2	高台 4.1			灰白 灰白	完形	高台挟り込み、 擦地面輪割ぎ、底部無輪	H199
197	包含層	白磁 皿			5.1			灰白、灰オリーブ 灰白、灰オリーブ	1/6	灰輪、底部露胎、黒色粒	N414
198	包含層	白磁 碗	8.0				ロクロナデ ロクロナデ	灰白 灰白	1/6		T35
199	包含層	中国白磁 碗	17.2				ロクロナデ ロクロナデ	灰白 灰白	1/9	底部露胎	T31
200	包含層	珠洲 壺		頸部 20.4			ロクロナデ、タタキ ロクロナデ	灰、黒 灰、黒	1/12	竹管文3か所	N143
201	包含層	珠洲 壺	37.6	頸部 34.4			ロクロナデ、タタキ ロクロナデ	オリーブ灰 オリーブ灰	(小片)	V期	N152
202	包含層	珠洲 壺	40.0	頸部 36.8			ロクロナデ、タタキ ロクロナデ	暗青灰、青灰 青灰、オリーブ灰	1/9	V期	N160
203	包含層	珠洲 壺			8.0		ロクロナデ ロクロナデ	黄灰 灰	2/9	輪積み痕	T171
204	包含層	珠洲 壺			10.6		ヨコナデ ヨコナデ	灰 灰	2/9	煤付着	T22
205	包含層	珠洲 壺			12.6		ヨコナデ ヨコナデ	灰白 明褐色、褐灰	2/9	板状圧痕	N144
206	包含層	珠洲 壺	(12.3)					灰 灰	1/18	石英	T24
207	包含層	珠洲 搦鉢	30.8	3.5			ロクロナデ ロクロナデ	暗灰 灰	1/18		T176
208	包含層	珠洲 搦鉢	34.2	(5.8)			ロクロナデ ロクロナデ、おろし目	灰 灰	1/18	V～VI期	T178
209	包含層	珠洲 搦鉢	34.8	5.7			ロクロナデ ロクロナデ、おろし目	黄灰 黄灰	(小片)	波状文	T33

番号	遺構	器種	口径	器高	底径	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測番号
			(cm)	(cm)	(cm)	調整(内)	色調(内)			
210	包含層	珠洲 瑠鉢	38.2	14.0	13.0		灰	底部完形		H201
211	包含層	越前 甕			15.2	ロクロナデ	にぶい黄褐			
						ロクロナデ	にぶい黄褐			

第7表 石製品観察表

番号	遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石材	備考	実測番号
			(cm)	(cm)	(cm)	(g)			
212	SF4	砥石	11.0	6.0	1.3	114.0	凝灰岩	中砥石	T3
213	SI2	基臼 (下臼)	31.4			266.0	火山礫凝灰岩		N418
214	SI7	砥石	5.6	3.3	1.4	21.0	凝灰岩	中砥石	T79
215	SI7	自然石	(14.9)	(12.4)	(6.0)	1350.0	安山岩	煤付着	T77
216	SI8	炉縁石	8.5	7.8	7.3	250.0	凝灰岩	煤付着、被熱	N56
217	SE5	炉縁石	(18.5)	16.9	(12.5)	2445.0	凝灰岩		O156
218	SE5	炉縁石	(17.1)	(12.3)	(8.0)	88.6	凝灰岩		N160
219	SE5	炉縁石	14.5	9.4	9.2	750.0	凝灰岩	煤付着	N57
220	SE7	炉縁石	13.2	14.7	11.4	1410.0	凝灰岩		N59
221	SE9	炉縁石	(17.3)	14.5	11.5	1920.0	凝灰岩	煤付着	O21
222	SK1	炉縁石	(12.3)	(9.8)	(10.5)	657.0	凝灰岩		T81
223	SK1	炉縁石	(24.2)	(15.4)	(107.0)	2660.0	凝灰岩		T80
224	SK4	炉縁石	24.6	14.1	9.6	2270.0	凝灰岩		N55
225	SK4	行火	12.6	8.3	6.9	255.0	軽石凝灰岩	ノミ痕	N212
226	SK4	石臼 (上)	直径 28.6		10.0	2900.0	火山礫凝灰岩		H123
227	SK20	砥石	6.8	6.0	1.6	80.0	凝灰岩	中砥石	N213
228	SK4	砥石	8.4	6.9	3.4	220.0	凝灰岩	中砥石	N214
229	SK8	行火				270.0	軽石凝灰岩		H126
230	SK9	砥石	9.1	6.1	2.3	111.0	凝灰岩	中砥石	N140
231	SK16	行火	(10.0)	(7.4)	(4.5)	170.0	軽石凝灰岩		T85
232	SD1	石臼 (上)	直径 31.5			6800.0	火山礫凝灰岩		H200
233	SD1	打製石斧	18.1	8.4	3.4	542.0	凝灰岩	砥石として使用 したものの転用	T105
234	SD2	打製石斧	(14.3)	(9.1)	(3.3)	450.0	火山礫凝灰岩		T192
235	SD4	砥石	5.6	3.6	1.0	28.0	泥岩	仕上げ砥石	T184
236	SD5	行火	(8.7)	(1.1)	(5.3)		凝灰岩	ノミ痕	T102

番号	遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量 (g)	石材	備考	実測 番号
			(cm)	(cm)	(cm)				
237	P15	行火				142.0	凝灰岩	ノミ痕	O2
238	包含層	行火	(11.7)	(10.4)	(5.3)	197.0	凝灰岩		T41
239	包含層	炉縁石	(19.9)	(13.0)	(6.5)	1010.0	凝灰岩		T175
240	包含層	行火	(13.0)	(8.3)	(5.4)	309.0	凝灰岩	ノミ痕	T174
241	包含層	打製石斧	13.7	7.6	2.5	330.0	緑色凝灰岩		O46

第8表 鉄製品・銭貨観察表

番号	遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量 (g)	備考	実測 番号
			(cm)	(cm)	(cm)			
242	SK8	鉄滓	8.0	9.4	3.6	250.0		T93
243		釘	4.3			1.9		H131
244	SD3	銭	2.5			36.0		O206
245	SD3	銭	2.4			28.0		O205

第6章 第20次（平成17年度）調査

第1節 発掘調査の経過

本発掘調査業務は、野々市市北西部土地区画整理地区内の野々市市道二日市・松任線工事に伴う事業を調査原因とする。

平成17年10月14日、野々市町は本開発予定地における埋蔵文化財発掘調査の実施計画書を野々市町北西部土地区画整理組合（以下、北西部組合と呼称する。）に提出し、その計画書に基づいて、野々市町と北西部組合との間で委託契約を締結した。

現地調査は、12月1日の調査区設定より開始した。12月5日からは大型掘削機を使って遺構面までの土砂を掘削する作業を実施し、12月10日には完了した。掘削機による表土除去作業と併行して、12月7日からは、発掘作業員による人力作業が始まった。人力の作業内容は遺構精査や遺構掘削などで、これらの作業中に調査員は図面の記録を行った。降雪等により調査は難航を極めたが、平成18年2月14日には全ての遺構掘削が完了し、2月17日には調査区の清掃作業を開始。2月27日には清掃作業が完了し、同日にラジコンヘリコプターによる空中写真測量を実施して現地調査作業は終了した。

第2節 遺構

SB1（第61・116・121図）

調査区北東部に位置する掘立柱建物である。建物東側の一部は12次SB6に位置する。遺構の規模は南北に約3.7m、東西に約10.8mで面積は約40.0mである。ピットの深さは約40～120cmである。

SB2（第116・122図）

調査区北東部に位置する掘立柱建物であり、後述のSK2～5などと位置を同じくする。遺構の規模は南北に約2.8m、東西に約7.0mで面積は約20.0mである。ピットの深さは約40～70cmである。

SB3（第116・123図）

調査区北東部に位置する掘立柱建物であり、後述のSK2～5などと位置を同じくする。遺構の規模は南北に約4.5m、東西に約4.7mで面積は約21.0mである。ピットの深さは約40cmである。

SB4（第116・124図）

調査区北東部に位置する掘立柱建物であり、先述のSB1～3と位置をおおむね同じくする。遺構の規模は南北に約5.3m、東西に約4.0mで面積は約21.2mである。ピットの深さは約50～110cmである。

SB5（第61・116・125図）

調査区東部に位置する掘立柱建物である。建物東側の一部は12次SB7に位置する。先述のSB1～4の南側に位置する。遺構の規模は南北に約8.0m、東西に約8.0mで面積は約64.0mである。ピットの深さは約50～75cmである。

SB6（第116・126図）

調査区北西部に位置する掘立柱建物である。遺構の規模は南北に約6.2m、東西に約2.2mで面積は約13.6mである。ピットの深さは約30～40cmである。

SI1（第116・127図）

調査区北東部壁際に位置する竪穴建物である。先述のSB1～4の北側に位置し、後述のSE1が東側に接している。SE1と切り合い関係があり、SI1の方がSE1に比べて古い。遺構の規模は南北に約2.3m、東西に約2.3mである。深さは約50cmで、覆土は灰色粘質土が主体である。

SI 2 (第116・128図)

調査区北東部壁際に位置する堅穴建物である。先述のSI1の東側に位置し、後述のSE1が西側に接している。遺構の規模は南北に約4.3m、東西に約1.0mである。深さは約40cmで、覆土は灰色粘質土が主体である。

SI 3 (第116・129図)

SI2・4・5と合わせて調査区北東部壁際に位置する堅穴建物である。SI4・5と切り合い関係があり、古い順にSI5・SI3・SI4となる。遺構の規模は南北に約3.0m、東西に約1.0mである。深さは約40cmで、覆土は褐灰色粘質土が主体である。

SI 4 (第116・129図)

調査区北東部壁際に位置する堅穴建物であり、遺構の規模は南北に約1.8m、東西に約1.7mである。深さは約60cmで、覆土は褐灰色粘質土が主体である。

SI 5 (第116・129図)

調査区北東部に位置する堅穴建物であり、遺構の規模は南北に約2.7m、東西に約2.1mである。深さは約60cmで、覆土は褐灰色粘質土が主体である。

SI 6 (第116・130図)

調査区東部壁際に位置する堅穴建物であり、後述のSI7の東側に位置する。遺構の規模は南北に約2.3m、東西に約1.5mで、深さは約20～50cmである。

SI 7 (第116・130図)

調査区東部に位置する堅穴建物であり、先述のSI6の西側に位置する。後述するSK12と切り合い関係があり、SI7の方がSK12に比べて古い。遺構の規模は南北に約3.8m、東西に約3.1mである。深さは約16cmで、覆土は褐灰色粘質土が主体である。

SI 8 (第116・131図)

調査区東部に位置する堅穴建物であり、先述のSI7の内側に位置する。後述するSI9と切り合い関係があり、SI8の方がSI9に比べて新しい。遺構の規模は南北に約6.5m、東西に約1.5mである。深さは約60cmで、覆土は灰色粘質土が主体である。

SI 9 (第116・132図)

調査区東部に位置する堅穴建物であり、先述のSI8が東側に接する。後述するSD1と切り合い関係があり、SI9の方がSD1に比べて新しい。遺構の規模は南北に約3.7m、東西に約3.2mである。深さは約50～70cmで、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SI 10 (第116・133図)

調査区北部に位置する堅穴建物であり、先述のSI8の北西部分に位置する。後述するSD1と切り合い関係があり、SI10の方がSD1に比べて新しい。遺構の規模は南北に約4.5m、東西に約1.5mである。深さは約20cmで、覆土は黄色ブロックの混じる褐灰色粘質土が主体である。

SE1 (第116・134図)

調査区北東部に位置する井戸状遺構で、前述のSI11が西側に隣接する。遺構の規模は南北に約2.0m、東西に約3.5mである。深さは約2.6mであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SE2 (第116・135図)

調査区南東部に位置する井戸状遺構で、前述のSI8・9の南東方向に位置する。後述するSD1と切り合い関係があり、SE2の方がSD1に比べて新しい。遺構の規模は南北に約2.0m、東西に約2.0mで円形を呈する。深さは約1.0mであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SE3 (第116・136図)

調査区南西部壁際に位置する井戸状遺構である。遺構の規模は南北に約2.7m、東西に約1.5mで円形を

呈する。深さは約1.5mであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK1 (第116・137図)

調査区北東部に位置する土坑で、SB1の南側に位置する。後述するSK2～7とともに、調査区北東部に点在する土坑群である。遺構の規模は南北に約0.9m、東西に約0.7mで深さは約65cmであり、覆土は灰色粘質土が主体である。

SK2 (第116・137図)

調査区北東部に位置する土坑で、後述のSK3～6とおおむね位置を同じくしている。その切り合い関係から新しい順にSK2、SK4、SK5、SK6となる。またSK3はSK2より古いが、その他の新旧関係は切り合いからは判断できない。SK2の規模は南北に約0.9m、東西に約2.3mで深さは約10cmであり、覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK3 (第116・137図)

調査区北東部に位置する土坑で、遺構の規模は南北に約1.8m、東西に約2.1mである。深さは約30cmで覆土は褐灰色粘質土が主体である。

SK4 (第116・137図)

調査区北東部に位置する土坑で、遺構の規模は南北に約0.8m、東西に約2.4mである。深さは約20～60cmで覆土は黄色ブロックの混じる褐灰色粘質土が主体である。

SK5 (第116・137図)

調査区北東部に位置する土坑で、遺構の規模は南北に約0.9m、東西に約1.7mである。深さは約40cmで覆土は黄色ブロックの混じる褐灰色粘質土が主体である。

SK6 (第116・137図)

調査区北東部に位置する土坑で、遺構の規模は南北に約1.7m、東西に約1.4mである。深さは約70cmで覆土は黄色ブロックの混じる褐灰色粘質土が主体である。

SK7 (第116・137図)

調査区北東部に位置する土坑で、前述のSK2の北側に位置する。遺構の規模は南北に約0.8m、東西に約0.9mで深さは約35cmである。覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK8 (第116・138図)

調査区北東部に位置する土坑で、前述のSK7の北西側に位置する。遺構の規模は南北に約0.5m、東西に約1.5mで深さは約40cmである。覆土は褐色系の粘質土が主体である。

SK9 (第116・138図)

調査区北東部に位置する土坑で、前述のSK7の北西側に位置する。遺構の規模は南北に約2.4m、東西に約2.0mで深さは約30～70cmである。覆土は炭化物の混じる褐灰色粘質土が主体である。

SK10 (第116・139図)

調査区北東部に位置する土坑で、前述のSK8の北側に隣接している。SK6・SK11と切り合い関係があり、古い順にSK11・SK10・SK6となる。遺構の規模は南北に約3.2m、東西に約2.1mで深さは約40cmである。覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK11 (第116・139図)

調査区北東部に位置する土坑で、前述のSK10の西側に隣接している。遺構の規模は南北に約1.4m、東西に約1.1mで深さは約10cmである。覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK12 (第116・130図)

調査区東部に位置する土坑で、前述のSK7の東側に隣接している。遺構の規模は南北に約1.3m、東西に約1.4mで深さは約140cmである。覆土は炭化物や黄色ブロックの混じる褐灰色粘質土が主体である。

SK13 (第116・140図)

調査区中央部東側に位置する土坑で、前述のSK10の南西側に位置する。後述するSK14内に掘り込まれている。遺構の規模は南北に約1.0m、東西に約1.0mで深さは約20cmである。覆土は炭化物や黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SK14 (第116・140図)

調査区中央部東側に位置する土坑で、前述のSK10の南西側に位置する。遺構の規模は南北に約2.1m、東西に約4.0mで深さは約80cmである。覆土は炭化物や黄色ブロックの混じる淡黄色～灰色粘質土が主体である。

SK15 (第116・133図)

調査区北部に位置する土坑で、前述のSK10の北側に隣接している。遺構の規模は南北に約1.5m、東西に約1.7mで深さは約40cmである。覆土は炭化物や黄色ブロックの混じる褐灰色粘質土が主体である。

SK16 (第116・142図)

調査区中央部北側に位置する土坑で、前述のSK14の西側に位置している。遺構の規模は南北に約2.2m、東西に約2.1mで深さは約60cmである。覆土は黄色ブロックの混じる褐灰色粘質土が主体である。

SK17 (第116・141図)

調査区中央部北側に位置する土坑で、前述のSB6の東側に位置している。遺構の規模は南北に約1.7m、東西に約1.0mで深さは約40cmである。覆土は灰色粘質土が主体である。

SK18 (第116・141図)

調査区中央部南西側に位置する土坑で、後述のSX2の南側に位置している。遺構の規模は南北に約1.2m、東西に約0.9mで深さは約40cmである。覆土は黄色～褐灰色粘質土が主体である。

SK19 (第116・141図)

調査区中央部南西側に位置する土坑で、先述のSK18の南側に位置している。遺構の規模は南北に約1.1m、東西に約0.8mで深さは約35cmである。覆土は黄色ブロックの混じる黄灰色粘質土が主体である。

SK20 (第116・141図)

調査区南西部に位置する土坑で、先述のSK19の南西方向に位置している。遺構の規模は南北に約2.0m、東西に約1.3mで深さは約30cmである。覆土は黄色ブロックの混じる黄灰色粘質土が主体である。

SX1 (第116・142・143図)

調査区中央部に位置する不定形遺構である。遺構の規模は南北に約6.5m、東西に約6.0mである。覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SX2 (第116・144図)

調査区中央部に位置する不定形遺構である。先述のSX1の南側に位置する。遺構の規模は南北に約6.5m、東西に約6.0mである。覆土は黄色ブロックの混じる灰色粘質土が主体である。

SD1 (第116図)

調査区中央部から南東部に位置する遺構であり、先述のSE2が遺構の東側に位置する。遺構の規模は最長部で約18.5m、幅は約0.6mを測る。方位の南北を 0° としたとき西に約 80° 振れる。

SD2 (第116図)

調査区南東部に位置する遺構であり、先述のSD1の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約10.5m、幅は約0.5mを測る。方位の南北を 0° としたとき西に約 65° 振れる。

SD3 (第116・145図)

調査区南東部に位置する遺構であり、先述のSD2の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約13.5m、幅は約1.0mを測る。方位は東西方向にほぼ水平である。

SD4 (第116・145図)

調査区南東部に位置する遺構であり、先述のSD3の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約13.0m、幅は約0.3mを測る。方位の南北を0°としたとき西に約80°振れる。

SD5 (第116・144・145図)

調査区南東部に位置する遺構であり、先述のSD4の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約8.0m、幅は約0.5mを測る。方位の南北を0°としたとき西に約80°振れる。

SD6 (第116・145図)

調査区北部に位置する遺構で、南東方向に向かって湾曲している。遺構の規模は最長部で約4.0m、幅は約0.6mを測る。

SD7 (第116図)

調査区南部壁際に位置する遺構で、先述のSD5の西側に位置する。遺構の規模は最長部で約4.5m、幅は約0.7mを測る。方位は南北方向にはほぼ水平である。

SD8 (第116図)

調査区南部に位置する遺構で、先述のSD7の西側に位置する。遺構の規模は最長部で約5.0m、幅は約0.6mを測る。方位は南北方向にはほぼ水平である。

P1 (第116図)

調査区北東部に位置するピットで、前述のSI5の西側に位置する。直径約35cmを測る。

P2 (第116図)

調査区北東部に位置するピットで、前述のSK8内に位置する。直径約20cmを測る。

P3 (第116図)

調査区北東部に位置するピットで、前述のSK11の北西側に位置する。長軸約40cm、短軸25cmの楕円形を呈する。

P4 (第116図)

調査区北東部に位置するピットで、前述のSK11の南西側に位置する。長軸約40cm、短軸30cmの楕円形を呈する。

P5 (第116図)

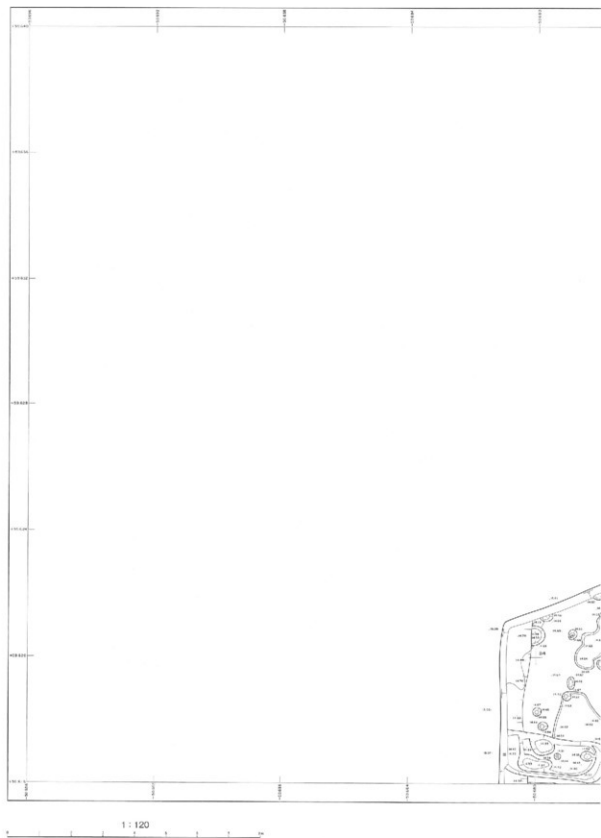
調査区北東部に位置するピットで、前述のSD1の北側に位置する。直径約30cmを測る。

第3節 遺物

本調査区の遺物はほとんどが中世である。1～48は中世土器・陶磁器で、土師器皿、珠洲焼すり鉢、加賀焼甕、瀬戸焼花瓶の他に、瓦質香炉が出土している。49～57は近世陶磁器を中心とした遺物である。58～98は石製品で、炉縁石、行火、中砥石、煤の付いた自然石や、58滑石製の温石などが出土している。

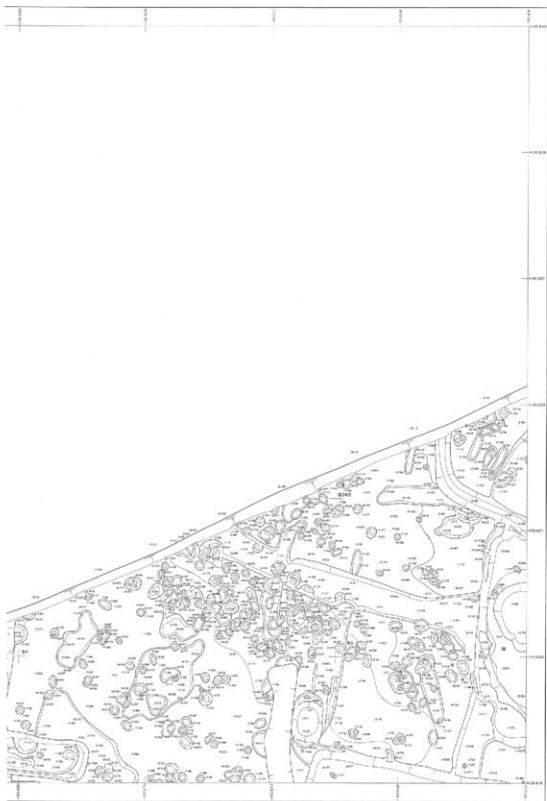


第116図 遺構全体図 (S=1/200)



第117图 航空测量图1 (S=1/120)

1	2
3	4

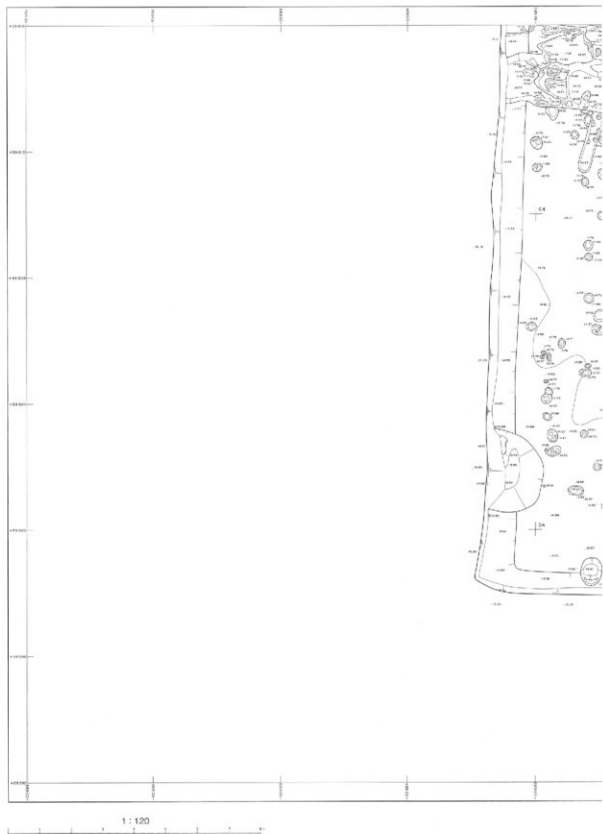




第118图 航空测量图2 (S=1/120)

1	2
3	4

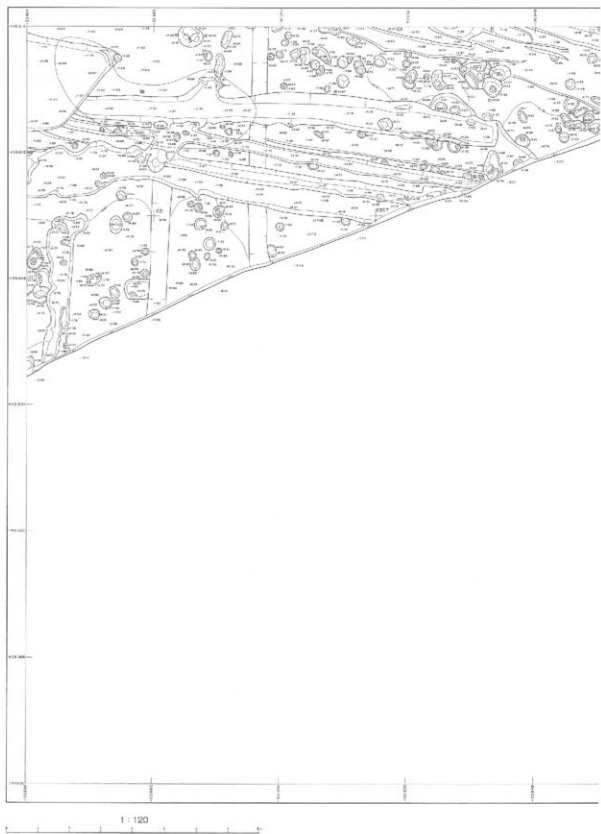




第119图 航空测量图3 (S=1/120)

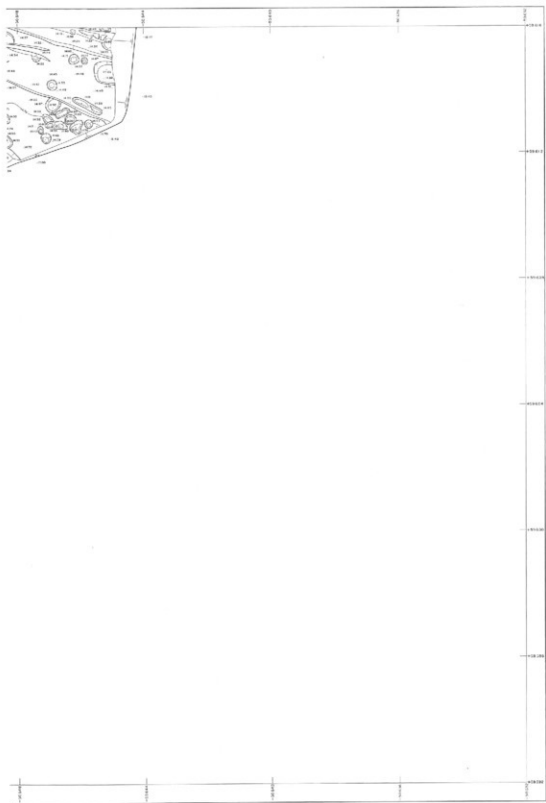
1	2
3	4

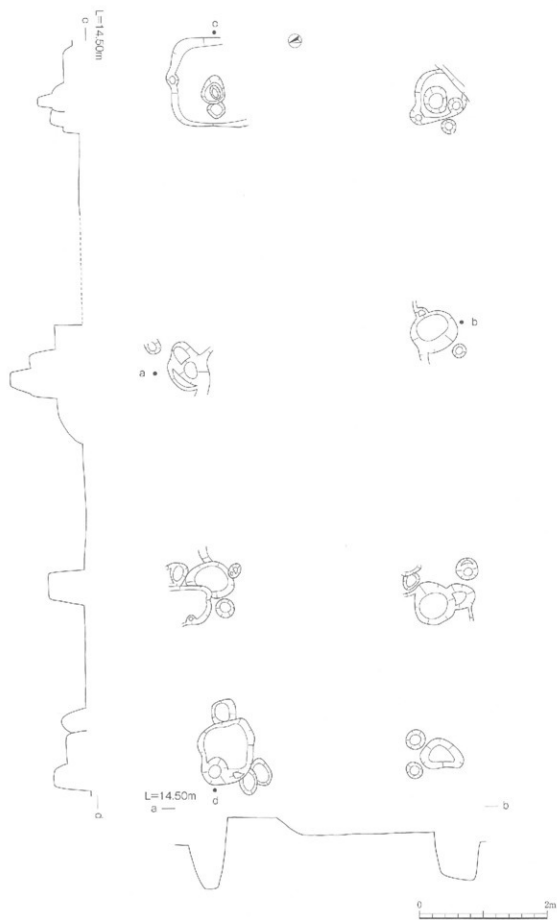




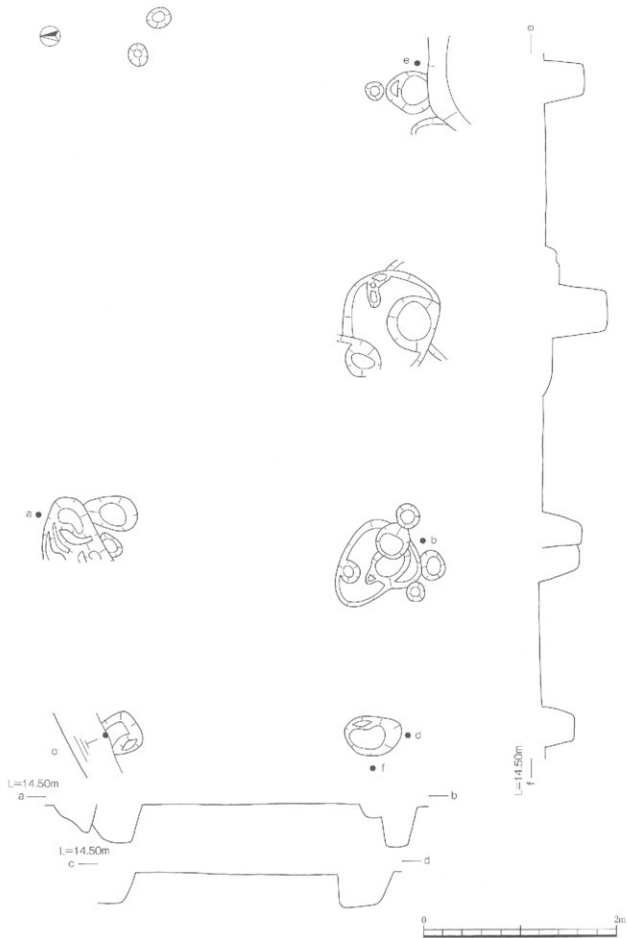
第120图 航空测量图4 (S=1/120)

1	2
3	4

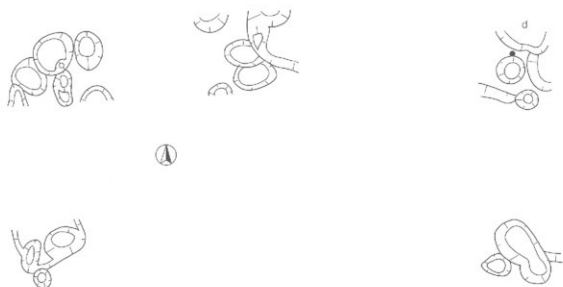




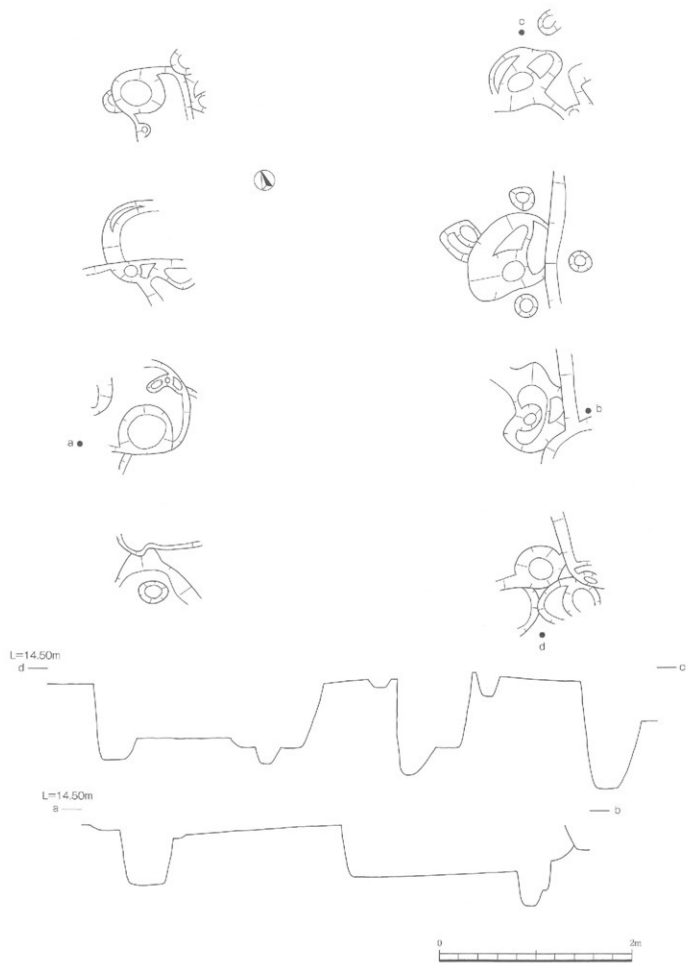
第121図 SB1構造図・断面図 (S=1/60)



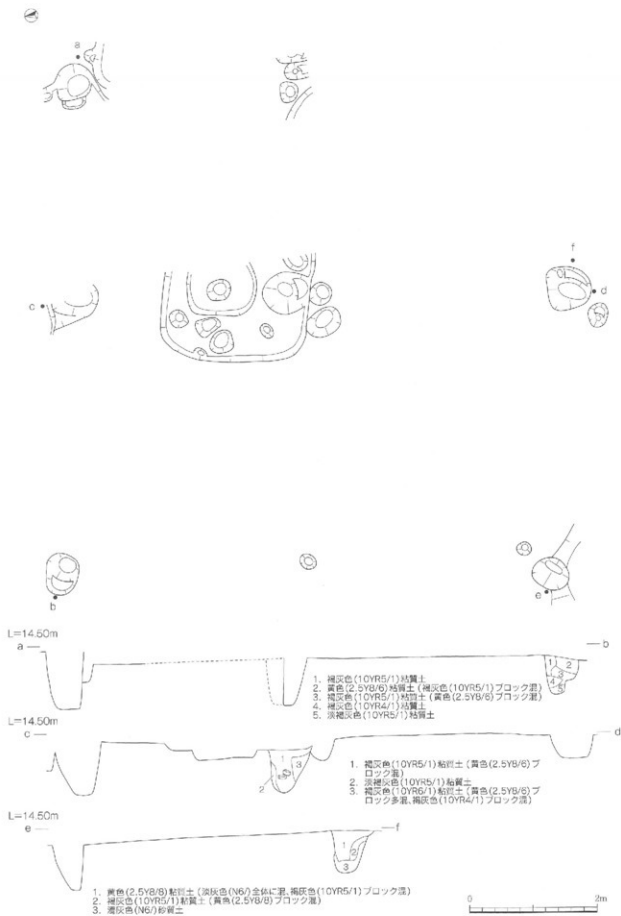
第122図 SB2遺構図・断面図 (S=1/40)



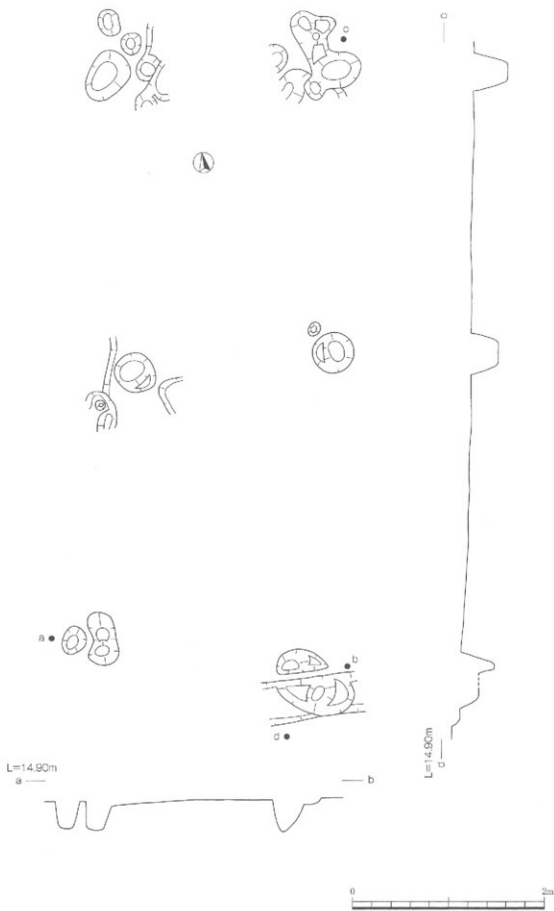
第123图 SB3造構図・断面図 (S=1/40)



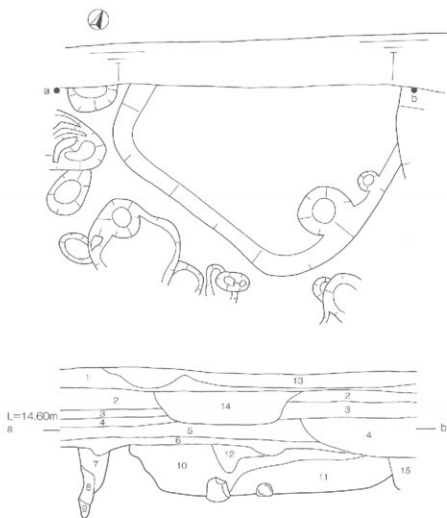
第124圖 SB4遺構圖・断面圖 (S=1/40)



第125図 SB5遺構図・土層断面図5 (S=1/60)

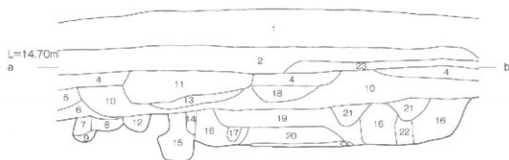
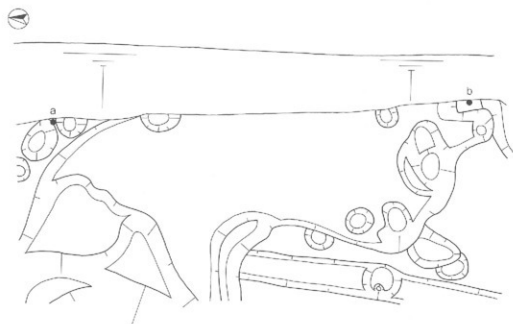


第126圖 SB6遺構圖・断面圖 (S=1/40)



1. 粘土
2. 白粘土
3. 山床土
4. 灰色(N6/1)粘質土
5. 褐色(7.5YR5/1)粘質土
6. 褐色(10YR5/1)粘質土 (黄色(2.5YR/8)ブロック多量)
7. 褐色(10YR6/1)粘質土 (黄色(10YR8/6)ブロック多量)
8. 褐色(10YR4/1)粘質土 (黄色(10YR8/6)ブロック多量)
9. 褐色(N6/1)粘質土
10. 黄色(2.5YR/8)粘質土 (褐色(10YR5/1)塊灰色(10YR5/1)混)
11. 黄色(2.5YR/8)粘質土 (褐色(10YR6/1)塊灰色(10YR5/1)多量)
12. 褐色(10YR6/1)粘質土 (黄色(2.5YR/8)ブロック、褐色(10YR5/1)ブロック混)
13. 粘土
14. 灰色(N6/1)粘質土
15. 灰色(N6/1)粘質土

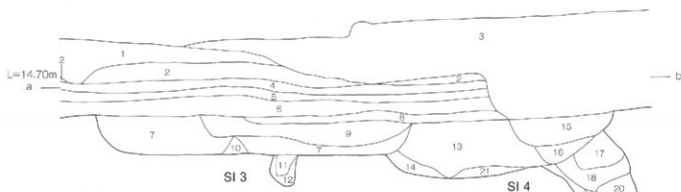
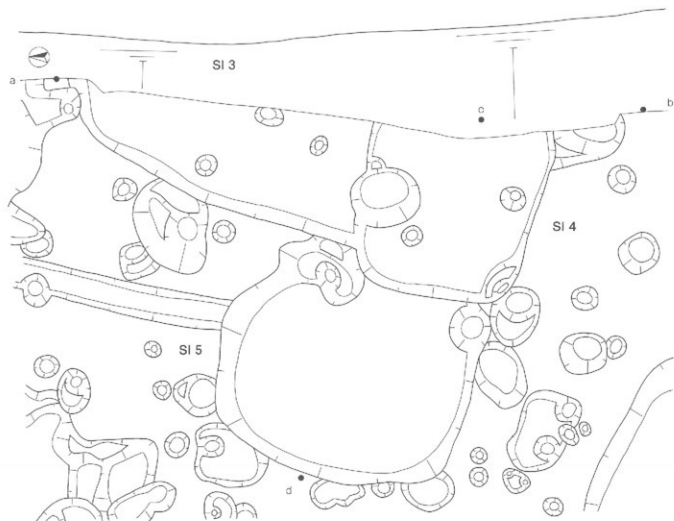
第127図 SI 1遺構図・土層断面図7 (S=1/40)



- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 灰色(N6)粘質土(盛土) 2. 黄灰色(2.5Y8/1)粘質土(構土) 3. なし 4. 灰黄褐色(10YR6/2)粘質土 5. 灰色(N6)粘質土(珪質色(10YR3/3)混) 6. 暗褐色(10YR3/3)粘質土 7. 黒褐色(10YR3/1)粘質土(淡黄色(2.5Y8/4)混) 8. 褐色(10YR4/4)粘質土(淡黄色(2.5Y8/4)ブロック、灰色(N6)ブロック多量) 9. 黄色(2.5Y8/6)粘質土(黒褐色(10YR3/1)ブロック混) 10. 褐色(10YR5/1)粘質土 | <ol style="list-style-type: none"> 11. 暗黄褐色(10YR7/6)と灰色(N6)との混土 12. 緑色(10YR4/4)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック混) 13. 灰白色(N7)砂質土 14. 灰色(N6)粘質土 15. 褐色(10YR6/7)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック、暗灰色(N3)ブロック混) 16. 黄色(2.5Y8/6)粘質土(褐色(10YR4/1)ブロック混) 17. 灰白色(10YR7/1)粘質土 18. 灰色(N6)粘質土 19. 灰色(N6)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック多量) 20. 淡黄褐色(2.5Y8/4)粘質土(灰色(N6)混、褐色(10YR4/1)ブロック混) 21. 褐色(10YR6/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック混) 22. 褐色(10YR6/1)と黄色(2.5Y8/6)との混土 |
|--|--|



第128図 SI2遺構図・土層断面図8 (S=1/40)



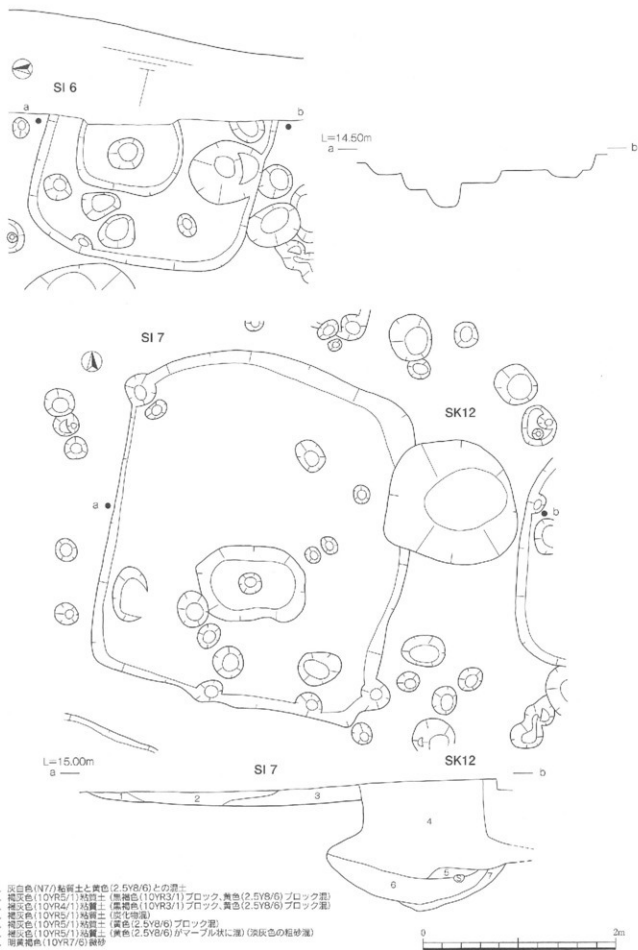
- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 灰褐色(N6/粘質土(盛土)) 2. 黄灰色(2.5Y8/1)粘質土(組土) 3. 盛土 4. 灰土 5. 灰黄褐色(10YR6/2)粘質土 6. 褐色(10YR5/1)粘質土 7. 褐色(10YR5/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/8)ブロック多量、黒褐色(10YR3/1)ブロック多量) 8. 褐色(10YR6/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/8)ブロック少量、褐色(10YR4/4)全体に混) 9. 褐色(10YR6/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/8)ブロック少量) 10. 褐色(10YR6/1)粘質土 | <ol style="list-style-type: none"> 11. 黒褐色(10YR3/1)粘質土 12. 黒褐色(10YR3/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/8)混) 13. 黄灰色(10YR4/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/8)ブロック混、黒褐色(10YR3/1)ブロック少量) 14. 褐色(10YR4/1)と黄褐色(2.5Y8/8)との混土 15. 褐色(10YR5/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/8)ブロック混) 16. 褐色(10YR5/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/8)ブロック混) 17. 黄褐色(2.5Y8/6)と褐色(10YR6/1)との混土 18. 黄褐色(2.5Y8/6)粘質土(褐色(10YR6/1)少量) 19. 淡灰色(N6/砂質土) 20. 淡灰色(N6/粘質土(黄褐色(2.5Y8/8)ブロック、褐色(10YR6/1)ブロック混)) 21. 淡灰色(N6/粘質土(黄褐色(2.5Y8/8)ブロック混)) |
|--|---|



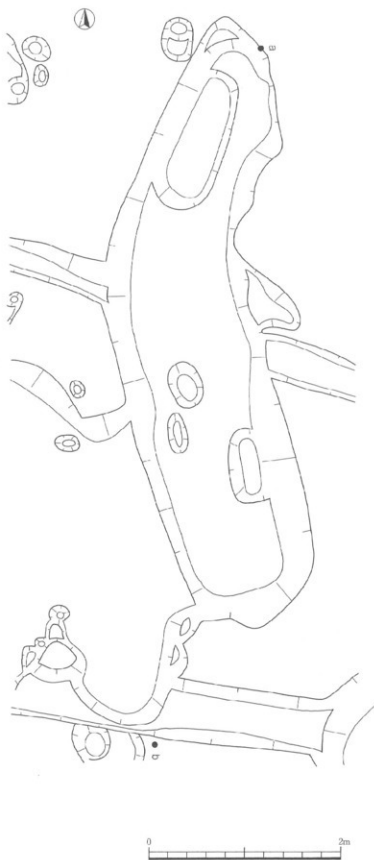
- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 褐色(10YR5/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/6)少量) 2. 黄褐色(2.5Y8/6)粘質土(褐色(10YR5/1)混) 3. 褐色(10YR4/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/6)ブロック多量)(炭化堆積) 4. 褐色(10YR4/1)粘質土 5. 灰色(N6/粘質土+褐色(10YR4/4)全体に混、黄褐色(2.5Y8/6)ブロック混) 6. 褐色(10YR4/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/6)ブロック(細かい)多量、黄褐色(10YR3/1)ブロック(細かい)混) | <ol style="list-style-type: none"> 7. 褐色(10YR5/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/6)ブロック多量) 8. 褐色(10YR4/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/6)ブロック少量) 9. 褐色(10YR4/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/6)混) 10. 黒褐色(10YR3/1)粘質土 11. 褐色(10YR6/1)粘質土(黄褐色(2.5Y8/6)ブロック混) 12. 灰色(N5/粘質土) |
|---|--|

第129図 SI 3~5遺構図・土層断面図9 (S=1/40)





第130図 SI 6・7SK12遺構図・土層断面図10 (S=1/40)



L=14.30m

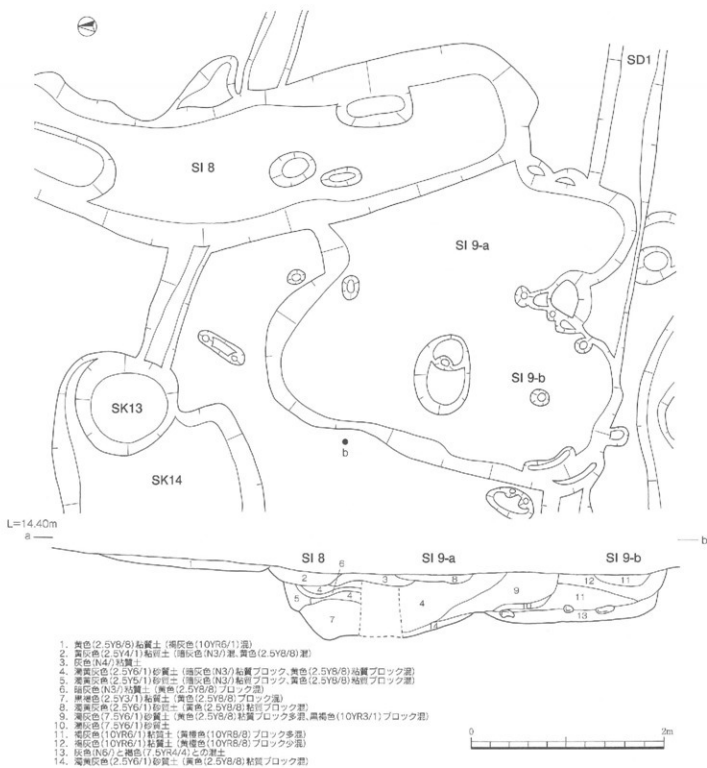
a — b

1. 掘込(N6/6)粘質土(黄色)(2.5/8/6)フロッグ多量・掘込色(10/R/4/1)フロッグ層
2. 掘込色(10/R/5/1)粘質土(黄赤)(7.5/R/4/4)層
3. 掘込色(10/R/6/1)粘質土(黄赤)(2.5/8/6)フロッグ層
4. 掘込色(10/R/6/1)粘質土(黄赤)(2.5/8/6)フロッグ層
5. 掘込色(10/R/6/1)粘質土(黄赤)(2.5/8/6)フロッグ層
6. 掘込色(N6/6)粘質土(黄赤)(2.5/8/6)フロッグ層
7. 掘込色(N6/6)粘質土(黄赤)(2.5/8/6)フロッグ層

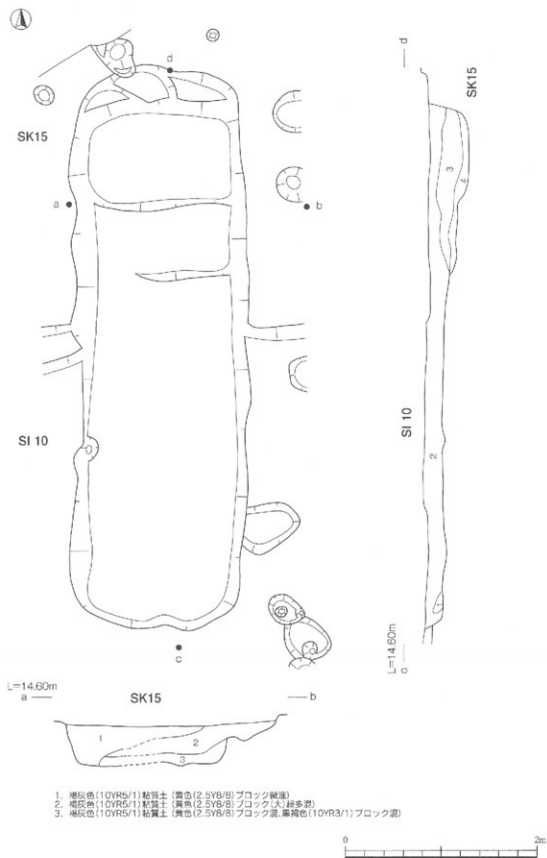
8. 掘込色(2.5/R/1)粘質土
9. 掘込色(2.5/R/1)粘質土
10. 掘込色(N4/7)粘質土
11. 掘込色(10/R/1)と掘込色(10/R/5/1)の混土(黄赤)(2.5/8/8)層
12. 掘込色(10/R/6/1)粘質土(黄赤)(2.5/8/6)粘質土フロッグ層
13. 掘込色(N3/3)粘質土(黄赤)(2.5/8/8)粘質土フロッグ層
14. 掘込色(N3/3)粘質土(黄赤)(2.5/8/8)粘質土フロッグ層
15. 掘込色(N3/3)粘質土(黄赤)(2.5/8/8)粘質土フロッグ層
16. 掘込色(N3/3)粘質土(黄赤)(2.5/8/8)粘質土

17. 掘込色(2.5/R/1)粘質土
 18. 掘込色(2.5/R/1)粘質土(黄赤)(2.5/8/8)粘質土
 19. 掘込色(2.5/R/1)粘質土(黄赤)(2.5/8/8)粘質土
 20. 掘込色(2.5/R/1)粘質土(黄赤)(2.5/8/8)粘質土
 21. 掘込色(2.5/R/1)粘質土(黄赤)(2.5/8/8)粘質土
 22. 掘込色(N6/6)粘質土(黄赤)(2.5/8/6)フロッグ層
-は砂層

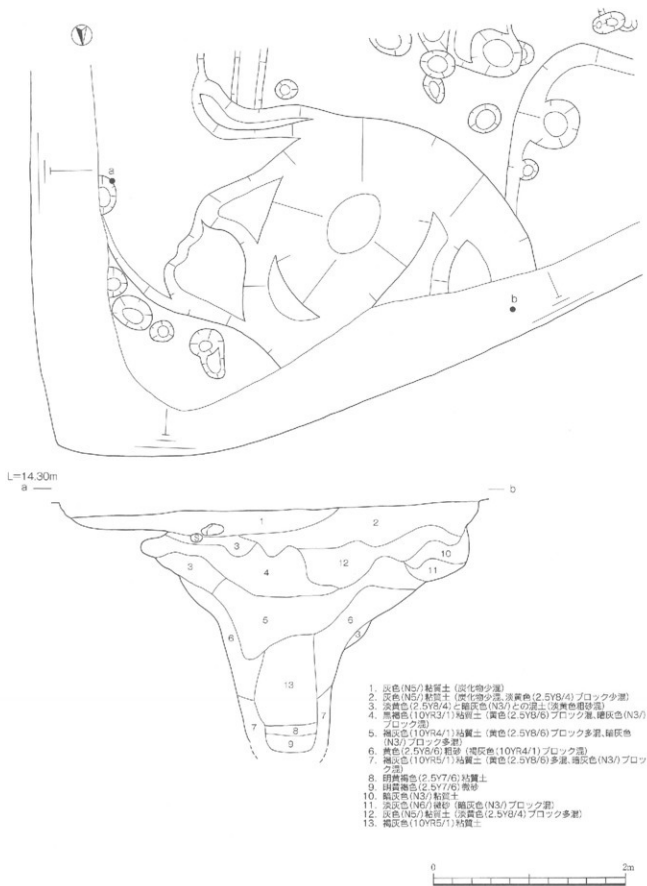
第131図 SI 8遺構図・土層断面図11 (S=1/40)



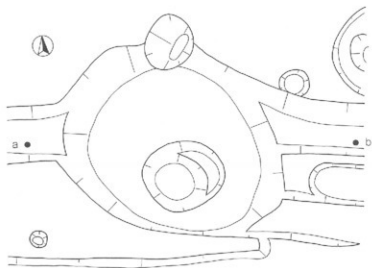
第132図 SI 9遺構図・土層断面図 (S=1/40)



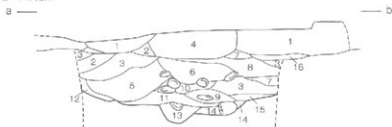
第133図 SI 10・SK15遺構図・土層断面図 (S=1/40)



第134図 SE1遺構図・土層断面図 (S=1/40)



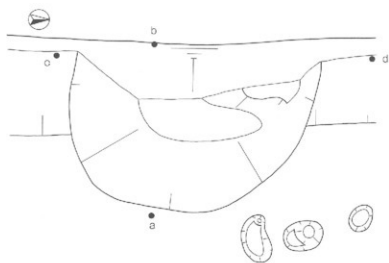
L=14.40m



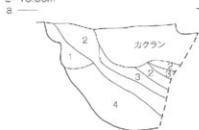
1. 黄灰色(2.5Y6/1)粘質土 (黄灰色(2.5Y6/8)ブロック粗多量)
2. 黄灰色(10YR4/1)粘質土 (黄灰色粗砂層)
3. 黄灰色(2.5Y6/8)粘質土
4. 黄灰色(10YR5/1)粘質土 (黄灰色(2.5Y6/8)ブロック少量)
5. 黄灰色(10YR3/1)粘質土 (黄灰色(2.5Y6/8)ブロック少量)
6. 黄灰色(10YR5/1)粘質土 (黄灰色(2.5Y6/8)ブロック多量)
7. 黄灰色(10YR6/1)粘質土 (黄灰色(2.5Y6/8)ブロック層)
8. 黄灰色(10YR5/1)粘質土 (黄灰色粗砂層)
9. 黄灰色(10YR4/1)粘質土 (黄灰色(2.5Y6/8)ブロック層)
10. 黄灰色(10YR4/1)粘質土
11. 黄灰色(10YR4/1)粘質土 (黄灰色(2.5Y6/8)ブロック多量、黄灰色粗砂層)
12. 黄灰色(10YR5/1)粘質土 (黄灰色(2.5Y6/8)混、黄灰色粗砂層)
13. 黄灰色(10YR6/1)粘質土 (黄灰色(2.5Y6/8)混、黄灰色粗砂多量)
14. 黄灰色(10YR6/1)粘質土 (黄灰色粗砂層)
15. 黄灰色(10YR5/1)粘質土
16. 黄灰色(2.5Y6/1)粘質土



第135図 SE2遺構図・土層断面図15 (S=1/40)

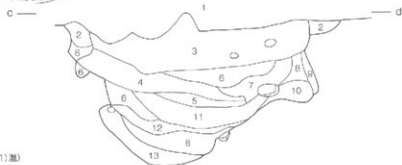


L=15.00m



1. 淡灰色(N6)粘質土 (黄色(2.5Y8/6)澁)
2. 黒色(10YR1.7/1)粘質土
3. 黒色(10YR1.7/1)粘質土 (黄色(2.5Y8/6)澁)
4. 黄色(2.5Y8/6)粘質土 (淡灰色(N6)、黒色(10YR1.7/1)澁)

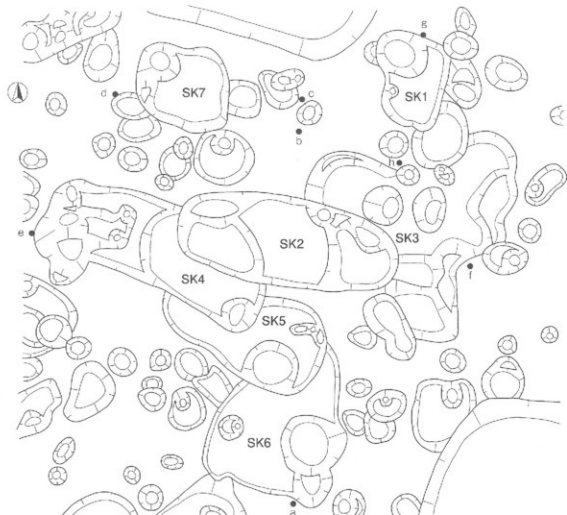
L=14.90m



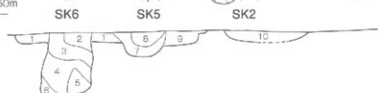
1. カクラン
2. 帯灰色(10YR5/1)粘質土 (赭灰色(N3)ブロック澁、黄色(2.5Y8/8)ブロック澁)
3. 灰色(N5)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)少澁)
4. 灰色(N4)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)少澁)
5. 灰色(N5)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)ブロック多澁)
6. 黄色(2.5Y8/8)粘質土 (灰色(N5)澁)
7. 赭灰色(10YR4/1)粘質土
8. 帯灰色(10YR4/1)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)澁)
9. 帯灰色(10YR5/1)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)ブロック澁)
10. 灰色(N5)と黄色(2.5Y8/8)との混土
11. 帯灰色(N3)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)ブロック少澁)
12. 灰色(N5)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)多澁)
13. 灰黄褐色(10YR5/2)粘質土



第136図 SE3遺構図・土層断面図16 (S=1/40)

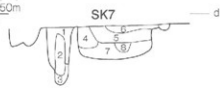


L=14.50m
a



1. 褐色色(10YR4/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック型)
2. 褐色色(10YR4/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック型、褐色色(10YR4/1)ブロック型)
3. 褐色色(10YR5/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック(細かい)多量、黒褐色(10YR3/1)ブロック(細かい)多量)
4. 褐色色(10YR6/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック(細かい)多量、黒褐色(10YR3/1)ブロック(細かい)多量)
5. 褐色色(10YR4/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック少量、黒褐色(10YR3/1)ブロック(細かい)型)
6. 淡灰色(N6/1)粘質土(黒褐色(10YR3/1)ブロック型)
7. 褐色色(10YR4/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック型)
8. 褐色色(2.5Y8/6)粘質土
9. 黒褐色(10YR2/3)粘質土
10. 灰色(N6/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック型)

L=14.50m
b c



1. 灰色(N6/1)粘質土(黄褐色(10YR8/8)(地山)ブロック型)
2. 黒褐色(10YR3/1)粘質土
3. 淡灰色(N6/1)粘質土(黄褐色(10YR3/1)ブロック、黄褐色(10YR8/8)ブロック型)
4. 黒褐色(10YR3/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック少量)
5. 褐色色(10YR4/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック型)
6. 褐色色(10YR5/1)粘質土
7. 灰色(N6/1)粘質土(黄色(10YR8/8)ブロック多量、黒褐色(10YR3/1)ブロック少量)
8. 褐色色(10YR5/1)粘質土(黄色(10YR8/8)ブロック少量)

L=14.50m
e



1. 褐色色(10YR5/1)粘質土
2. 褐色色(10YR6/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック少量、黒褐色(10YR3/1)ブロック型)
3. 褐色色(10YR4/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック少量)
4. 褐色色(10YR5/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック少量、黒褐色(10YR3/1)ブロック型)
5. 褐色色(10YR5/1)粘質土
6. 褐色色(10YR6/1)粘質土
7. 褐色色(10YR6/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック少量、黒褐色(10YR3/1)ブロック少量)
8. 黒色(10YR2/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック少量)
9. 黒褐色(10YR3/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック少量、黒色(10YR2/1)ブロック少量)

10. 灰色(N6/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック型)
11. 黄褐色(10YR3/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック型)
12. 黄褐色(10YR3/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック型、褐色色(10YR4/1)ブロック型)
13. 褐色色(7.5YR4/1)粘質土
14. 褐色色(7.5YR5/1)粘質土
15. 淡灰色(N6/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)型)

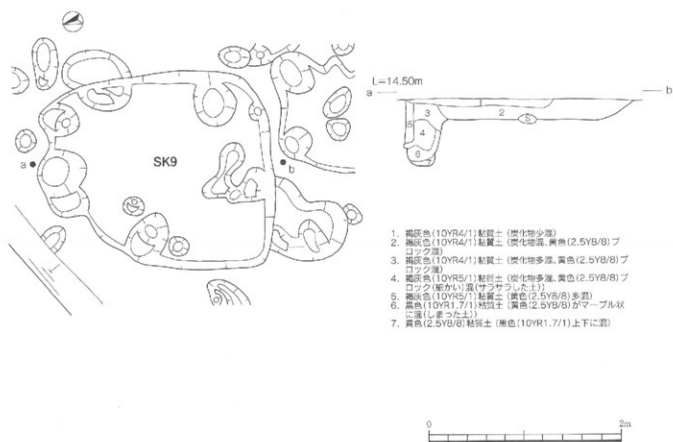
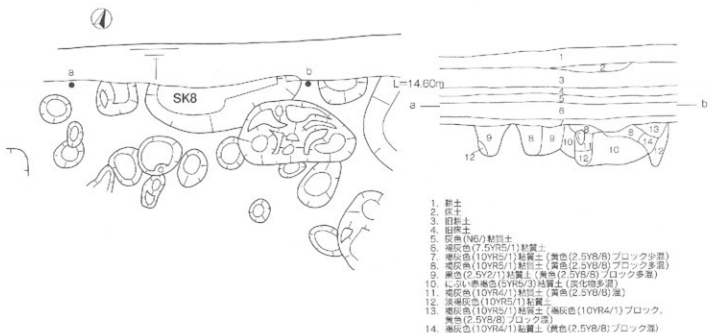
L=14.50m
f g



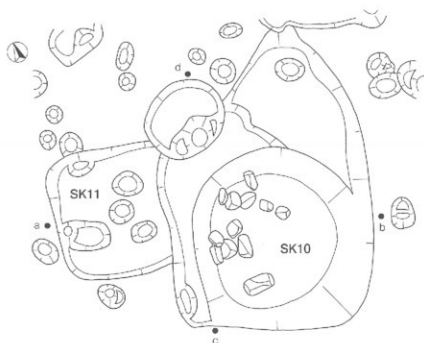
1. 灰色(N6/1)粘質土
2. 黄褐色(10YR3/3)粘質土
3. 褐色色(10YR3/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック、黄褐色(10YR3/1)ブロック型)
4. 黄色(2.5Y8/6)粘質土(黒褐色(10YR3/1)ブロック型)
5. 褐色色(10YR4/1)粘質土

0 2m

第137図 SK1~7造構図・土層断面図 (S=1/40)



第138図 SK8・9遺構図・土層断面図 (S=1/40)



L=15.10m

a —

SK11

SK10

— b



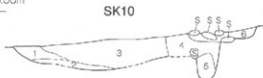
1. 灰色(N6)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック層)
2. 褐色(10YR5/1)と黄色(2.5Y8/6)との混土
3. 灰色(N6)と褐色(7.5Y4/4)との混土
4. 褐色(10YR5/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック層)
5. 褐色(10YR5/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック多量)
6. 黄色(2.5Y8/6)粘質土(褐色(10YR5/1)混)

L=15.00m

c —

SK10

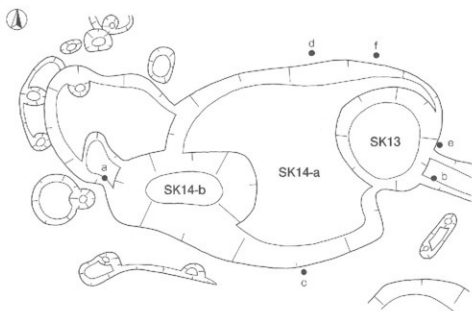
— d



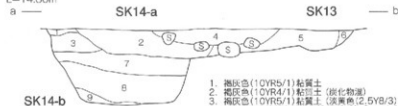
1. 灰色(N6)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック層)
2. 灰色(N6)粘質土
3. 灰色(N6)と褐色(7.5Y4/4)との混土
4. 褐色(10YR5/1)粘質土(黄色(2.5Y8/6)ブロック層)
5. 灰色(N6)粘質土(褐色(7.5Y4/4)混)
6. 黄灰色(2.5Y5/1)粘質土



第139図 SK10・11遺構図・土層断面図19 (S=1/40)



L=14.30m



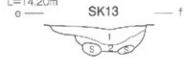
1. 褐色色(10YR5/1)粘質土
2. 褐色色(10YR4/1)粘質土(炭化物混)
3. 褐色色(10YR5/1)粘質土(淡黄色(2.5YB/3)ブロック多量)
4. 灰色(N6/粘質土(黄色(2.5YB/8)ブロック(大)混、全体に褐色(10YR4/6)混)
5. 灰色(N6/粘質土(黄色(2.5YB/8)ブロック混)
6. 灰色(N6/粘質土
7. 淡黄色(2.5YB/3)粘質土(褐色色(10YR5/1)混)
8. 淡黄色(2.5YB/3)粘質土
9. 淡褐色粘質土(10YR5/1)(淡黄色混)最下層は雜質

L=14.30m



1. 褐色色(10YR3/3)粘質土(黄色(2.5YB/8)ブロック(大)混)
2. 灰色(N6/粘質土(黄色(2.5YB/8)ブロック(大)混、全体に褐色(10YR4/6)混)
3. 褐色色(10YR3/3)粘質土(黄色(2.5YB/8)ブロック(細がり混、炭化物混)

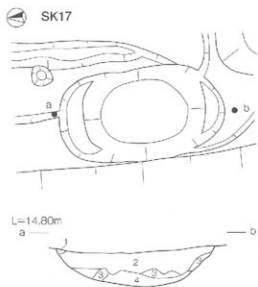
L=14.20m



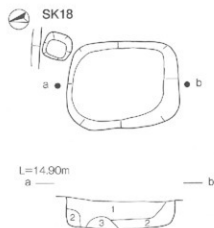
1. 灰色(N6/粘質土(炭化物混)
2. 灰色(N6/粘質土(黄色(2.5YB/8)ブロック混)



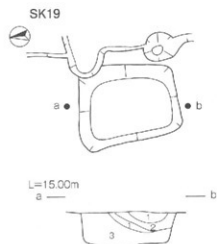
第140図 SK13・14遺構図・土層断面図20 (S=1/40)



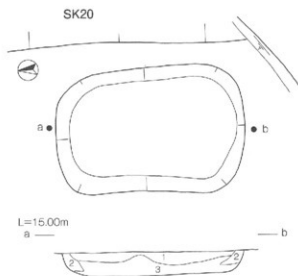
1. 黄褐色(10YR8/6)粘質土 (灰色(N6/1)混)
2. 褐色(10YR4/1)粘質土
3. 黄褐色(10YR4/1)粘質土 (黄褐色(2.5Y8/8)ブロック混)
4. 淡灰色(N7/)粘質土 (黄褐色(2.5Y8/6)全体に多混)



1. 黄灰色(10YR4/1)粘質土 (黄褐色(2.5Y8/8)ブロック混)
2. 黒褐色(2.5Y3/1)粘質土 (黄褐色(2.5Y8/6)ブロック混)
3. 黄褐色(2.5Y8/6)粘質土 (黄灰色(2.5Y4/1)混)



1. 黄灰色(2.5Y4/1)粘質土 (黄褐色(2.5Y8/6)多混)
2. 黄灰色(2.5Y4/1)粘質土 (黄褐色(2.5Y8/6)少混)
3. 黄褐色(2.5Y4/1)粘質土 (黄褐色(2.5Y8/6)ブロック多混、黒色(2.5Y2/1)ブロック混)



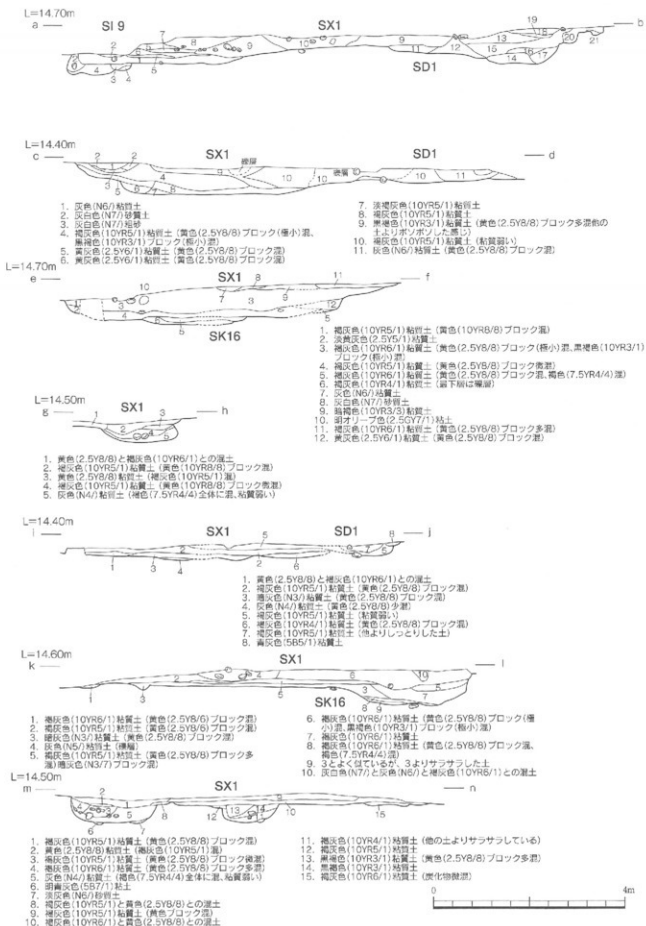
1. 黄灰色(2.5Y4/1)粘質土 (黄褐色(2.5Y8/6)ブロック混、黒色(2.5Y2/1)ブロック少混)
2. 黒褐色(2.5Y3/1)粘質土 (黒色(2.5Y2/1)ブロック少混)
3. 黄灰色(2.5Y4/1)粘質土 (黄褐色(2.5Y8/6)ブロック多混)



第141図 SK17~20遺構図・土層断面図21 (S=1/40)



第142図 SX1遺構図 (S=1/80)



第143図 SX1連構図(S=1/80)

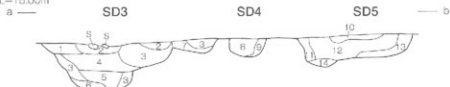


- | | |
|---|--|
| <p>1. 灰白色(N7)粘質土(全体に弱黄褐色(10YR7/6)混)</p> <p>2. 灰白色(N7)粘質土(全体に黄色細砂混)</p> <p>3. 灰色(N6)粘質土</p> <p>4. 淡黄色細砂</p> <p>5. 3.に黄色細砂混</p> <p>6. 灰色(N5)粘質土</p> <p>7. 灰白色(N7)細砂</p> <p>8. 灰白色(N6)細砂</p> <p>9. 灰色(N6)細砂と淡黄色細砂混</p> <p>10. 灰色(N6)粘質土(灰色(N4)混)</p> | <p>11. 黄褐色(10YR3/1)粘質土(灰色(N6)混, 黄色(2.5Y8/8)ブロック混)</p> <p>12. 灰白色(2.5Y7/1)粘質土</p> <p>13. 灰白色(2.5Y7/1)粘質土(褐灰色(10YR4/1)ブロック多量)</p> <p>14. 淡黄色細砂</p> <p>15. 黄褐色(2.5Y6/1)粘質土(同色粗砂, 褐灰色(10YR4/1)ブロック多量)</p> <p>16. 暗緑灰色(5G7/1)微砂</p> |
|---|--|



第144図 SX2・SD5遺構図・土層断面図(S=1/60)

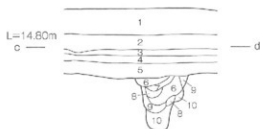
L=15.00m



1. 褐灰色(10YR5/1)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)ブロック少混)
2. 褐灰色(10YR5/1)粘質土 (硬多混)
3. 褐灰色(10YR4/1)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)ブロック少混)
4. 褐灰色(10YR5/1)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)ブロック多混)
5. 黒褐色(10YR3/1)粘質土
6. 淡褐灰色(10YR5/1)粘質土 (色よりサラサラした土)
7. 褐灰色(10YR6/1)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)ブロック(人)混)
8. 黄色(10YR2/1)粘質土
9. 灰黄(N4/1)粘質土

10. 灰色(N6/1)粘質土
11. 褐灰色(7.5YR4/1)粘質土
12. 褐灰色(7.5YR4/1)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)ブロック少混)
13. 黒褐色(10YR3/1)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)ブロック少混)
14. 黄色(2.5Y8/8)粘質土 (褐灰色(7.5YR4/1)混)

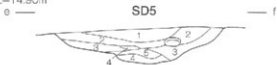
SD6



L=14.80m

1. 粘土
2. 粘土
3. 暗黄褐色(10YR7/6)粘質土 (2の粘土)
4. 褐灰色(7.5YR5/1)粘質土
5. 褐灰色(7.5YR5/1)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)ブロック混)
6. 褐灰色(10YR5/1)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)ブロック混)
7. 灰黄色(N6/1)粘質土 (黄色(2.5Y8/8)ブロック混)
8. 灰色(N4/1)粘質土
9. 褐灰色(10YR5/1)粘質土 (6より黄色少ない)
10. 灰色(N5/1)粘質土

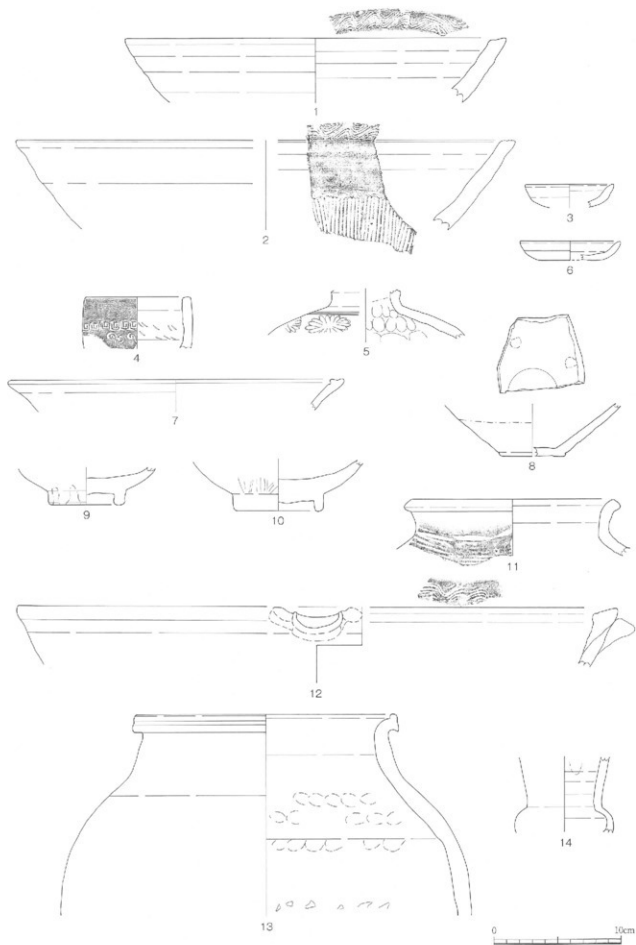
L=14.90m



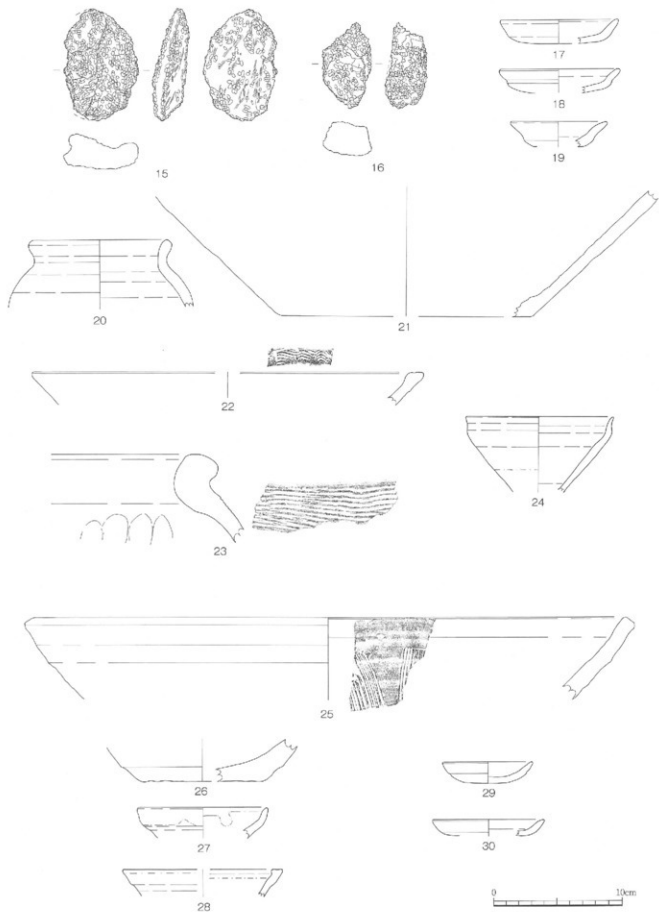
1. 灰色(N4/1)粘質土
2. 灰黄(N6/1)粘質土
3. 灰色(N6/1)微砂
4. 灰色(N4/1)微砂
5. 灰色(N6/1)粘質土 (灰色(N6/1)微砂と灰色(N4/1)微砂混)



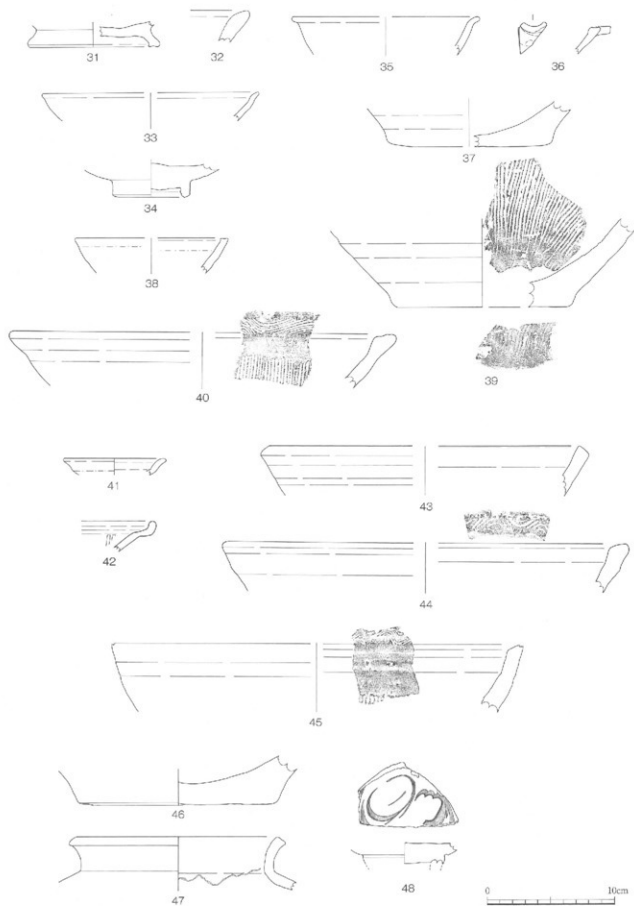
第145図 SD3~6土層断面図25 (S=1/40)



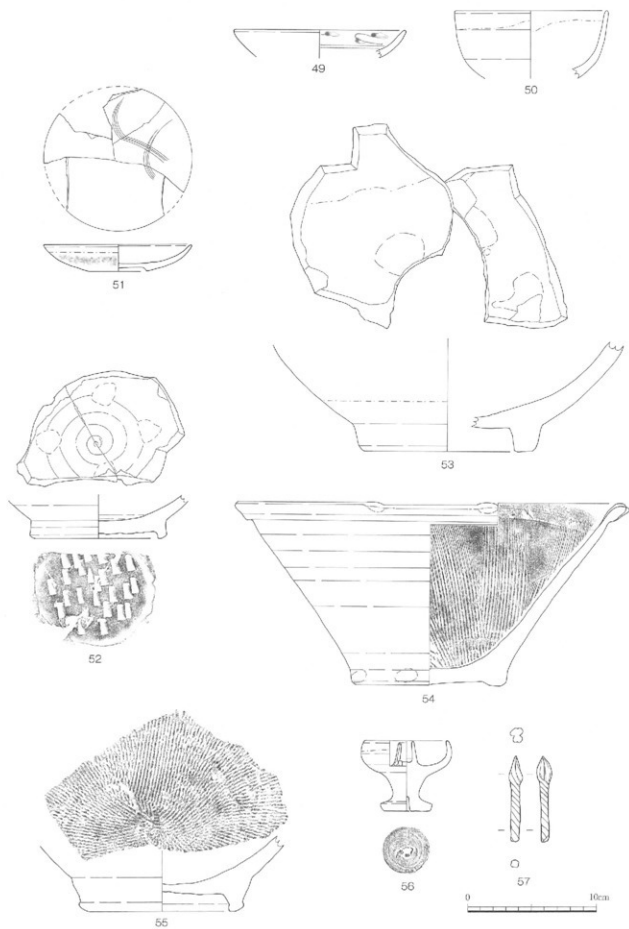
第146図 遺物実測図1 (S=1/3)



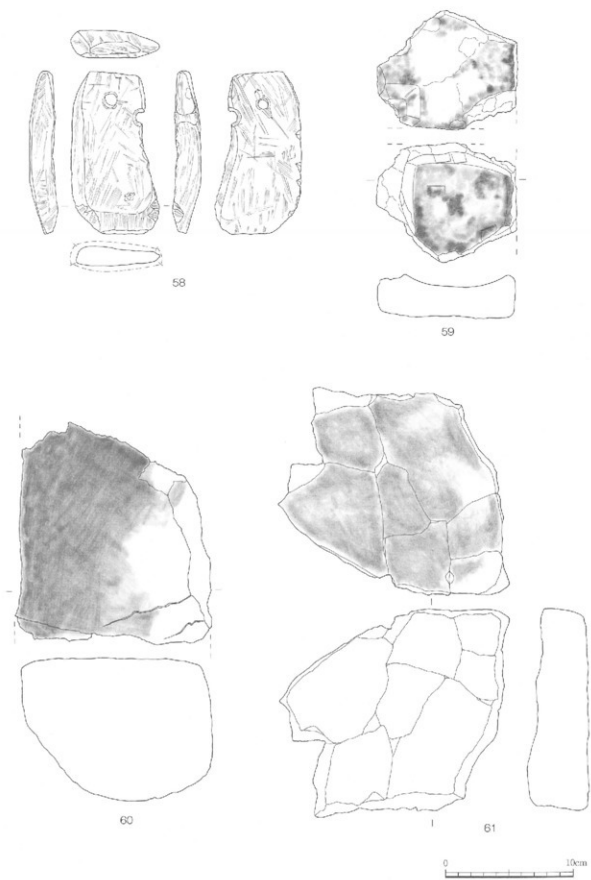
第147図 遺物実測図2 (S=1/3)



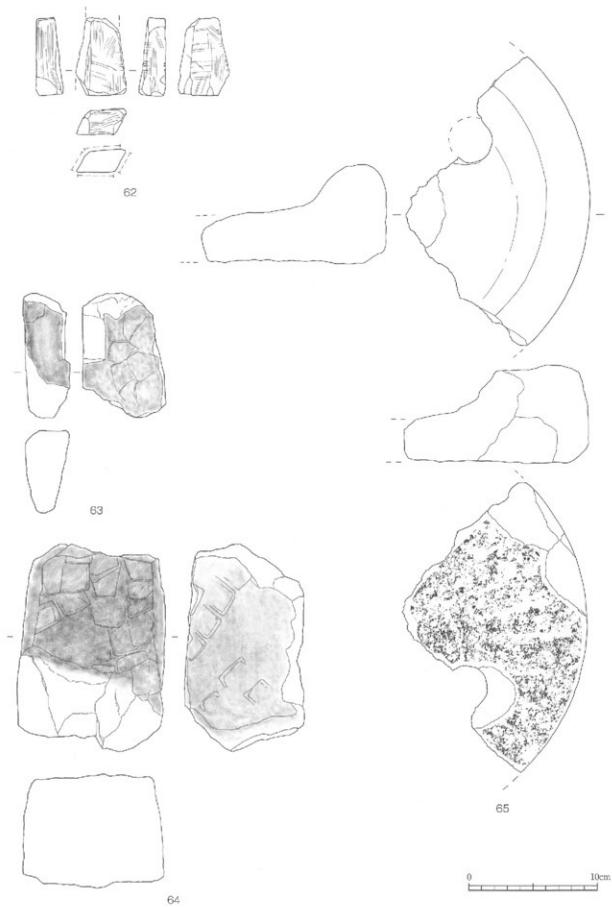
第148図 遺物実測図3 (S=1/3)



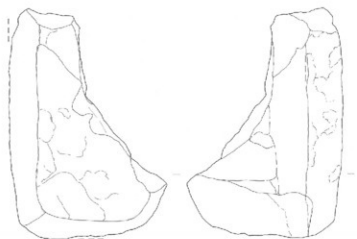
第149图 遗物实测图4 (S=1/3)



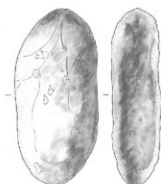
第150図 遺物実測図5 (S=1/3)



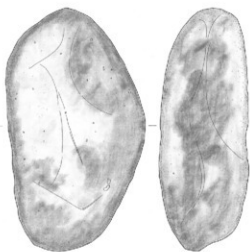
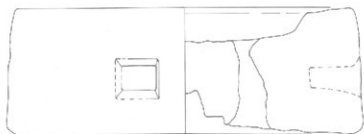
第151図 遺物実測図6 (S=1/3)



66



67



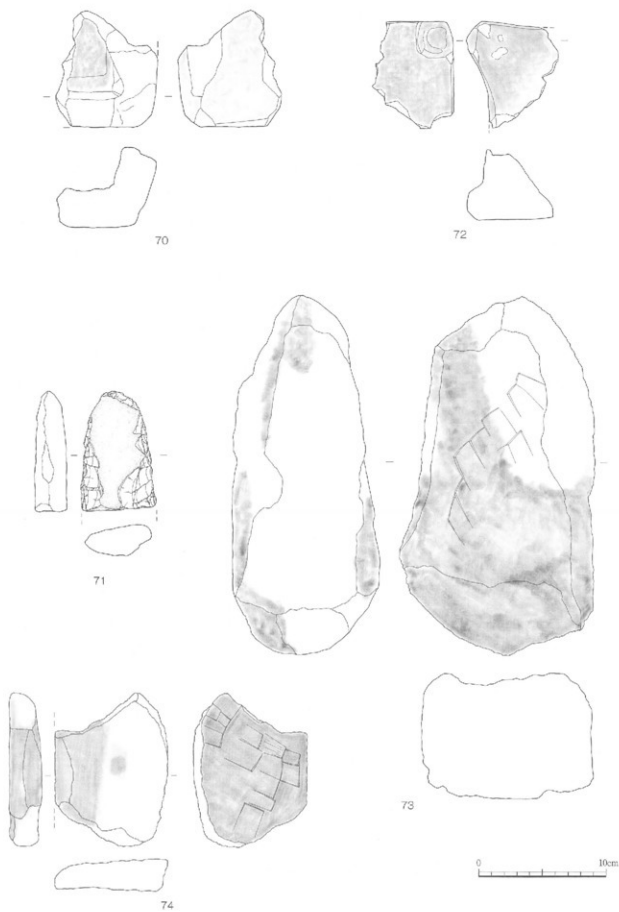
69



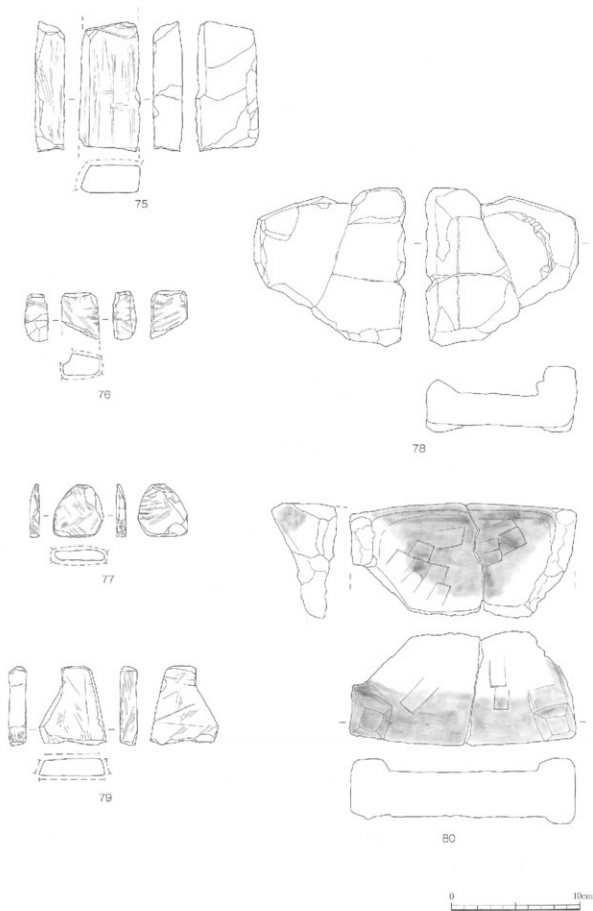
68



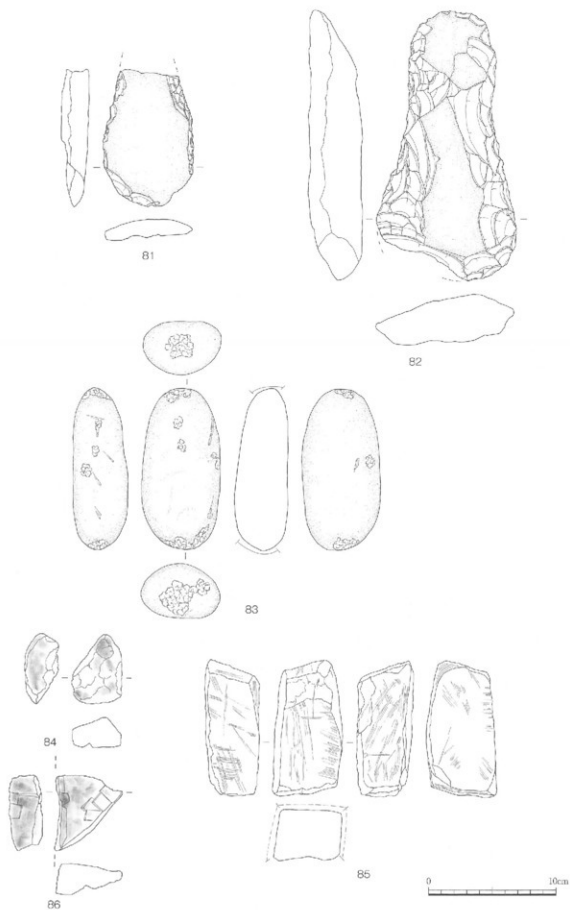
第152図 遺物実測図7 (S=1/3)



第153図 遺物実測図8 (S=1/3)



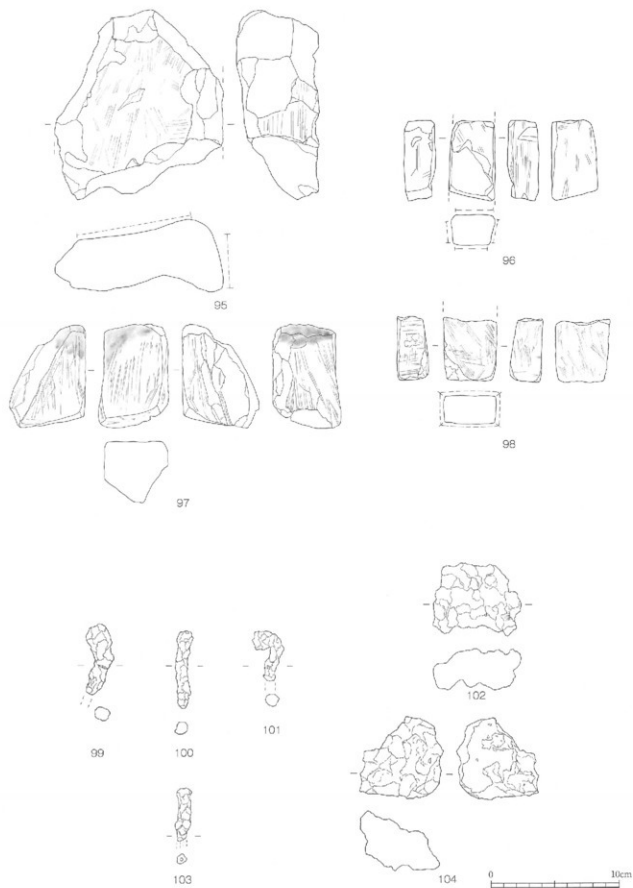
第154図 遺物実測図9 (S=1/3)



第155图 遺物実測図10 (S=1/3)



第156图 遗物实测图11 (S=1/3)



第157图 遗物実測図12 (S=1/3)

第9表 土器・陶磁器等観察表

番号	遺構	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
						調整(内)	色調(内)			
1	SI1	珠洲 播鉢	30.0			ロクロナデ	灰	1/9	波状文	N38
						ロクロナデ	灰			
2	SI1	珠洲 播鉢				ココナデ、おろし目	灰	(小片)	波状文	J53
							灰			
3	SI4	土師器 皿	7.0			ココナデ	にぶい黄橙～黄	1/6	赤色粒含む	N44
						ココナデ	にぶい黄橙			
4	SI5	瓦質土器 香炉	8.3			ココナデ	浅黄橙	1/4	外面に煤付着	J21
						ココナデ	浅黄橙～にぶい黄橙			
5	SI8	瀬戸美濃 煎子	(5.5)					頸部～肩部 小片	灰釉、青花文押印	N4
							灰			
6	SI8	土師器 皿	8.0	1.5	5.0	ココナデ、ナデ	にぶい黄橙	5/18	赤色酸化粒	N1
						ココナデ、ナデ	にぶい黄橙			
7	SI5	瀬戸 直縁大皿			26.6		浅黄	1/12	灰釉	J22
							浅黄			
8	SI8	瀬戸 平碗			5.2		にぶい黄	4/9	外縁灰釉、内側無釉、 砂目2か所、細かい黒色粒	N3
							灰黄			
9	SI8	青磁 碗			6.0		オリープ灰	底部高台 2/3	黒色粒	N6
							オリープ灰			
10	SI8	青磁 碗			7.1		オリープ灰	1/7		N2
							オリープ灰			
11	SI9	珠洲 壺	17.0			ロクロナデ・タタキ目	灰	1/6		N33
						ロクロナデ・タタキ目	灰			
12	SI9	珠洲 播鉢	(47.4)				灰	(小片)	海綿骨片	N32
							灰			
13	SI9	加賀 壺	20.6	体部最大径 32.4		指頭圧痕、工具痕?	灰オリープ、暗灰黄 灰黄	5/12	外面に自然釉	N36
							灰～黄オリープ 灰黄			
14	SI9	瀬戸 花瓶				粘土磨目	灰～黄オリープ 灰黄	(小片)	灰釉、黒色・茶色粒	N31
							灰黄			
15	SK1	炭化米塊	最大長 8.9	最大幅 5.8	最大厚 3.0				重量26g	
16	SK1	炭化米塊	最大長 6.8	最大幅 3.8	最大厚 3.3				重量16g	
17	SK10	土師器 皿	9.2	1.9	7.5	ココナデ・ナデ	にぶい橙	1/3		N39
						ココナデ・ナデ	にぶい橙			
18	SK10	土師器 皿	9.4	1.9		ナデ	にぶい黄橙	7/36	黒色粒	D
						ココナデ	にぶい黄橙			
19	SK12	土師器 皿	7.6			ココナデ	にぶい黄橙	1/12	黒色粒	J19
						ココナデ	にぶい黄橙			
20	SK13	珠洲 壺	11.2			ロクロナデ	灰	1/7		N42
						ロクロナデ	灰			
21	SK13	越前 甕					灰白	(小片)	黒色粒	J14
							灰白			
22	SK14	珠洲 粗鉢					灰白	(小片)	波状文、黒色粒	J51
							灰白			
23	SK14	珠洲 甕	(48.2)			タタキ・指圧痕	灰黄	(小片)		N10
						タタキ・指圧痕	灰黄			
24	SK14	瀬戸 天目茶碗	11.6				黒～黒褐、灰灰 黒～黒褐	1/7	鉄釉、灰黄色部分は 露胎部、茶色粒	N5
							黒～黒褐			
25	SK16	珠洲 粗鉢	48.0			ココナデ、おろし目	灰	1/23	黒色粒	J50
						ココナデ	灰			
26	SK16	珠洲 壺			10.0	ココナデ	灰	1/6	黒色粒	J52
						ココナデ	灰			
27	SK16	瀬戸 天目茶碗	10.4				黒釉、灰黄	1/12	鉄釉、灰黄色部分は 露胎部	J55
							黒釉、灰黄			
28	SK19	瀬戸美濃 経輪小皿	12.6				にぶい黄	1/12	灰釉、にぶい黄色部分は 露胎部	N40
							オリープ・にぶい黄			
29	P1	土師器 皿	7.2	1.6	3.0	ココナデ・ナデ	浅黄	1/4	赤色酸化粒	J92
						ココナデ・ナデ	にぶい黄橙			

番号	遺構	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
						調整(内)	色調(内)			
30	P2	土師器 皿	8.8			ヨコナデ ヨコナデ	にぶい黄橙 にぶい黄橙	1/9	赤色酸化粒	J94
31	SX1	須恵器 瓶			10.4	ヨコナデ ヨコナデ	灰 灰	1/4		J105
32	SX1	珠洲 擂鉢	(28.6)			ロクロナデ ロクロナデ	灰黄 灰黄	(小片)	生焼け	N104
33	SX1	瀬戸 平碗	(17.0)				にぶい黄 にぶい黄	1/12	灰軸、黒色粒	N103
34	SX1	青磁 碗			5.2		オリーブ黄色、灰黄褐 オリーブ黄色、灰黄褐	底部 (1/4)完整	灰黄褐色部分は露胎部、 黒色粒	J100
35	SD1	青磁 碗	(14.7)				オリーブ灰 オリーブ灰	(小片)	黒色粒	N72
36	SD2	瀬戸 脚皿					灰オリーブ 灰オリーブ	(小片)	黒色粒	N80
37	SD3	珠洲 擂鉢			(13.0)		黄灰・灰黄 灰黄・暗灰黄	1/3		N70
38	SD3	瀬戸 緑軸小皿	(12.0)				浅黄・にぶい橙 浅黄・にぶい橙	1/2	灰軸、にぶい橙色部分は 露胎部	N71
39	SD3	珠洲 擂鉢			(14.0)		灰 灰白	1/7	底部静止糸切り	N68
40	SD3	珠洲 擂鉢	(30.4)			おろし目	灰 灰	(小片)	波状文	N67
41	SD5	瀬戸 皿	8.0				浅黄 浅黄	1/6	灰軸、黒色粒	N81
42	SD5	青磁 盤	(13.6)				オリーブ灰 オリーブ灰	(小片)	内面、蓮弁文が わずかに残る	N61
43	SD5	珠洲 擂鉢	25.8			ロクロナデ ロクロナデ	灰 灰	(小片)		N56
44	SD5	珠洲 擂鉢	(32.0)			ロクロナデ ロクロナデ	黄灰 黄灰	(小片)	波状文	N57
45	包含層	珠洲 擂鉢	(30.4)			ロクロナデ ロクロナデ、おろし目	灰 灰	(小片)	波状文、内面自然釉付着	N108
46	包含層	珠洲 擂鉢			15.6	ヨコナデ ヨコナデ	黄灰 黄灰	5/36	黒色粒	J90
47	包含層	珠洲 壺	16.0			ヨコナデ ヨコナデ	灰 灰	1/6	粘土つなぎ目	J110
48	包含層	青磁 碗					オリーブ黄 オリーブ黄	(小片)	底部釉剥き部分あり	J106
49	SD8	磁器 染付皿	13.4				灰白、オリーブ灰 灰白、オリーブ灰	1/6	茶色粒わずかに混じる	N76
50	SD6	陶器 碗	12.0				にぶい黄、黄褐 にぶい黄、黄褐	1/4	透明釉、赤色粒	N77
51	SD5	陶器 皿	11.6	2.2	4.4		灰白、灰黄、黒褐 灰白	5/9	軸、無軸部分に煤付着、 線画	N59
52	SD5	陶器 鉢			10.8		オリーブ、淡黄 オリーブ、淡黄	5/12	灰軸、砂目4か所	N58
53	SD5	肥前系 鉢			14.0		赤灰、灰オリーブ 赤灰、灰オリーブ	2/3	鉄軸・灰軸、刷毛目模様、 砂目3か所	N74
54	SD5	越前 擂鉢	31.0	14.5	12.2	ロクロナデ ロクロナデ、おろし目	灰褐、にぶい橙 灰褐、にぶい橙	5/9		N82
55	SD5	陶器 擂鉢			13.0		灰褐 灰褐	7/12		N85
56	SD5	陶器(明浜) 乗瀧	6.6	5.6	3.7		明黄褐、にぶい黄橙 明黄褐、にぶい黄橙	1/3	灰軸、抱心立先に煤付着、脚 部無軸(にぶい黄褐色部分)	N60
57	SD5	ガラス製品 かんざし	最大長 6.8	最大幅 1.1	最大厚 1.3				重量77g	N88

第10表 石製品観察表

番号	遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石材	備考	実測番号
			(cm)	(cm)	(cm)	(g)			
58	SB3	漏斗	12.9	6.9	2.2	265	滑石	全面磨り面 転用砥石か	J93
59	SB4	行火	11.1	9.5	4.8	215	凝灰岩		A
60	SI2	炉石	17.7	15.4	11.3	1980	凝灰岩		J27
61	SI4	炉石	18.2	16.6	5.1	1034	凝灰岩	煤付着	N43
62	SI7	砥石	6.2	4.0	2.1	55	凝灰岩	中砥石	N41
63	SI8	行火	9.9	3.7	6.6	145	凝灰岩	煤付着	N9
64	SI8	如椽石	16.6	11.8	9.5	1170	凝灰岩	ノミ調成、 煤付着	N12
65	SI4	石臼 (上臼)	23.0	14.5	7.9	2150	緑色凝灰岩		J54
66	SI8	行火	18.3	12.5	10.0	780	凝灰岩		
67	SI8	自然石	14.0	6.6	4.0	500	凝灰岩	煤付着	B
68	SI8	自然石	19.30	10.9	7.1	1875	凝灰岩	煤付着	C
69	SI9	石臼 (上臼)	28.2			5100	緑色凝灰岩		J30
70	SE1	行火	9.3	8.1	6.4	202	凝灰岩	煤付着	N35
71	SE3	打製石斧	9.6	6.0	2.6	194	火山輝凝灰岩		J20
72	SE2	行火	7.2	8.5	6.3	142	凝灰岩	煤付着	N37
73	SE2	炉石	28.5	15.2	11.7	3020	凝灰岩		J49
74	SE2	行火	12.2	9.0	2.6		凝灰岩	海綿骨片	J45
75	SK5	砥石	10.3	4.9	2.3	190	砂石	中砥石	J16
76	SK6	砥石	3.8	3.0	1.8	25	凝灰岩	中砥石	J18
77	SK6	砥石	4.2	4.0	0.8	22	泥岩	仕上げ砥石	J17
78	SK14	行火	12.0	12.6	5.3	320	凝灰岩		N8
79	SK14	砥石	6.3	5.4	1.4	59	凝灰岩	中砥石	N11
80	SK16	行火	17.8	9.2	5.1	290	凝灰岩		J29
81	SK16	打製石斧	10.9	7.0	2.2	194			J47
82	SK16	打製石斧	21.4	11.0	4.3	996			J46
83	SK16	磨石	12.80	6.2	4.3	480		クタクキ	J48
84	P3	行火?	6.6	3.9	2.8	30	凝灰岩	全面磨れ	J96
85	P4	砥石	10.8	5.6	4.4	370	凝灰岩	中砥石	J95
86	P5	行火?	6.0	5.1	2.7	50	凝灰岩		J97

番号	遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石材	備考	実測番号
			(cm)	(cm)	(cm)	(g)			
87	SX1	行火	7.2	5.7	3.0	70	凝灰岩	砥石に転用か 煤付着	J101
88	SX1	炉石	20.5	17.0	11.4	2630	凝灰岩		J26
89	SX1	砥石	15.3	9.0	6.7	1110	凝灰岩	中砥石	J13
90	SX1	打製石斧	13.0	11.9	3.3	450	火山礫凝灰岩		J99
91	SD2	硯	8.3	5.3	12.0	60	粘板岩		N78
92	SD3	行火	7.0	6.5	5.5	108	凝灰岩	煤付着 ノミ痕?	N69
93	SD5	砥石	6.1	4.2	2.6	119	凝灰岩	中砥石	N87
94	SD5	砥石	5.0	3.4	0.7	17	泥岩	仕上げ砥石	N86
95	包含層	砥石	15.0	13.1	6.5	965	凝灰岩		N109
96	包含層	砥石	6.4	3.6	2.5	104	凝灰岩	中砥石	N34
97	包含層	砥石	8.2	5.5	6.0	300	凝灰岩	中砥石	J89
98	包含層	砥石	5.1	4.3	2.5	100	凝灰岩	中砥石	J107

第11表 鉄製品観察表

番号	遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	備考	実測番号
			(cm)	(cm)	(cm)	(g)		
99	SI2	釘	6.6	2.2	1.1	13.6		J28
100	SK6	釘	6.2	1.4	1.0	7.9		J24
101	SK6	釘	4.0	2.5	1.0	6.3		J25
102	SK6	(鉄滓)	5.8	7.0	3.3	155.0		J23
103	SX1	釘	4.2	1.3	1.2	5.8		J102
104	SD5	(鉄滓)	6.5	6.5	4.7	66.0		N62

第7章 第26次（平成18年度）調査

第1節 発掘調査の経過

本発掘調査業務は、野々市市北西部土地両整理地区内の野々市市道二日市・松任線工事に伴う事業を調査原因とする。

平成18年6月15日、野々市町は本開発予定地における埋蔵文化財発掘調査の実施計画書を野々市町北西部土地両整理組合（以下、北西部組合と呼称する。）に提出し、その計画書に基づいて、野々市町と北西部組合との間で委託契約を締結した。

現地調査は、6月19日の調査区設定より開始した。6月26日からは大型掘削機を使って遺構面までの土砂を掘削する作業を実施し、6月29日には完了した。掘削機による表土除去作業と併行して、6月28日からは、発掘作業員による人力作業が始まった。人力の作業内容は遺構精査や遺構掘削などで、これらの作業中に調査員は図面の記録を行った。9月8日には全ての遺構掘削が完了し、9月11日からは調査区の清掃作業を開始し、9月14日には完了した。翌9月15日にラジコンヘリコプターによる空中写真測量を実施して、10月12日は方形周溝墓の補足調査を実施して、現地調査作業は終了した。

第2節 遺構

調査区全体概観（第158図）

当該調査区は1～5区に分かれる。ここではまず、第159・169～171図に示したSB1、SH1・2について述べる。その他の遺構についてはその後述べていく。

SB1（第159・169図）

3区中央部南側に位置する掘立柱建物であり、後述のSH1と位置を同じくする。遺構の規模は南北に約4.0m、東西に約2.5mで面積は約10.0mである。ピットの深さは約20～60cmである。

SH1（第159・170図）

3区西部に位置する方形周溝墓であり、周溝部のみ残存している。遺構全体の規模は南北に約15m、東西に約17mで面積は255m²である。また、溝の内側部分の面積は100m²を測る。次に、当該周溝墓を形成する溝について個別に見ていく。

SD1（第159・170図）

SH1を構成する4辺の溝のうち東側の溝である。遺構の規模は南北に約7.5m、東西に約3.6mで深さは約10cmである。覆土は褐色系の粘質土が主体である。

SD2（第159・170図）

SH1を構成する4辺の溝のうち北側の溝である。遺構の規模は南北に約3.0m、東西に約8.5mで深さは約10cmである。覆土は黒色系の粘質土が主体である。

SD3（第159・170図）

SH1を構成する4辺の溝のうち西側の溝である。遺構の規模は南北に約8.0m、東西に約3.0mで深さは約20cmである。覆土は淡褐色粘質土が主体である。

SD4（第159・170図）

SH1を構成する4辺の溝のうち南側の溝である。遺構の規模は南北に約2.7m、東西に約7.0mである。

また、周溝墓に関しては切れ目のない溝が廻るのが通常であるが、当該遺構および後述のSH2に関しては、四隅がつながらない形状を取っている。

SH2 (第159・171図)

3区西部に位置する方形周溝墓であり、先述のSH1の南西側に位置する。遺構全体の規模は北東-南西方向に5.5m、北西-南東方向に5.0mで面積は27.5㎡である。また、溝の内側部分の面積は16.4㎡を測る。次に、当該周溝墓を形成する土坑と溝について個別に見ていく。

SK1 (第159・171図)

SH2の中央に位置する遺構で、木棺を納めた土坑であると思われる。遺構の規模は南北に約2.0m、東西に約0.9mで深さは約15cmである。覆土は灰色系の粘質土が主体である。

SD5 (第159・171図)

SH1を構成する4辺の溝のうち北西側の溝で、遺構の規模は南北に約2.1m、東西に約0.5mである。

SD6 (第159・171図)

SH1を構成する4辺の溝のうち北東側の溝で、遺構の規模は南北に約2.5m、東西に約0.4mである。

SD7 (第159・171図)

SH1を構成する4辺の溝のうち南東側の溝で、遺構の規模は南北に約2.7m、東西に約0.6mで深さは約20cmである。覆土は褐色系の粘質土が主体である。

SD8 (第159・171図)

SH1を構成する4辺の溝のうち南西側の溝で、遺構の規模は南北に約2.2m、東西に約0.8mである。覆土は褐色系の粘質土が主体である。

SK2 (第159図)

3区北東部に位置する土坑で、先述のSH1の北東側に位置する。遺構の規模は南北に約3.3m、東西に約3.0mである。

SK3 (第160図)

5区北東部に位置する土坑で遺構の規模は南北に約2.6m、東西に約1.9mである。

SK4 (第160図)

4区北東部に位置する土坑で遺構の規模は南北に約3.2m、東西に約2.0mである。

SX1 (第158図)

1区北部壁際に位置する不定形遺構で、後述のSD12の北側に位置する。SD12と切り合い関係があり、SX1の方がSD12に比べて新しい。三角形を呈し、遺構の規模は最長部で約9.3m、東西に約4.5mである。

SX2 (第158図)

1区南部壁際に位置する不定形遺構で、先述のSX1の南側に位置する。遺構の規模は南北約6.0m、東西に約1.4mである。

SX3 (第158図)

1区東部壁際に位置する不定形遺構で、先述のSX1の東側に位置する。遺構の規模は南北約7.5m、東西に約1.8mである。

SX4 (第159図)

3区西部壁際に位置する不定形遺構で、調査区をまたいで先述のSX3の東側に位置する。遺構の規模は南北約13.5m、東西に約4.5mである。

SX5 (第159図)

3区北西部壁際に位置する不定形遺構で、先述のSX4の北東側に位置する。遺構の規模は南北約5.0m、東西に約5.0mである。

SX6 (第159図)

3区北東部壁際に位置する不定形遺構で、先述のSX5の東側に位置する。遺構の規模は南北約5.5m、東西に約6.8mである。

SX7 (第159図)

3区北東部壁際に位置する不定形遺構で、先述のSX6の東側に位置する。遺構の規模は南北約5.5m、東西に約4.0mである。

SX8 (第160図)

5区西部壁際に位置する不定形遺構である。遺構の規模は南北約3.4m、東西に約2.0mである。

SX9 (第160図)

5区東部壁際に位置する不定形遺構である。遺構の規模は南北約2.8m、東西に約1.5mである。

SD9 (第158図)

2区北西部に位置する遺構である。遺構の規模は最長部で約6.8m、幅は約0.5mを測る。方位は東西方向にほぼ水平である。

SD10 (第158図)

2区東部に位置する遺構である。遺構の規模は最長部で約4.7m、幅は約0.8mを測る。方位は南北方向にほぼ水平である。

SD11 (第158図)

2区北西部に位置する遺構である。遺構の規模は最長部で約5.7m、幅は約0.5mを測る。方位は東西方向にほぼ水平である。

SD12 (第158図)

1区中央部に位置する遺構であり、先述のSX1の南側に位置する。遺構の規模は最長部で約5.8m、幅は約1.0mを測る。方位は南北方向にほぼ水平である。

SD13 (第158図)

1区北東部壁際に位置する遺構であり、先述のSX3の北側に位置する。遺構の規模は最長部で約3.0m、幅は約0.4mを測る。方位は南北方向にほぼ水平である。

SD14 (第159図)

3区西部に位置する遺構であり、先述のSH2の北側に位置する。アルファベットのL字のように折れ曲がっている形状を呈する。遺構の規模は最長部で約20.0m、幅は約0.3mを測る。

SD15 (第159図)

3区東部に位置する遺構であり、先述のSH1の東側に位置する。遺構の規模は最長部で約10.0m、幅は約0.3mを測る。方位の南北を0°としたとき西に約80°振れる。

SD16 (第159図)

3区東部に位置する遺構であり、先述のSD15の北側に位置する。遺構の規模は最長部で約19.0m、幅は約0.8mを測る。方位の南北を0°としたとき西に約80°振れる。

SD17 (第159図)

3区東部に位置する遺構であり、先述のSD15・16とほぼ直交している。遺構の規模は最長部で約8.3m、幅は約0.5mを測る。方位は南北方向にほぼ水平である。

SD18 (第159図)

3区東部に位置する遺構であり、先述のSD15～17の北東側に位置する。遺構の規模は最長部で約10.0m、幅は約0.3mを測る。方位の南北を0°としたとき西に約85°振れる。

P1 (第159図)

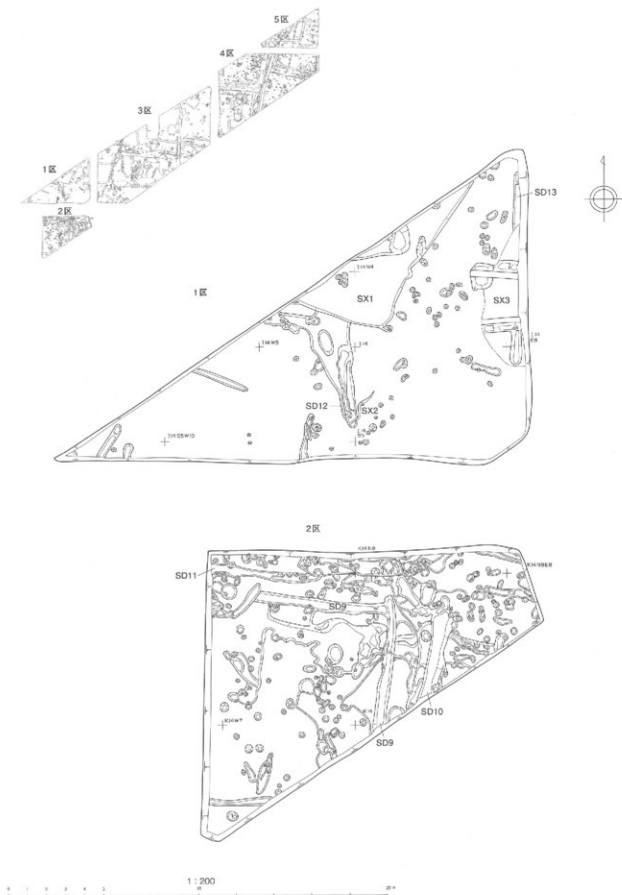
3区中央部西側に位置するビットで、前述のSH1内に位置する。直径約70cmを測る。

P2 (第159図)

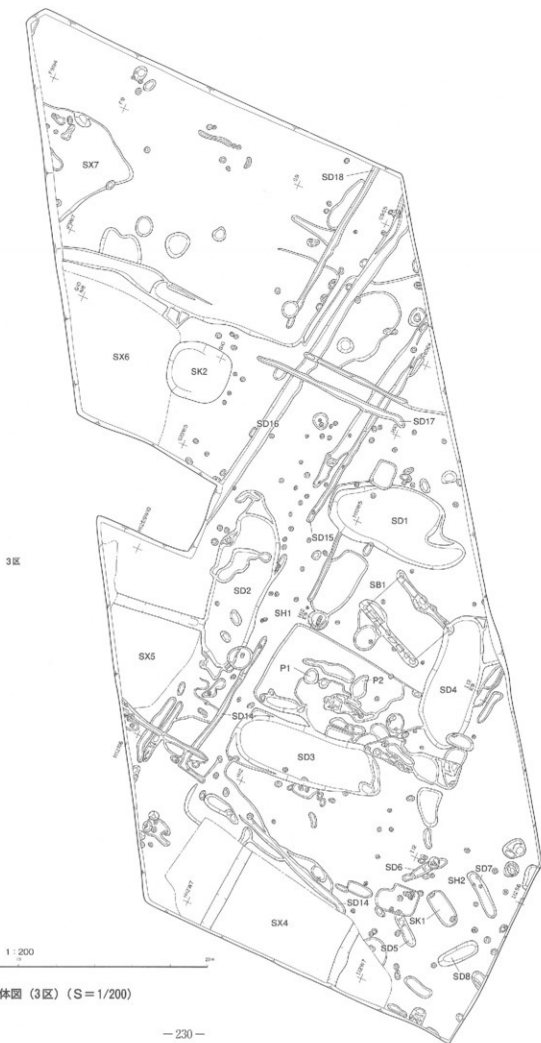
3区中央部西側に位置するビットで、前述のP1の南側に位置する。長軸約140cm、短軸90cmの楕円形を呈する。

第3節 遺物

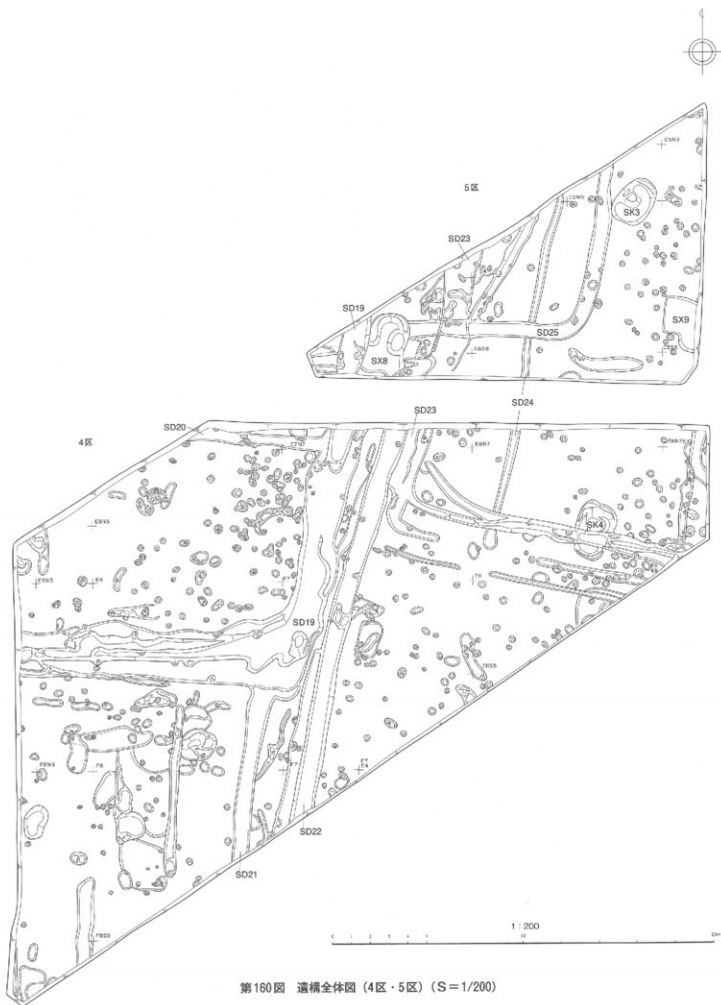
1～32は弥生時代後期後半を主体とする上器で、ほとんどが方形周溝墓の溝から出たものである。33～38は中世土器・陶磁器で、第6次、第12次、第20次に比べて数量は少ない。39～97は近世土器・陶磁器、98～101は土製品である。105～117は石製品で、砥石の出土量が目立つ。



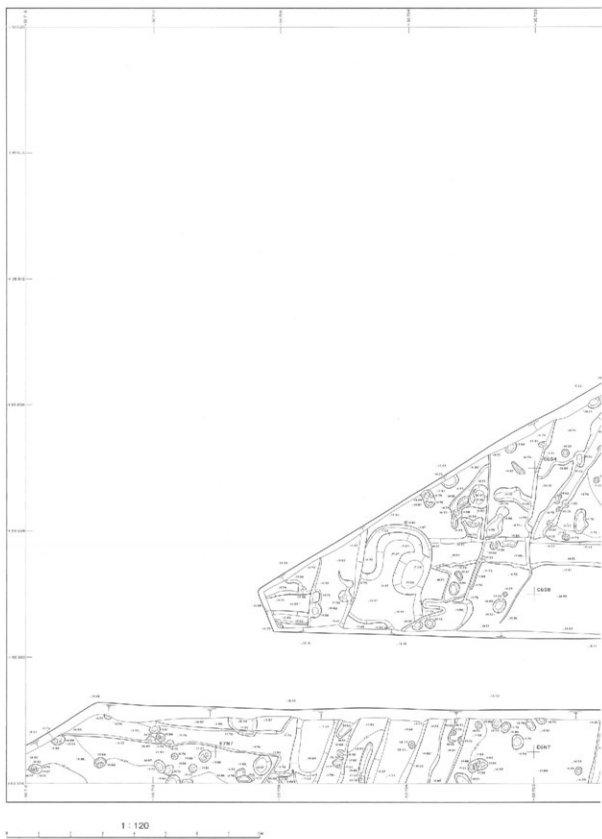
第158图 遺構全体図(1区・2区)(S=1/200)



第159图 遺構全体图 (3区) (S=1/200)

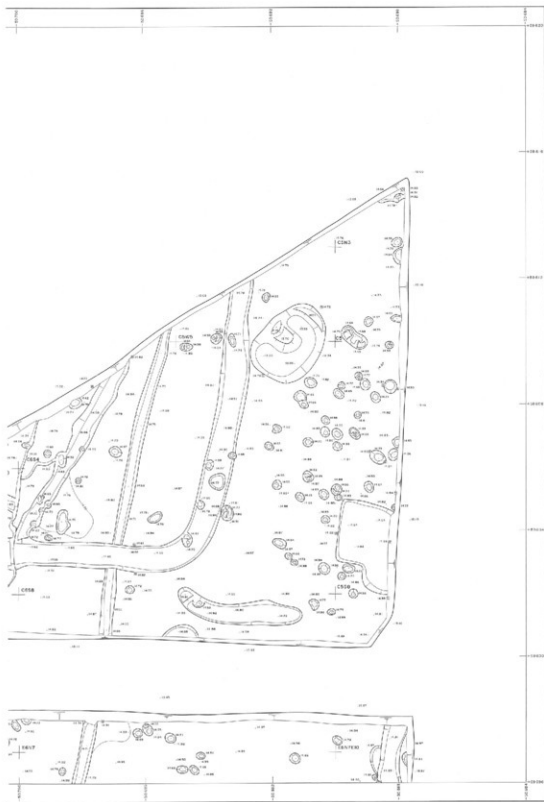


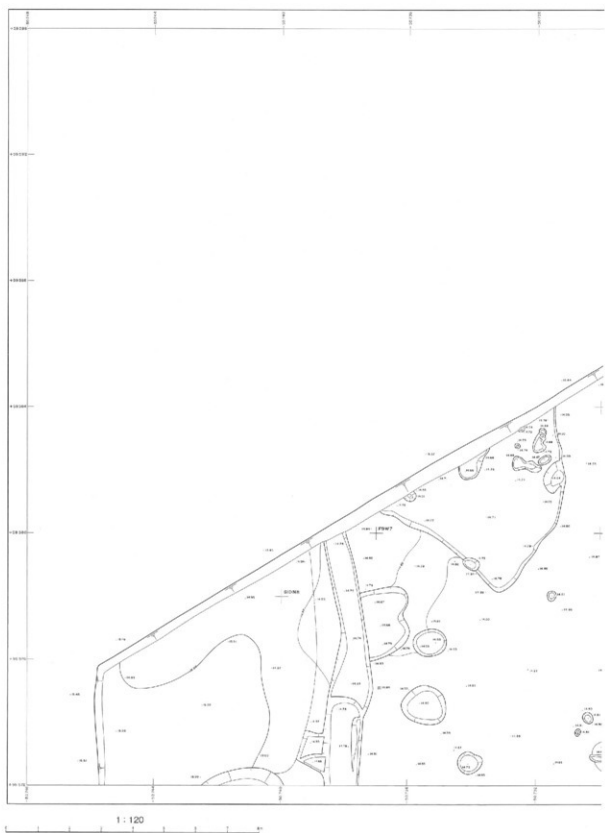
第160图 遺構全体図(4区・5区)(S=1/200)



第161図 航空測量図1 (S=1/120)

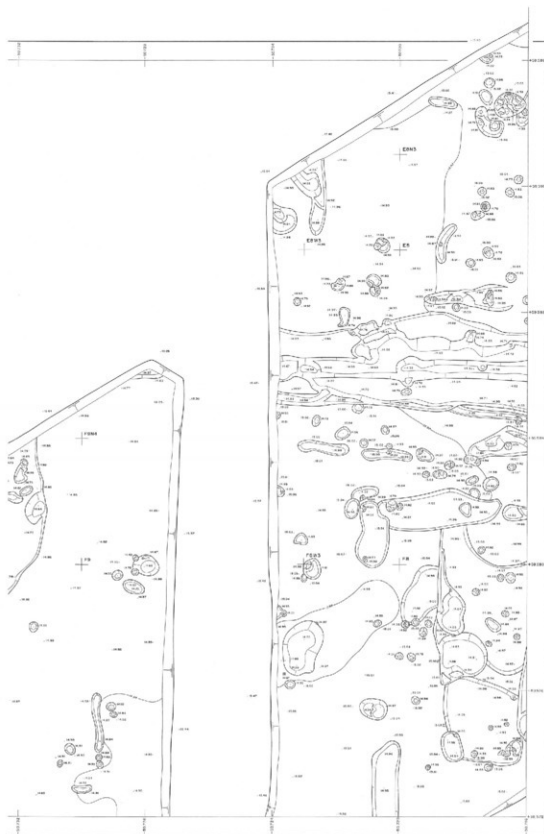
			1
		2	3
4	5	6	
7	8		

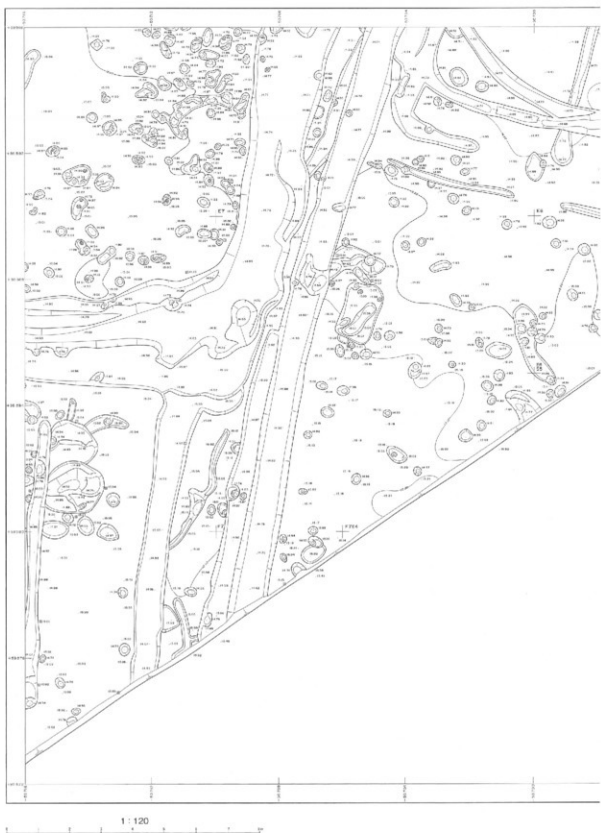




第 162 图 航空测量图 2 (S=1/120)

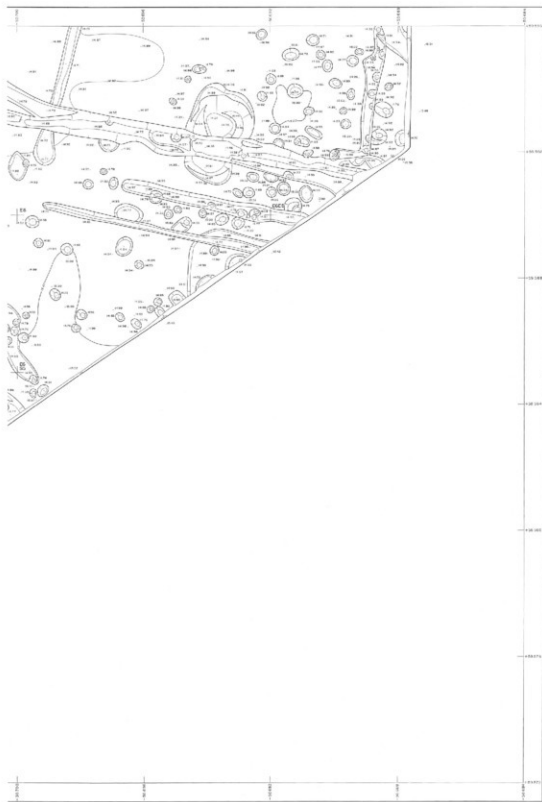
			1
		2	3
4	5	6	
7	8		

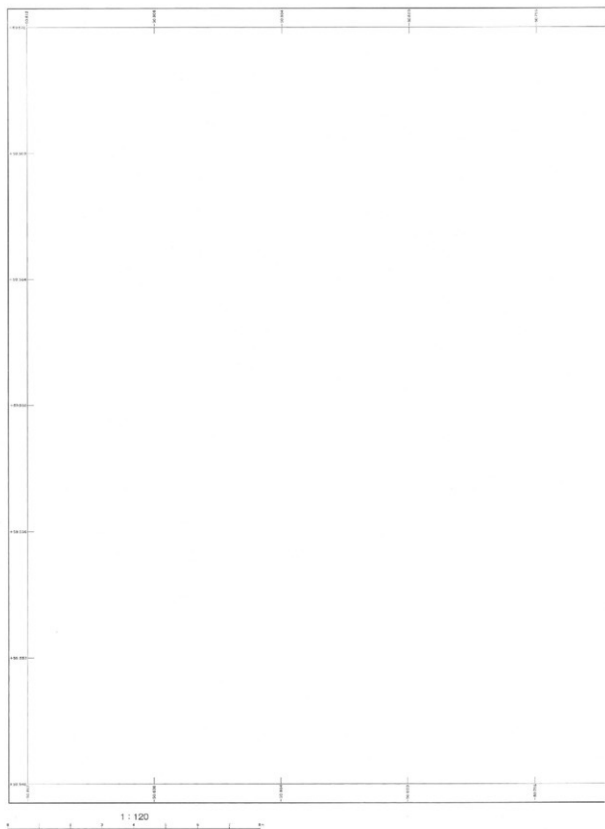




第163图 航空测量图3 (S=1/120)

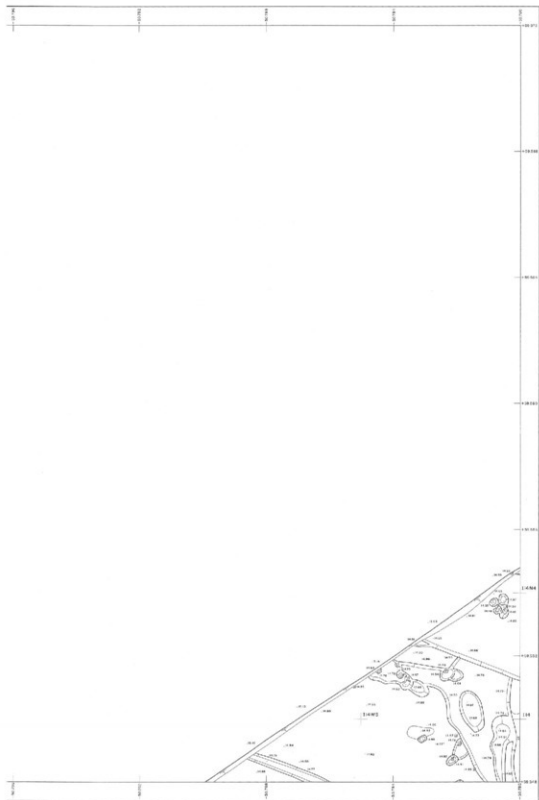
			1
		2	3
4	5	6	
7	8		





第 164 图 航空测量图 4 (S=1/120)

			1
		2	3
4	5	6	
7	8		

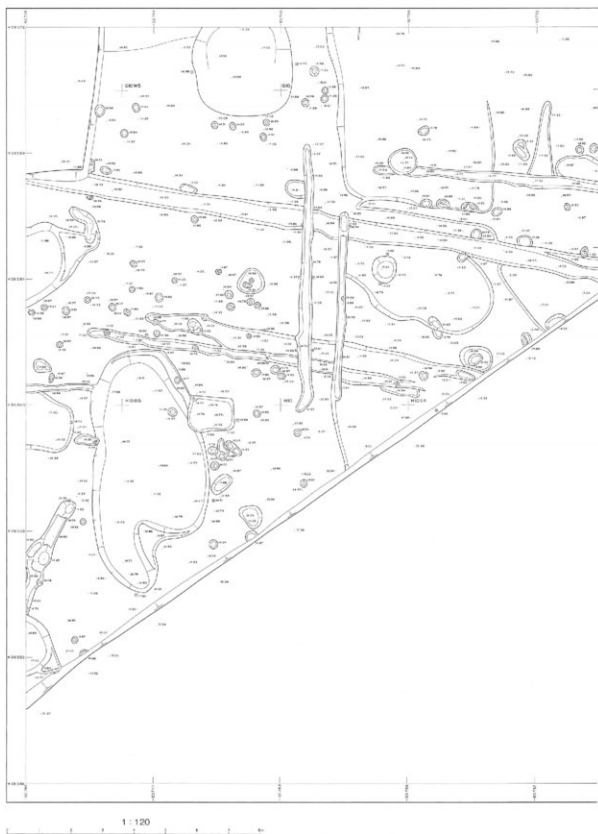




第165图 航空測量図5 (S=1/120)

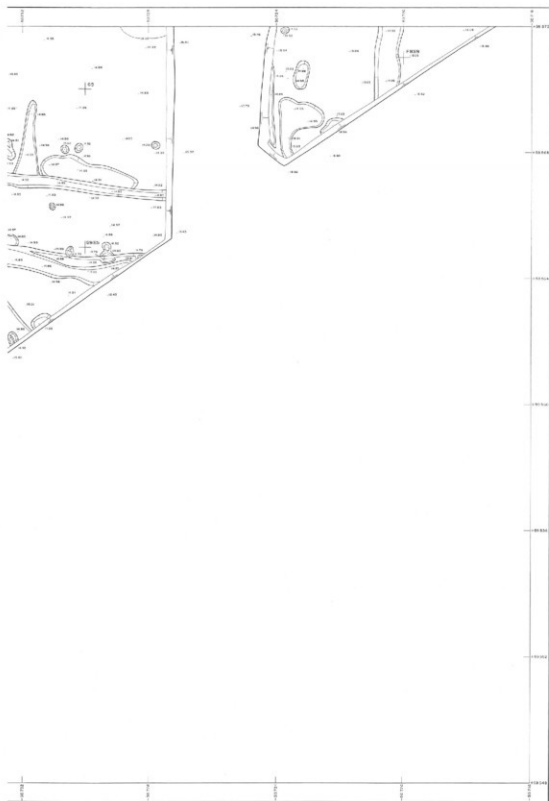
			1
		2	3
4	5	6	
7	8		

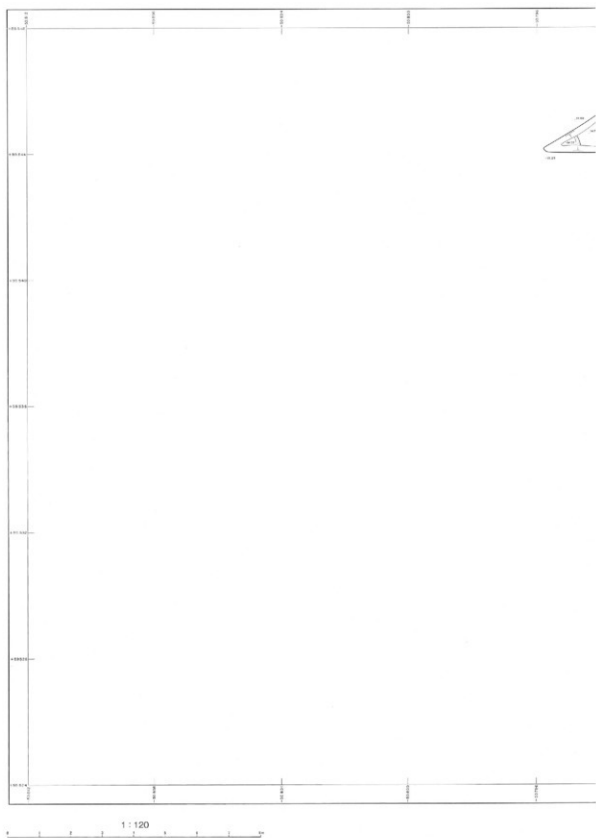




第166图 航空测量图6 (S=1/120)

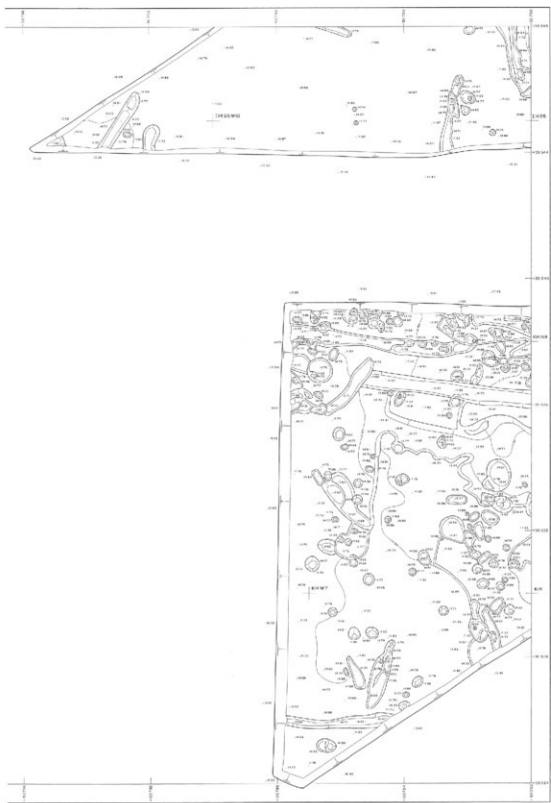
			1
		2	3
4	5	6	
7	8		

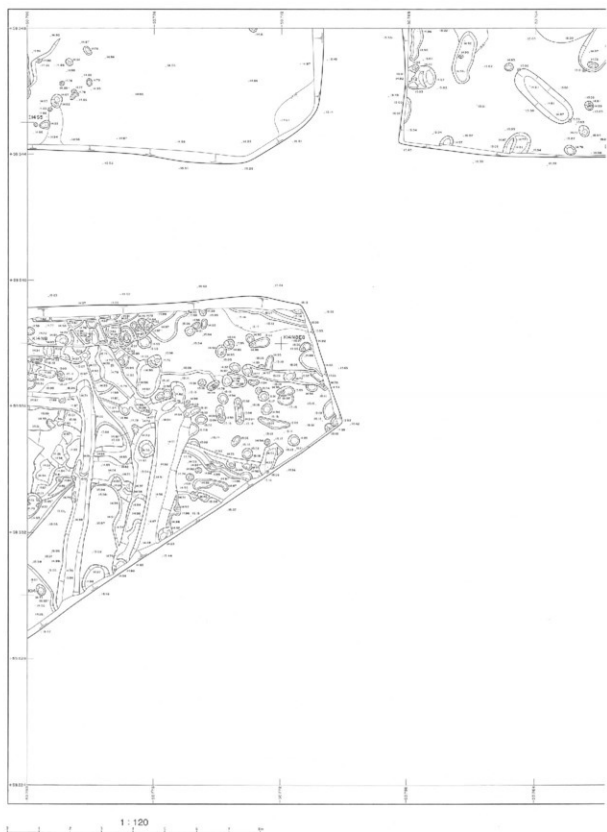




第167图 航空测量图7 (S=1/120)

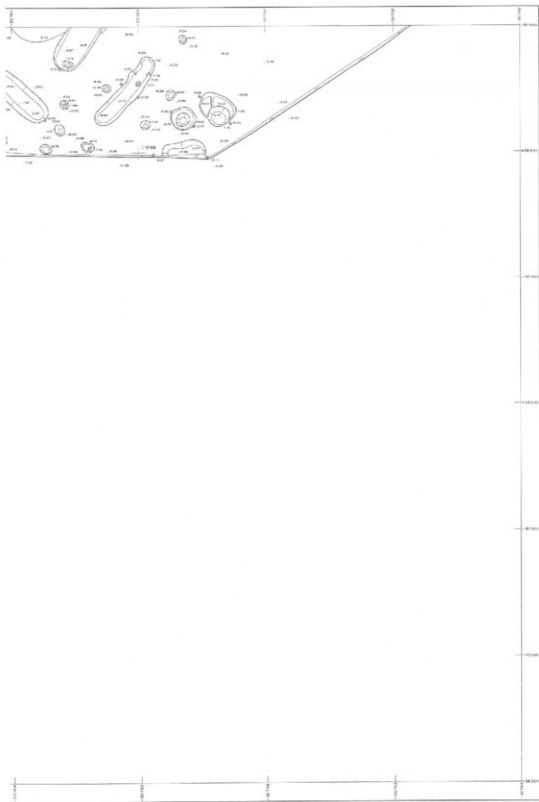
			1
		2	3
4	5	6	
7	8		

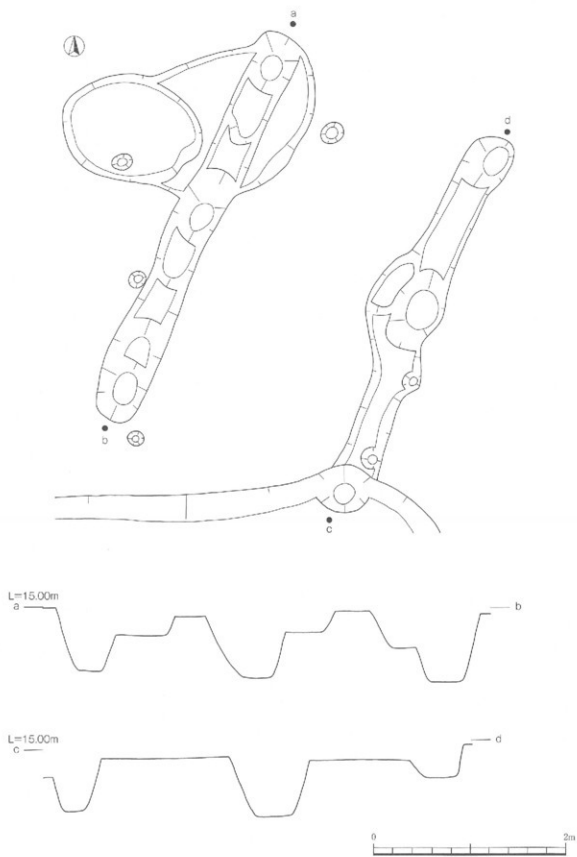




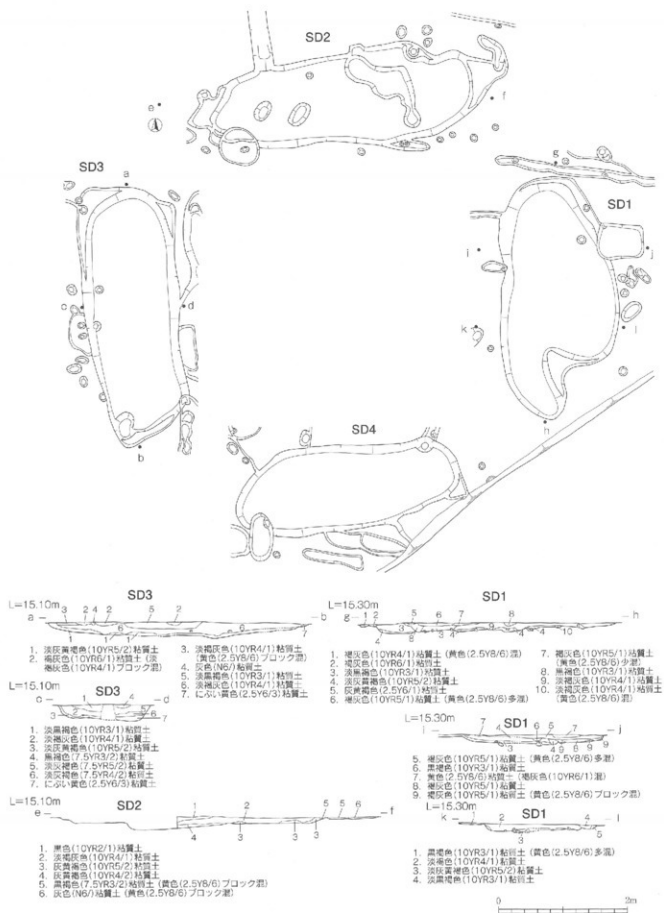
第168图 航空测量图8 (S=1/120)

			1
		2	3
4	5	6	
7	8		

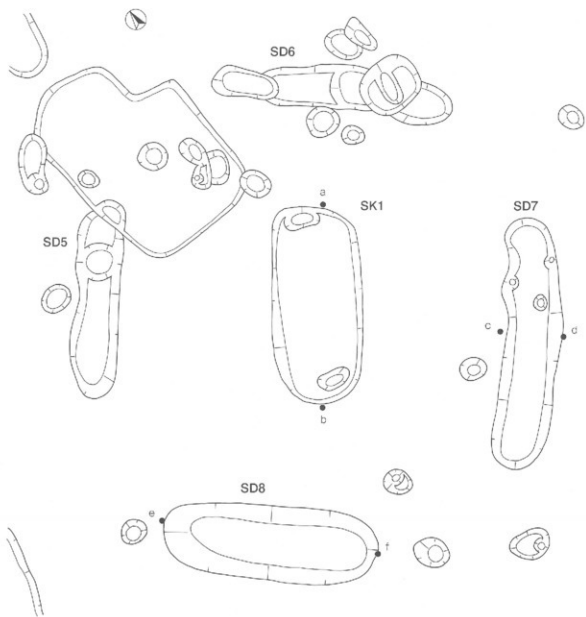




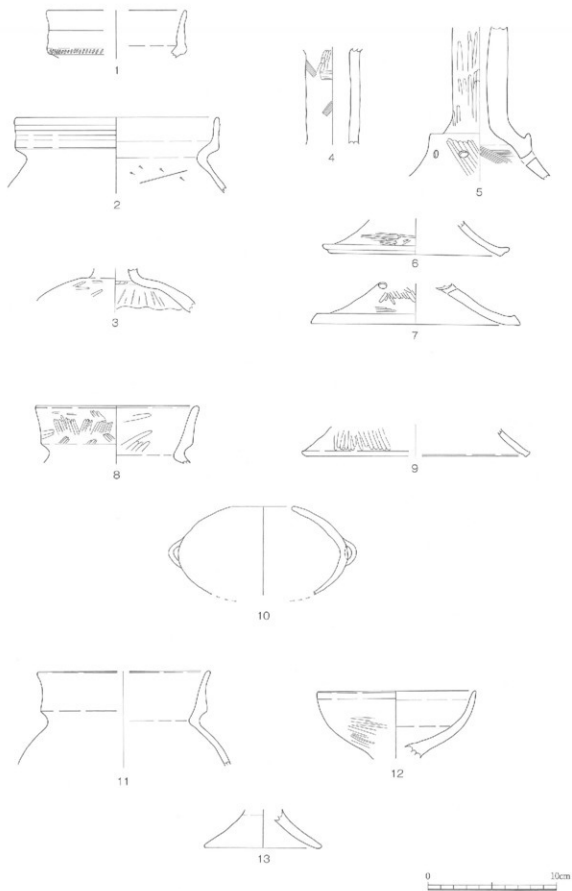
第169图 SBI造構図・断面図 (S=1/40)



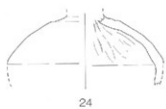
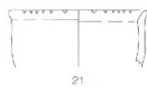
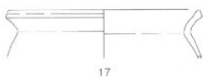
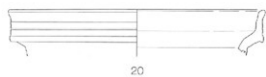
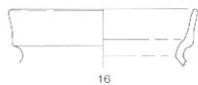
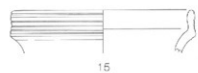
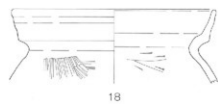
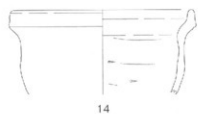
第170図 SHI 遺構図・土層断面図 (S=1/60)



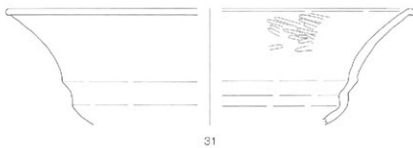
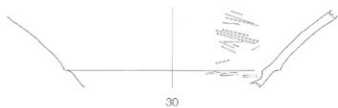
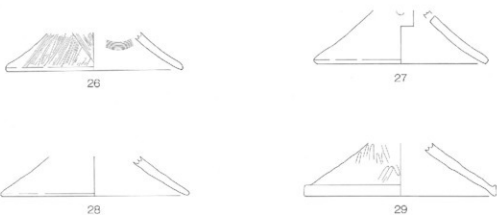
第171図 SH2遺構図・土層断面図(S=1/40)



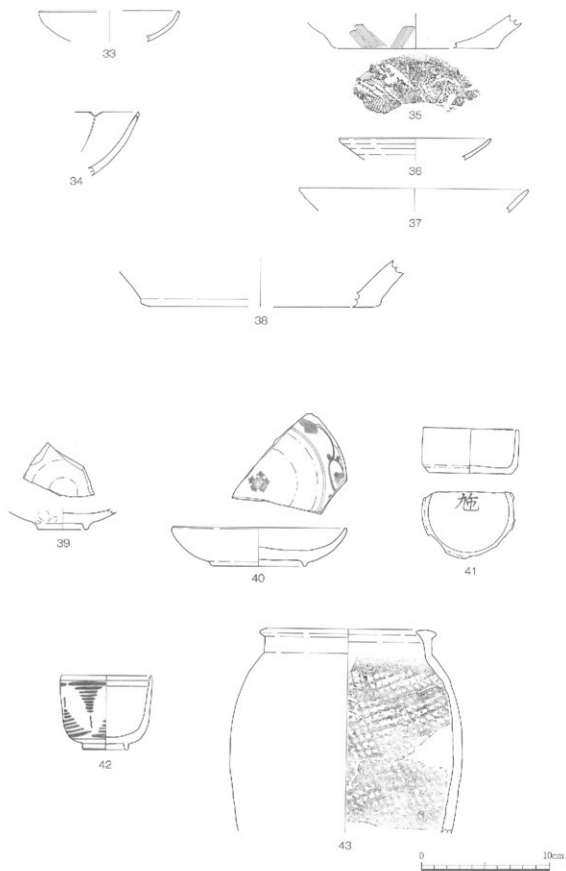
第172图 出土遗物实测图1 (S=1/3)



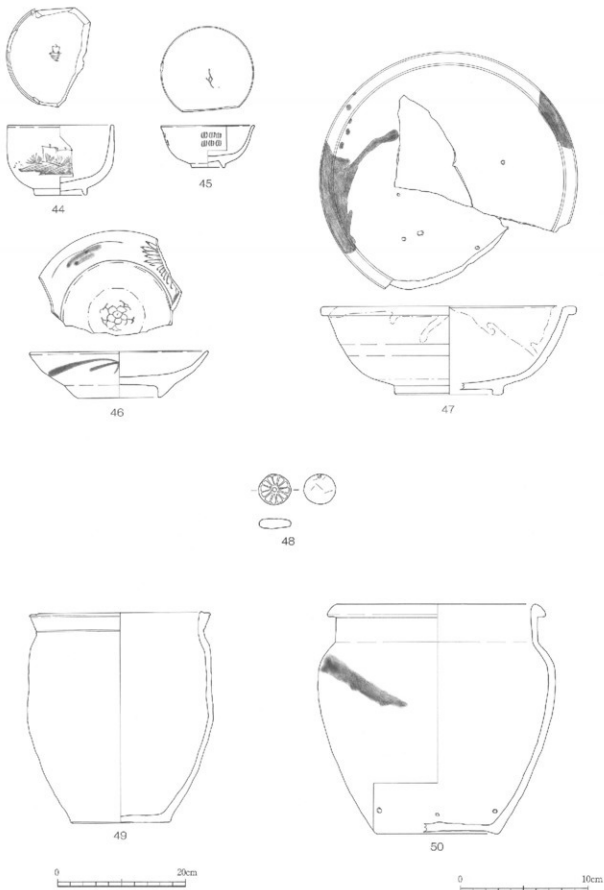
第173图 出土遗物实测图2 (S=1/3)



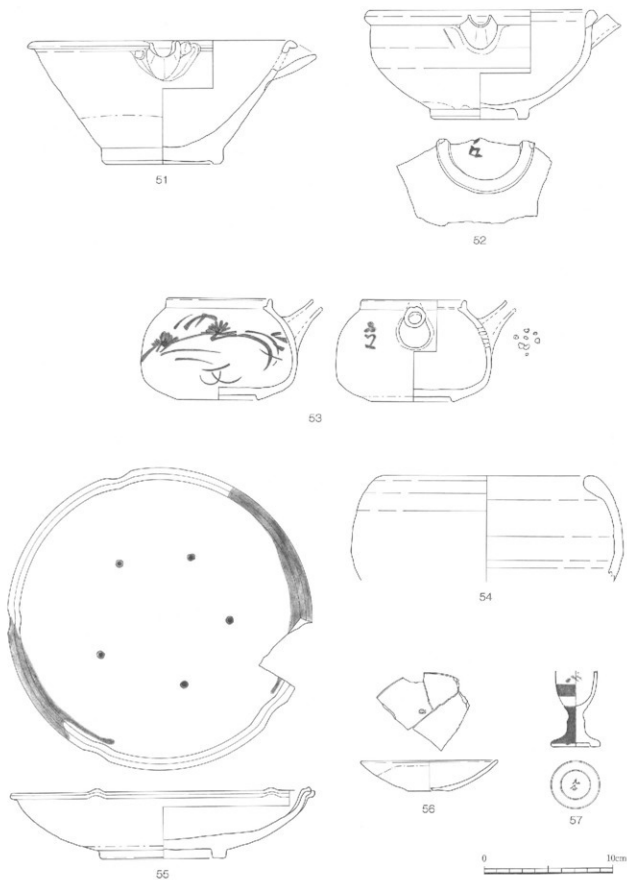
第174图 出土遗物实测图3 (S=1/3)



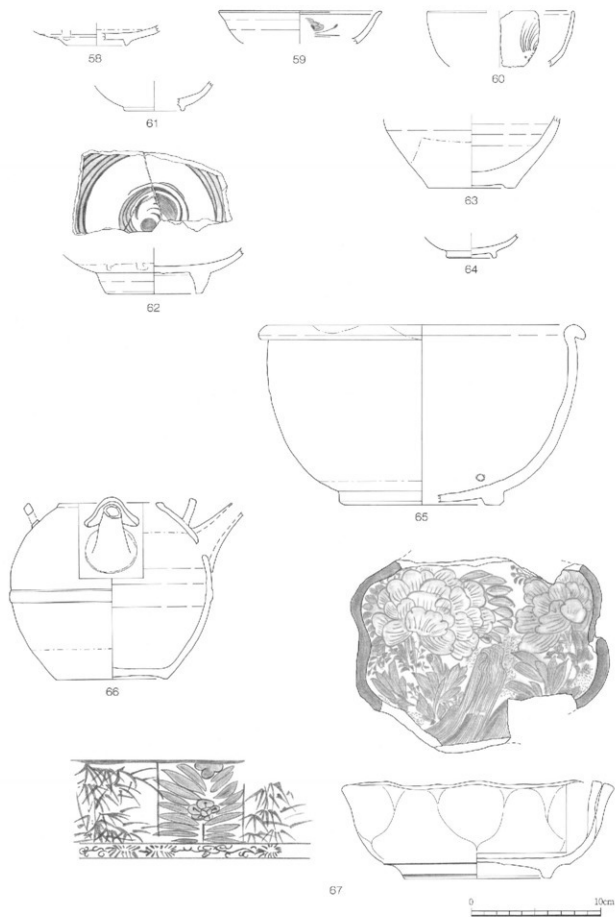
第175図 出土遺物実測図4 (S=1/3)



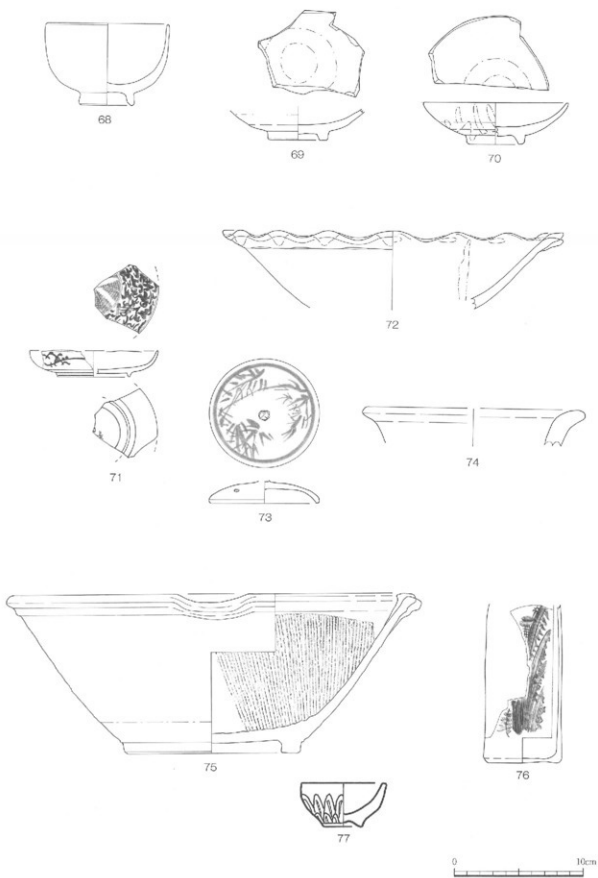
第176図 出土遺物実測図5 (S=1/3) No.49 (S=1/6)



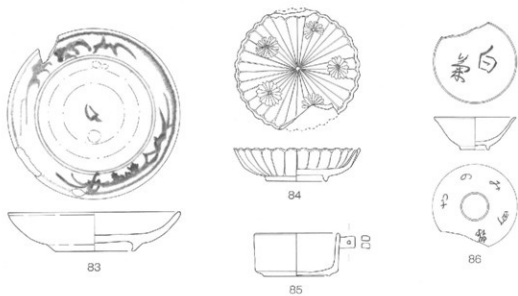
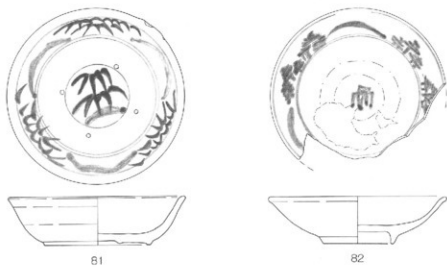
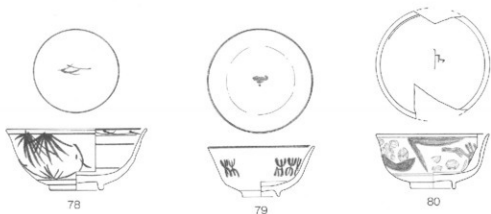
第177図 出土遺物実測図6 (S=1/3)



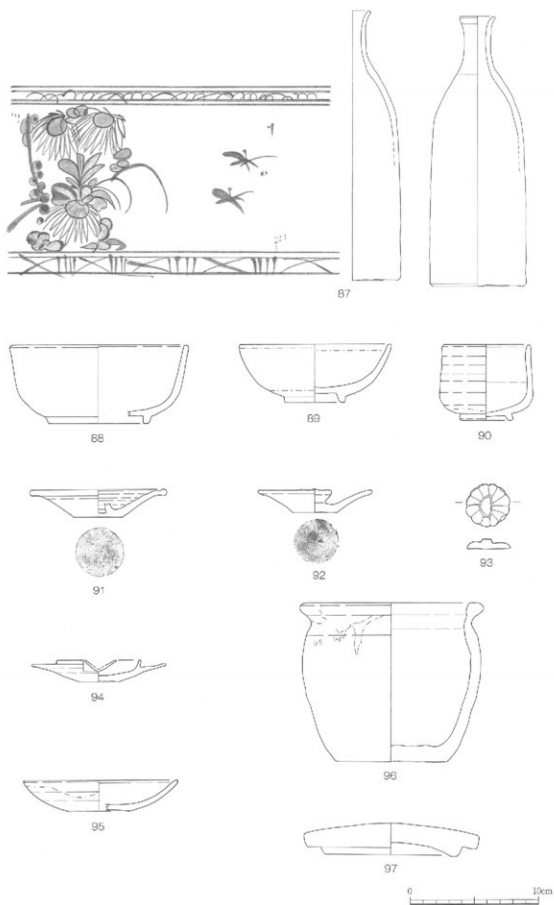
第178图 出土遗物实测图7 (S=1/3)



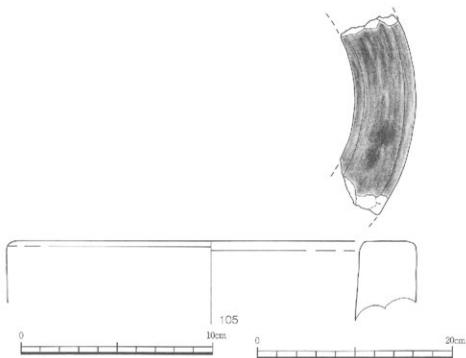
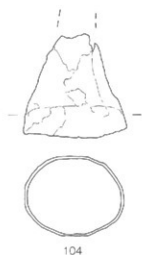
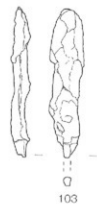
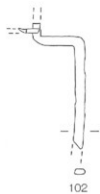
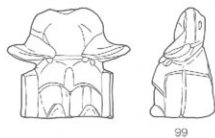
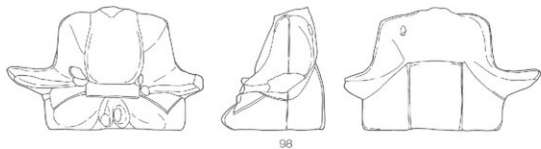
第179図 出土遺物実測図8 (S=1/3) No.77 (S=1/1)



第180图 出土物実測図9 (S=1/3)



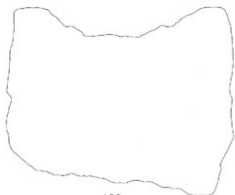
第181图 出土遺物実測図10 (S=1/3)



第182図 出土遺物実測図11 (S=1/2) No.105 (S=1/4)



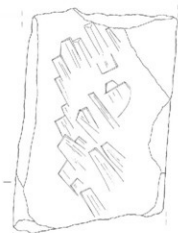
106



107



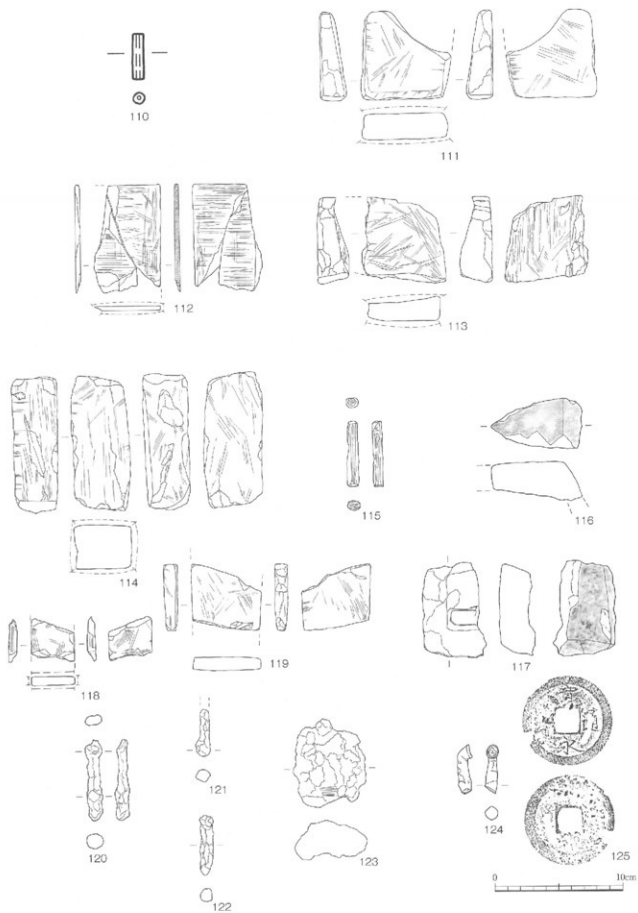
108



109



第183図 出土遺物実測図12 (S=1/3)



第184图 出土文物实测图13 (S=1/3) No.110·125 (S=1/1)

第12表 出土土器・陶磁器観察表

番号	造形	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整(外)		色調(外)		残存率	備考	実測 番号
						調整(内)	色調(内)					
1	SD3	弥生 甕					ヨコナテ	橙	(小片)		キヤミ	J54
2	SD1	弥生 甕	16.0				ヨコナテ	にぶい黄褐	1/12			J50
							ヨコナテ	浅黄橙				
3	SD1	弥生 壺					ヨコナテ、ケズリ	浅黄橙	底部定形		赤彩	J52
							ナテ、ミガキ ナテ	にぶい黄褐				
4	SD1	弥生 器台			頸部 4.2		ナテ、ミガキ、ハケ	にぶい黄褐				J55
							ナテ	にぶい黄褐				
5	SD1	弥生 器台			頸部 4.4		ナテ	にぶい橙	2/3		透かし孔2か所×3、 黒色粒、赤色酸化粒	J49
							ミガキ	にぶい黄褐				
6	SD1	弥生 高杯				14.6	ナテ、ミガキ	浅黄橙	5/36			J53
7	SD1	弥生 高杯				16.4		ヨコナテ	浅黄橙	1/12	穿孔3か所	J51
								ヨコナテ、ミガキ ヨコナテ	にぶい褐 にぶい黄褐			
8	SD2	弥生 壺	12.8					ミガキ	明赤褐	1/9	赤彩	N44
								ミガキ	明赤褐			
9	SD2	弥生 高杯	(17.8)					ミガキ	にぶい橙	1/12	内面煤付着	N45
								ナテ	灰黄褐			
10	SD2	弥生 鉢	4.7					ヨコナテ	淡黄	1/2		J19
								ヨコナテ	淡黄			
11	SD3	弥生 壺	(13.6)		頸部 (11.0)			明赤褐	口縁1/12 頸部1/3			N43
12	SD3	弥生 高杯	12.5					ナテ	にぶい橙	1/7	赤色酸化粒	N41
								ナテ	にぶい橙			
13	SD3	弥生 高杯				9.3		にぶい黄橙、明褐	1/4			N42
								にぶい黄橙				
14	SD4	弥生 壺	14.2					ヨコナテ	にぶい黄橙	1/9	赤色・黒色粒、海綿骨片	J36
								ヨコナテ、ケズリ	明赤褐			
15	SD4	弥生 壺	14.2					ヨコナテ	にぶい黄橙	1/12	赤色・黒色粒	J28
								ヨコナテ	灰黄褐			
16	SD4	弥生 壺	14.8					ヨコナテ	にぶい黄橙	1/9	黒色粒	J24
								ヨコナテ	にぶい黄橙、にぶい赤褐			
17	SD4	弥生 壺	15.0					ヨコナテ	にぶい橙	5/36	黒色粒	J26
								ヨコナテ	にぶい橙			
18	SD4	弥生 壺	16.0					ヨコナテ、ハケ	にぶい黄橙	1/18	黒色・赤色粒	J25
								ヨコナテ、ケズリ	にぶい黄橙			
19	SD4	弥生 壺	(17.0)					にぶい褐	1/12			N39
								にぶい黄橙				
20	SD4	弥生 壺	20.2					ヨコナテ	橙	1/12	黒色粒	J30
								ヨコナテ	にぶい黄橙			
21	SD4	弥生 壺	10.8					ナテ	灰黄褐	1/6	口縁部ランダムな波状	J27
								ヨコナテ	にぶい黄橙			
22	SD4	弥生 底部				3.4		ナテ、ケズリ	にぶい黄橙	1/3	赤色酸化粒、外面煤付着	J23
								ナテ	にぶい黄橙			
23	SD4	弥生 小型土器	7.8	7.6	2.0		ナテ、ミガキ、ケズリ	にぶい橙	定形		黒色・赤色粒	J29
24	SD4	弥生 壺				体部 (12.2)		にぶい黄橙、橙 褐灰	(小片)			N34
25	SD4	弥生 高杯						ナテ	にぶい橙	(小片)		J37
								ナテ	にぶい橙			
26	SD4	弥生 高杯				13.8		ハケ、ナテ	にぶい橙	1/9	煤付着	J18
								ハケ、ナテ	灰黄褐			
27	SD4	弥生 高杯				13.6		灰黄褐	灰黄褐	2/3		N33
								灰黄褐	灰黄褐			
28	SD4	弥生 高杯				14.8		ナテ、ミガキ	淡橙	7/36	黒色・赤色粒	J35
								ナテ	淡黄			
29	SD4	弥生 高杯				15.0		ヨコナテ、ミガキ	橙	1/2	赤色酸化粒、海綿骨片	J21
								ナテ	橙			

番号	遺構	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整(外)		残存率	備考	実測 番号
						調整(内)	色調(内)			
30	SD4	弥生 高杯				ヨコナデ、ナデ	にぶい黄橙	(小片)	黒色・赤色粒	J20
31	SD4	弥生 高杯	(32.0)			ヨコナデ、ナデ	橙、にぶい橙	1/2	内面魚げ跡	N40
32	SD4	弥生 高杯	36.2			ミガキ ヨコナデ ヨコナデ	橙、にぶい橙、褐灰 橙 にぶい橙	1/12		J31 J32
33	SX1	白磁 皿					灰白	(小片)	透明釉	J8
34	SX9	青磁 碗					オリーブ灰 オリーブ灰	(小片)	黒色粒	N74
35	SD22	珠洲 播鉢			12.7	ナデ、ハケ ナデ、ハケ	浅黄 浅黄	1/3	焼成甘い	J63
36	SD19	白磁 皿	12.0				灰白	1/9		N68
37	SD16	土師器 皿	18.0			ナデ ナデ	オリーブ黒 にぶい黄色	1/18		J12
38	包含層	加賀 甕			(19.0)		灰黄、暗灰黄 灰オリーブ	(小片)	自然釉	N7
39	SK3	磁器 碗		4.0			灰白、にぶい黄橙 灰白	1/2	蛇の目軸測ぎ	N76
40	SK3	肥前磁器 染付皿	13.7	3.1	7.2		灰白、青灰、緑灰 灰白、青灰、緑灰	1/18	蛇の目軸測ぎ、 接地面軸測ぎ、波佐見	N75
41	SK3	陶器 猪口	7.6	3.6	6.4		灰黄、灰白 灰黄、灰白	底部7/12 口縁1/6	透明釉、底部無釉(無軸 部灰黄)、墨書(施)	N86
42	SK2	肥前陶器 染付小杯	7.2	5.9	3.5		灰白、明青灰 灰白、明青灰	17/18	透明釉、1650年代	N92
43	P2	肥前陶器 甕	13.9				灰赤 灰赤	5/12	猪子目タケキ、 16世紀末～17世紀初	N48
44	SD23	肥前陶器 碗	8.3	5.6	4.1		灰白、暗青灰 灰白、暗青灰	1/18	接地面軸測ぎ、 17世紀末～18世紀後半	N88
45	SD23	肥前磁器 染付小杯	7.4	3.3	2.6		灰白、群青 灰白、群青	5/6	透明釉、接地面軸測ぎ	N72
46	SD23	肥前磁器 染付皿	14.0	3.7	6.4		灰白、群青灰 灰白、群青灰	1/4	透明釉、蛇の目軸測ぎ、 接地面軸測ぎ	N71
47	SD23	肥前陶器 鉢	20.2	7.0	8.6		黒褐・にぶい橙 黒褐・にぶい橙	2/3	施釉、胎土目、底部露胎、 1650年代?	J102
48	SD19	泥舟子	直径 2.5	厚 0.8	重量 4.3g		橙	完形		N87
49	SD19	磁前 甕	29.8	33.4	15.6	ヨコナデ、ナデ ヨコナデ、ナデ	灰褐、明赤灰 灰褐、明赤灰	底部完形		J85
50	SD19	肥前陶器 壺	16.0	18.2	10.0		オリーブ黄 にぶい黄	5/9	灰釉、銅緑釉、胎土目	J98
51	SD19	肥前陶器 片口鉢	21.2	9.8	9.0		オリーブ黄、浅黄 オリーブ黄、浅黄	完形	灰釉、底部露胎、胎土目	J78
52	SD19	肥前陶器 鉢	18.2	8.7	7.4		オリーブ黄、灰白 オリーブ黄、灰白	1/2	灰釉、底部露胎	J102
53	SD19	陶器 急須	8.2	8.1	6.4		灰白 灰白	完形	灰釉、底部露胎	J99
54	SD19	土師器 火鉢	18.0			ヨコナデ ヨコナデ	明黄褐 にぶい橙	5/9		J82
55	SD19	陶器								J77
56	SD20	陶器 灯明皿	10.8	2.4	3.2		浅黄橙	1/6	灰釉、胎土目	J66
57	SD20	九谷磁器 仏舎利 陶器			3.8		灰白、明赤褐 灰白、明赤褐	底部完形	赤釉	J94
58	SD19	陶器			4.4		浅黄、灰白 浅黄、灰白		鉄釉、黒色粒	J58
59	SD17	中国染付 皿	12.8				明緑灰 明緑灰	1/12		J59

番号	遺構	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整(外)		残存率	備考	実測 番号
						調整(内)	色調(内)			
60	SD13	肥前磁器 碗					灰白	(小片)	透明釉	J14
61	SX2	陶器 碗			4.6		灰オリーブ オリーブ黄	1/6	銅緑釉、接地面釉剥ぎ	J15
62	SX2	肥前陶器 皿			7.8		浅黄 にぶい黄橙	7/12	黒色・赤色粒、 蛇の目釉剥ぎ、底部露胎	J16
63	SX7	肥前陶器 羹			7.0		灰白	1/2	鉄釉	J56
64	SX6	磁器 皿			4.0		灰白	2/3	透明釉、接地面釉剥ぎ	J60
65	SX5	陶器 鉢	25.6	14.3	13.0		暗オリーブ 暗オリーブ	1/9	灰釉、胎土目、底面露胎	J96
66	SX4	陶器 瓶	8.2	14.4	8.6	ロクロナデ、ケズリ	オリーブ褐	完形 (注1,2次編)	灰釉、口縁部露胎	N89
67	SX5	肥前磁器 染付鉢	21.4	7.5	11.6		灰白、青	底部完形	透明釉	J97
68	SD12	陶器 碗			4.4		灰白、青 浅黄、灰オリーブ 浅黄、灰オリーブ	4/9	灰釉、京焼風、 黒・赤色粒	J17
69	包含層	肥前陶器 皿			4.8		灰黄、灰白	3/5	銅緑釉、灰釉、黒色粒	N2
70	包含層	肥前陶器 皿	11.4	3.3	4.5		灰白 にぶい黄、浅黄 灰黄、浅黄	口縁1/4 底部3/5	灰釉、蛇の目釉剥ぎ	N3
71	包含層	肥前磁器 染付皿	10.0	2.1	5.6		灰白、明青灰 灰白、明青灰	口縁1/7 底部1/4	透明釉、接地面釉剥ぎ	N91
72	包含層	陶器 皿	26.8				灰オリーブ、浅黄橙 灰オリーブ、浅黄橙	1/5	灰釉、底部露胎	N93
73	包含層	染付陶器 合子壺		1.6			灰白	完形	透明釉	J95
74	包含層	陶器 壺	(17.4)				灰黄、暗灰黄 灰黄褐	1/7		N5
75	包含層	肥前陶器 播鉢	32.4	12.6	13.6	おろし目	黒、にぶい橙 黒、にぶい橙	完形	1620年代?	J103
76	包含層	肥前磁器 徳利			6.1		灰、明青灰 灰、明青灰	1/4	透明釉、18世紀以降	N90
77	包含層	磁器 飯事道具	2.3	1.2	1.0		灰白	1/2	黒色・茶色粒	N4
78		染付磁器 碗	11.1	4.9	4.2		灰白	完形		
79		染付磁器 碗	8.4	4.0	3.0		灰白	完形	透明釉、接地面釉剥ぎ	J124
80		磁器 碗	9.0	4.3	3.6		明緑灰、暗赤、黄、青、緑	2/3	透明釉、内面朱色の模様、 接地面釉剥ぎ	N106
81		磁器 皿	14.0	3.8	8.2		灰白、青灰、暗青灰 灰白、青灰、暗青灰	完形	透明釉、胎土目、 底面釉剥ぎ、黒・茶色粒	N104
82		磁器 皿	14.0	2.8	5.5		灰白、青	2/3	透明釉、蛇の目釉剥ぎ、 接地面釉剥ぎ	N105
83		磁器 皿	13.6	3.1	6.2		灰白、灰、オリーブ黒 灰白、灰、オリーブ黒	8/9	蛇の目釉剥ぎ、 接地面釉剥ぎ	N118
84		磁器 皿	10.0	2.6	4.8		灰白	底部完形	透明釉	J127
85		磁器 箸猪口	6.6	3.4	5.2		灰白	完形	透明釉、底面釉剥ぎ	J123
86		磁器 猪口	6.6	2.6	2.2		灰白	完形	透明釉、白帯(文字色赤)	J122
87		磁器 徳利	2.8	21.4	7.6		灰白	完形	透明釉	J126
88		陶器 碗	14.0	6.2	7.8		灰オリーブ 灰オリーブ	1/7	透明釉、接地面釉剥ぎ	N108
89		陶器 碗	12.0	4.6	4.8		にぶい黄橙、黒褐 にぶい黄橙、黒褐	5/6	鉄釉、白泥釉、底部露胎	N121

番号	遺構	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	調整(外)	色調(外)	残存率	備考	実測 番号
						調整(内)	色調(内)			
90		陶器 椀	7.0	6.0	4.2		灰オリーブ、にぶい黄橙 灰オリーブ、にぶい黄橙	完形	灰軸、底部露胎	N109
91		陶器 壺	10.8	2.2	3.8		灰オリーブ、灰 灰褐、淡黄	8/9	灰軸、白泥軸、底部露胎	N117
92		陶器 壺	9.0	1.8	3.6	ロクロナテ	黒褐、暗褐 浅黄橙	5/6	鉄軸、底部露胎	N116
93		陶器 壺	3.4	3.4	0.8		灰白	完形	透明釉	N119
94		陶器 受付皿	10.6	1.7	3.0	ケズリ	灰黄、灰オリーブ 灰黄、灰オリーブ	1/4	灰軸	N110
95		陶器 皿	12.2	2.4	5.0	ケズリ	灰白、浅黄 灰白、浅黄	5/12	灰軸、胎土目、外面露胎、 黒色粒	N107
96		陶器 小型壺	14.4	12.6	8.7		にぶい橙 にぶい橙	口縁4/9 底部13/18	鉄軸、 底部内外面粒砂付着	N115
97		瓦質土器 蓋	13.8	2.5	10.4	ナテ	灰黄、黄灰 浅黄、灰黄	1/3	火消し蓋、赤色粒	N114

第13表 土製品観察表

番号	グリッド	器種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	重量 (g)	色調	備考	実測 番号
	遺構							
98		土人形	6.5	10.3	173.9		天神	N111
99		土人形	5.9	6.5	70.9		天神	N112
100		陶製面子	4.7	3.8	11.8	灰オリーブ、 灰黄	穿孔	N120
101		土師質泥面子	4.9	5.4	20.1			N113

第14表 石製品観察表

番号	遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	石材	備考	実測番号
			(cm)	(cm)	(cm)	(g)			
105		火鉢 (石臼?)	(43.0)			700.0		煤付着	J131
106		炉石	(14.5)	(18.0)	(15.0)	2670.0	凝灰岩		J134
107		磁石	(19.0)	(15.2)	(13.7)	2580.0	凝灰岩		J133
108		炉石	(20.0)	(15.1)	(7.6)	950.0	凝灰岩		J135
109		炉石	(17.8)	(13.0)	(8.9)	1880.0	凝灰岩		J136
110	P1	管玉	1.2	0.3	0.3	0.2			N47
111	SD19	砥石	(7.1)	(7.1)	(2.1)	136.0	砂岩		J81
112	SD19	砥石	(8.6)	(5.4)	(3.5)	30.0	粘板岩	裏の転用	J83
113	SD19	砥石	(6.9)	(6.6)	(2.5)	114.0	凝灰岩	中砥石	J79
114	SD19	砥石	10.8	4.7	3.5	325.0	凝灰岩	中砥石	J80
115	SD19	棒状製品	5.3	1.0	0.8	7.0	蛇紋岩		J84
116	SD14	行火	3.9	7.2	3.1	58.0	凝灰岩		N46
117	包含層	行火	7.6	5.0	3.2	68.0	凝灰岩		N1
118	包含層	砥石	3.5	3.5	7.0	11.6	泥岩	仕上げ砥石	N6
119	包含層	砥石	5.3	5.5	1.1	48.7	凝灰岩	中砥石	J67

第15表 金属製品・銭貨観察表

番号	遺構	器種	最大長	最大幅	最大厚	重量	備考	実測番号
			(cm)	(cm)	(cm)	(g)		
102		銅製品 鏝番	(6.7)	(3.6)	(0.6)	4.8		J130
103		鉄製品 釘	(7.1)	(1.8)	(0.1)	11.0		J132
104		銅製品 不明	(5.5)	(5.5)	(4.2)	37.5		J129
120	SX8	棒状製品	6.4	1.4	1.2	9.9		N73
121	SX1	釘	3.7	1.1	1.0	2.8		J9
122	包含層	釘	(4.8)	(1.1)	(1.1)	4.7		J11
123	SD22	鉄滓 (碗形弁)	7.1	5.7	3.3	105.2		J64
124	SD23	爐管雁首	3.9	1.1	1.1	5.7		SD23
125	SD23	銭	2.3	2.3	0.1	1.7	寛永通宝	N69

第8章 総括

〈弥生時代〉

第6次調査区中央を南北に流れる鞍部となるSD5から大量の弥生土器が出土した。当該時期には、自然河道として流水していたと思われる、上流域には集落跡が存在したことが想定できる。第26次調査区SH1とSH2は弥生時代後期後半の方形周溝墓である。この周溝墓より西方約300mには弥生期の集落遺跡である二日市イシバチ遺跡が存在する。二日市イシバチ遺跡の集落跡には、当該時期の大型竪穴建物や布掘建物を確認していることから、今回発見した方形周溝墓はこの集落の統治者の墓の可能性はある。

〈古代〉

第6次調査区南西側で古代竪穴建物1棟を検出した。本遺構を含む周辺一帯が集落域であったと思われるが、発見した竪穴建物の西側は調査区外となるため詳細はわからない。

〈中世〉

第12次調査区の東西溝SD1・2と、第20次調査区の東西溝SD3～5の間に掘立柱建物・竪穴状遺構・井戸・土坑などの遺構が集中することが分かり、この両溝の中が集落域にあたる。第6次調査区の西端部でも井戸や竪穴状遺構が密集している所があり、この箇所が集落の東限となる。集落の西限は第20次調査区よりさらに西方に延びるため不明である。集落域は南北が約30m、東西が80m以上である。集落内は各遺構が錯綜しており、複数回の改修・改築・造成を繰り返していたようであるが、掘立柱建物や井戸などは同じ場所で造り替えていることから、集落内での施設の配置は決まっていたようである。時期は14世紀後半～15世紀を主体とする。

〈近世〉

第26次調査区の北側は現在の二日市の集落があり、この集落は近世以降に成立したと考えられる。第26次調査区SD19は近世後半の時期で鉤型をしていることから、宅地を区画するための溝と想定される。

参考文献

- 垣内光次郎 1999「石の文化誌」『中世北陸の石文化Ⅰ』北陸中世考古学研究会
- 河合忍 安英樹 1999「石鉾雑考」『石川県考古資料調査・集成事業報告書 農工具』石川考古学研究会
- 柿田 祐司 2006「加賀・能登の横柵」『中世北陸のカワラケと輸入陶磁器・瀬戸美濃製品』
北陸中世考古学研究会
- 田中照久・木村宏一郎 2005「越前」『中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～』
全国シンポジウム中世窯業の諸相～生産技術の展開と編年～実行委員会
- 田嶋 明人 1986「IV考察 漆町遺跡出土土器の編年的考察」『漆町遺跡Ⅰ』
石川県立埋蔵文化財センター
- 永井久美男編 1994「中世の出土銭－出土銭の調査と分類－」
- 藤澤 良祐 2008「中世瀬戸窯の研究」高志書院
- 藤田 邦夫 1997「中世加賀国の土師器様相」『中近世の北陸－考古学が語る社会史－』桂書房
- 宮下 幸夫 1997「在地窯「加賀窯」」『中近世の北陸－考古学が語る社会史－』桂書房
- 吉岡 康暢 1994「中世須恵器の研究」吉川弘文館
- 2011「二日市イシバチ遺跡」野々市町教育委員会
- 2012「二日市イシバチ遺跡2」野々市市教育委員会
- 2013「二日市イシバチ遺跡3」野々市市教育委員会



調査区全景(上空から)



1区全景(西から)



2区全景(西から)



3区全景(東から)



1区SX1(上空から)



1区SX2(上空から)



3区SX1・2(上空から)



調査区遠景(SE3・SD3)(北東から)



調査区遠景(SD6周辺)(北西から)



調査区遠景(SI 9周辺)(北東から)



調査区遠景(SK11・SD18周辺)(北東から)



調査区遠景(SK11・12周辺)(南西から)



調査区遠景(SD5・SK11周辺)(南西から)



調査区遠景(SK11・12周辺)(南西から)



調査区遠景(SD5・18・SK11周辺)(南東から)



調査区遠景(SI 1周辺)(南西から)



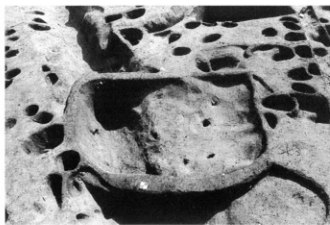
SI 1(南から)



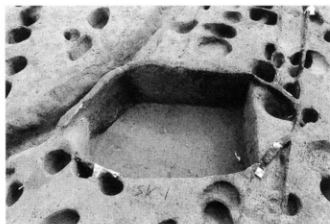
SI 1カマド(東から)



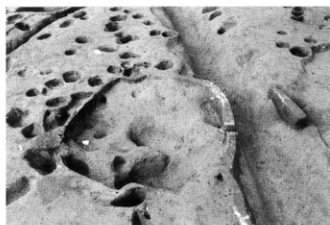
SI 5(東から)



SI 6(北から)



SI 7(北から)



SI 8(南から)



SI 9(西から)



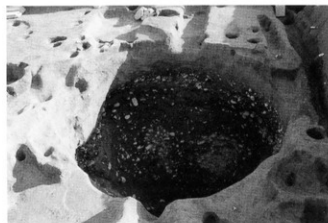
SB2(北から)



SB2・SE3(北西から)



SE1(北東から)



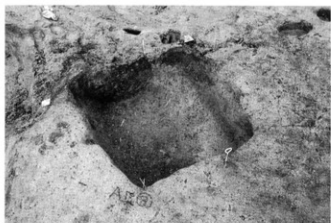
SE2(北から)



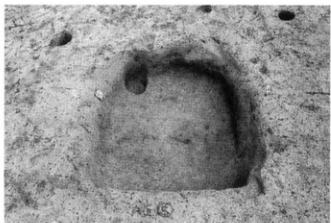
SE2(北西から)



SE3(北から)



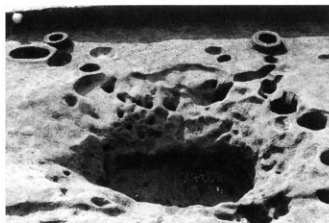
SK6(東から)



SK7(南から)



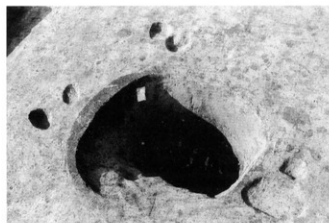
SK10(北から)



SK11(東から)



SK11(西から)



SK12(南から)



SD3(西から)



SD3(東から)



SD5・SA1(南から)



SD5(調査区南端周辺)(北から)



SD6(南東から)



SD6(北西から)



SK9・SD9・11(北から)



SI9・SD14~17(西から)



SD19・20(西から)



SD2・22・23(南から)



SX13・SD22・23・SX2(南東から)



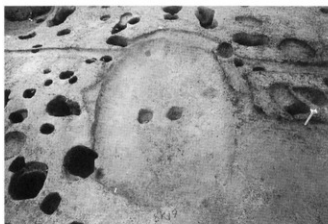
SX1(北から)



調査区全景(南東から)



調査区遠景(SE5~8周辺)(北西から)



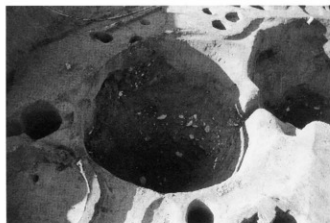
SI 2(北から)



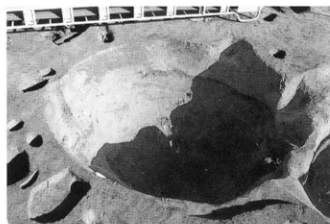
SI 4(西から)



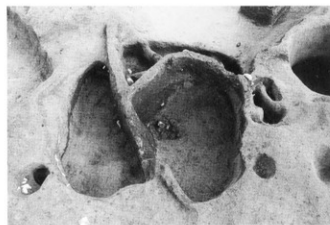
SI 5(南東から)



SE2(北東から)



SE3(南から)



SE9(南西から)



SE11(南西から)



SE12(北西から)



SK1(北から)



SK10(北東から)



SK11(南から)



SK12(南東から)



SK14(北から)



SD1・2(東から)



調査区全景(東から)



調査区全景(西から)



調査区全景(北東から)



調査区全景(北西から)



SB3・4周辺(北西から)



SI 1(東から)



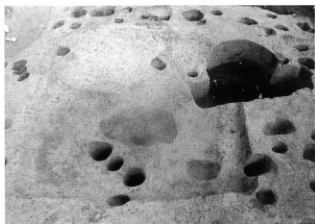
SI 2(西から)



SI 2~4(南西から)



SI 3~5(北から)



SI 7(南から)



SI 8・9(北から)



SI 8・9(南から)



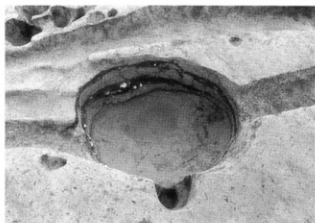
SI 9・SD1(西から)



SI 10・SK15(北から)



SE1(南東から)



SE2(北から)



SK1~6(南西から)



SK2・4・5・7(東から)



SK6(東から)



SK9(北から)



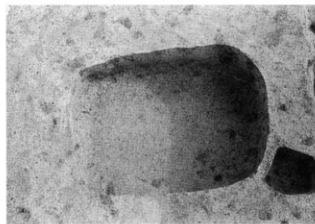
SK10・11(南から)



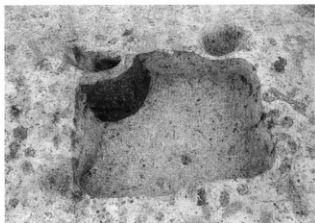
SK12(北から)



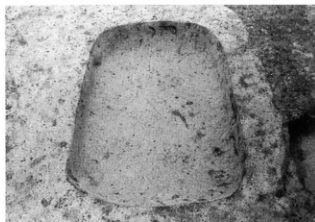
SK17(北から)



SK18(西から)



SK19(東から)



SK20(南から)



SD1~5(東から)



SD5(西から)



SD6(北西から)



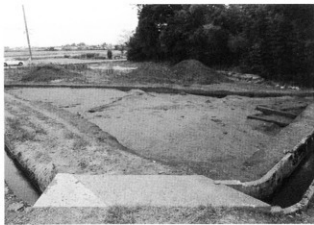
SX1・SK16(西から)



SX2(西から)



SX2(東から)



1区全景(南東から)



2区全景(東から)



2区全景(南西から)



3区全景(東から)



4区全景(西から)



5区全景(東から)



5区全景(西から)



2区SB1(北東から)



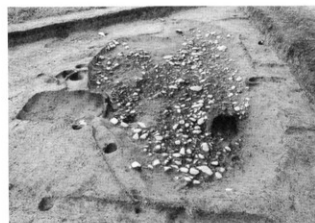
2区SH1・SB1(南東から)



2区SH1・SB1(南西から)



2区SD1(SH1)(南から)



2区SD1(SH1)(北から)



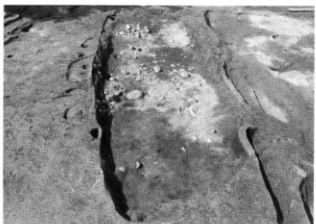
2区SD1(SH1)土器5出土状況



2区SD2(SH1)(東から)



2区SD2(SH1)(東から)



2区SD3(SH1)(南から)



2区SD3(SH1)(北から)



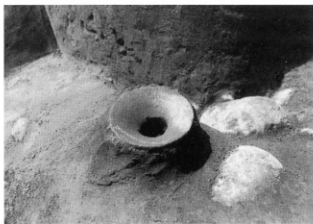
2区SD3(SH1)遺物出土状況(南から)



2区SD4(SH1)(西から)



2区SD4(SH1)(東から)



2区SD4(SH1)土器出土状況



2区SH2(北東から)



2区SH2・SX4(南西から)



2区SH2検出状況(南西から)



5区SK3(南西から)



3区SD9・10(南から)



4区SD19(西から)



5区SD23(北から)



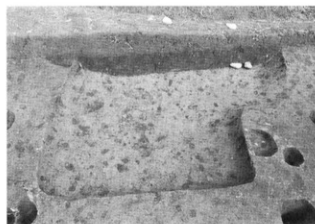
5区SD25(北から)



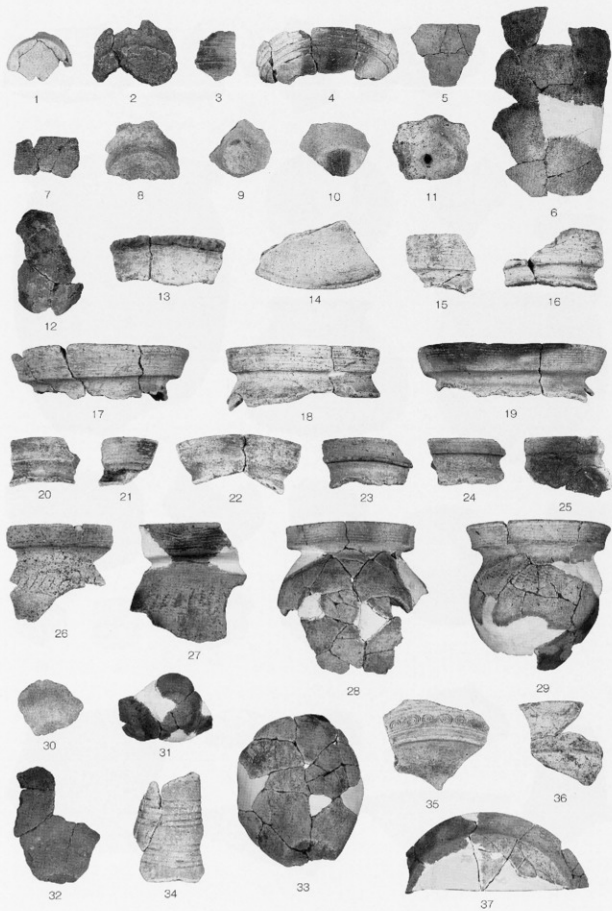
1区SX1(南西から)



5区SX8(北から)



5区SX9(西から)





38



39



40



41



42



43



45



44



46



50



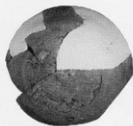
47



48



49



51



52



53



54



56



57



59



61



55



58



60



60



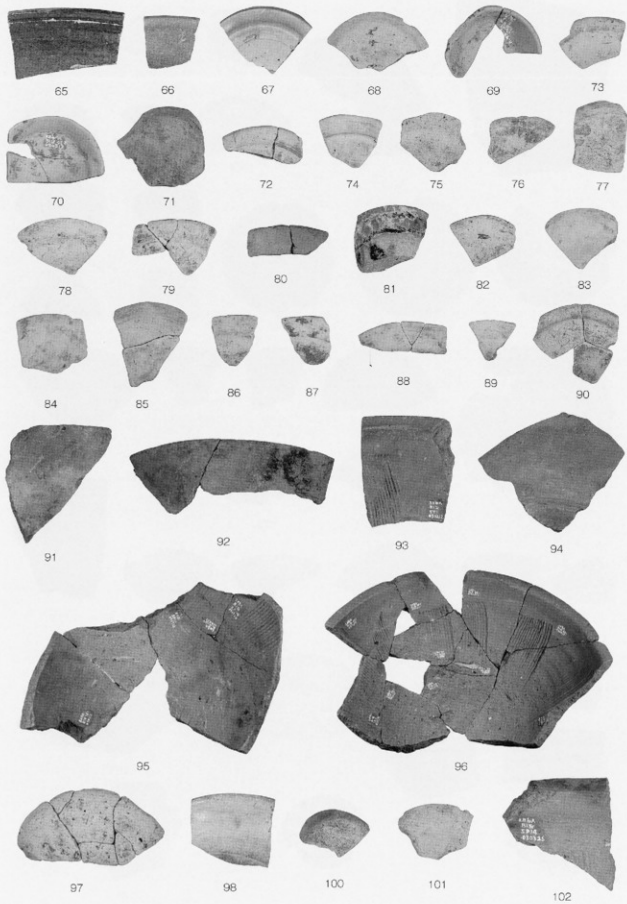
62



63



64





99



103



104



105



106



107



108



111



109



110



112



114



115



117



120



116



113



118



119



121



122



123



124



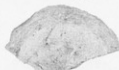
125



126



128



129



133



134



127



130



131



132



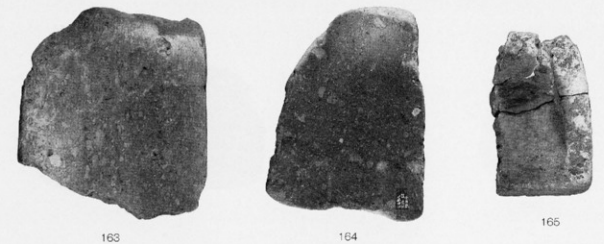
135



136



137





166



167



168



169



170



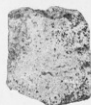
171



172



173



174



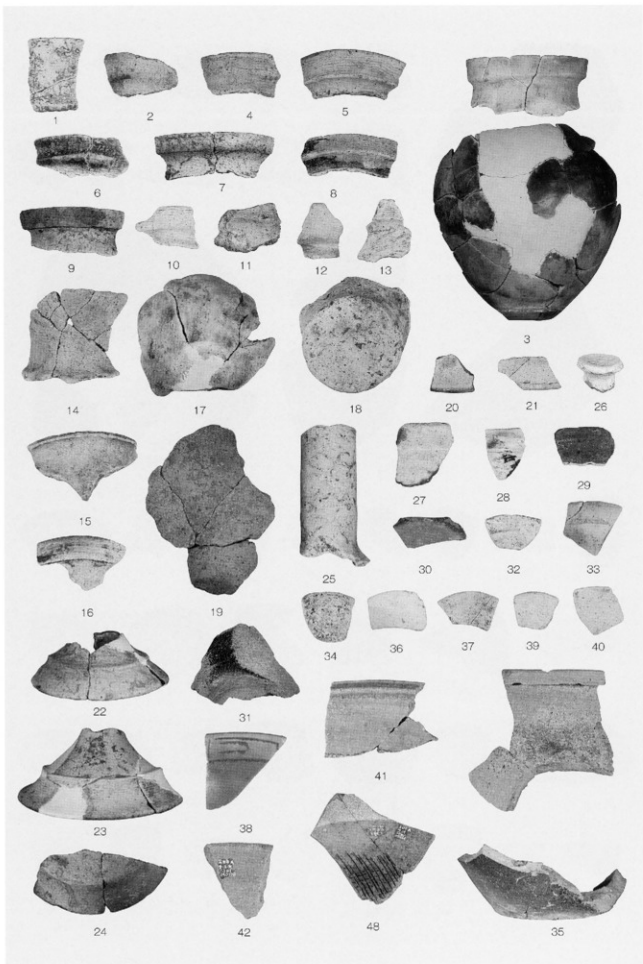
175



176



漆瑁





43



45

46

47

49

50

51



52

53

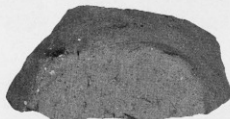
54

55

56



57



58



44



59



60

63

64



65

66

67

68

69

70

71

72



73

74

75

76

77

78



79

80

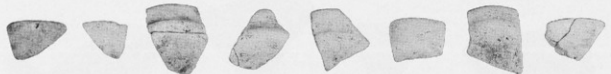
81

82

83

84

85



86

87

88

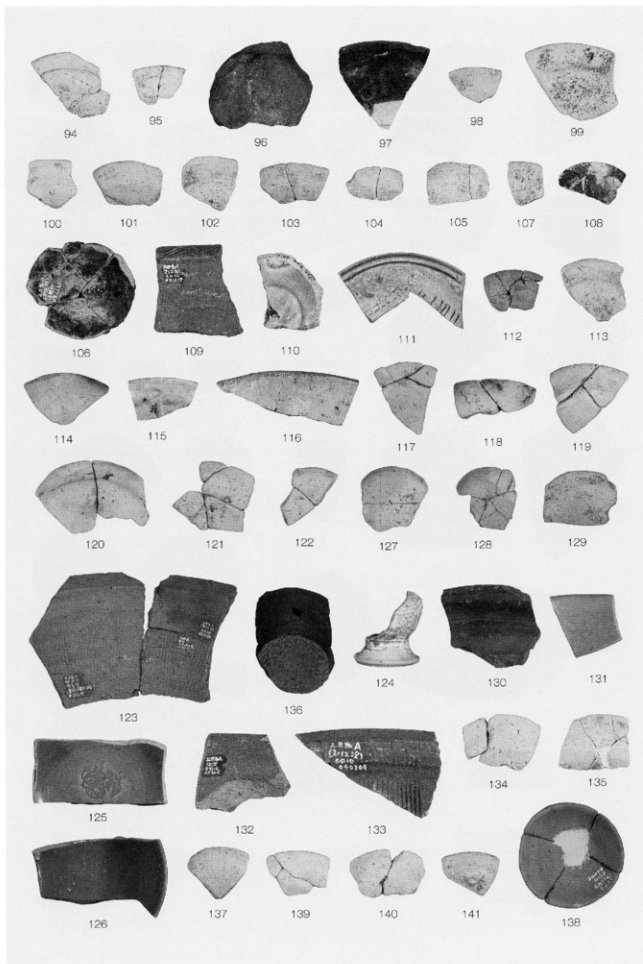
89

90

91

92

93





144



147



142



143



145



146



148



149



153



154



155



156



157



158



159



150



151



160



161



162



163



164



165



168



170



152



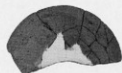
169



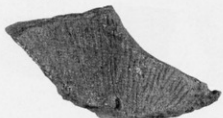
166



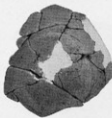
167



172



174



173



179



180



175



176



178



181



183



184



185



186



187



188



189



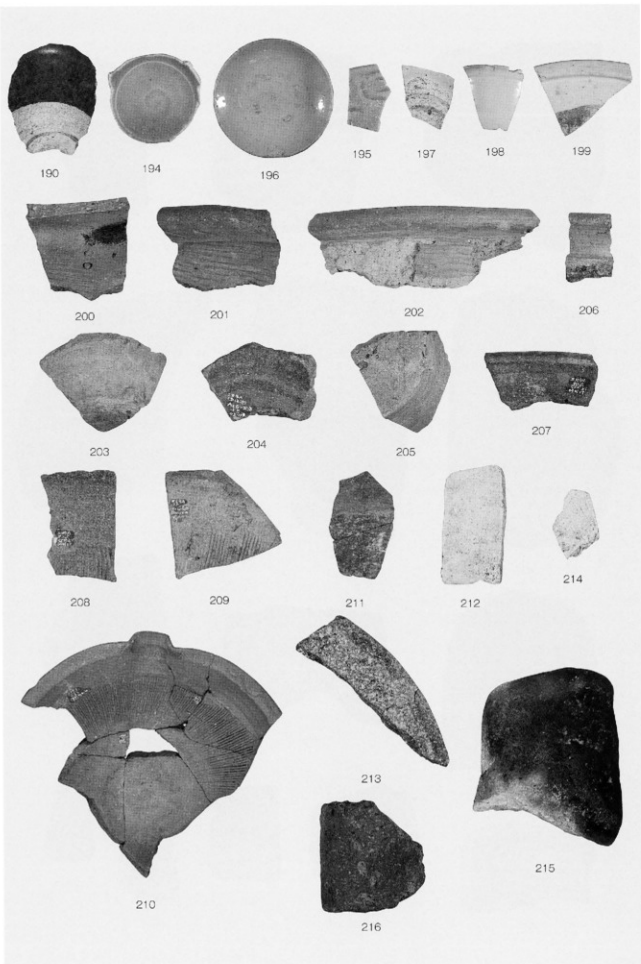
191



192



193





217



218



219



223



224



226



221



220



222



225



229



231



227



230



228



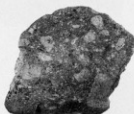
232



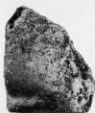
233



234



236



237



239



238



240



235



242



241



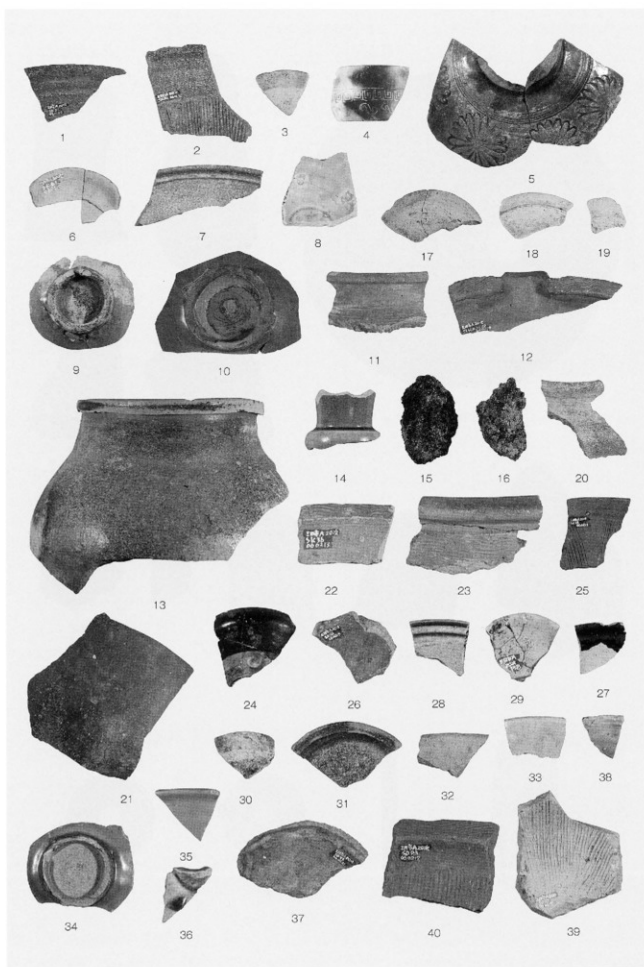
243



244



245





41



42



43



47



46



44



45



48



49



50



52



51



56



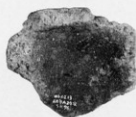
57



58



55



59



60



53



54



61



62



63



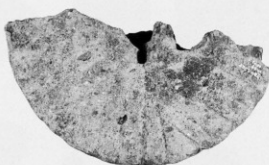
70



71



64



69



65



72



74



75



76



77



73



66



67



68



80



79



84



82



78



81



83



85



86



87



92



93



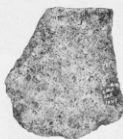
94



88



89



90



96



91



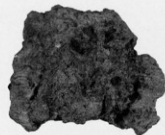
96



97



98



102



99



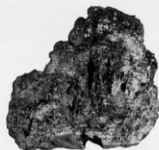
100



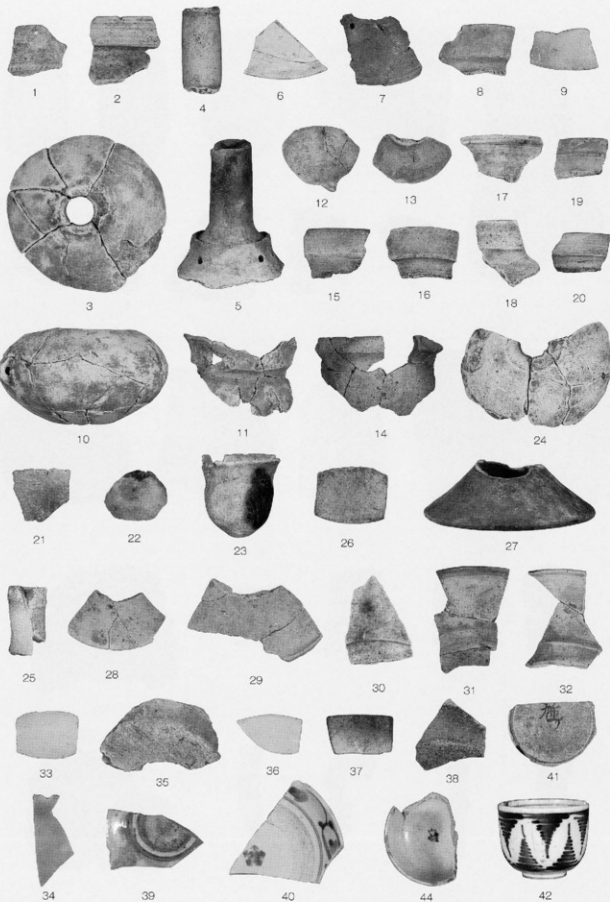
101



103



104





43



49



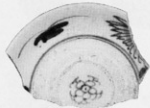
50



62



63



46



47



51



45



48



52



53



54



56



58



59



55



66



57



72



64



71



60



70



74



67



65



68



86



84



73



78



80



77



69



79



85



93



75



76



81



82



83



87



88



89



90



91



92



94



95



97



100



101



96



98



99



111



118



113



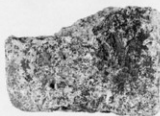
119



114



117



106



106



107



109



105



102



104



103



110



112



115



120



116



121



122



123



124



125

報告書抄録

ふりがな	みつかいちAいせき							
書名	三門市A遺跡6							
副書名								
シリーズ名	北西部土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	7							
編著者名	田村 昌宏							
編集機関	野々市市教育委員会							
所在地	〒921-8510 石川県野々市市三納一丁目1番地 TEL 076-227-6122							
発行年月日	西暦 2013年3月28日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
三門市A遺跡 1次調査	石川県野々市市 二日市町	17344		36° 32' 10"	136° 35' 32"	20000927 ～ 20010328	1,400	記録保存 調査
三門市A遺跡 6次調査	石川県野々市市 二日市町	17344		36° 32' 21"	136° 35' 56"	20021008 ～ 20030328	2,680	記録保存 調査
三門市A遺跡 12次調査	石川県野々市市 二日市町	17344		36° 32' 21"	136° 35' 53"	20031010 ～ 20040120	900	記録保存 調査
三門市A遺跡 20次調査	石川県野々市市 二日市町	17344		36° 32' 20"	136° 35' 52"	20051205 ～ 20060227	900	記録保存 調査
三門市A遺跡 26次調査	石川県野々市市 二日市町	17344		36° 32' 19"	136° 35' 49"	20060619 ～ 20060915	2,130	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
三門市A遺跡 1次調査		弥生	溝、土坑		弥生土器、打製石斧、円石			
三門市A遺跡 6次調査	集落	弥生 古代、中世	竪穴建物、掘立柱建物、 井戸、竪穴状遺構、溝、 土坑		縄文土器、弥生土器、古代土器、須 恵器、中世土器、珠洲焼、磯部焼、打 製石斧、炉縁石、行火、砥石			
三門市A遺跡 12次調査	集落	中世	掘立柱建物、井戸、竪穴 状遺構、溝、土坑		弥生土器、土師器皿、瀬戸焼、珠洲焼 青磁、炉縁石、砥石、銅銭			
三門市A遺跡 20次調査	集落	中世	掘立柱建物、井戸、竪穴 状遺構、溝、土坑		中世土器、瀬戸焼、珠洲焼、打製石斧 温石、石臼、炉縁石、行火、砥石			
三門市A遺跡 26次調査	集落 墳墓	弥生 中世、近世	方形周溝墓、布掘建物、 溝		弥生土器、青磁、珠洲焼、近世陶磁器 泥人形、炉縁石、砥石、キセル			
要 約	<p>1次調査区は、三門市A遺跡の北西側の縁辺部にあたり、遺構・遺物共に希薄であった。</p> <p>6次調査区では、中央に南北に走る大きな鞍部が見つかった。中から弥生土器が多く出土しており、上流域に集落が存在していることを示唆する。また、調査区南西側には古代竪穴建物を1棟確認しており、周辺に集落が存在していたようである。</p> <p>6次調査区西端から、12次調査区、20次調査区にかけては、中世集落が存在する。溝で区画された中に掘立柱建物、井戸、土坑などが錯綜しており、当該地域内でこれらの遺構は建替え、掘り直しを繰り返していたことを示す。</p> <p>26次調査区では、弥生時代後期の方形周溝墓2基を確認した。本調査区より西方約300mには当該時期の集落跡が存在する二日市イシバチ遺跡がある。二日市イシバチ遺跡で確認した集落跡には大型の竪穴建物や布掘建物が存在していることから、本調査区の方形周溝墓の被葬者はこの集落を営んだ者と想定される。</p>							

2013年3月28日 発行

北西部土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書7

三日市A遺跡6

著作権所有 石川県野々市市三納一丁目1番地

発行者 野々市市教育委員会

印刷者 石川県野々市市矢作三丁目18

高桑美術印刷株式会社

三日市A遺跡遺構全体図(第1・6・12・20・26次)

